COMAND システム

取扱説明書

Mercedes-Benz

はじめに
はじめに
ナビ
ナビゲーション
オーディオ
ラジオ
オーディオ
iPod®
電話 / 情報
電話
アドレス帳
Eメール
インターネット
FM多重放送
TV/ 映像
テレビ
DVDビデオ
音声認識
音声認識
ETC
ETC

ここでは主要な見出しのみを記載しています。

各章に記載の項目については、各章の最初のページをお読みください。

お客様へ

このたびはメルセデス・ベンツをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、COMAND システムの取り扱い方法、機能を十分に発揮させるための情報などを記載しています。

車および COMAND システムをご使用になる前に、本書を必ずお読みください。

- 取扱説明書は、いつでも読めるように必ず車内に保管してください。
- 装備の違いや仕様の変更などにより、一部の記述やイラスト、画面表示などが、お買い上げいただいた車とは異なることがあります。

  また、装備や操作方法、スイッチの形状などは予告なく変更されることがあります。
- 車両の取り扱いに関しては、「S-CLASS 取扱説明書」または、「CL-CLASS 取扱説明書」をお読みください。
- 車を次のオーナーにお譲りになる場合は、車と一緒にすべての取扱説明書と整備手帳をお渡しください。
- 各章に記載の項目については、各章の最初のページをお読みください。
- オプションや仕様により異なる装備には＊マークがついています。
- 関連する内容が他のページにもある場合は、該当ページを **(3-50)** のようなかたちで示しています。
- 操作手順などは、文頭に ▶ を記しています。
- 記載している画面は、該当する操作やモードを示す代表例であり、同時に使用するほかのモードや操作などに直接影響のない表示については実際の画面表示と異なることがあります。

  また、同じ理由から COMAND ディスプレイやマルチファンクションディスプレイの表示例を一部記載していないことがあります。
- イラストや画像は、S クラスを用いて説明しています。
- 表示されるメッセージは限られた表示領域のため、一部の文字を省略したり、短縮表記のために略記漢字を使用していることがあります。
- ご不明な点は、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

メルセデス・ベンツ日本㈱ 公式サイト
http://www.mercedes-benz.co.jp/

メルセデス・ベンツ日本株式会社

⚠ 警告

重大事故や命にかかわるけがを未然に防ぐために必ず守っていただきたいことです。

注意

けがや事故、車の損傷を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことです。

知識

知っていると便利なことや、知っておいていただきたいことです。

安全のために

⚠ 警告

- どのような交通状況においても、常に車両を安全にコントロールできるように注意してください。
- 車両が 50km/h で走行しているときは、1 秒間に約 14m も走行してしまうということを常に念頭において走行してください。
- 走行中に COMAND ディスプレイを 1 秒以上注視しないでください。
- COMAND システムの操作は、できるだけ走行中を避け、安全な場所に停車して操作してください。

- ナビゲーションのルート案内はあくまでも走行の参考として地図と音声で案内するものです。精度や地図データの情報により不適切な案内をすることがあります。

  案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）に従ってください。

- 運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。道路交通法違反になります。

  なお、ハンズフリー機能は使用できますが、注意力が散漫になり事故の原因になります。安全な場所に停車してから使用してください。

- オーディオなどの音量が大きすぎると、安全運転のさまたげになります。適切な音量に調整してください。
- COMAND ディスプレイが表示されない、音が聞こえないなど、異常を感じたときや、本体に飲み物などがかかったりしたとき、本体に強い衝撃を与えたときは、ただちに COMAND システムを OFF にして使用をやめてください。

  そのまま使用すると感電事故や火災の原因になりますので、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
- COMAND システム本体、および関連構成部品などを分解したり、改造したりしないでください。故障や感電事故、火災の原因になります。
- 純正アクセサリー以外の電装品（たとえば、盗難防止装置、オーディオ、後席テレビなど）を取り付けるときは、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談してください。

  また、純正アクセサリー以外の電装品を取り付けると、電磁波障害やノイズ発生などの原因になります。とくにラジオやテレビ、電話、ナビゲーションの使用時に予期せぬトラブルを起こすことがあります。

本機のお手入れ

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジン・シンナー類を使用するとケースや塗装が変質しますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、変色・変質の原因となりますので、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

1.　はじめに

COMAND システムとは ……… 1-2
COMAND システムの機能 …… 1-2
・ナビ
・オーディオ
・電話 / 情報
・TV / 映像
・車両
主な特長…………………………… 1-4
・ナビゲーション
・オーディオ
・Gracenote Database について
・Gracenote CDDB のご利用について
・TV / 映像
・電話 / 情報
・音声認識
・ETC
・システム設定
・サウンドや画質・画面の調整
COMAND システムの構成 … 1-10
ステアリングスイッチ………… 1-11
・左側スイッチ
・右側スイッチ
COMAND コントローラー … 1-12
ファンクションスイッチ……… 1-13
ユーザー定義スイッチ………… 1-13
後席アームレストのスイッチ… 1-13
マルチファンクション
ディスプレイの表示……… 1-14
・オーディオ / 電話モード表示
・ナビゲーションモード表示
COMAND ディスプレイの表示 1-15
ディスプレイの角度 / 照度調整 1-15
基本的な使いかた……………… 1-16
・電源の ON / OFF
・走行中の使用制限
・バッテリー保護機能
音量の調整……………………… 1-17
・後席アームレストのスイッチでの音量調整
・音声案内のリピート機能
ミュート（一時消音・一時停止）の使いかた…………………… 1-18
・ナビゲーションの場合
・オーディオの場合
オーディオの OFF …………… 1-20
TV / 映像の OFF……………… 1-20
システム設定…………………… 1-21
・システム設定メニューを表示する
サウンドを調整する…………… 1-27
・音質の調整
・音場の調整
画質・画面を調整する………… 1-29
・明るさの調整
・コントラストの調整
・色合いの調整
・色の濃さの調整
・画面比率の設定
ディスクのセット……………… 1-32
・ディスクのセット
・ディスクの取り出し
メモリーカードのセット……… 1-34
・メモリーカードのセット
・メモリーカードの取り出し
テレフォンキーパッド………… 1-35

COMAND システムとは

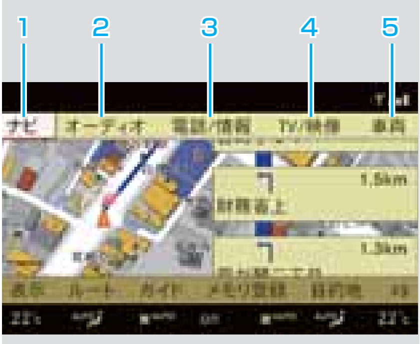
COMAND システムは、オーディオやナビゲーション、電話などの各機能を一体にしたドライバーと車両との総合的なコミュニケーションシステムです。

多彩な機能をひとつに集約したことで、COMAND コントローラーではほとんどの操作ができることや、有効な情報を画面表示や音声によって安全に効率よくドライバーに伝えることができます。

COMAND システムは ETC / VICS に対応しています。

COMAND システムの機能

COMAND システムの機能は、COMAND ディスプレイのアプリケーションエリアから選択できます。



1 ナビ

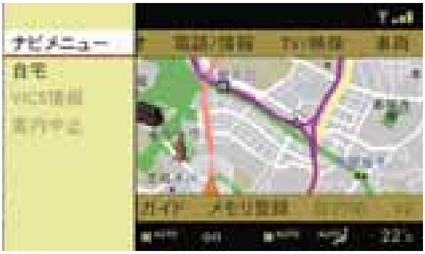
2 オーディオ

3 電話 / 情報

4 TV/ 映像

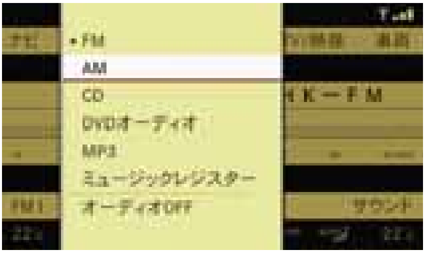
5 車両

ナビ



ナビゲーションの様々な機能が表示されます。

オーディオ



"**オーディオ**" に含まれる機能は以下の通りです。

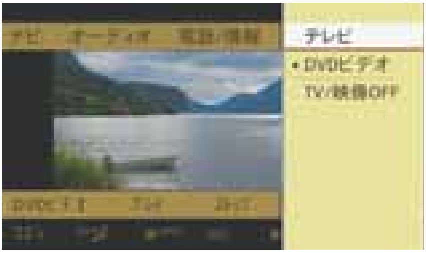
- FM
- AM
- CD
- DVD オーディオ＊
- MP3
- ミュージックレジスター

電話 / 情報

"**電話 / 情報**" に含まれる機能は以下の通りです。

- 電話
- アドレス帳
- E メール
- インターネット
- FM 多重放送

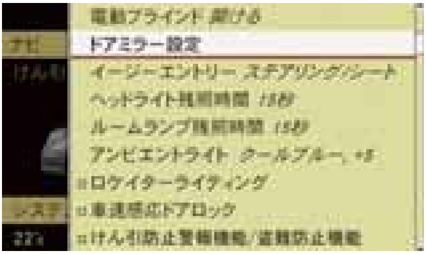
TV/ 映像



"**TV/ 映像**" に含まれる機能は以下の通りです。

- テレビ / iPod®
- DVD ビデオ

車両



"**車両**" には車両設定のための選択項目が含まれています。詳しくは取扱説明書本編をご覧ください。

また、"**システム設定**" からは、COMAND システムも含めた、車両の基本的な設定を行なうことができます **(1-21)**。

主な特長

ナビゲーション

ルート探索・案内機能

目的地を設定すると、最大５通りのルート（道のり）を探索します。曲がるべき交差点や分岐点、有料道路の入り口などを音声で知らせたり、画面に表示します。また、走行中に案内ルートから外れたときでも、すぐに同じ目的地までの新しいルートを案内します。

周辺施設案内機能

現在地周辺のレストランやガソリンスタンドなど、最寄り施設を表示させたあと、目的地（通過点）として設定できます。

地図表示

地図画面の拡大縮尺表示ができます。また、25m と 50m 縮尺で市街地図を表示します。さらに、地図をノースアップ表示 / ヘディングアップ表示にしたり、2D 表示 /3D 表示にすることができます。

メモリ地点登録機能

自宅や仕事先、友人宅など繰り返し訪れる場所（地点）をあらかじめ登録することで、目的地（通過点）として簡単に設定できます。

索引・検索機能

登録されている索引項目から施設や場所の項目を選択して、目的地（通過点）として設定できます。

VICS 機能

FM 多重から渋滞情報などを地図上に表示できます。また VICS3 メディアを標準装備しているため、光 / 電波ビーコンからの情報にも対応しています。

オーディオ

オーディオは、ナビゲーションモードと同時に使用できます。

ほかのモードとの同時使用

オーディオモード使用中にナビゲーションを使用できます。

ナビゲーション画面を表示するには、ファンクションスイッチの電話 / 情報・ナビゲーションスイッチ TEL NAVI を押してください。

オーディオの音声を OFF にするには、ファンクションスイッチのミュートスイッチ かステアリングスイッチの を押します。

もう一度押すと、音声は ON になります。

ラジオ

AM/FM ラジオ放送が受信できます。

DVD チェンジャー

6 枚まで挿入できる DVD チェンジャーが装備されており、音楽ディスクおよび MP3 データを再生できます。

> **知識**
>
> 選択されているディスクは繰り返し再生されます。ディスクの最後の曲を再生した後に次のディスクの曲を再生することはありません。

メモリーカード

MP3 データを収録したメモリーカードを PCMCIA スロットに挿入することにより、MP3 データを再生できます。

ミュージックレジスター

再生した音楽 CD を COMAND システムのハードディスクに録音します。

録音した音楽を再生できます。

Gracenote Database について

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote™ により提供されます。Gracenote™ は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：

www.gracenote.com

Gracenote ™ からの CD および音楽関連データ：Copyright ©2000 - 2006 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000 - 2006 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote ™ および CDDB は Gracenote ™ の登録商標です。Gracenote ™ のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote™ の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：

www.gracenote.com/corporate

gracenote.

Gracenote CDDB のご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市の Gracenote™（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。

この製品は Gracenote™ の技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。

この技術は Gracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を商用ではなく個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Data にアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded Software または Gracenote Data の譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外での Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の使用あるいは応用をしないことに同意すること。

- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。

  解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用を止めることに同意すること。

- Gracenote™はGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を所有しています。

- Gracenote™はこの同意のもとで、Gracenote™の名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote™は、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。

Gracenote™はGracenote™が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenote™は新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenote™が提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenote™は、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不在性を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenote™は、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenote™はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

TV / 映像

テレビ

- VHF/UHF チャンネルが受信でき、ステレオ放送や 2 か国語放送にも対応しています。
- 駐車中、停車時に限り放映画像を見ることができます。安全のため走行中はテレビ音声のみになります。

DVD ビデオ

停車時に限り DVD ビデオの画像を見ることができます。安全のため走行中は音声のみになります。

電話 / 情報

電話機能

- お手持ちの携帯電話を COMAND システムに接続して、電話をかけたり受けたりできます。
- 通話は車内マイクとスピーカーによるハンズフリー式です。
- 登録した電話番号や相手先名称などから、電話をかけることができます。本体や電話専用のキーパッド､ステアリングスイッチ(電話帳データのある宛先のみ）のいずれでも操作ができます。

  また、音声認識機能でも電話をかけることができます。
- 電話番号が不明でも、ナビゲーションモードの索引画面から項目や名称で相手先を探し出し、電話をかけることができます。

インターネット / E メール

携帯電話を接続することで、インターネットサイトを閲覧できます。また、自宅や仕事場などのアドレスでの E メール送受信ができます。

FM 多重放送

FM 多重放送を受信し、画面に表示できます。

音声認識

音声認識ボタンを押して、音声コマンドを発声すると COMAND システムを操作できます。

ETC

ETC の各種使用状況を音声や画面で案内します。

※ ETC を利用するためには、事前に ETC 車載器のセットアップと ETC カードが必要です。

システム設定

COMAND システム全体にかかわる以下の項目を調整できます。

- ディスプレイの色調切り替え
- 操作時信号音（ビープ音）の設定
- 表示言語の設定
- ユーザー定義スイッチの設定
- Bluetooth® を使用した携帯電話接続の設定
- COMAND システムのリセット
- COMAND システムのシリアルナンバー、ナビゲーションの地図データバージョン、および楽曲 DB バージョン (Gracenote Database のバージョン) の表示

サウンドや画質・画面の調整

サウンド調整

ラジオや CD、ミュージックレジスターなどのソースごとに音質・音場を設定できます。

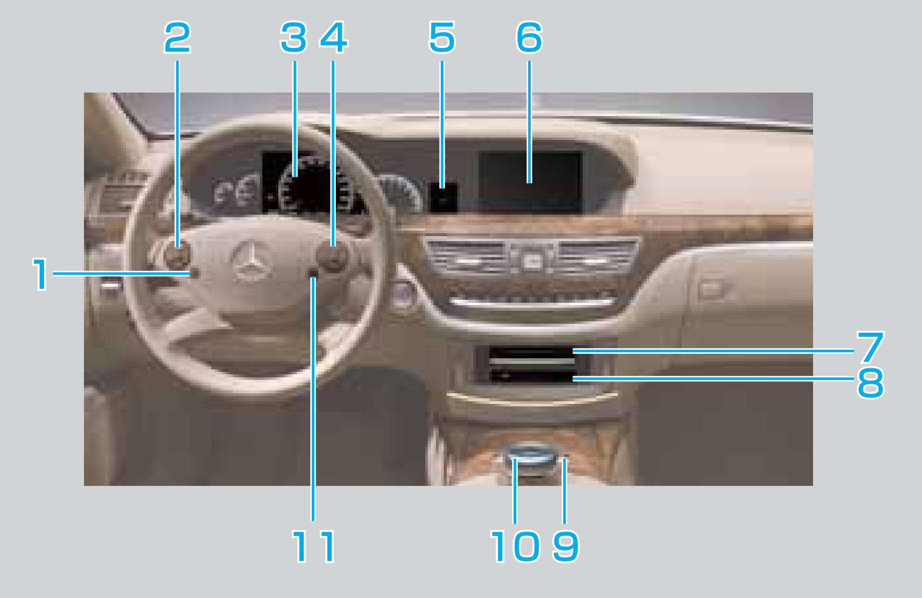
例：音質・音場調整画面
（Logic サウンドシステム非装着車）

例：音質・音場調整画面
（Logic サウンドシステム装着車）

画質・画面調整

テレビ、DVD の映像ソースごとに画質や画面の調整ができます。

COMAND システムの構成



1 リターンスイッチ / 音声認識解除ボタン

2 ステアリングスイッチ（左）

3 マルチファンクションディスプレイ

4 ステアリングスイッチ（右）

5 COMAND ディスプレイ角度調整スイッチ / ディスプレイ照度調整ノブ

6 COMAND ディスプレイ

7 DVD チェンジャー

8 PCMCIA スロット

9 ファンクションスイッチ

10 COMAND コントローラー

11 音声認識ボタン

知識

COMAND システムにはラストモードがあります。例えば、ラジオを聞いているときに、他のアプリケーションを選択し、再度オーディオモードを選択すると、他の音楽ソースではなくラジオの作動になります。

ステアリングスイッチ

⚠ 警告

ステアリングスイッチは、直進時で周囲の交通状況が安全なときにだけ操作してください。ステアリングの回転操作中にスイッチを操作すると、スイッチ操作に気をとられて事故の原因になります。

ステアリングスイッチでは、オーディオやテレビ、DVD ビデオの各モードにおける主要部分の操作と、電話モードの通話開始 / 通話終了などの操作ができます。

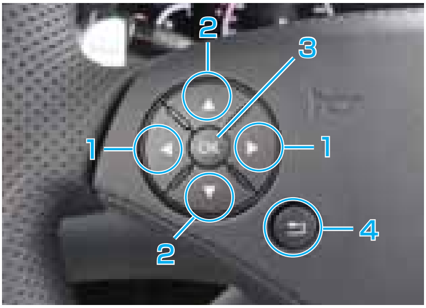
また、トリップメーターの設定など車両に関する設定もできます。車両に関する設定については、取扱説明書本編をご覧ください。

ここでは、ステアリングスイッチの機能と操作方法について簡単に説明しています。電話モードでの操作方法については電話モードの章をお読みください。

知識

ステアリングスイッチの操作はマルチファンクションディスプレイに表示しているモードに対応します。

左側スイッチ



1 マルチファンクションディスプレイのメインメニュー選択スイッチ

マルチファンクションディスプレイのメインメニュー（"**オーディオ**" や "**ナビ**" 、"**設定**" など）の選択

2 マルチファンクションディスプレイのサブメニュー選択スイッチ

マルチファンクションディスプレイのサブメニューの選択

"**オーディオ**" 選択時には、トラックアップ / ダウン操作やラジオ放送局の自動選局操作ができます。

"**電話**" 選択時には、ダウンロードされた電話帳データから発信操作ができます。

3 OK スイッチ

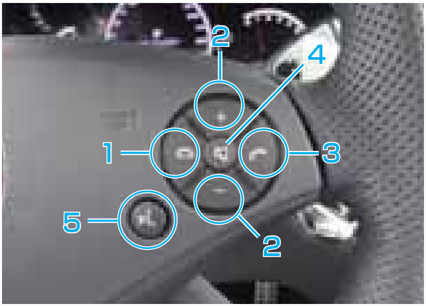
選択したサブメニューの内容の実行

4 リターンスイッチ / 音声認識解除スイッチ

マルチファンクションディスプレイの前の画面の表示

音声認識モードの解除

右側スイッチ



1 通話終了スイッチ

通話終了の操作

2 音量調整スイッチ

音量の調整

3 通話開始スイッチ

通話開始の操作

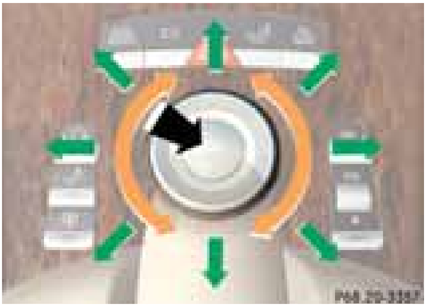
4 ミュートスイッチ

オーディオの音量、ナビゲーションの音声案内の消音

5 音声認識スイッチ

音声認識モードの開始

COMAND コントローラー



COMAND コントローラーを操作することにより、COMAND システムの様々な機能を操作したり、設定することができます。

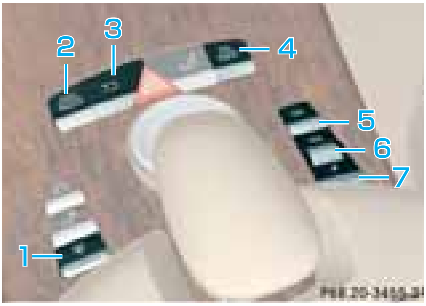
COMAND コントローラーは以下のように操作できます。

- 軽く押す
  押して保持する
  本書中の表記 →
- まわす
  本書中の表記 →
- 上下にスライドする
  スライドして保持する
  本書中の表記 →
- 左右にスライドさせる
  スライドして保持する
  本書中の表記 →
- 上下左右斜めにスライドする
  スライドして保持する
  本書中の表記 →

知識

それ以上項目を選択できないときなどは、コントローラーの動作が電気的にロックされ、まわすことができなくなります。

ファンクションスイッチ



1 電動ブラインド（リアウインドウ）

電動ブラインド（リアウインドウ）を開閉できます。詳しくは、取扱説明書本編をご覧ください。

2 DISC RADIO オーディオスイッチ

CD / DVD / PCMCIA / HDD / ラジオなど音楽ソースの選択

3 リターンスイッチ

1 つ前の画面の表示
長押しでトップ画面の表示

4 TEL NAVI 電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ

電話やインターネット、ナビゲーションなどの選択

5 ON ON / OFF スイッチ

COMAND システムの ON / OFF

6 音量調整ダイヤル

オーディオ / 映像、ナビゲーションの音声案内、音声認識のトークバック、電話通話の音量の調整

7 * ユーザー定義スイッチ

使用頻度の高い機能をこのスイッチに登録できます。詳しくは右記をご覧ください。

ユーザー定義スイッチ

ユーザー定義スイッチには、以下のいずれかの機能を登録できます。

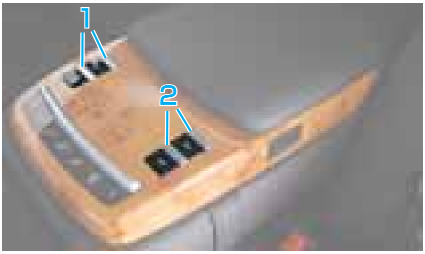
- ルート案内時の音声案内の ON / OFF **(2-34)**
- 地図表示の現在地への復帰 **(2-8)**
- ナビゲーションの音声案内と地図表示の現在地への復帰 **(2-34、2-8)**

ユーザー定義スイッチへの登録については **(1-24)** をご覧ください。

以下の機能についてもこのスイッチに登録できます。詳しくは、取扱説明書本編をご覧ください。

- COMAND ディスプレイの ON / OFF
- けん引防止警報機能のオン / オフ

後席アームレストのスイッチ（S クラス） *



1 音量調整スイッチ VOL + VOL −

オーディオ / 映像、ナビゲーションの音声案内、音声認識のトークバック、電話通話の音量の調整

2 選局・選曲スイッチ ⏮ ⏭

ラジオの選局、オーディオや DVD ビデオの選曲

マルチファンクションディスプレイの表示

ステアリングスイッチ◀ ▶でモードを選択することにより、モードごとの情報を表示します。

> 知識
>
> COMAND システムの作動（表示）にかかわらず、マルチファンクションの表示項目は、ステアリングスイッチで独立して切り替えることができます。

オーディオ / 電話モード表示

ラジオ、オーディオ再生、テレビ、DVD ビデオ、電話の各モード別に表示内容が異なります。

これらの表示については、それぞれの章を参照してください。

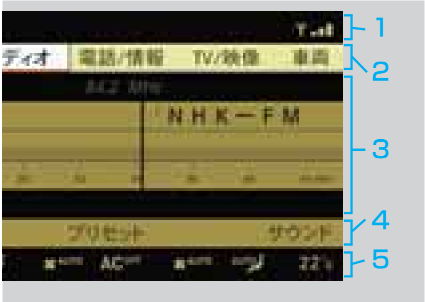
ナビゲーションモード表示

ルート案内をしているときの直進時

ルート案内をしているときの左折時

> 知識
>
> 交差点（分岐点）までの距離表示は数値で表示される場合とバーグラフで表示される場合があります。
>
> - 一般道路の場合
>
>   交差点（分岐点）までの距離が約 300m 以下になるとバーグラフ表示になります。
>
> - 高速 / 有料道路の場合
>
>   交差点（分岐点）までの距離が約 1km 以下になるとバーグラフ表示になります。

COMAND ディスプレイの表示



1 ステータスエリア

接続されている携帯電話の電波受信状況や、ミュート（消音）にしたときのインジケーターなどが表示されます。

2 アプリケーションエリア

COMAND システムの各アプリケーションが表示されます。このエリアから、各アプリケーションを選択します。

3 メインエリア

選択されたアプリケーションに応じた画面が表示されます。

また、アプリケーションエリアやサブメニューエリアからのポップアップメニューが表示されます。

4 サブメニューエリア

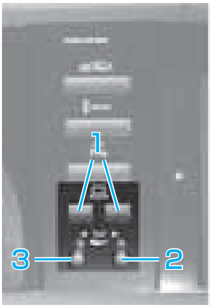
選択されているアプリケーションに応じた設定項目が表示されます。

5 エアコンディショナーエリア

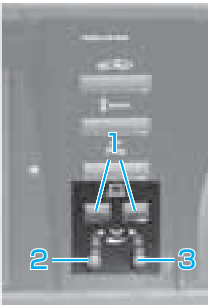
エアコンディショナーの作動状況が表示されます。

詳しくは、取扱説明書本編をご覧ください。

ディスプレイの角度 / 照度調整



左ハンドル車



右ハンドル車

1 COMAND ディスプレイ角度調整スイッチ

COMAND ディスプレイの角度を運転席側 / 中央 / 助手席側のそれぞれに調整できます。

2 COMAND ディスプレイ照度調整ノブ

ノブを時計回りにまわすとCOMAND ディスプレイの照度ががが明るくなります。

反時計回りにまわすとCOMAND ディスプレイの照度が暗くなります。

3 メーターパネルディスプレイ照度調整ノブ

周囲が暗いときにメーターパネルの照度を調整できます。

ノブを時計回りにまわすとメーターパネルの照度が明るくなります。

反時計回りにまわすとメーターパネルの照度が暗くなります。

基本的な使いかた

電源の ON/OFF

ON にするとき

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

「安全の為のご注意」が表示されたあと、前回 OFF にしたときの画面が表示されます。

> 知識
>
> - イグニッション位置の選択に連動して、COMAND システムの ON/OFF が操作できます。
> - 駐車中など、イグニッション位置が **0** のときや、キーを抜いたときでも、ファンクションスイッチ ON キーを押して約 30 分間使用することもできます。
> - バッテリー保護のため、COMAND システムを使用するときはエンジンを始動してください。

OFF にするとき

▶ エンジンスイッチからキーを抜くか、ファンクションスイッチの ON を押します。

走行中の使用制限

安全上の理由から、走行中は以下の項目について一部の使用が制限されます。

- テレビ /DVD ビデオ（画面は表示されず、音声のみになります）
- ナビゲーションモード
- 電話モード
- FM 多重放送
- インターネット
- E メール
- アドレス帳
- ミュージックレジスターの編集

バッテリー保護機能

バッテリー電圧が 10.5V 以下に低下したり、エンジンを始動させずに 27 分以上システムを使用すると、下記の画面が表示されます。

このときは、エンジンを始動してください。3 分以内にエンジンを始動しないと、自動的に電源が OFF になります。

上記の画面表示後、さらにバッテリー電圧が 9.5V 以下に低下するか、2 分 50 秒経過してもエンジンを始動しないときは、10 秒以内に自動的に OFF になります。

> **知識**
>
> これらのメッセージ画面が表示されたときは、システムを OFF にするだけでなく、バッテリーあがりを防止するためエンジンを始動して数分間バッテリーを充電してください。

音量の調整

ナビゲーションの音声案内の音量、オーディオの音量または電話の通話音量などを別々に調整・設定できます。

> **知識**
>
> ミュート（消音）機能が ON のときに、音量の調整をすると、ミュート（消音）機能が解除されます。

音量を大きくする

▶ 音量調整ダイヤルを前方にまわします。

または、ステアリングの音量調整スイッチ ＋ を押します。

音量を小さくする

▶ 音量調整ダイヤルを後方にまわします。

または、ステアリングの音量調整スイッチ − を押します。

後席アームレストのスイッチ＊での音量調整（S クラス）

音量を大きくする

▶ 音量調整（大）スイッチ VOL+ を押します。

音量を小さくする

▶ 音量調整（小）スイッチ VOL− を押します。

音声案内のリピート機能

▶ 交差点拡大図が表示されているときは、コントローラーを押し、"**音声案内**" を選択して・、コントローラーを押すと、繰り返し音声案内を聞くことができます。

または

▶ メニュー画面のサブメニューエリアでを選択して・、コントローラーを押すと、繰り返し音声案内を聞くことができます。

ミュート（一時消音・一時停止）の使いかた

オーディオの音量またはナビゲーションの音声案内を消音する機能です。

再生中のディスクなどは、一時停止します。ただし、CD 録音中は再生を続けます。

ナビゲーションの場合

▶ 音声案内中にミュートスイッチを押します。

COMAND ディスプレイに約 6 秒間 "**音声案内 MUTE**" と表示されます。

ミュートを解除する

▶ 交差点拡大図が表示されているときにコントローラーを押し 、"**音声案内再開**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

または

▶ サブメニューエリアで を選択して ・ コントローラーを押します。

COMAND ディスプレイに約 6 秒間 "**音声案内再開**" と表示されます。

オーディオの場合

▶ オーディオの各モード作動中に、ミュートスイッチ を押します。

COMAND ディスプレイのステータスエリア左部分に が表示されます。

マルチファンクションディスプレイに "**ミュート**" と表示されます。

ミュートを解除する

▶ 再度、ミュートスイッチ を押します。

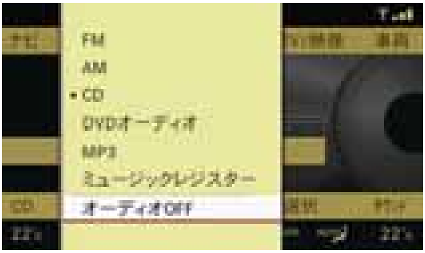
> **知識**
>
> - ミュートの作動中に、音量ダイヤルやステアリングの音量調整スイッチを操作すると、ミュートは解除されます。
> - オーディオモードや DVD ビデオモードのときに電話がかかってきたり通話を開始すると、自動的にミュートになり、ナビゲーションモードの音声案内も消音されます。通話を終えると元に戻ります。

オーディオの OFF

ラジオや音楽 CD / DVD、MP3 データなどオーディオを OFF にするには、以下の操作を行ないます。

▶ オーディオを聞いているときに、アプリケーションエリアで " **オーディオ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **オーディオ OFF**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



オーディオが OFF になります。

TV / 映像の OFF

テレビまたは DVD ビデオなどを OFF にするには、以下の操作を行ないます。

▶ テレビまたは DVD ビデオを見ているときに、アプリケーションエリアで **"TV / 映像**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ **"TV/ 映像 OFF"** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

映像が OFF になります。

システム設定

COMAND システムを使用する前に車両モードの " **システム設定** " で以下の設定項目を確認してください。

- ディスプレイの色調切り替え
- 操作時信号音（ビープ音）の設定
- 表示言語の設定
- ユーザー定義スイッチの設定
- Bluetooth® を使用した携帯電話接続の設定

また、以下の操作を行なうことができます。

- COMAND システムのリセット
- COMAND システムのシリアルナンバー、およびナビゲーションの地図データバージョンの表示
- 楽曲 DB バージョン (Gracenote Database のバージョン) の表示

⚠ 警告

安全のため、駐 / 停車時に操作してください。走行中は一部操作できない項目があります。

システム設定メニューを表示する

▶ メインエリアが車両設定画面以外のときは、アプリケーションエリアで " **車両** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

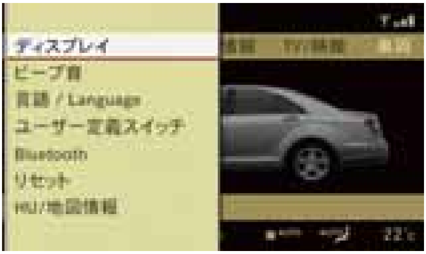
メインエリアが車両設定画面になります。

▶ サブメニューエリアで " **システム設定** " を選択して、コントローラーを押します 。システム設定メニューが表示されます。

ディスプレイの色調の切り替え

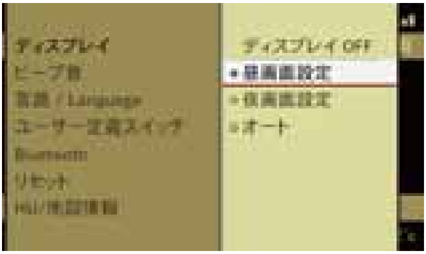
画面の色調を切り替えることができます。また、ディスプレイの表示を消すこともできます。

▶ システム設定メニューで "**ディスプレイ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 設定するディスプレイ表示内容を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在設定されているディスプレイ表示の左側の "○" の中には "•" が表示されています。



"ディスプレイ OFF"

ディスプレイの表示が消えます。

再度表示するときは、コントローラーを押すか 、いずれかの方向にスライドします 。

"昼画面設定"

周囲の明るさにかかわらず、ディスプレイ表示は昼用の明るい色調になります。

"夜画面設定"

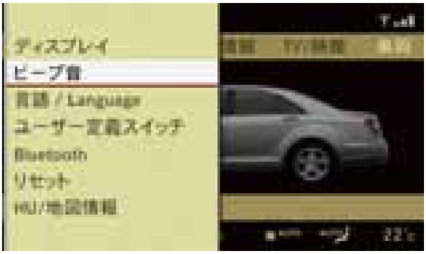
周囲の明るさにかかわらず、ディスプレイ表示は夜用の暗い色調になります。

"オート"

周囲の明るさに応じて、ディスプレイ表示が昼画面と夜画面に切り替わります。

操作時信号音（ビープ音）の設定

▶ システム設定メニューで "**ビープ音**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 設定する操作時信号音を選択して ◀◎▶ ・ ↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

ボックスにチェックマークが表示されます。

解除するときは、再度コントローラーを押して ◎ 、チェックマークを外します。

確認音

COMAND コントローラーを長押ししたときや、左右にスライドして保持したときに、信号音が鳴ります。

通知音

ETC ゲートを通過するときに信号音が鳴ります。

> 知識
>
> 操作時信号音の音量を設定することはできません。

表示言語の設定

画面表示や案内音声を日本語または、英語に切り替えます。

▶ システム設定メニューで " **言語 / Language**" を選択して ◀◎▶ ・ ↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 設定する言語を選択して ◀◎▶ ・ ↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

現在設定されている表示言語の左部には " • " が表示されています。

> 知識
>
> ナビゲーションの地名表示や音声認識機能の音声案内は英語になりません。

ユーザー定義スイッチに機能を登録する

以下のいずれかの機能を登録できます。

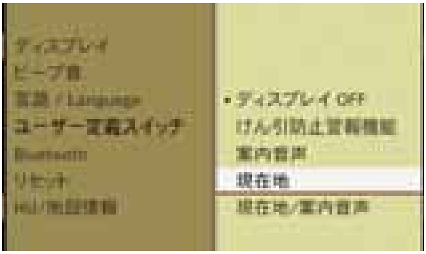
- ルート案内時の音声案内を聞く **(2-34)**
- 地図表示の現在地への復帰 **(2-8)**
- ナビゲーションの音声案内と地図表示の現在地への復帰 **(2-34、2-8)**

以下の機能についてもこのスイッチに登録できます。詳しくは、取扱説明書本編をご覧ください。

- COMAND ディスプレイの ON / OFF
- けん引防止警報機能の ON / OFF

▶ システム設定メニューで "**ユーザー定義スイッチ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在定義されている機能の左側には、" • " が表示されています。



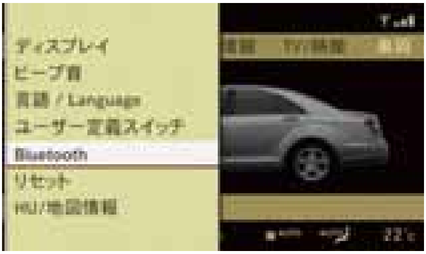
▶ 定義する機能を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

機能が定義され、システム設定メニューに戻ります。

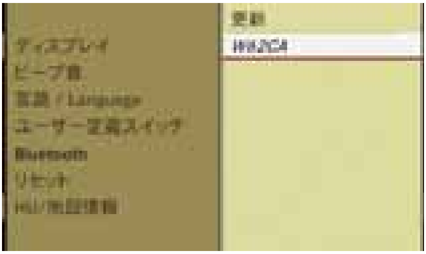
Bluetooth® の設定

Bluetooth® を装備した携帯電話とCOMAND システムを接続できます。

▶ システム設定メニューで "**Bluetooth**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 接続する携帯電話を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



" 更新 "

新たな Bluetooth® 対応携帯電話を接続するための設定をします。接続方法については **(6-8)** をご覧ください。

COMAND システムのリセット

▶ システム設定メニューで " **リセット** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **はい** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

COMAND ディスプレイに確認メッセージが再表示されます。

▶ " **はい** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

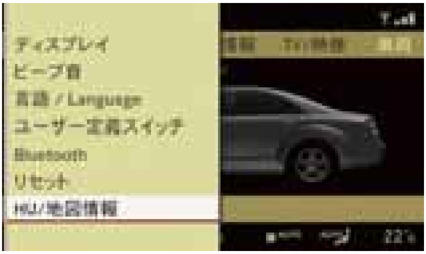
この作業を実行すると、以下のデータが削除されます。

- ナビゲーションの設定（最新の目的地、保存されている目的地、自宅登録、目的地履歴、回避エリア、メモリ地点など）
- ラジオのプリセット内容
- アドレス帳のデータ
- インターネットのデータ
- E メールのデータ
- ミュージックレジスターのデータ
- 登録している Bluetooth® 対応携帯電話の設定

また、システム設定も初期設定内容になります。

COMAND システムのシリアルナンバー、ナビゲーションの地図データバージョンの表示、楽曲 DB バージョン (Gracenote Database のバージョン) の表示

▶ システム設定メニューで "**HU/地図情報**" を選択して 、コントローラーを押します 。



COMAND システムのシリアルナンバー、およびナビゲーションの地図データバージョン、楽曲 DB バージョン (Gracenote Database のバージョン) が表示されます。

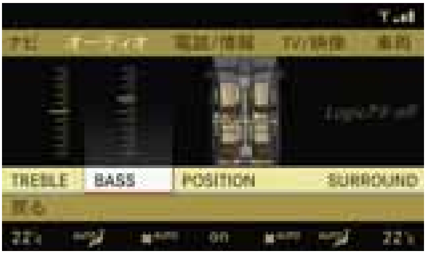
サウンドを調整する

サウンド調整は、音楽ソースや映像ソースごとに設定できます。

音質の調整

▶ サブメニューエリアで "**サウンド**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

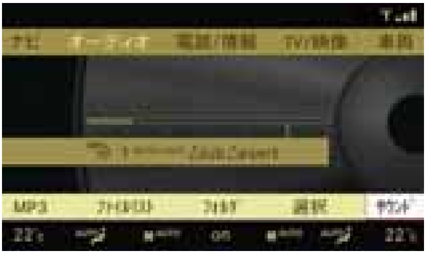
▶ 高音を調整するときは "TREBLE"、低音を調整するときは "BASS" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



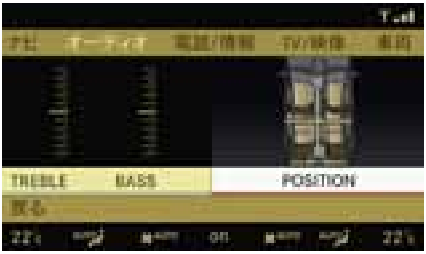
▶ 好みの音質を設定します ・ 。設定した音質がレベルインジケーターと数値で表示されます。

音場の調整

▶ サブメニューエリアで "**サウンド**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "POSITION" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



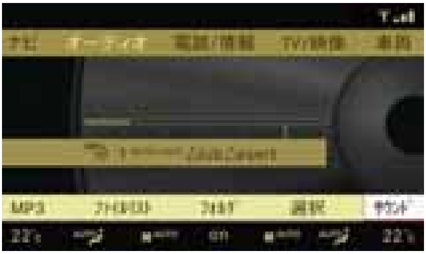
▶ 左右のバランスを調整するときはコントローラーを左右にスライドさせます 。

前後のバランスを調整するときはコントローラーを上下にスライドさせます 。

設定した音場がインジケーターと数値で表示されます。

Logic7 システムの設定
（Logic サウンドシステム装着車）

▶ サブメニューエリアで "**サウンド**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "SURROUND" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ Logic7 システムの "**off**" "**on**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在の設定の左側には "•" が表示されています。

知識

- 走行ノイズを感知して、聴きたい音楽と不要なノイズを区別し、適切な音量と音質のバランスを調整する走行ノイズ補正機能システムを装備しています。
- テレビモードやラジオモードのときは、Logic7 は自動的に OFF になります。

画質・画面を調整する

明るさの調整

▶ テレビモードまたは DVD ビデオモードのサブメニューで **"テレビ"** または **"DVD ビデオ"** を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します。

▶ **"明るさ"** を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します。

▶ **"－ 5"**（暗くなる）～ **"＋ 5"**（明るくなる）のいずれかを選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します。

明るさが設定されます。

コントラストの調整

▶ テレビモードまたは DVD ビデオモードのサブメニューで **"テレビ"** または **"DVD ビデオ"** を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します。

▶ **"コントラスト"** を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します。

▶ **"－ 5"**（弱くなる）～ **"＋ 5"**（強くなる）のいずれかを選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します。

コントラストが設定されます。

色合いの調整

▶ テレビモードまたは DVD ビデオモードのサブメニューで "**テレビ**" または "**DVD ビデオ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**色合い**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**－5**"（赤紫がかる）～"**＋5**"（緑がかる）のいずれかを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

色合いが設定されます。

色の濃さの調整

▶ テレビモードまたは DVD ビデオモードのサブメニューで "**テレビ**" または "**DVD ビデオ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**色の濃さ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**－5**"（薄くなる）～"**＋5**"（濃くなる）のいずれかを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

色の濃さが設定されます。

画面比率の設定

ノーマル（4：3）にする

▶ テレビモードまたは DVD ビデオモードのサブメニューで **"テレビ"** または **"DVD ビデオ"** を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ **"ノーマル（4：3）"** を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

"ノーマル（4：3）" の左側の "○" のなかに、"・" が表示されます。

4：3（横：縦）の割合の画面（普通のテレビ画面の比率）で両端が黒く表示されます。

ワイド（16：9）にする

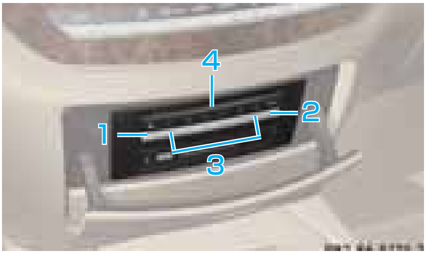
▶ テレビモードまたは DVD ビデオモードのサブメニューで **"テレビ"** または **"DVD ビデオ"** を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ **"ワイド（16：9）"** を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

"ワイド（16：9）" の左側の "○" のなかに、"・" が表示されます。

4：3（横：縦）の割合の画面を 16：9 の割合で左右方向に拡大して表示します。

ディスクのセット



1 全ディスク排出ボタン

セットされているすべてのディスクが排出されます。

2 全ディスク挿入ボタン

空いているスロットに順次ディスクを挿入します。

3 ディスクスロット選択ボタン

スロットを選択してディスクを排出、または挿入するときに押します。

表示灯の点灯内容

- **点灯時**
  ディスクが挿入されています。
- **消灯時**
  ディスクが挿入されていません。
- **速い点滅時**
  ディスクを挿入できます。
- **ゆっくりの点滅時**
  ◇ ディスクを排出しています。
  ◇ ディスクを挿入する準備をしています。
  ◇ ディスクを再生する準備をしています。

4 ディスク挿入口

ディスクのセット

空いているスロットへのセット

▶ 全ディスク挿入ボタン LOAD を押します。

▶ 空いているスロットの表示灯がすべて、ゆっくり点滅します。

COMAND ディスプレイに " **しばらくお待ちください** " と表示されます。

▶ 表示灯が速い点滅に変わり、COMAND ディスプレイに " **ディスクを挿入してください** " と表示されたら、挿入口にディスクを挿入します。

▶ 次に挿入するスロットの表示灯が速い点滅に変わったら、挿入口にディスクを挿入します。

上記の動作を繰り返します。

スロットを選択してセット

▶ 挿入したいスロットのボタンを押します。

選択したスロットの表示灯がゆっくり点滅します。

COMAND ディスプレイに "**しばらくお待ちください**" と表示されます。

▶ 表示灯が速い点滅に変わり、COMANDディスプレイに "**ディスクを挿入してください**" と表示されたら、挿入口にディスクを挿入します。

ディスクの取り出し

挿入されているディスクすべての取り出し

▶ 全ディスク排出ボタン △ を押します。

ディスクがセットされているスロットの表示灯がすべて、ゆっくり点滅します。

COMAND ディスプレイに "**しばらくお待ちください**" と表示されます。

▶ ディスクが排出され、COMAND ディスプレイに "**ディスクを抜いてください**" と表示されたら、ディスクを取り出します。

排出されたディスクを順次取り出します。

ディスクが排出された後、約 10 秒間取り出さないでいると、ディスクは引き込まれ、自動的に再生されます。

スロットを選択して取り出し

▶ 取り出したいスロットのボタンを押します。

選択したスロットの表示灯がゆっくり点滅します。

COMAND ディスプレイに "**しばらくお待ちください**" と表示されます。

▶ ディスクが排出され、COMAND ディスプレイに "**ディスクを抜いてください**" と表示されたら、ディスクを取り出します。

ディスクを取り出した後、数秒間 "**ディスクを挿入してください**" と表示されます。その間はディスクを挿入できます。

ディスクが排出された後、約 10 秒間取り出さないでいると、ディスクは引き込まれ、自動的に再生されます。

メモリーカードのセット

メモリーカードに MP3 フォーマットの音楽データを収録して、再生できます **(4-2)**。

また、メモリーカードに記録したアドレス帳データを COMAND システムに取り込むことができます **(7-20)**。

1 メモリーカード取り出しボタン

2 PCMCIA スロット

メモリーカードのセット

▶ カードアダプターに取り付けたメモリーカードを PCMCIA スロットに差し込みます。

メモリーカードの取り出し

▶ メモリーカード取り出しボタンを押します。

カードアダプターが排出されます。

▶ カードアダプターを取り出します。

知識

- 温度、振動、組合せなどにより読めないことがあります。
- CardBus 仕様には対応していません。

注意

車の中にメモリーカードを置いたままにしないでください。

テレフォンキーパッド

電話番号を入力することができます。

2. ナビゲーション

ご使用のまえに ………………………… 2-3

ナビゲーションとは？ ……………… 2-3

・ナビゲーションのしくみ
・GPS

ナビゲーションの機能 ……………… 2-4

・ルート探索・案内機能
・周辺施設案内機能
・地図表示
・メモリ地点登録機能
・索引・検索機能
・VICS 機能

基本操作 ………………………………… 2-5

・ナビゲーションを ON にする

表示マーク、シンボルの説明（ルート案内中） ……………… 2-5

サブメニューエリア ………………… 2-6

画面の設定 ……………………………… 2-7

・全画面表示とメニュー画面表示の切り替え
・地図の縮尺を切り替える
・地図を移動する（地図スクロール）
・地図の向きを切り替える
・3D 表示に切り替える
・表示を回転させる
・ビルを立体的に表示する

ルート案内 …………………………… 2-12

・ルート案内の基本機能
・音声案内の音量調整
・目的地を設定する
・地図画面で任意の地点を設定する
・高速道路や有料道路、橋、トンネルが目的地付近に存在する場合
・検索機能を使用して目的地を選ぶ
・自宅に帰る
・ルートを確認する
・ルートを選択する
・ルートに通過点を追加する
・立ち寄り地点を追加する
・迂回エリアを設定する
・ルート情報を表示する
・ルートスクロールする
・目的地情報を表示する

ルート案内を開始する ………… 2-33

・ルート案内中のマルチファンクションディスプレイの表示について
・音声案内について
・音声案内をもう一度聞く
・ルート案内中に再探索する
・ルート案内中に全ルート図を表示する
・交差点拡大図
・高速道路入り口案内図
・3D 高速分岐案内図
・ハイウェイモード表示
・都市高速図
・ルート案内図

ルートを消去する ……………… 2-43

ルート案内を一時中止する …… 2-44

ルート案内を再開する ………… 2-44

周辺の施設を表示する ………… 2-45

・地図に施設を表示する
・施設をジャンル別に検索して表示する
・施設情報を表示する

ナビゲーション条件を設定する 2-51

現在地（自車位置）を修正する 2-52

メモリ地点の登録 ……………… 2-54

・メモリ地点を登録する
・メモリ地点のリストを並び替える
・メモリ地点の地図を表示する
・メモリ地点をアドレス帳に登録する
・メモリ地点を消去する
・メモリ地点を修正する

索引機能で地図を表示する……… 2-70
- 施設の名前で検索する
- 施設で検索する
- 電話番号で検索する
- 住所で検索する
- メモリ地点で検索する
- 郵便番号で検索する
- 以前の目的地で検索する

VICS 情報を見る……………… 2-86
- VICS サービスのしくみ
- VICS 情報の表示
- VICS 情報を受信する
- VICS 情報について
- VICS 情報（レベル 3）を地図上に表示する
- VICS 情報（レベル 1・2）を表示する
- FM VICS 放送局を選局する
- VICS の設定をする
- VICS について

ナビゲーションモード メッセージ画面…………… 2-98

故障と思うまえに 確認をお願いします……… 2-99

ナビゲーション 地図データについて………2-102
- 地図記号の例
- ランドマーク（施設マーク）
- 主な設備マーク

ナビゲーションについて………2-104

名称の入力方法…………………2-106

ご使用のまえに

- ルート案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの推奨ルートにすぎません。

  駐停車禁止、一方通行規制、車線変更禁止、一時停止など、走行するときは実際の交通標識や規制などにしたがって安全運転をしてください。

- 表示する道路情報や地名などに変更があったときには適切でない案内をすることがあります。
- このシステムはタイヤの回転数を検知して、走行ルートを修正します。指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着するとナビゲーション機能の表示誤差などが大きくなることがあります。タイヤを交換するときは、指定サービス工場にご相談ください。
- 安全のため、走行中に操作できなくなる機能があります。また、道路などが一部表示されないことがあります。

ナビゲーションとは？

ナビゲーションのしくみ

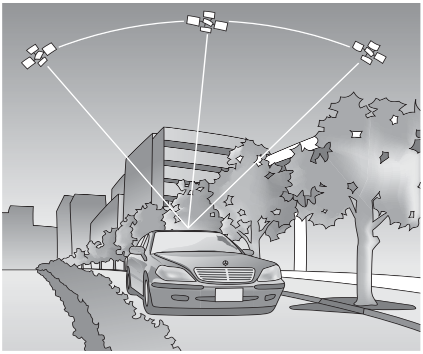
ナビゲーションは、自立航法（推測航法）と GPS（グローバル･ポジショニング・システム）を併用して自車の現在位置を検出し、地図画面に表示します。

自立航法とは、車両のジャイロセンサーと車軸に取り付けた車輪（タイヤ）の回転数センサーによって自車の位置を算出し、現在地の算出データとデジタル地図データと照合（マップ・マッチング）して画面に表示する方法です。

GPS

GPS は米国国防省（ペンダゴン）の開発、運用するシステムで、上空約 20,000km の軌道を回る 29 個（2005 年 8 月現在）の人工衛星で構成されています。この車両のナビゲーションシステムでは、29 個の衛星のうち 3 個の衛星からの電波信号を受信できれば、GPS 信号を基準に車両の現在地を算出することができます。

GPS 衛星からの電波信号を受信しているときは、地図画面上に GPS のシンボルマークを表示します。



現在地マークはかならずしも正しい位置を表示するとは限りません。このナビゲーションシステムは、人工衛星の状態、車両からの各種信号、路面の凹凸や道路環境、車両の状態などにより現在地の表示がずれることがあります。

現在地の表示がずれたときは、しばらく走行を続けると、自動的に修正されます。表示誤差がいつまでも修正できないときに限り、正しい位置に修正してください **(2-52)**。

次のようなときは、GPS を利用できないことがあります。

- 高層ビル、大型車両、トンネルなどの影響で人工衛星の電波が正しく受信できないとき
- 人工衛星が電波信号を送信していないとき（米国の追跡管制センターの都合により、改良・修理などで電波送信が停止することがあります）
- GPS アンテナ自体が金属製のものでさえぎられたりしたとき
- 携帯電話を GPS アンテナの近くで使用したとき

ナビゲーションの機能

ルート探索・案内機能

目的地を設定すると、最大 5 通りのルート（道のり）を探索します。曲がるべき交差点や分岐点、有料道路の入り口などを音声で知らせたり、画面に表示します。また、走行中に案内ルートから外れたときでも、すぐに同じ目的地までの新しいルートを案内します。

周辺施設案内機能

現在地周辺のレストランやガソリンスタンドなど、最寄り施設を表示させたあと、目的地（通過点）として設定できます。

地図表示

地図画面の拡大縮尺表示ができます。また、市街図データがある場所のみ 25m 縮尺または 50m 縮尺で市街地図を表示します。さらに地図をノースアップ表示 / ヘディングアップ表示にしたり、2D 表示 /3D 表示にすることができます。

メモリ地点登録機能

自宅や仕事先、友人宅など繰り返し訪れる場所（地点）をあらかじめ登録することで、目的地（通過点）として簡単に設定できます。

索引・検索機能

登録されている索引項目から施設や場所の項目を選択して、目的地（通過点）として設定できます。

VICS 機能

FM 多重およびビーコンからの渋滞情報などを地図上に表示できます。

基本操作

ナビゲーションを ON にする

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ ON を押します。

COMAND システムが起動します。

▶ 電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ TEL NAVI を押して、ナビゲーションモードにします。

または

▶ アプリケーションエリアで " **ナビ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

車両の現在地を示す現在地マーク " " が表示されます。

表示マーク、シンボルの説明（ルート案内中）

1 **通過交差点名称**
ルート上で通過する交差点の名称が表示されます。

2 **案内ルート表示**
ルート案内する道路が青色太線で表示されます。

3 **GPS 表示シンボル**
GPS の受信中に表示されます。

方位マーク
表示中の地図の向きを示します。

縮尺表示
表示中の地図の縮尺を示します。

4 **VICS タイムスタンプ**
VICS 情報の提供された時刻が表示されます。

DRG（ダイナミックルートガイダンス）マーク
ビーコンから受信した VICS 情報を考慮してルート探索を行なっているときは、DRG マークが表示されます。

5 **車線案内**
車線情報のある道路や一部の交差点で、走行する車線が表示されます。

6　到着予想時刻 / 残距離表示

目的地までのおよその距離と到着予想時刻が表示されます。
地図をスクロールしているときは、現在地からクロス・カーソルまでの距離が表示されます。

サブメニューエリア

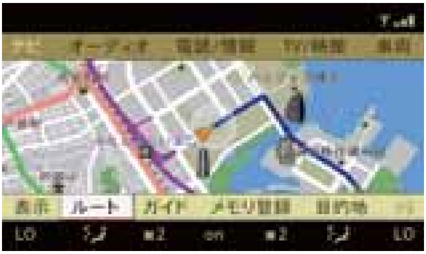
ナビゲーションのメニュー画面で表示されるサブメニューエリアでは、ナビゲーションの主要な操作を行なうことができます。

" 表示 "

ノースアップ / ヘディングアップの切り替えや、地図に表示させる施設の設定などができます。

" ルート "

ルートの再探索や全ルート図の表示など、ルートに関する設定などができます。



" ガイド "

画面に表示されている施設の情報などを表示します。

" メモリ登録 "

現在地またはカーソルが合っている地点をメモリ地点に登録します。

" 目的地 "

カーソルが合っている地点を目的地や立寄地点、通過点に設定できます。

" "

ルート案内中、音声案内を再度聞くときに選択します。

画面の設定

全画面表示とメニュー画面表示の切り替え

画面全体に地図を表示したいときは全画面表示を選択します。

メニュー画面では、ナビゲーションの設定が行なえます。

全画面表示からメニュー画面表示へ切り替える

▶ 全画面表示のときにコントローラーを押します 。

メニュー画面に切り替わります。

メニュー画面表示から全画面表示へ切り替える

▶ メニュー画面が表示されているときにコントローラーを上にスライドさせます 。

▶ " **全画面表示** " でコントローラーを押します 。

全画面表示になります。

地図の縮尺を切り替える

地図を拡大 / 縮小表示できます。

以下の画面は、200m 表示（1/2 万表示）を示しています。

地図の表示を拡大する

▶ コントローラーを反時計回りにまわします 。

地図の表示を縮小する

▶ コントローラーを時計回りにまわします 。

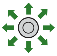
縮尺は以下の中から選択できます。

距離表示	地図縮尺
25m	1/2500
50m	1/5000
100m	1/1 万
200m	1/2 万
500m	1/5 万
1km	1/16 万
2km	1/24 万
5km	1/48 万
10km	1/128 万
20km	1/256 万
50km	1/512 万
100km	1/1024 万
200km	1/2048 万

知識

- 25m 表示または 50m 表示は、地図データ（市街図）が存在する場所で表示することができます。
- 50m/100m/200m 表示では、走行中に細街路（道幅 5.5m 未満の道路）は表示されません。

地図を移動する（地図スクロール）

▶ コントローラーを 8 方向に動かします  。

移動前（現在地表示モード）

移動後（地図表示モード）

現在地から地図を移動させると、クロス・カーソルが表示されます。

画面右下には、現在地からクロス・カーソルまでの直線距離が表示されます。

⚠ 警告

走行中は安全のため、一定間隔の距離で地図スクロールします。細かく画面を移動させるときは、安全な場所に停車してから操作してください。

知識

- 市街図（25m または 50m の地図）を表示して走行しているときは地図スクロールはできません。
- 地図表示モードでは、車が移動しても地図は動きません。

現在地表示に戻すときはファンクションキーのリターンスイッチ ⮌ を押します。

または、ユーザー定義スイッチ ＊ に現在地表示を登録できます。詳しくは **(1-24)** をご覧ください。

地図の向きを切り替える

2D 表示のときに、地図の向きを切り替えることができます。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**表示**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**地図向**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

> **知識**
>
> 地図を移動（スクロール）しているときは、地図の向きを切り替えることはできません。

ノースアップ表示だったときはヘディングアップ表示に、ヘディングアップ表示だったときはノースアップ表示に切り替わります。

ノースアップ表示（北が上）

ヘディングアップ表示
（進行方向が上）

3D 表示に切り替える

3D 表示にすることにより、地図に遠近感をもたせて表示できます。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**表示**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

▶ "**地図表示切替**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

▶ "**2D 表示**" か "**3D 表示**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

現在選択されている表示の左側には、"•" が表示されています。

2D 表示

3D 表示

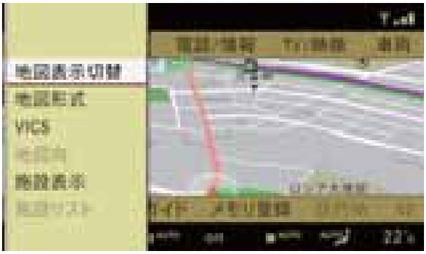
> **知識**
> 3D 表示は、ヘディングアップで表示されます。

表示を回転させる

3D 表示の地図を回転させて表示できます。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**表示**" を選択して・、コントローラーを押します 。

▶ "**地図表示切替**" を選択して・、コントローラーを押します 。



▶ "**3D 地図回転**" を選択して・、コントローラーを押します 。画面が回転表示に切り替わります。

▶ コントローラーを左右にスライドさせて、地図を回転させます。

コントローラーを押すと 、元の表示に戻ります。

ビルを立体的に表示する

市街地を 25m 表示で 3D 表示しているときに、ビルを立体的に表示できます。市街地データがある一部の地域のみで表示されます。

▶ 地図を 25m 表示にします 。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**表示**" を選択して・、コントローラーを押します 。

▶ " **地図表示切替** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **ビル表示** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" **ビル表示** " が選択されているときは、左側のボックスにチェックマークが表示されます。

ルート案内

ルート案内の基本機能

ルート案内をさせるためには、「目的地」を決める必要があります。

「目的地」を設定すると、目的地までのルートを探索し、地図画面上にルートが青色太線で表示されます。

音声案内によるアナウンスと画面表示で、曲がるべき交差（分岐）点までの距離や交差（分岐）点拡大図が表示されます。

また、ルート案内中に指示された交差（分岐）点で曲がらずに、当初の案内ルートから外れたときでも、その場所から同じ目的地までの新たなルートを探索して、ルート案内を開始します。

知識

- すべての道路が案内対象ではありません。5.5m 未満の細街路は、目的地、通過点、出発地周辺を除いて案内対象外です。
- マルチファンクションディスプレイのメインメニューで " ナビ " を選択すると、マルチファンクションディスプレイにも分岐方向や距離、走行車線が表示されます。

音声案内の音量調整

音声案内が行なわれているときのアナウンス音量を調整できます。

音声案内中に調整してください。

音量を大きくする

▶ 音量調整ダイヤルを前方にまわします。

または、ステアリングの音量調整スイッチ ＋ を押します。

音量を小さくする

▶ 音量調整ダイヤルを後方にまわします。

または、ステアリングの音量調整スイッチ ー を押します。

> 知識
> 後席アームレストのスイッチ＊でも、同様に音量を調整できます（1-17）。

目的地を設定する

目的地の設定方法には以下のものがあります。

- **地図画面での任意の地点の設定**
  目的地にしたい場所まで地図を移動して設定します。
- **検索機能を使用した設定**
  検索機能を使用して目的地を設定します。（2-70）をご覧ください。
- **自宅に設定する**
  （2-56）をご覧ください。
- **付近の施設をジャンル別に検索して設定する**
  （2-46）をご覧ください。
- **施設情報画面から設定する**
  （2-48）をご覧ください。

地図画面で任意の地点を設定する

ここでは、地図上の任意の地点を目的地にする操作方法を紹介します。

▶ 目的地にしたい場所まで地図を移動して、クロス・カーソルを目的地に合わせて、コントローラーを押します 。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **目的地** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **目的地設定** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

目的地が マークで表示され、ルート探索を開始します。

▶ " **案内** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ルート案内を開始します。

" スクロール "
地図をスクロールできます。

"5 ルート "
ルートの種類は最大 5 種類まで表示されます。詳しくは **(2-18)** をご覧ください。

" 変更 "
ルートを変更できます。

" ルート情報 "
目的地まで走行道路名や通過 IC 名、道路ごとの走行距離が表示されます。

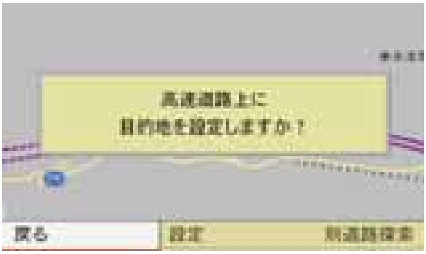
知識

- ルートは青色で表示されます。
- 目的地および出発地付近に道路がない場合は、ルート探索できないことがあります。このときは画面のメッセージに従ってください。
- 離島などで適当なルートがない場合は、ルート探索できないことがあります。

高速道路や有料道路、橋、トンネルが目的地付近に存在する場合

以下の画面が表示されます。

（例：高速道路付近に目的地を設定する場合）



" 戻る "
1 つ前の画面に戻ります。

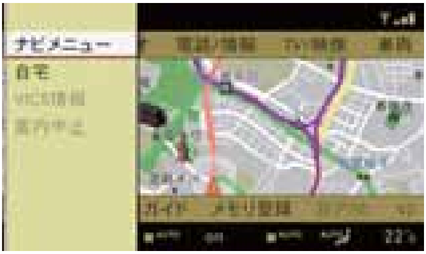
" 設定 "
その地点（高速道路であれば高速道路上）に目的地を設定します。

" 別道路探索 "
目的地付近まで一般道路を使用して走行するルートを探索します。

検索機能を使用して目的地を選ぶ

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで " **ナビ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **ナビメニュー** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ " **目的地設定** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 目的地の検索方法を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

" 前回の地図 "
直前に表示した地図が表示されます。

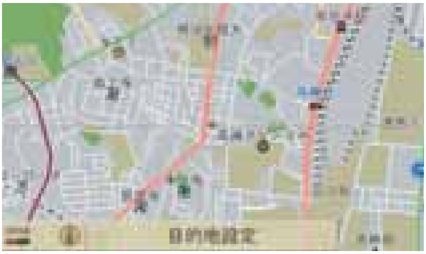
以下の検索方法については、それぞれのページをご覧ください。

- **名前検索（2-70）**
- **施設検索（2-75）**
- **電話番号入力（2-77）**
- **住所検索（2-79）**
- **メモリ地点検索（2-81）**
- **郵便番号入力（2-83）**

" 前回の目的地 "
これまでに設定した目的地のリストが表示されます。

▶ 各検索機能を使用して、地図に目的地を表示させ、コントローラーを押します◎。

位置を修正するときは、目的地にしたい場所までクロス・カーソルを移動して、コントローラーを押します◎。



▶ **" 目的地設定 "** を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

目的地が G マークで表示され、ルート探索を開始します。

▶ **" 案内 "** を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

ルート案内を開始します。

" スクロール "
地図をスクロールできます。

"5 ルート "
ルートの種類は最大 5 種類まで表示されます。詳しくは **(2-18)** をご覧ください。

" 変更 "
ルートを変更できます。

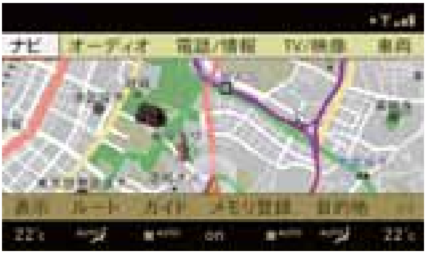
" ルート情報 "
目的地まで走行道路名や通過 IC 名、道路ごとの走行距離が表示されます。

> **知識**
>
> - ルートは青色で表示されます。
> - 目的地および出発地付近に道路がない場合は、ルート探索できないことがあります。このときは画面のメッセージに従ってください。
> - 離島などで適当なルートがない場合は、ルート探索できないことがあります。

自宅に帰る

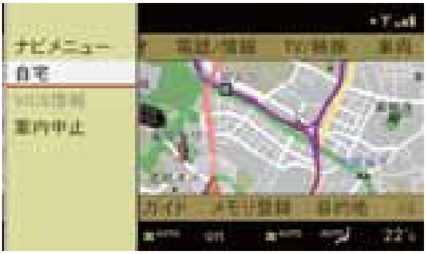
> **知識**
>
> 自宅を登録していないと、この操作はできません (2-56)。

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで " **ナビ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ " **自宅** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。



▶ " **案内** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ルート案内を開始します。

" スクロール "
地図をスクロールできます。

"5 ルート "
ルートの種類は最大 5 種類まで表示されます。詳しくは (2-18) をご覧ください。

" 変更 "
ルートを変更できます。

" ルート情報 "
目的地まで走行道路名や通過 IC 名、道路ごとの走行距離が表示されます。

ルートを確認する

ルート探索終了後、全ルート図が自動的に表示されます。

全ルート図

出発地と目的地の両方が表示できる縮尺で表示されます。

探索直後は推奨ルートが表示されます。

画面右側には以下の項目が表示されます。

- ルートの種別
- 高速道路などの入口 IC（ランプ）名と出口 IC（ランプ）名
- ルートの全行程距離
- 主に利用する道路種別及び利用距離
- 有料道路の合計料金の目安

" 案内 "
ルート案内を開始します **(2-33)**。

"5 ルート "
5 通りのルートを確認できます。また、ルート種別の変更もできます。

" 変更 "
通過点を追加できます。また、ルート種別の変更もできます **(2-19)**。

ルート情報
目的地までの経路が表示されます **(2-31)**。

ルートを選択する

目的地までのルートを、最大 5 ルートまでの異なる条件で複数探索します。

▶ 全ルート図で **"5 ルート "** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ ルート種別を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" 推奨 "
最も推奨できるルート

" 有料 "
できるだけ有料道路を通るルート

" 一般 "
できるだけ一般道を通るルート

" 距離 "
できるだけ最短距離を通るルート

" 別ルート "
上記以外のルート

ルート種別名が表示され、選択したルートが青色で表示されます。

また、使用 IC 名や総走行距離、走行道路と道路ごとの走行距離、有料道路料金などが表示されます。

"**総距離**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、各ルートの有料道路料金と総走行距離、予定到着時間が表示され、各ルートを比較できます。

> **知識**
>
> - 異なる条件のルートを選んでも、それぞれ同じルートを表示する場合があります。
> - 有料道路の料金は、目安です。実際の料金と異なることがあります。

▶ "**戻る**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ルートが変更されます。

ルートに通過点を追加する

通過点を設定する

目的地以外に 2 地点まで通過点を追加できます。

▶ 全ルート画面で "**変更**" または "**ルート変更**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

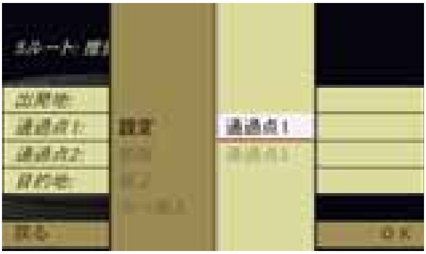
▶ "**通過点**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**通過点 1**" でコントローラーを押します 。

通過点 2 は通過点 1 が設定されているときに設定できます。

すでに設定してある通過点を選択すると、通過点の位置が修正できます。



▶ 通過点を検索する方法を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"地図検索"

▶ "**地図検索**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"前回の地図"
直前に表示された地図が表示されます。

"現在地周辺"
現在地周辺の地図が表示されます。

"目的地周辺"
目的地周辺の地図が表示されます。

以下の検索方法については、それぞれのページをご覧ください。

- **名前検索（2-70）**
- **施設検索（2-75）**
- **電話番号入力（2-77）**
- **住所検索（2-79）**
- **メモリ地点検索（2-81）**
- **郵便番号入力（2-83）**

"前回の目的地"
これまでに設定した目的地のリストが表示されます。

▶ 各検索機能を使用して、地図に通過点を表示させ、コントローラーを押します 。

位置を修正するときは通過点にしたい場所までクロス・カーソルを移動して、コントローラーを押します 。

▶ "**通過点設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示され、通過点が設定されます。

地図上では通過点には 1 、または 2 が表示されます。

通過点を削除する

▶ 全ルート画面で "**変更**" または "**ルート変更**" を選択して・、コントローラーを押します。

▶ "**通過点**" を選択して・、コントローラーを押します。

▶ "**削除**" を選択して・、コントローラーを押します。

▶ 削除する通過点を選択して〈◎〉・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

"**全削除**" を選択すると、通過点 1 と通過点 2 の両方が削除されます。

▶ "**はい**" を選択して〈◎〉・←◎→、コントローラーを押します◎。

以下のメッセージが表示され、通過点が削除されます。

通過点の位置を修正する

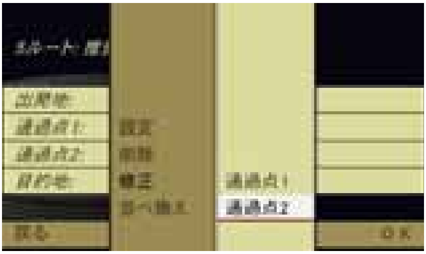
▶ 全ルート画面で "**変更**" または "**ルート変更**" を選択して〈◎〉・←◎→、コントローラーを押します◎。

▶ "**通過点**" を選択して〈◎〉・←◎→、コントローラーを押します◎。

▶ "**修正**" を選択して〈◎〉・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

"**設定**" を選択して修正することもできます。

▶ 修正する通過点を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 以下のメッセージが表示されたら、コントローラーを押すか 、いずれかの方向にスライドさせます。

▶ 修正したい場所までクロス・カーソルを移動して、コントローラーを押します 。

▶ "**通過点設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"**戻る**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、前の画面に戻ります。

以下のメッセージが表示されて、通過点の位置が修正されます。

通過点を並べ換える

通過点 1 と通過点 2 が設定されているときに、通過点の順序を並べ換えることができます。

▶ 全ルート画面で "**変更**" または "**ルート変更**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**通過点**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**並べ換え**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

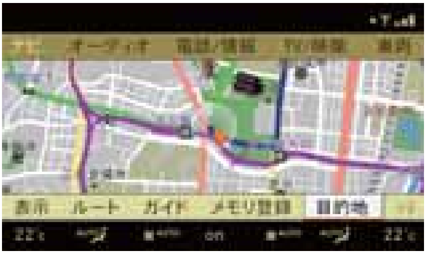
▶ 以下のメッセージが表示されて、通過点の順序が並べ換わります。

立ち寄り地点を追加する

通過点以外にガソリンスタンドやコンビニエンス・ストアなど最寄りの施設を検索して、1 地点まで立ち寄り地点として追加できます。

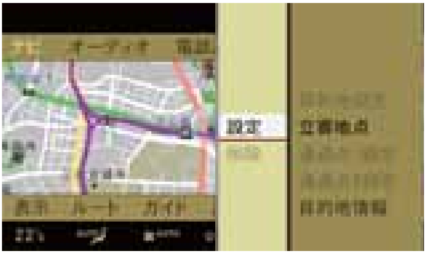
立ち寄り地点を設定する

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**目的地**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

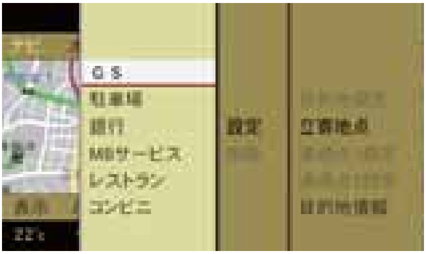


▶ "**立寄地点**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します。

▶ "**設定**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎



▶ 検索する施設の種類を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎



現在地から近い距離の順に施設が表示されます。

▶ 施設を選択します〔◎〕・↑◎↓。

施設の位置が地図に表示されます。施設までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に変化します。

▶ コントローラーを押して◎、施設を決定します。

以下のメッセージが表示され、ルート探索を開始します。

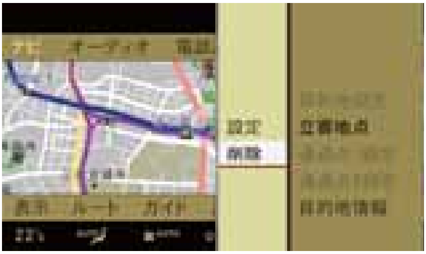
地図画面では、立ち寄り地点には、が表示されます。

立ち寄り地点を削除する

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**目的地**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**立寄地点**" を選択して ・ 、コントローラーを押します。

▶ "**削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

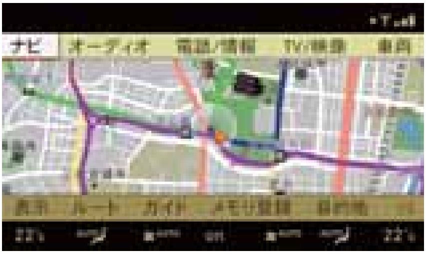


以下のメッセージが表示され、再探索を開始します。

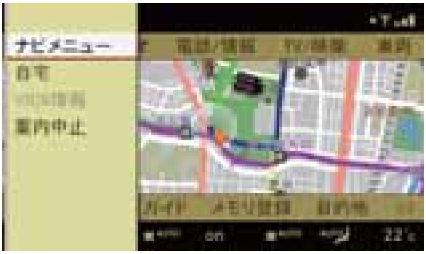
迂回エリアを設定する

100 ～ 500m 表示の範囲で迂回エリアを設定することができます。この範囲内の道路を避けて、ルート探索を行ないます。

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。



▶ "**ナビメニュー**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します。



▶ "**迂回エリア**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

▶ 新規に迂回エリアを設定するときは "**新規登録**" を、すでに設定されている迂回エリアの修正や削除をするときは "**リスト表示**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

▶ 迂回エリアの設定方法を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します。

"地図検索"

▶ "**地図検索**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

"**前回の地図**"
直前に表示された地図が表示されます。

"**現在地周辺**"
現在地周辺の地図が表示されます。

"**目的地周辺**"
目的地周辺の地図が表示されます。

以下の検索方法については、それぞれのページをご覧ください。

- **名前検索（2-70）**
- **施設検索（2-75）**
- **電話番号入力（2-77）**
- **住所検索（2-79）**
- **メモリ地点検索（2-81）**
- **郵便番号入力（2-83）**

" 前回の目的地 "
これまでに設定した目的地のリストが表示されます。

▶ 各検索機能を使用して、地図に迂回エリアを表示させせます。

以下のメッセージが表示されます。コントローラーを押すか 、いずれかの方向に操作すると、メッセージは消えます。

赤い四角で迂回エリアが表示されます。

最初に迂回エリアの位置を決定します。

▶ その位置に迂回エリアを設定するときは、コントローラーを押します 。

位置を修正するときは迂回エリアにしたい場所まで地図を移動して、クロス・カーソルを迂回エリアに合わせて、コントローラーを押します 。

次に迂回エリアの範囲を調整します。

▶ コントローラーを時計回りにまわすか 、右にスライドさせると 、赤い四角が大きくなり、迂回エリアの範囲が広くなります。

コントローラーを反時計回りにまわすか 、左にスライドさせると 、赤い四角が小さくなり、迂回エリアの範囲が狭くなります。

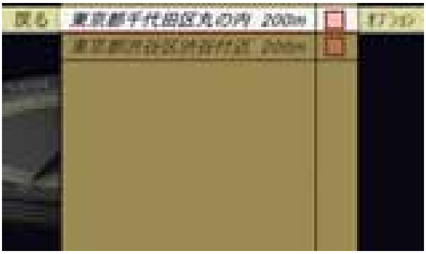
▶ コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示され、迂回エリアが設定されます。

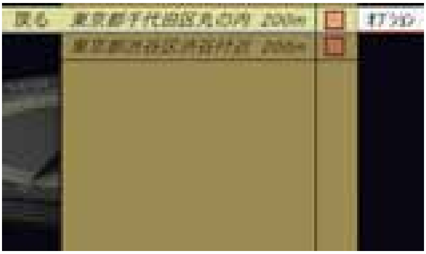
数秒後に迂回エリアのリスト画面になります。

迂回エリアを削除する

▶ 迂回エリアのリスト画面で、削除したい迂回エリアを選択します ・ 。



▶ "**オプション**" を選択して 、コントローラーを押します 。



▶ "**削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"**全削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、リストにある迂回エリアすべてを削除できます。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します

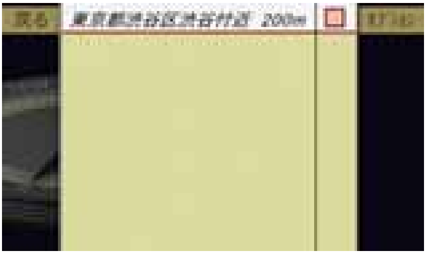
▶ 以下のメッセージが表示され、迂回エリアが削除されます。

数秒後に迂回エリアのリスト画面になります。

迂回エリアを編集する

▶ 迂回エリアのリスト画面で、編集したい迂回エリアを選択します ◎ ・↑◎↓ 。

▶ " **オプション** " を選択して ◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ " **編集** " を選択して ◎ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 迂回エリアの位置や範囲を修正するときは、" **エリア** " を選択して ◎ ・←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

迂回エリアの位置や範囲の修正については、迂回エリアの設定方法 **（2-27）** をご覧ください。

▶ 迂回エリアに名称をつけるときは、" **名称** " を選択して ◎ ・←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

迂回エリアの名称入力画面になります。名称の入力方法については **（2-106）** をご覧ください。

ルート情報を表示する

▶ 全ルート図（2-18、37）で "**ルート情報**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ルート情報画面が表示されます。

通過点には または が、立ち寄り地点には が表示されます。

▶ コントローラーを回転させるか 、上下にスライドさせると 、表示がスクロールします。

ルートスクロールする

ルートに沿って地図画面を移動できます。

▶ ルート情報画面でコントローラーを押します 。

▶ "**ルートスクロール**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ルートスクロール画面が表示されます。

▶ スクロールさせる方向と速度を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"**目的地 >>**"
目的地方向へ高速でスクロールします。

" > "
目的地方向へスクロールします。
" < "
出発地方向へスクロールします。

"**出発地 <<**"
出発地方向へ高速でスクロールします。

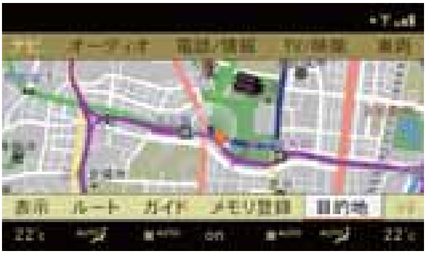
"**停止**"
スクロールを中止します。

> 別操作
> "**メニュー画面**" → "**ルート**" → "**ルートスクロール**" でもルートスクロール画面を表示できます。

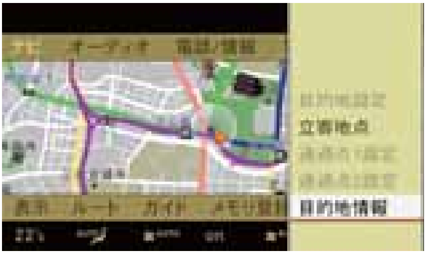
目的地情報を表示する

目的地や立ち寄り地点、通過点までの距離や名称、予想到着時刻が表示されます。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**目的地**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**目的地情報**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



目的地情報が表示されます。

自車マークがルート上 (青色の線上) にある場合

自車マークがルート上 (青色の線上) にない場合

▶ "**ルート情報**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、ルート情報画面が表示されます。

ルート案内を開始する

▶ 全ルート表示画面で " **案内** " を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

または

▶ 全ルート表示画面で電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ TEL NAVI を2 度押します。

または

▶ リターンスイッチを押します。

ルート案内を開始します。

知識

- ルート案内は公道の走行開始後すぐに始まりますが、出発点が地図上に表示されていない道路や私有地内のときは、地図上に表示される公道を走行するまで案内できません。
- 表示したルートはあくまでも目的地周辺までの参考ルートです。交通渋滞や交通規制などの情報は考慮していません。
- 交差点表示や地図上に表示の目印となる施設、ガソリンスタンド、コンビニエンス・ストア、レストランなどは地図の作成時点での公開情報に基づくものであり、実際とは異なることがあります。

- 立体交差や複雑に交差する分流、分岐点などの通過時に一時的に現在地方位を失うことがあります。この場合、そのまま走行を続けると自動再探索を実行し、その地点からのルートを案内することがあります。

ルート案内中のマルチファンクションディスプレイの表示について

ルート案内を行なっているときに、マルチファンクションディスプレイのメインメニューを " ナビ " にしたときは、マルチファンクションディスプレイに次の分岐点までの距離や進行方向、走行車線などが表示されます。

また、走行状況や案内ルートに応じて、以下のメッセージが表示されます。

"Off road"

自車位置が地図データの道路上にないときに表示されます。

案内ルートまでの方向が矢印で表示されます。

"No route"

幅 5.5m 未満の細街路は案内ルートの対象になりませんが、出発地や通過点周辺では、案内ルートとして設定されます。

自車位置が出発地や通過点周辺の幅 5.5m 未満の細街路にあるときは、このメッセージが表示されます。

また、ディスプレイ上では案内ルートは青色で表示されますが、幅 5.5m 未満の細街路が案内ルートになっているときは、この部分は水色で表示されます。

" "

目的地付近に到着して、ルート案内が終了したときに表示されます。

"Dest Area"

目的地付近に到着して、ルート案内が終了したときは、フラッグマークが表示された後に、このメッセージが表示されます。

また、幅 5.5m 未満の細街路は案内ルートの対象になりませんが、目的地周辺では、案内ルートとして設定されます。

自車位置が目的地周辺の幅 5.5m 未満の細街路にあるときは、このメッセージが表示されます。

ディスプレイ上では案内ルートは青色で表示されますが、幅 5.5m 未満の細街路が案内ルートになっているときは、この部分は水色で表示されます。

"New Route"

ルート案内が行なわれる前や、ルートの再探索を行なっているときは、このメッセージが表示されます。

音声案内について

分岐点の手前や、通過点、目的地に接近したときに自動的に音声で案内を行ないます。

概要案内

案内ルートを決定した直後。

例）「東名高速道路横浜町田インターを通るルートです。」

分岐案内

分岐点に接近したとき。

例）「およそ 300 メートル先を斜め右方向です。」「およそ 1 キロ先、左方向出口です。」

区間案内

走行中の道路種別が変わったとき。

例）「およそ 500 メートル先、直進方向です。」

乗線案内

案内開始時、ルートに乗線したとき。

例）「およそ 2 キロ先、左に戻る方向です。」

到着案内

通過点、目的地に接近したとき。

例）「目的地周辺です。音声案内を終了します。」

知識

- 音声案内はルート上を走行している場合のみ行なわれます。
- オーディオや映像など他のモードにしているときでも音声案内を行なうことができます。
- 複数の音声案内が重なると、先に案内している音声が途中で終わることや優先される案内の音声のみが行なわれること、または音声案内が行なわれないことがあります。

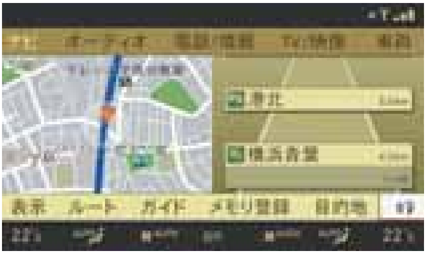
音声案内をもう一度聞く

音声案内を聞きなおしたいときや、次の分岐点までの情報を聞きたいときなど、もう一度音声案内を聞くことができます。

▶ 交差点拡大図が表示されているときは、コントローラーを押し 、"**案内音声**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

または

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、繰り返し音声案内を聞くことができます。



分岐点の手前約 300m 以内（高速道路 / 有料道路の場合は約 1km 以内）で を押すと、音声案内とともに交差点拡大図（高速道路 / 有料道路の場合は 3D 高速分岐案内図）を表示します。

> **知識**
>
> 音声案内は、自車がルート上を走行している状態のときのみ、再び聞くことができます。

ルート案内中に再探索する

予定ルートで事故や渋滞が発生したときなどは、現在のルートをもう一度探索しなおすことができます。

現在のルート種別で再探索する

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **ルート** " を選択して ⟲◎⟳ ・ ←◎→、コントローラーを押します ◉ 。

▶ " **再探索** " を選択して ⟲◎⟳ ・ ↑◎↓、コントローラーを押します ◉ 。

以下のメッセージが表示され、現在のルート種別を前提にして、再探索を開始します。

ルート種別を変更して再探索する

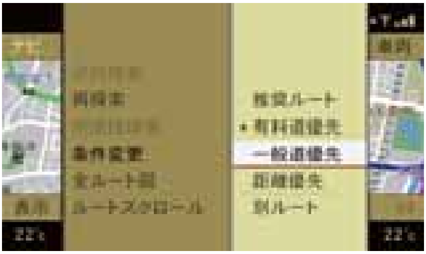
> 別操作
> " **メニュー画面** " → " **ルート** " → " **全ルート図** " → " **ルート変更** " → "**5 ルート** " でもルート種別を変更しての再探索ができます。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **ルート** " を選択して ⟲◎⟳ ・ ←◎→、コントローラーを押します ◉ 。

▶ " **条件変更** " を選択して ⟲◎⟳ ・ ↑◎↓、コントローラーを押します ◉ 。

▶ ルート種別を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◉ 。

現在選択されているルート種別の左側には、"•" が表示されています。



以下のメッセージが表示され、再探索を開始します。

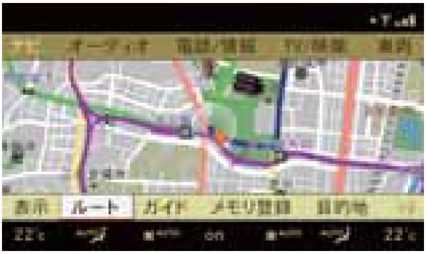
知識

高速道路を走行中なのに、自車マークが一般道路を走行中と表示されるなど、高速道路と一般道路が上下あるいは平行のまましばらく続くような道路を走行する場合、道路を取り違えることがあります。このようなとき別道路探索を行なってください。

ルート案内中に全ルート図を表示する

ルート案内中に、全ルート図を表示して、ルートスクロールやルートの変更、通過点の追加 / 削除などができます。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**ルート**" を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◉ 。



▶ "**全ルート図**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◉ 。

全ルート表示画面が表示されます。

" スクロール "

地図をスクロールできます。

" ルート変更 "

通過点の設定や、ルート種別を変更しての再探索ができます。

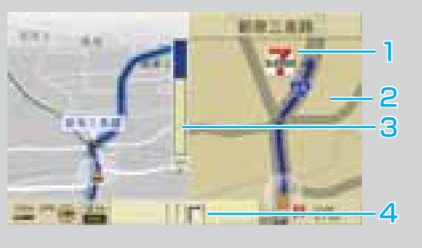
" ルート情報 "

目的地まで走行道路名や通過 IC 名、道路ごとの走行距離が表示されます(2-31)。

交差点拡大図

一般道路（高速道路・有料道路以外）で分岐点の手前約 300m まで接近すると交差点周辺の拡大図が表示されます。

> 知識
>
> 車線案内および分岐点の形状は、実際と異なることがあります。



1　施設マーク

交差点周辺の施設が表示されます。

2　拡大図

交差点周辺が分かりやすく表示されます。（一部の立体交差点では立体拡大図が表示されます。）

3　交差（分岐）点までの距離

自車から交差（分岐）点までの残距離が表示されます。

4　車線案内

車線情報のある一部の交差点で利用する車線が表示されます。

拡大表示を解除する

▶ 交差点拡大図が表示されているときにコントローラーを押します 。

▶ "**拡大図解除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

高速道路入り口案内図

高速道路の入り口に接近すると走行する車線を案内します。

3D 高速分岐案内図

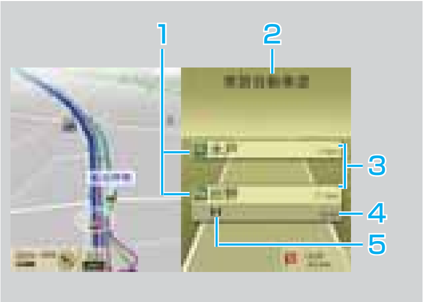
高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると走行する車線を案内します。

方面名称案内

高速道路、有料道路の出口案内や、ジャンクションでの進行方向が表示されます。

ハイウェイモード表示

ルート案内中、高速道路の本線上に進入すると自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



1 **施設名称**

ルート上で 3 か所先までの施設名称が表示されます。

2 **道路名称**

ハイウェイモード画面の一番下に表示されている施設（ここでは田野 PA) がある道路名称が表示されます。

3 **施設までの距離**

自車から施設までの距離が表示されます。

4 **次の施設の到着予想時刻**

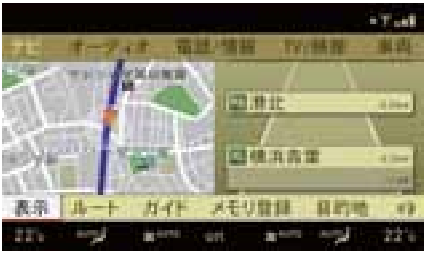
次の施設に到着するおよその時刻が表示されます。

5 **設備マーク**

SA・PA に設置されている設備が表示されます。

ハイウェイモード表示の消去

▶ ハイウェイモード表示中にメニュー画面のサブメニューエリアで " **表示** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ " **地図形式** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ ハイウェイモード表示を消去するには、" **一般道マップ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ ハイウェイモード表示にするには、" **高速道略図** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

都市高速図

都市高速が分かりやすく表示されます。

都市高速の表示 / 消去

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**表示**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**地図形式**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**都市高マップ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

左側のボックスの中にチェックマークが表示されているときは、都市高速図が表示されます。

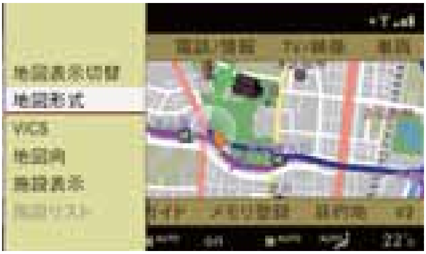
ルート案内図

ルート前方にある分岐点や通過点などまでの距離、分岐点の名称や分岐方向などを表示します。

ルート案内図の表示 / 消去

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **表示** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **地図形式** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ " **ルート案内表示** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

左側のボックスの中にチェックマークが表示されているときは、ルート案内図が表示されます

ルートを消去する

目的地を消去してルート案内を中止することができます。

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**ナビメニュー**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**目的地削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

目的地を削除しないときは、"**いいえ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ルート案内を一時中止する

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**案内中止**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

ルート案内を再開する

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**案内再開**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

以下のメッセージが表示されて、ルート案内が再開されます。

周辺の施設を表示する

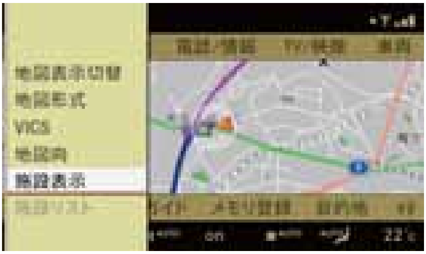
地図に施設を表示する

ガソリンスタンドや駐車場など施設をアイコンで表示できます。

> **知識**
>
> 同時に複数種類の施設を表示することはできません。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **表示** " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ " **施設表示** " を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



▶ 表示する施設を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

現在表示されている施設の左側には " • " が表示されています。

現在表示されている施設を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押すと ◎ 、表示が消えます。

▶ " **非表示** " を選択すると、施設は表示されません。

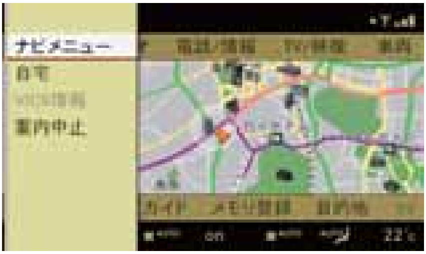
メッセージが数秒間表示されて全画面表示になります。

また、メッセージが表示されているときにコントローラーを押すと ◎ 、メッセージが消去されて、全画面表示になります。

施設をジャンル別に検索して表示する

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

▶ "**ナビメニュー**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



▶ "**周辺施設の検索**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

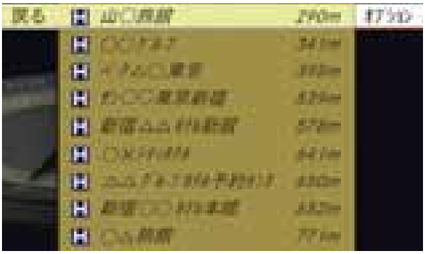
▶ コントローラーを左右にスライドさせて←◎→、大分類を選択します。

▶ コントローラーを上下にスライドさせて↑◎↓、小分類を選択します。

"**○○○全て**" を選択すると、大分類に収録されている施設がすべて表示されます。

▶ コントローラーを押します◎。

周辺にある施設の名称が表示されます。



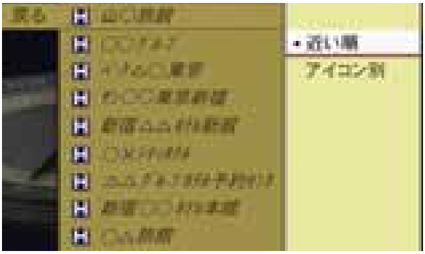
ナビゲーション

施設は現在地から近い順、または施設のアイコン別（属性別）に並べることができます。

▶ "**オプション**" を選択して 、コントローラーを押します 。

"**近い順**"
現在地からの距離が近い順番に表示します。

"**アイコン別**"
会社やブランド別に、現在地からの距離が近い順に施設を表示します。



▶ 施設を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

地図に施設の位置が表示されます。

▶ 施設を目的地に設定するときは、コントローラーを押します 。

位置を修正するときは目的地にしたい場所まで地図を移動して、クロス・カーソルを目的地に合わせて、コントローラーを押します 。

▶ "**目的地設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示されて、目的地に設定されます。

> 知識
>
> - 距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から検索した場合）またはクロス・カーソルの位置からの直線距離（地図画面から検索した場合）を示します。
> - 検索は、自車位置またはクロス・カーソルから半径 10km 以内で、近い順に最大 200 件までです。

施設情報を表示する

地図画面上に表示させた施設や 3D ランドマーク、メモリー地点の情報を表示できます。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**ガイド**" を選択して（◎）・←◎→、コントローラーを押します（◎）。

▶ 上部に、表示されている施設の施設名と自車からの距離が表示されます。また、地図上の施設位置にサークルが表示されます。

ただし、表示中の地図上に施設情報がない場合は、施設情報は表示されません。

▶ "**前候補**" または "**次候補**" を選択して（◎）・←◎→、コントローラーを押すと（◎）、次の施設が表示されます。

▶ "**スポットデータ**" を選択して · 、コントローラーを押すと 、施設の名称と電話番号、住所が表示されます。

スポットデータに料金や写真などの詳細情報がある施設は、それらの情報を表示させることができます。詳しくは (2-50) をご覧ください。

▶ "**目的地設定**" を選択して · 、コントローラーを押すと 、目的地に設定されます。

知識

- 距離表示は、自車位置からの直線距離です。
- スポットデータ（施設名称、電話番号、住所）がある施設を選ぶと、その情報を表示できます。

3D ランドマーク施設情報を表示する

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**ガイド**" を選択します。

▶ "**前候補**" または "**次候補**" を選択して · 、コントローラーを押すと 、次の 3D ランドマーク施設が表示されます。

▶ "**スポットデータ**" を選択して · 、コントローラーを押すと 、施設の名称と電話番号、住所が表示されます。

スポットデータに料金や写真などの詳細情報がある施設は、それらの情報を表示できます (2-50)。

▶ "**目的地設定**" を選択して · 、コントローラーを押すと 、目的地に設定されます。

詳細情報付き施設のスポットデータを表示する

詳細情報付き施設のスポットデータを表示させると、以下の画面になります。

▶ " **情報** " " **住所** " " **料金** " " **写真** " のいずれかを選択して《◎》・←◎→、コントローラーを押します。

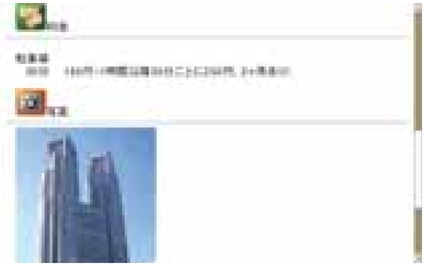
" **情報** "
駐車場台数や住所、電話番号などが表示されます。

▶ " **地図表示** " を選択すると《◎》・↑◎↓、施設が表示された地図表示に変わります。

▶ " **電話をかける** " を選択すると《◎》・↑◎↓、携帯電話をCOMANDシステムに接続しているときには、施設に電話をかけることができます。

" **住所** "
施設の住所が表示されます。

" **料金** "
施設への入場料や利用料、駐車料金などが表示されます。

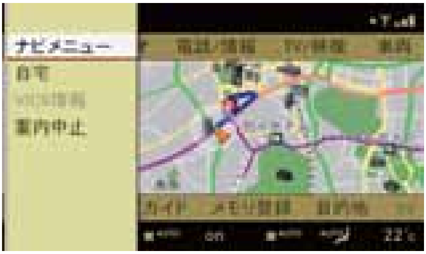


" **写真** "
施設の写真が表示されます。

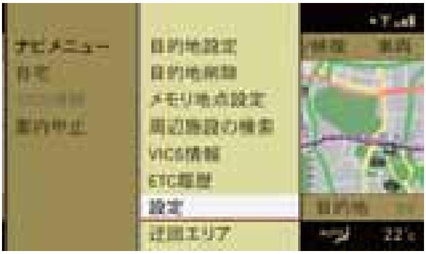
ナビゲーション条件を設定する

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

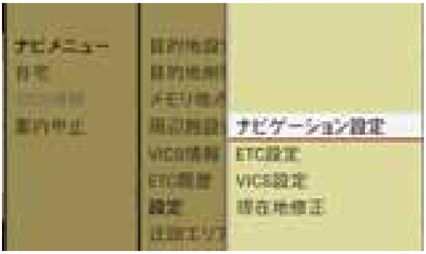
▶ "**ナビメニュー**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

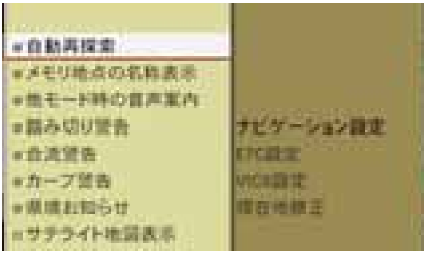


▶ "**ナビゲーション設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 設定する項目を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

設定された項目の左側のボックスにはチェックマークが表示されます。



自動再探索
ルートから外れても自動的に再探索します。

メモリ地点の名称表示
登録したメモリ地点の名称が地図画面上に表示されます。

他モード時の音声案内
COMAND システムの他のモードになっていても交差点などに近づくと音声案内します。

踏み切り警告
「まもなく踏切です。」

合流警告
「合流です。」

カーブ警告
「カーブがあります。」

県境お知らせ
（例）「千葉県です。」

サテライト地図表示
1k 表示以上の広域表示では、地形を立体的に表示します。

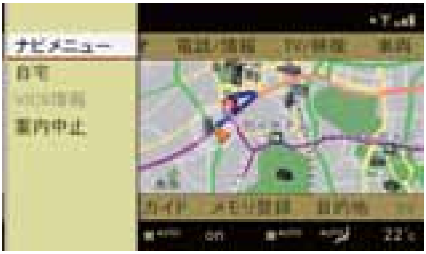
現在地（自車位置）を修正する

地図上の自車位置と実際の自車位置がずれている、または進行方向がずれているとき、このずれを修正できます。

> **知識**
>
> 地図画面に GPS マークが表示されているときは、通常この操作は必要ありません。しばらく（約 10km）走行を続けても現在地が自動修正できなかったり、表示誤差が大きいときには、最寄りのサービス工場で点検を受けてください。

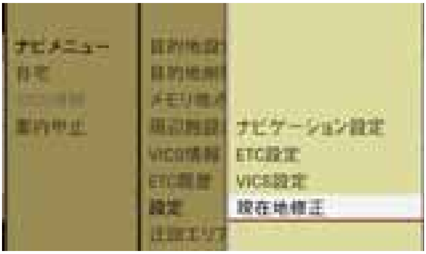
▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎ 。

▶ "**ナビメニュー**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎ 。



▶ "**設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**現在地修正**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



以下のメッセージが表示されます。

▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージは消えます。

▶ コントローラーを 8 方向に操作して、現在地を修正します。

▶ コントローラーを押します 。

地図の縮尺が大きすぎるときは、自動的に地図が拡大され、以下のメッセージが表示されます。

数秒間経過したとき、またはコントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージは消えます。

▶ 位置を修正して、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示されます。コントローラーを押すか、いずれかの方向にスライドさせると、メッセージは消えます。

▶ コントローラーを回転させ 、車両の向いている方向を指定して、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示されて、現在地修正が完了します。

メモリ地点の登録

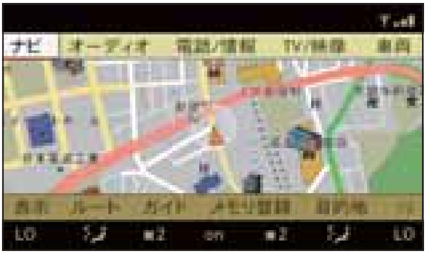
自宅や繰り返し訪れる友人宅などの場所（地点）を登録すると、目的地や通過点として簡単に設定できます。

登録できる地点の数は、自宅分 1 か所と任意の場所 100 か所です。

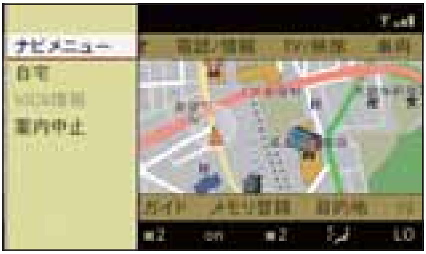
メモリ地点を登録する

メモリ地点を新規登録する

▶ アプリケーションエリアで " **ナビ** " を選択して ⟲◎⟳ · ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

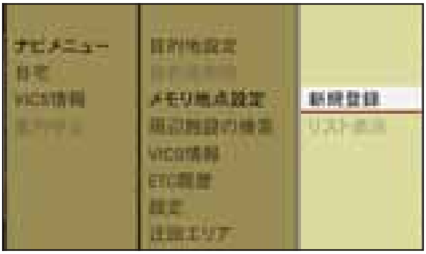


▶ " **ナビメニュー** " を選択して ⟲◎⟳ · ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ " **メモリ地点設定** " を選択して ⟲◎⟳ · ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ " **新規登録** " を選択して ⟲◎⟳ · ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



登録するメモリ地点の検索方法が表示されます。

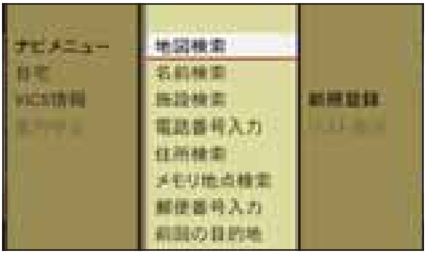
ここでは地図検索の方法について記します。

地図検索以外の登録方法は、それぞれのページを参照してください。

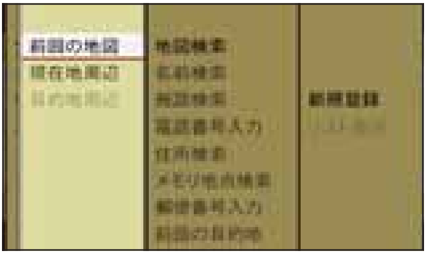
- **名前検索（2-70）**
- **施設検索（2-75）**
- **電話番号入力（2-77）**
- **住所検索（2-79）**
- **メモリ地点検索（2-81）**
- **郵便番号入力（2-83）**
- **前回の目的地**

地図検索

▶ "**地図検索**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 前回表示した地図を表示するときは "**前回の地図**" を、現在地の周辺を表示するときは "**現在地周辺**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

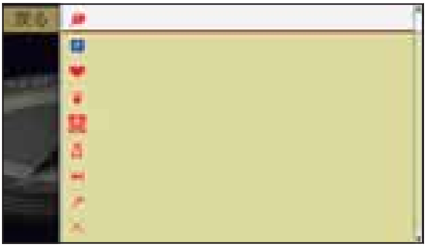


▶ 以下のメッセージが表示されます。コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージが消えます。

▶ クロス・カーソルを移動させて ・ ・ 、メモリ地点に登録したい場所でコントローラーを押します 。

▶ "**メモリ登録**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

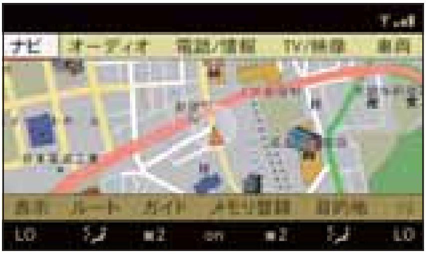
▶ メモリ地点に表示する記号を選択して ⦅◎⦆ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



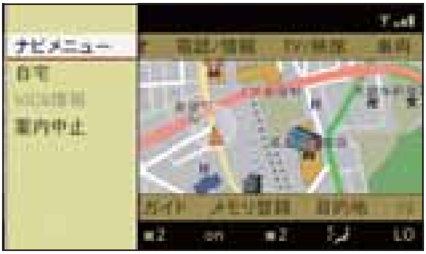
メモリ地点が登録されます。

メモリ地点を自宅に登録する

▶ アプリケーションエリアで " **ナビ** " を選択して ⦅◎⦆ ・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

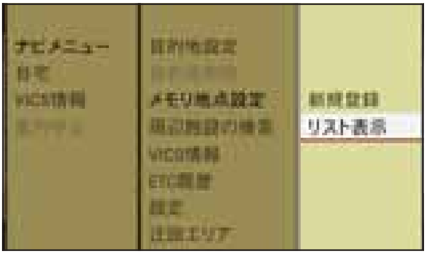


▶ " **ナビメニュー** " を選択して ⦅◎⦆ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



▶ " **メモリ地点設定** " を選択して ⦅◎⦆ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ " **リスト表示** " を選択して ⦅◎⦆ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



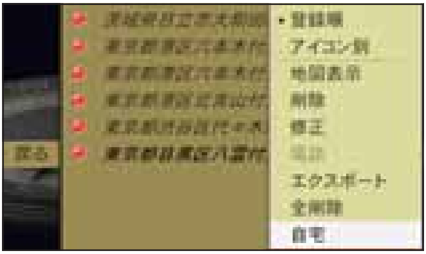
メモリ地点のリスト画面が表示されます。

知識

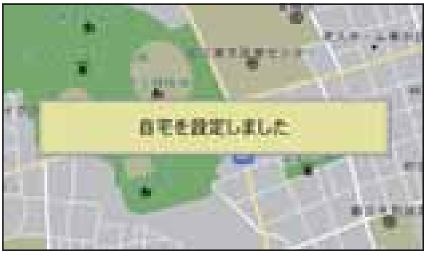
メモリ地点に 1 件も登録されていないときは " リスト表示 " は表示されません。

▶ 自宅に登録するメモリ地点を選択して 〔◎〕・↑◎↓ 、" **オプション** " を選択し ◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ " **自宅** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



自宅が登録されます。

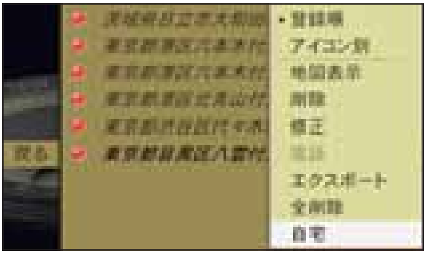


メモリ地点の自宅登録を削除する

▶ メモリ地点のリスト画面を表示させます。

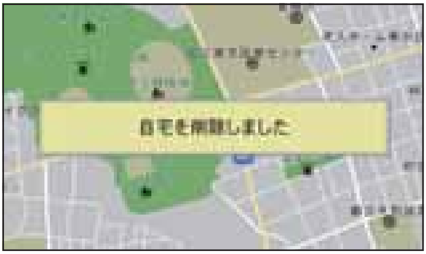
▶ 自宅のリスト項目を選択して 〔◎〕・↑◎↓ 、" **オプション** " を選択し ◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ " **自宅** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ " **はい** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示され、メモリ地点の自宅登録が解除されます。



知識

他のメモリ地点を自宅に登録すると、以前のメモリ地点の自宅登録は解除されます。

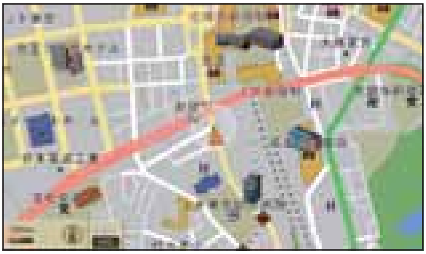
メモリ地点を現在地から登録する

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **メモリ登録** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在地がメモリ地点として登録されます。

メモリ地点を地図画面から登録する

▶ 全画面表示に切り替えます (2-7)。



▶ クロス・カーソルを移動させて ←◎→ ・ ↑◎↓ ・ ↗◎↙ 、メモリ地点に登録したい場所でコントローラーを押します ◉ 。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **メモリ登録** " を選択して ↺◎↻ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◉ 。

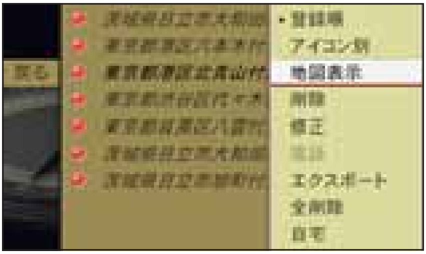
以下のメッセージが表示され、メモリ地点が登録されます。

メモリ地点をメモリ地点画面から登録する

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

▶ 呼び出したいメモリ地点を選択して ↺◎↻ ・ ↑◎↓ 、" **オプション** " を選択し ◎→ 、コントローラーを押します ◉ 。

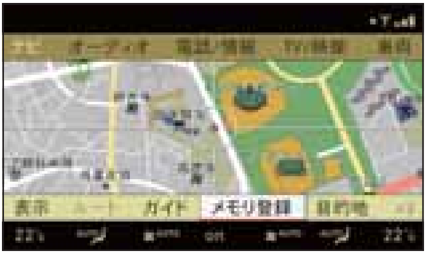
▶ " **地図表示** " を選択して ↺◎↻ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◉ 。



メモリ地点の地図が表示されます。

▶ クロス・カーソルを移動させて・・、メモリ地点に登録したい場所でコントローラーを押します。

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **メモリ登録** " を選択して・、コントローラーを押します。



以下のメッセージが表示され、メモリ地点が登録されます。

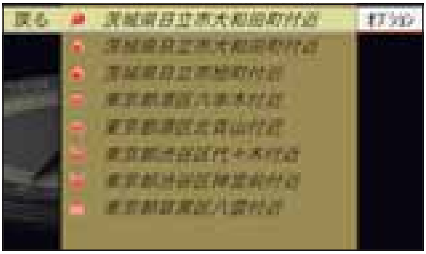
ナビゲーション

メモリ地点のリストを並び替える

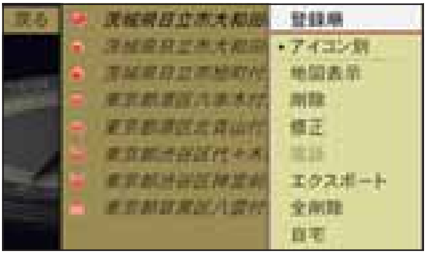
メモリ地点のリストを登録順に並び替える

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

▶ いずれかのメモリ地点を選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。



▶ "**登録順**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



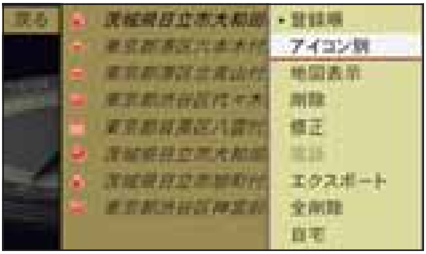
メモリ地点のリストが登録順に並び替わります。

メモリ地点のリストをアイコン別に並び替える

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

▶ いずれかのメモリ地点を選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。

▶ " **アイコン別** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

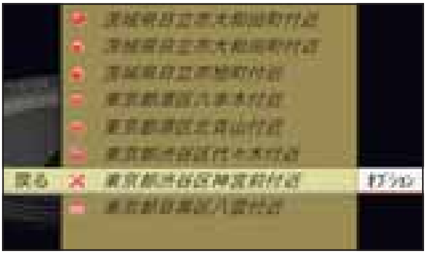


メモリ地点のリストがアイコン別に並び替わります。

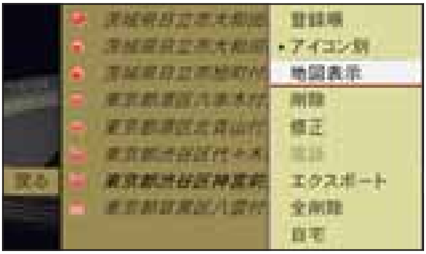
メモリ地点の地図を表示する

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

▶ 地図を表示するメモリ地点を選択して ・ 、" **オプション** " を選択し 、コントローラーを押します 。



▶ " **地図表示** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

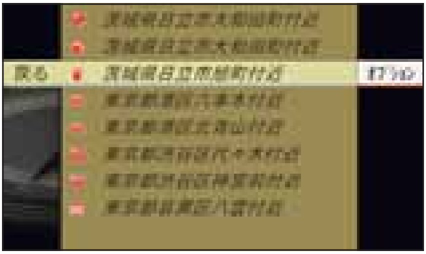


メモリ地点の地図が表示されます。

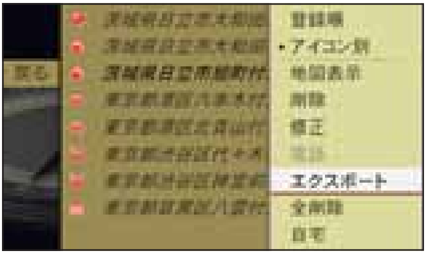
メモリ地点をアドレス帳に登録する

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

▶ アドレス帳に登録するメモリ地点を選択して〔◎〕・↑◎↓、"**オプション**" を選択し◎→、コントローラーを押します◎。



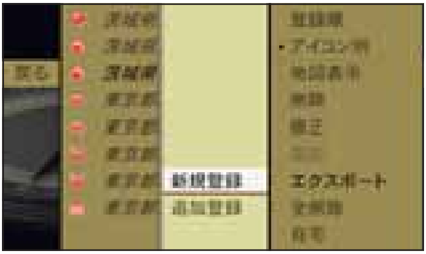
▶ "**エクスポート**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



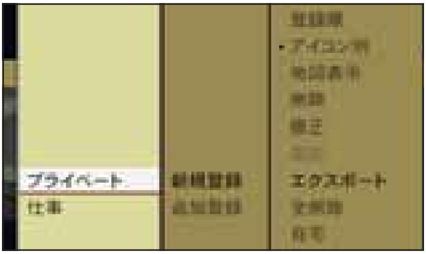
新規登録

アドレス帳を新規に登録し、選択したメモリ地点を登録します。

▶ "**新規登録**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**プライベート**" または "**仕事**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ アドレス帳に表示する名前を入力します。

文字入力については (2-106) をご覧ください。

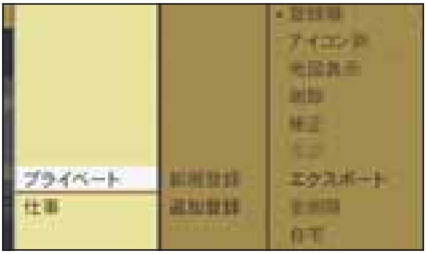
新規のアドレス帳が作成され、選択したメモリ地点が登録されます。

追加登録

アドレス帳の登録データに、選択したメモリ地点を登録します。

▶ "**追加登録**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**プライベート**" または "**仕事**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

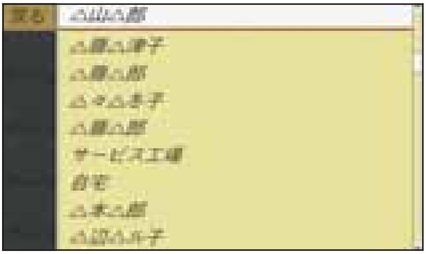


▶ メモリ地点を追加するアドレス帳の名前を入力します。

文字入力については (2-106) をご覧ください。

入力した文字を先頭にアドレス帳のリストが表示されます。

▶ 追加する項目を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



以下のメッセージが表示され、メモリ地点がアドレス帳に登録されます。

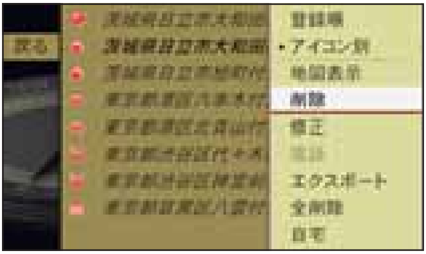
メモリ地点を消去する

登録したメモリ地点を消去できます。

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させせます。

▶ 消去するメモリ地点を選択して 〔◎〕・↑◎↓、"**オプション**" を選択し ◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**削除**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



"**全削除**" を選択すると、登録してあるメモリ地点すべてを削除できます。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

消去しない場合は、"**いいえ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

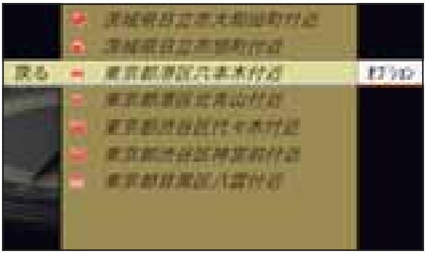
以下のメッセージが表示され、メモリ地点が消去されます。

メモリ地点を修正する

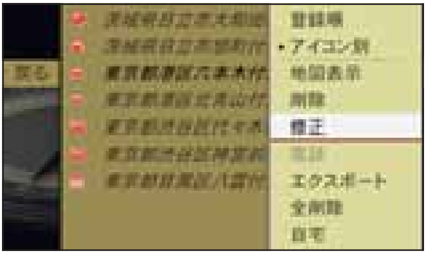
メモリ地点のアイコンを修正する

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

▶ 修正するメモリ地点を選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。

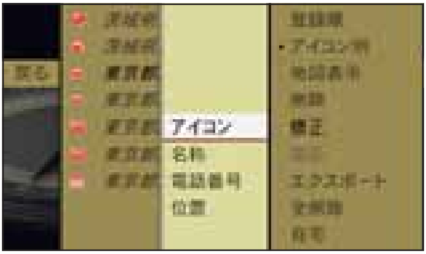


▶ "**修正**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

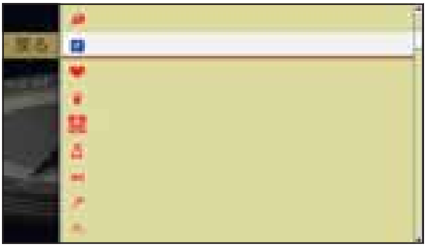


ナビゲーション

▶ "**アイコン**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ メモリ地点に表示するアイコンを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



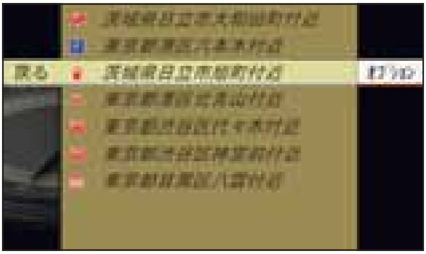
メモリ地点のアイコンが修正されます。

メモリ地点の名称を登録する

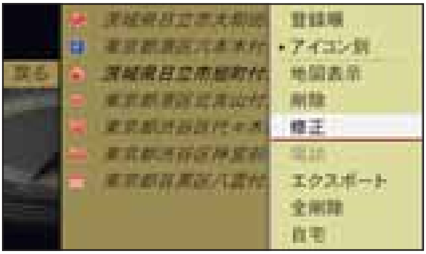
メモリー地点の名称を登録することにより、地図画面にメモリー地点の名称を表示できます。

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

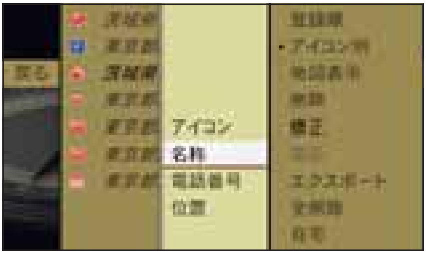
▶ 修正するメモリ地点を選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。



▶ "**修正**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

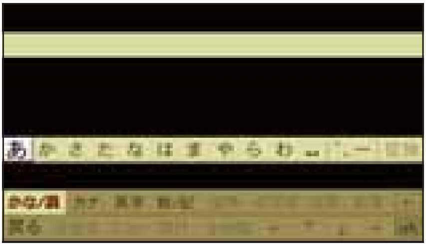


▶ "**名称**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

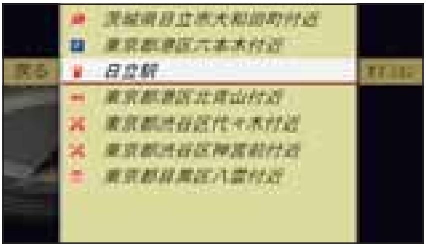


▶ 変更するメモリ地点の名称を入力します。

文字入力については、**(2-106)** をご覧ください。

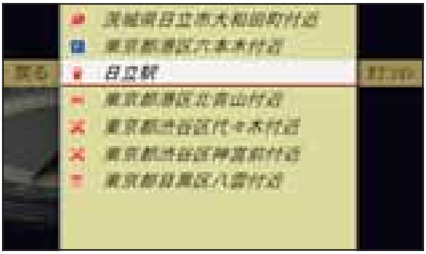


メモリ地点の名称が修正されます。



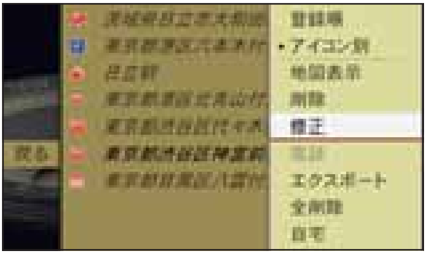
メモリ地点の電話番号を修正する

▶ メモリ地点のリスト画面 **(2-56、57)** を表示させます。

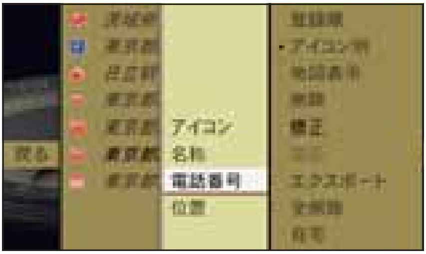


▶ 修正するメモリ地点を選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。

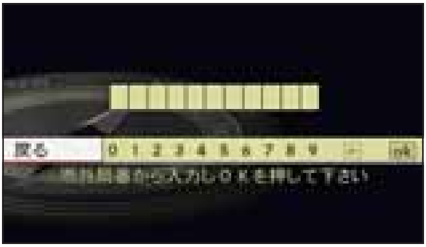
▶ "**修正**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**電話番号**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



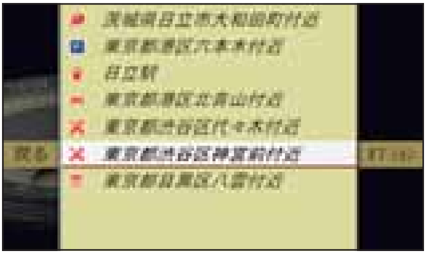
▶ 変更する電話番号を入力します。



メモリ地点の電話番号が修正されます。

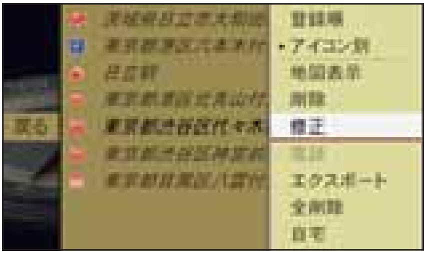
メモリ地点の位置を修正する

▶ メモリ地点のリスト画面 (2-56、57) を表示させます。

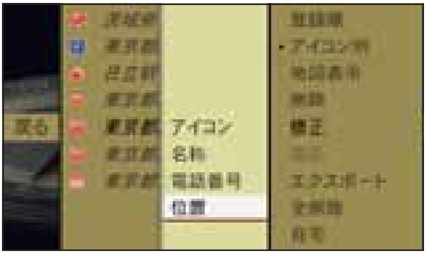


▶ 修正するメモリ地点を選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。

▶ "**修正**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**位置**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



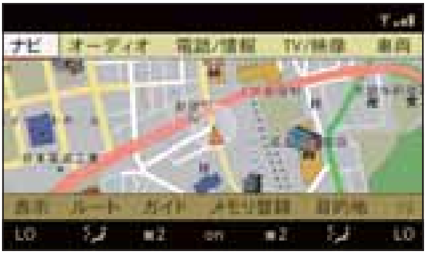
▶ クロス・カーソルを移動させて←◎→・↑◎↓・◎、メモリ地点を修正する場所でコントローラーを押します◎。

以下のメッセージが表示され、メモリ地点の位置が修正されます。

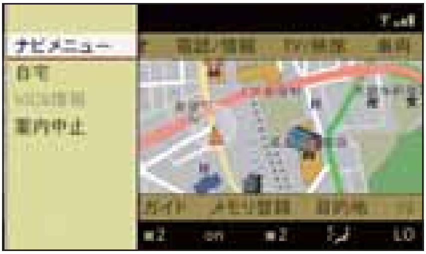
索引機能で地図を表示する

施設の名前で検索する

▶ アプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

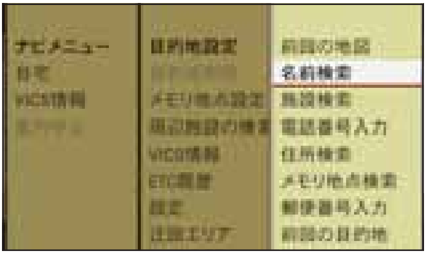


▶ "**ナビメニュー**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



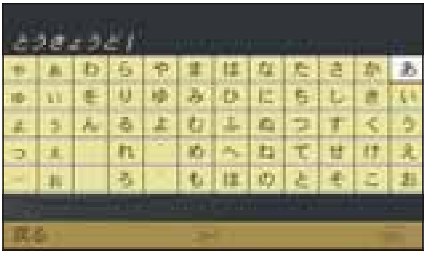
▶ "**目的地設定**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

▶ "**名前検索**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 文字を入力します。

文字入力が終了したら、ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



知識

次の場合、自動的に検索結果画面が表示されます。

- 検索結果が 5 件以下で約 10 秒間なにも操作をしなかったとき
- 最大文字数 12 文字を入力して約 3 秒間なにも操作をしなかったとき

検索結果が表示されます。

▶ 施設名称を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 以下のメッセージが表示されます。コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージが消えます。

地図が表示されます。

知識

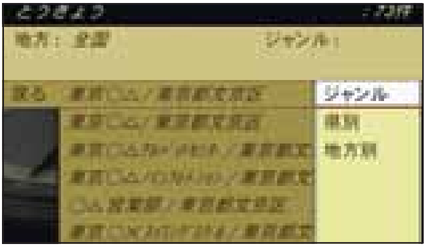
検索結果が多い場合は、施設名称をジャンル / 県別 / 地方別に絞り込むことができます。

さらに検索結果を絞り込む

- **ジャンルで絞り込む**

▶ 検索結果（2-71）が表示されているときに、"**オプション**" を選択して ◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**ジャンル**" を選択して ◎ ・↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



ジャンル検索メニューが表示されます。

▶ ジャンルの項目を選択したあと ←◎→ 、さらにコントローラーを下げて ◎↓ 、詳細なジャンルを選択します ↑◎↓ 。

▶ コントローラーを押します ◎ 。

ジャンル別の検索結果が表示され、"**ジャンル：**" に各ジャンルのアイコンが表示されます。

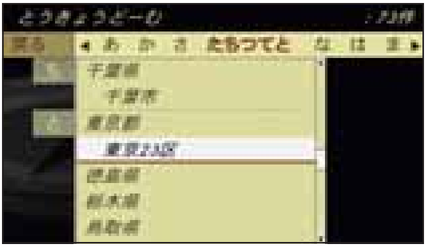
- **県別で絞り込む**

▶ 検索結果 (2-71) が表示されているときに、"**オプション**" を選択して 、コントローラーを押します 。

▶ "**県別**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

県別検索メニューが表示されます。

▶ 50 音別で都道府県を選択したあと 、さらにコントローラーを下げ 、都道府県名を選択して 、コントローラーを押します 。



市町村区別検索メニューが表示されます。

▶ 市町村区名を選択して 、コントローラーを押します 。

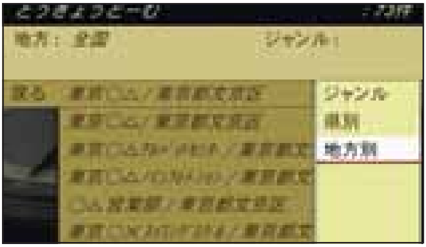
都道府県別で検索するときは、各県の "**全域**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

都道府県または市町村区別の検索結果が表示されます。

• **地方別で絞り込む**

▶ 検索結果 **(2-71)** が表示されているときに、"**オプション**" を選択して◎➡、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**地方別**" を選択して ◎ ・ ⬆◎⬇ 、コントローラーを押します ◎ 。



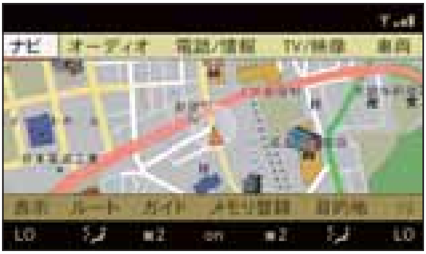
地方別検索メニューが表示されます。

▶ 地方名を選択したあと ←◎→ 、さらにコントローラーを下げ ◎↓ 、詳細な地方名を選択して ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

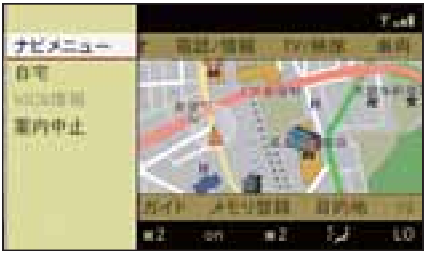
地方別の検索結果が表示されます。

施設で検索する

▶ アプリケーションエリアで、" **ナビ** " を選択して 〔◎〕・←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

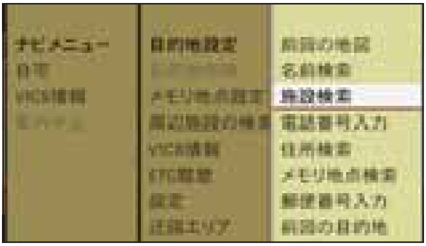


▶ " **ナビメニュー** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

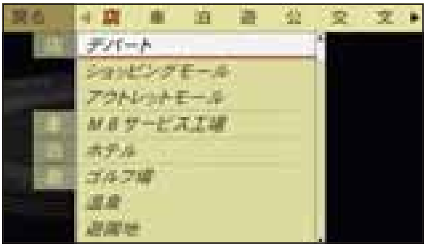


▶ " **目的地設定** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**施設検索**" を選択して（◎）・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



施設検索メニューが表示されます。



▶ 施設の項目を選択したあと←◎→、さらにコントローラーを下げ◎↓、詳細な施設を選択して↑◎↓、コントローラーを押します◎。

都道府県検索メニューが表示されます。

▶ 50 音別で都道府県を選択したあと←◎→、さらにコントローラーを下げ◎↓、都道府県名を選択して↑◎↓、コントローラーを押します◎。

都道府県別施設検索メニューが表示されます。

▶ 50 音別で施設名を選択したあと ←◎→ 、さらにコントローラーを下げ ◎↓ 、表示する施設を選択して ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

以下のメッセージが表示されます。

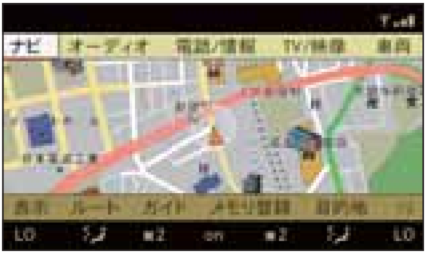
▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージは消えます。

地図が表示されます。

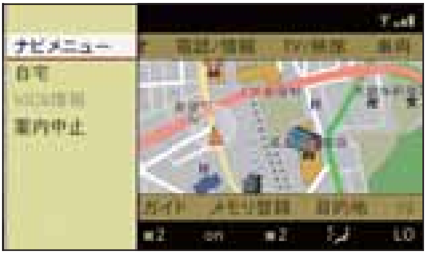
電話番号で検索する

> **知識**
>
> 検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報（ピンポイント情報）がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

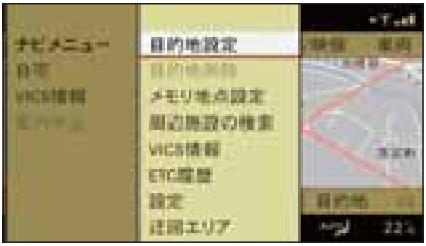
▶ アプリケーションエリアで、" **ナビ** " を選択して ⟲◎⟳ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。



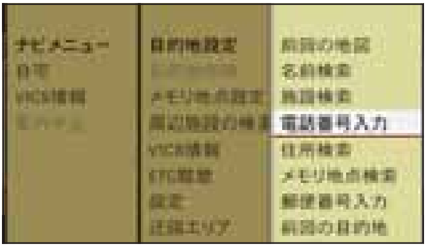
▶ " **ナビメニュー** " を選択して ⟲◎⟳ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**目的地設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**電話番号入力**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



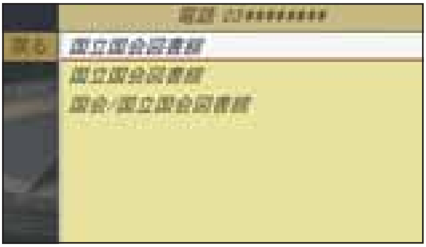
▶ 電話番号を入力します。

知識

市外局番と市内局番のみを入力すると、その周辺の地図が表示されます。

入力した電話番号から複数の場所が検索されたときは、以下のように表示されます。

▶ 目的地を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



以下のメッセージが表示されます。

▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージが消えます。

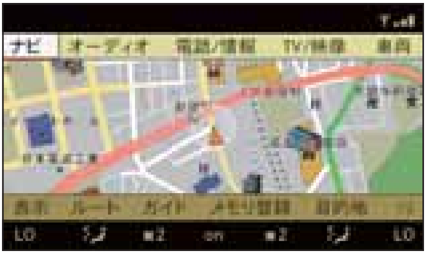
地図が表示されます。

該当する電話番号がない場合は、市内局番と市外局番から、その周辺の地図が表示されます。

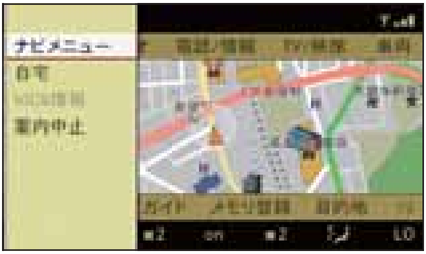
> 知識
>
> 次の場合、自動的に周辺の地図が表示されます。
>
> - 10 桁入力して約 3 秒間なにも操作をしなかったとき
> - 9 桁入力して約 10 秒間なにも操作をしなかったとき

住所で検索する

▶ アプリケーションエリアで、" **ナビ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

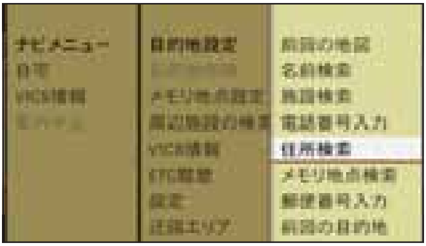


▶ " **ナビメニュー** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

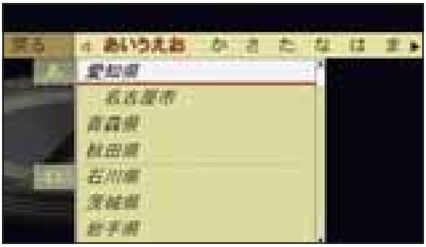


▶ " **目的地設定** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

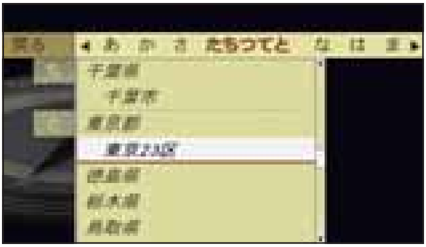
▶ "**住所検索**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



県別検索メニューが表示されます。



▶ 50 音別で都道府県を選択したあと 、さらにコントローラーを下げ 、都道府県名を選択して 、コントローラーを押します 。



市町村区別検索メニューが表示されます。

▶ 50 音別で市町村区を選択したあと 、さらにコントローラーを下げ 、市町村区名を選択して 、コントローラーを押します 。

詳細地域別検索メニューが表示されます。

▶ 50 音別で詳細地域を選択したあと 、さらにコントローラーを下げ 、詳細地域名を選択して 、コントローラーを押します 。

番地検索メニューが表示されます。

▶ 番地を選択して 、コントローラーを押します 。

詳細な番地を入力するときは数字を入力します。

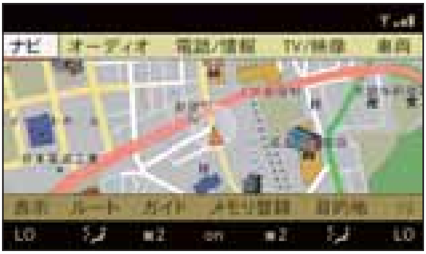
▶ 以下のメッセージが表示されます。

▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージが消えます。

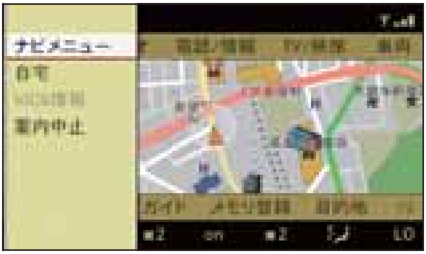
地図が表示されます。

メモリ地点で検索する

▶ アプリケーションエリアで、"**ナビ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

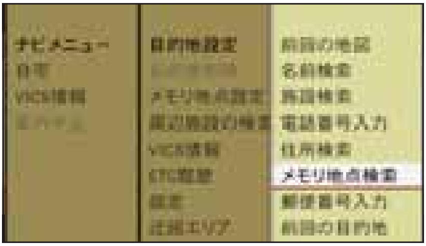


▶ "**ナビメニュー**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

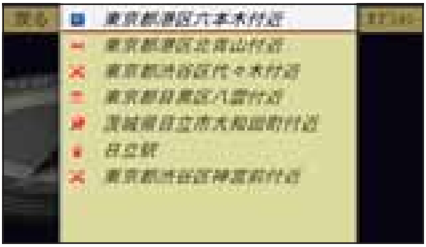


▶ "**目的地設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**メモリ地点検索**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



メモリ地点のリスト画面が表示されます。



▶ 表示するメモリ地点を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示されます。

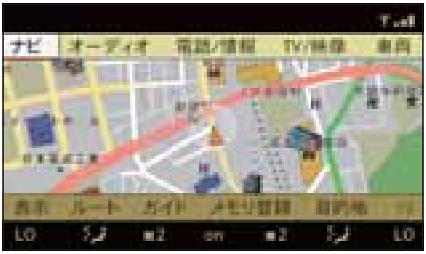
▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージが消えます。

地図が表示されます。

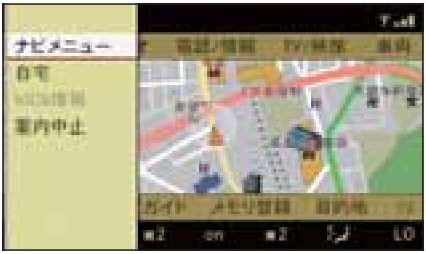
> **知識**
>
> メモリ地点のリスト画面が表示されているときに、"**オプション**" を選択してコントローラーを押すと、リストを登録順、またはアイコン別に並び替えるメニューが表示されます。詳しくは (2-61) をご覧ください。

郵便番号で検索する

▶ アプリケーションエリアで、"**ナビ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

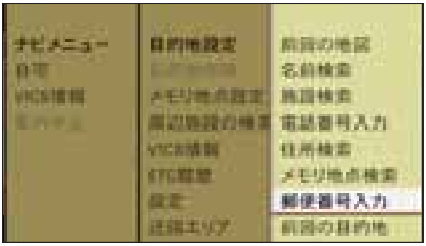


▶ "**ナビメニュー**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

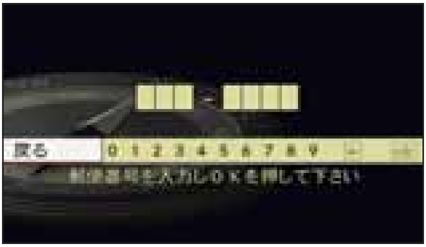


▶ "**目的地設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**郵便番号入力**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



郵便番号を入力します。



以下のメッセージが表示されます。

▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージが消えます。

地図が表示されます。

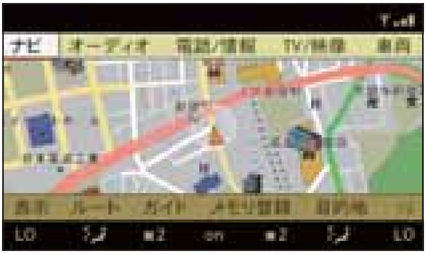
知識

- ７桁すべてを入力しないと周辺の地図を表示できません。
- ７桁入力して約３秒間なにも操作をしなかったとき、自動的に周辺の地図が表示されます。

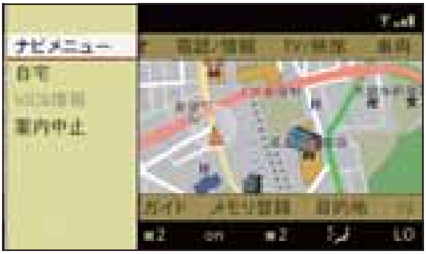
以前の目的地で検索する

以前に設定した目的地（最大 50 か所）から指定できます。

▶ アプリケーションエリアで、"**ナビ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

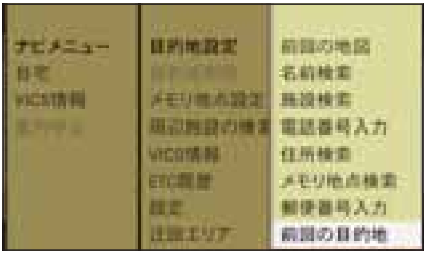


▶ "**ナビメニュー**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**目的地設定**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

▶ "**前回の目的地**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



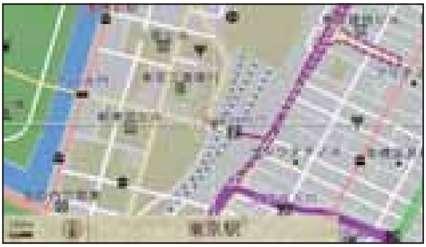
以前に設定した目的地のリストが表示されます。

▶ 表示する目的地を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

以下のメッセージが表示されます。

▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、メッセージが消えます。

地図が表示されます。

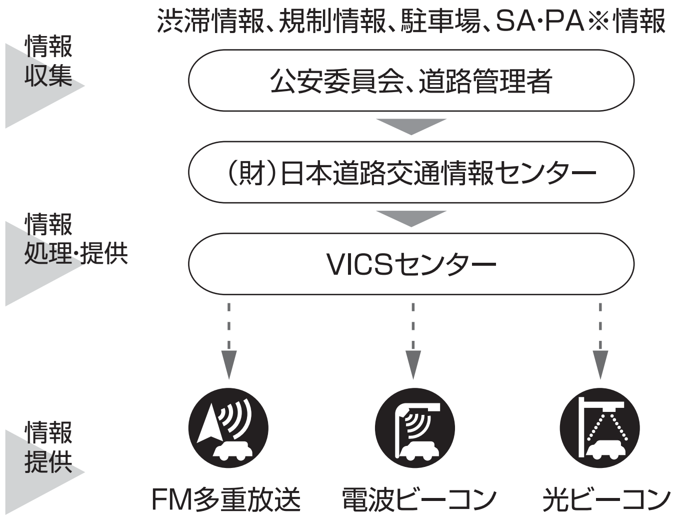


VICS 情報を見る

VICS（道路交通情報通信システム）とは、FM 多重放送やビーコンから渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションシステムに送信するシステムです。VICS は Vehicle Information and Communication System の略です。

> **⚠ 警告**
>
> **VICS 情報は走行中も表示されますが、表示画面を注視しないでください。前方不注意などにより思わぬ事故につながることがあります。**

VICS サービスのしくみ



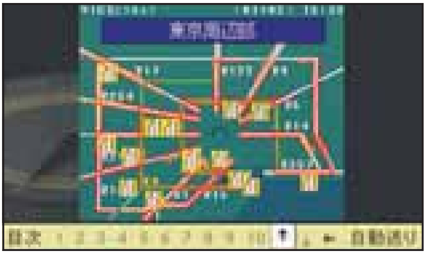
VICS リンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

※ SA（サービスエリア）· PA（パーキングエリア）

VICS 情報の表示

文字表示（レベル 1）

図形表示（レベル 2）



地図表示（レベル 3）

知識

- タイムスタンプの時刻表示は、VICS 情報が提供された時刻を表します。VICS 情報を受信した時刻ではありません。
- ビーコンの VICS 情報を受信して、DRG（ダイナミックルートガイダンス）が行なわれているときは、"**VICS**" の代わりに、"**DRG**" と表示されます。
- タイムスタンプは、VICS 情報が表示されているときのみ表示されます。

VICS 情報を受信する

FM 多重放送の VICS 情報（レベル 1、レベル 2、レベル 3)、およびビーコンの VICS 情報を受信し、渋滞を考慮したルート探索もできます。

> **知識**
>
> - VICS 情報を受信する放送局を選局できます（2-94)。
> - VICS 情報（レベル 3）は、1km 表示以上では表示されません。
> - VICS 情報のデータは、エンジンスイッチからキーを抜いたあと約 30 分後に本システムから消去されます。

VICS 情報について

渋滞情報

渋滞度	表示	内 容	表示縮尺
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態	25m ～ 500m
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	緑色	交通の流れが良い状態	

事象・規制情報

代表的な VICS マーク

マーク	内 容	表示縮尺
	進入禁止	25m ～ 500m
	入り口閉鎖	25m ～ 500m
	事故	25m ～ 200m
	工事	25m ～ 200m

駐車場、SA・PA 情報

マーク		内 容	表示縮尺
P	PA	利用が可能な状態	25m ～ 500m
P	PA	利用率が高い状態	
P	PA	ほぼ満車の状態	
P	PA	駐車場情報がない状態	25m ～ 200m
P	PA	閉鎖されている状態	

VICS マークの種類（参考）

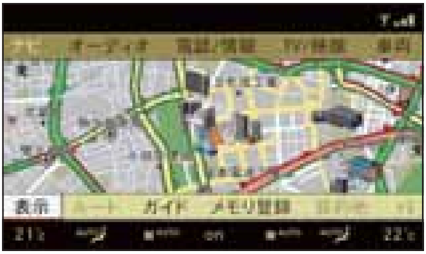
マーク	内 容
	事　故
	故障車
	路上障害
	工　事
	凍　結
	作　業
	通行止め・閉鎖
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面交通
	車線規制
	徐　行
	入り口閉鎖
	大型車通行止め
	入り口制限
	速度規制
	その他
	災　害
	行事など
	右左折規制
	片側規制
	火　災
	気　象
	地震警戒宣言
	駐車場
	SA・PA

知識

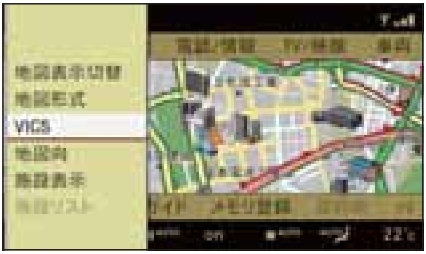
- 駐車場情報は一部のエリアでしか提供できません。
- 駐車場情報は 1km 表示以上では表示されません。
- ビル表示画面では、規制情報や駐車場情報、SA・PA 情報は表示されません。

VICS 情報（レベル 3）を地図上に表示する

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**表示**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。



▶ "**VICS**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



▶ "**VICS 一般道**" または "**VICS 高速道**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

表示される項目の左側のボックスにはチェックマークが表示されます。

"**VICS 一般道**"
一般道路の情報が表示されます。

"**VICS 高速道**"
高速道路の情報が表示されます。

VICS 情報マークの内容を確認する

地図上に表示されている VICS 情報マークの詳細情報を確認できます。

▶ VICS 情報が表示されている現在地画面または地図画面で、メニュー画面のサブメニューエリアで "**ガイド**" を選択して・、コントローラーを押します。

画面中心に近い順から規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。

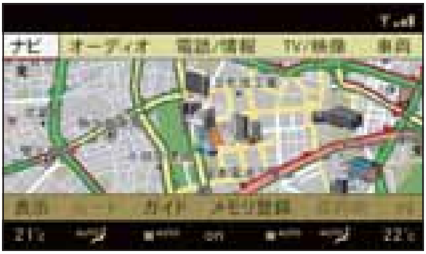
▶ 自車から離れた位置の VICS マークの詳細情報を確認するには、コントローラーをスライドさせて、クロス・カーソルを VICS マーク付近に移動させます。

ランドマーク（施設マーク）が表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。

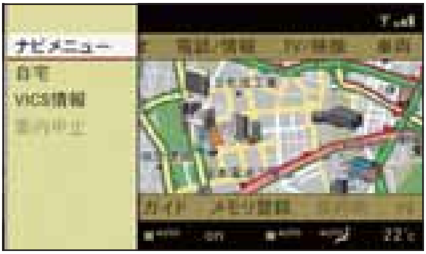
VICS 情報（レベル 1・2）を表示する

別操作 "**メニュー画面**" → "**ナビ**" →"**VICS 情報**" でもVICS 情報(レベル 2）が表示できます。

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して・、コントローラーを押します。

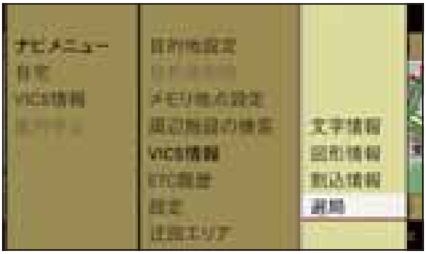


▶ "**ナビメニュー**" を選択して・、コントローラーを押します。



- "**VICS 情報**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

- "**文字情報**" "**図形情報**" "**割込情報**" のいずれかを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



"**文字情報**"
VICS 文字情報の目次画面が表示されます。

"**図形情報**"
VICS 図形情報の目次画面が表示されます。

"**割込情報**"
VICS 割り込み情報画面が表示されます。

> **⚠ 警告**
>
> VICS 情報は走行中も表示されますが、表示画面を注視しないでください。前方不注意などにより思わぬ事故につながることがあります。

VICS 文字情報を表示する

- VICS 文字情報の目次画面で表示させたい情報番号を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

選択された情報が表示されます。

"←" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、前の画面に戻ります。

- 複数の文字情報があるときは、"↓" または "↑" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、次 / 前の文字情報が表示されます。

"**目次**" または "←" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、VICS 文字情報の目次画面に戻ります。

"**自動送り**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、受信してある文字情報を順次表示します。

自動送りをしているときに、"**停止**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、自動送りが停止します。

VICS 図形情報を表示する

▶ VICS 図形情報の目次画面で表示させたい情報番号を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

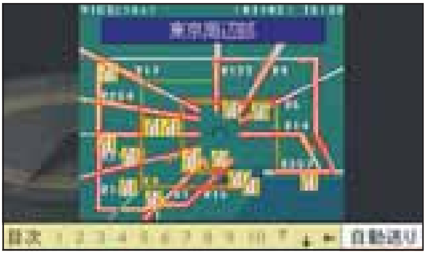
選択された情報が表示されます。

"←" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、前の画面に戻ります。

▶ 複数の図形情報があるときは、"↓" または "↑" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、次 / 前の図形情報が表示されます。

"**目次**" または "←" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、VICS 図形情報の目次画面に戻ります。

"**自動送り**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、受信してある図形情報を順次表示します。



自動送りをしているときに、"**停止**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、自動送りが停止します。

VICS 割り込み情報を表示する

▶ VICS 割り込み情報の目次画面で表示させたい情報番号を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

選択された情報が表示されます。

"←" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、前の画面に戻ります。

- ▶ 複数の割り込み情報があるときは、"↓"または"↑"を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、次 / 前の割り込み情報が表示されます。

  "**目次**"または"←"を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、VICS 割り込み情報の目次画面に戻ります。

  "**自動送り**"を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、受信してある割り込み情報を順次表示します。

  自動送りをしているときに、"**停止**"を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、自動送りが停止します。

> ⚠ **警告**
>
> 走行中、割り込み情報を受信すると自動的にその情報を表示しますが、表示画面を注視しないでください。前方不注意などにより思わぬ事故につながることがあります。

FM VICS 放送局を選局する

FM VICS 放送局は、以下の方法で選局できます。

自動選局

現在地情報をもとに自動的に VICS 放送局を切り替えます。

手動選局

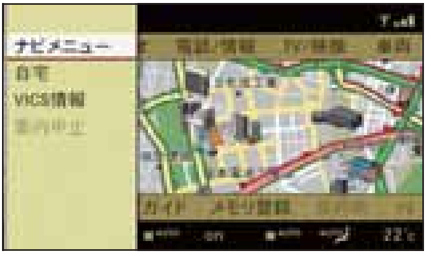
希望する放送局に切り替えます。放送局は自動では切り替わりません。

エリア選局

受信状態に応じて、選んだエリア（都道府県）内で放送局を自動的に切り替えます。

- ▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで"**ナビ**"を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

- ▶ "**ナビメニュー**"を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



ナビゲーション

▶ "**VICS 情報**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**選局**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在選択されている選局方法の画面が表示されます。

自動選局から手動選局にする

▶ "**手動選局**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ ">>" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、受信周波数が 0.1MHz 上がります。

"<<" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、受信周波数が 0.1MHz 下がります。

ステータス表示部右側に "**検出中**" と表示され、VICS 放送局の検出を始めます。

VICS 放送局を受信すると、ステータス表示部右側に "**受信中**" と表示されます。

VICS 放送局が受信されていないときは、ステータス表示部右側に "**未受信**" と表示されます。

手動選局から自動選局にする

▶ " **自動選局** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ステータス表示部右側に " 検出中 " と表示され、VICS 放送局の検出を始めます。

VICS 放送局を受信すると、ステータス表示部右側に " **受信中** " と表示されます。

VICS 放送局が受信されていないときは、ステータス表示部右側に " **未受信** " と表示されます。

エリア受信にする

▶ 手動選局の画面で " **リスト表示** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 都道府県名を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

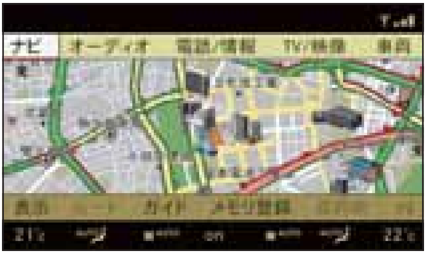
ステータス表示部右側に " **検出中** " と表示され、VICS 放送局の検出を始めます。

VICS 放送局を受信すると、ステータス表示部右側に " **受信中** " と表示されます。

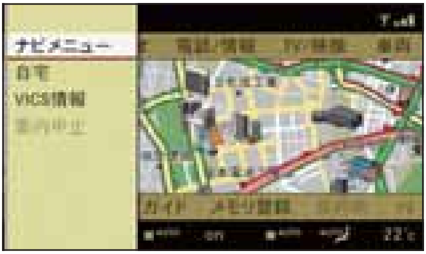
VICS 放送局が受信されていないときは、ステータス表示部右側に " **未受信** " と表示されます。

VICS の設定をする

▶ メニュー画面のアプリケーションエリアで "**ナビ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

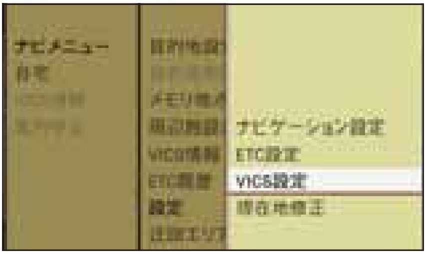


▶ "**ナビメニュー**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

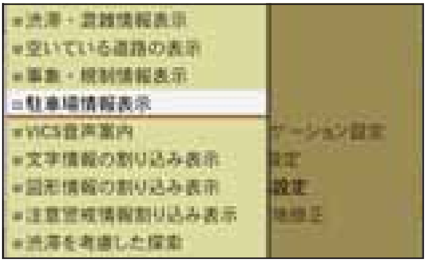


▶ "**設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**VICS 設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 設定する項目を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



設定された項目の左側のボックスには、チェックマークが表示されます。

"渋滞・混雑情報表示"
"空いている道路の表示"
"事象・規制情報表示"
"駐車場情報表示"
地図上に表示される VICS 情報（レベル 3）の表示を選択します。

"VICS 音声案内"
VICS 情報を受信したときの音声案内を選択します。

" 文字情報の割り込み表示 "
" 図形情報の割り込み表示 "
" 注意警戒情報割り込み表示 "
割り込み情報を受信したときの表示を選択します。

" 渋滞を考慮した探索 "
ビーコンの VICS 情報(渋滞情報)を考慮したルート探索を選択します。

知識

- VICS 情報が地図上に表示されていないと VICS 情報を考慮したルート探索はされません。
- 通行止め規制やランプ閉鎖等の規制がルート上にある場合、この設定に関係なく、規制を回避するルートを探索します。

VICS について

VICS のお問い合わせ先

車載機の調子、機械、使い方などに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または指定サービス工場におたずねください。

VICS の概念、または表示された情報内容に関することは（財）VICS センターにお問い合わせください。

（財）VICS センター
受付：9：30 ～ 17：45（土・日・祝祭日を除く）
電話：0570-00-8831
（全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。PHS からはご利用できません。）
FAX 受付：24 時間
FAX 番号：03-3592-5494
HP アドレス：
http://www.vics.or.jp

ナビゲーションモードメッセージ画面

ナビゲーションモードの操作中に表示されるメッセージ画面は、操作項目やそのときの設定状態によって表示が異なります。

それらのメッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

また、操作中のメッセージ表示以外に疑問に思われる点などがあるときは、念のため次ページの「故障と思うまえに確認をお願いします」をお読みください。

故障と思うまえに確認をお願いします

ナビゲーションモード使用中に、画面表示の状態や操作に対する反応に疑問を感じたときなどは、故障とお考えになるまえに、以下の項目を参照して本当に故障かどうか確かめてください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
画面表示のディスプレイ面に光る点が散在する	画面表示の液晶パネルには非常に高度な製造技術で高密度の表示画素を採用しています。表示する有効画素数の保証値は99.99%以上となっていますが、わずかながら（0.01%以下）の割合で表示画素のエレメント配列欠損や常時点灯などの異常があることがあります。 故障ではありませんので、安心して使用してください。
自宅前の道路から案内を開始しない	団地内の私道や、住宅街の交通量の少ない（私道に準ずる）道は安全上と道路環境を保護するため、ルート案内対象道路として適用していません。少し走行して近くの案内対象道路（公道）に出るとルート案内が始まります。また、同じ理由から住宅街や学校付近などの「裏道や抜け道」も画面表示しなかったりルート案内や現在地表示ができないことがあります。「裏道」などの走行中に画面表示から道路が消えても、再び案内対象道路（公道）に出るとルート案内を開始します。
道路（公道）が画面に表示されない、画面表示の施設名が実際とは異なる	道路や施設名、交差点名などについては地図の作成時点で公開されている情報に基づくものであり、実際とは異なることをご理解のうえ使用してください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
地図の表示画面が暗すぎる、明るすぎる	地図表示画面の明るさを調整してください**(1-15)**。
現在地マークが画面に正しく表示されない（GPS 受信マークが画面に表示されない）	●GPS（人工衛星）信号の受信状態や車の状態（たとえば、タイヤの交換直後やバッテリーの交換直後など）によって一時的に表示がずれることがあります。 ●これまでに走行した道路と地図の登録情報が一致しないときや、地図に登録されていない新しい道路の通過後などでは一時的に表示がずれることがあります。しばらくそのままで走行を続けるとGPS の受信により自動的に修正されます。GPS を精度よく受信するために見晴らしのよい安全な場所に停車することも一案です。 ●GPS が連続して受信できていながら、10km 以上の距離を走行しても表示が自動修正されないときは手動で修正することもできます**(2-52)**。
現在地マークの方向と車の進行方向が合わない	●以下のような状況では、一時的に車の進行方向表示がずれることがあります。 ◎駐車場の出入り口でターンテーブルを使用したあと ◎ループ状の駐車場出入口の通過後 ◎ループ橋などの道路の通過後 しばらくそのままで走行を続けると、GPS の受信により自動的に修正されます。 ●GPS が連続して受信できていながら、10km 以上の距離を走行しても表示が自動修正されないときは手動で修正することもできます**(2-52)**。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
現在地位置までの走行距離の誤差が大きい（常に大きな誤差がある）	●このシステムはタイヤの回転数により車の走行距離を計算します。指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着すると表示誤差が大きくなることがあります。表示誤差が直らない場合や、タイヤ交換時は、必ず指定サービス工場にご相談ください。 ●非舗装路面や路面の凸凹が激しい道路、凍結路などの通過時やタイヤチェーン装着時などはタイヤの回転数が不安定になるため表示誤差が大きくなることがあります。
案内ルートが不適切 ・有料道優先を選んでいないにもかかわらず、有料道路を案内する ・距離優先を選んだら、有料道路の出入りをくり返す	●以下のようなときは有料道優先を選んでいなくても有料道路を案内することがあります。 ◎一般道路を通ると極端に遠回りになるとき ◎周囲に適切な案内対象の一般道が存在しないとき ●距離優先を選ぶと、ルート探索上の最短の距離を表示しますので、有料道路の区間別に繰り返し案内することがあります。
インターチェンジなどの走行中現在地マークが回転する	ループ状のインターチェンジや交差点などを通過するときは方位が連続してかわるため、一時的に現在地マークが回転することがあります。 そのまま走行を続けると、正しい方位を探索して自動的に修正されます。

ナビゲーション地図データについて

本機の「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、松下電器産業株式会社が製作したものです。ただし、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

- この地図の作成にあたっては、国土交通省国土地理院発行の 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。
- この地図の作成にあたっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会作成の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

© 財団法人　日本デジタル道路地図協会
© 松下電器産業（株）＆（株）ゼンリン

- 交通規制データの保証について

  本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。

- 道路交通規制の優先について

  本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

- 著作権および使用実施権について

  本品に使用している交通規制データの著作権は（財）日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権は松下電器産業（株）が取得しています。
  本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。

  © TMT

知識

施設名称、位置等のデータは、電話帳データをもとに整備を行なっておりますが、電話帳データに登録されている施設データの内容によっては、検索した施設がお客様の意向に沿わない場合があります。

地図記号の例

記号	色	名 称
	紫	高速道路・都市高速・有料道路
	赤	国道
	薄緑	主要地方道
	黄	一般都道府県道
	白	その他の道路（幅 5.5m 以上）
	灰	その他の道路（幅 3.0m 以上）
	灰/白	私鉄線路
	黒/白	JR 線路
	水色	水域（河川、湖沼、海など）
	緑	緑地
	薄茶	駅／敷地

記号	名 称
	官庁、市町村の出先機関
	都道府県庁
	市役所、東京 23 区役所
	町村役場、東京以外区役所
	郵便局
	警察署
	消防署
	学校
	幼稚園
	病院
	他の施設
	発電所
	銀行、信用金庫、農協
	スーパーマーケット、デパート
	ホテル、旅館
	ビル
	工場
	神社
	寺院
	教会
	港
	城跡
	史跡

記号	名 称
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイス・スケート場
	ヨット・ハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	灯台
	インターチェンジ
	パーキングエリア
	サービスエリア
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリー・ターミナル
	山
	電話局
	墓地
	空港、飛行場
	MB ディーラー

ランドマーク（施設マーク）

ランドマークについては、周辺施設探索時に表示されるリスト表示名称と記号を参照してください。

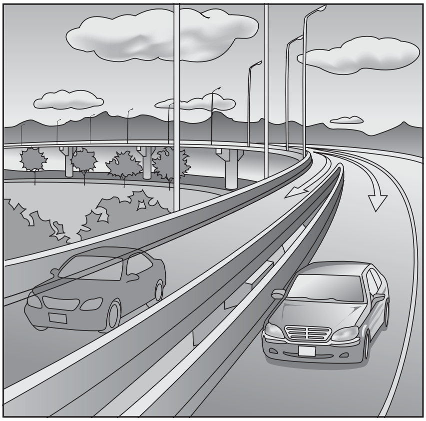
主な設備マーク

記号	名 称
	郵便ポスト
	レストラン
	トイレ
	FAX サービス
	ハイウェイ情報ターミナル

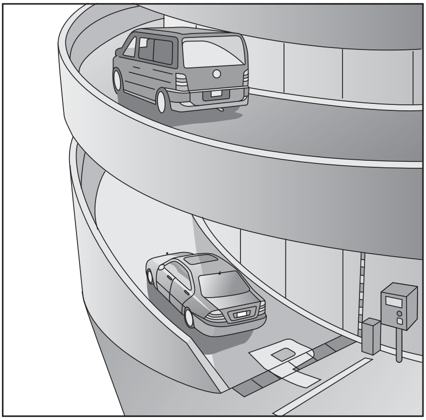
ナビゲーションについて

システムの構成上から以下のようなことが起こりますが、故障ではありません。

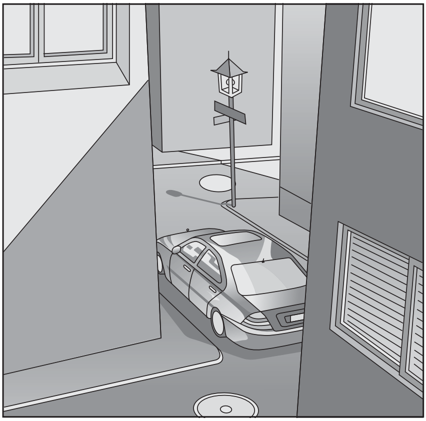
- 走行場所や運転条件などにより、現在地マークが正しい位置を表示しないことがあります。
- 分岐角度のゆるやかなＹ字分岐点の通過時、しばらくの間もう一方の道路に現在地マークが表示されることがあります。



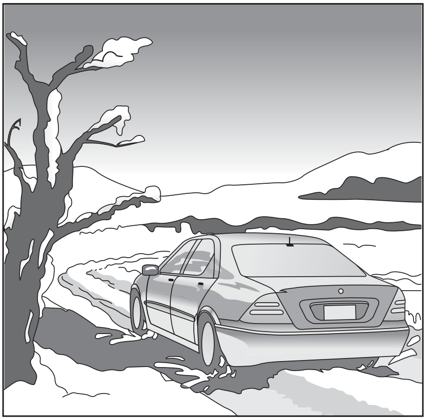
- ループ状の橋やインターチェンジなどを通過すると、現在地マークがずれることがあります。



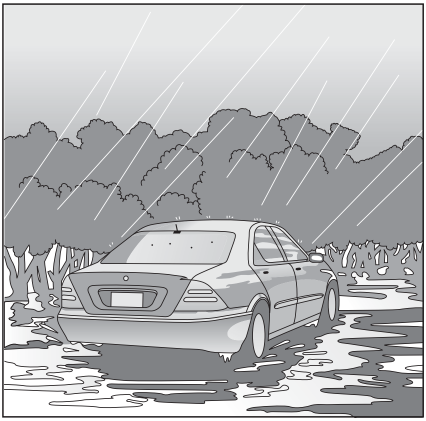
- 案内ルートを外れて手前の交差（分岐）点で曲がったときなど、誤った音声案内をすることがあります。
- 高速道路を走行しているときに、並行している側道あるいは、高架下の一般道に現在地マークが表示されることがあります。また、その逆の場合もあります。
- 走行中に再探索あるいは、迂回探索をすると、ルート表示が次の交差点までに間に合わないことがあります。
- 音声案内ができない交差点や拡大表示できない交差点があります。
- 一方通行規制で進入できない道路を案内することがあります。
- 時間規制で曲がれない交差点を曲がるように案内することがあります。
- 再探索、迂回探索機能で探索したルートが遠回りになることがあります。
- ビルや大型車両の近くあるいは、山間部を走行すると、現在地マークがずれることがあります。



- 通過点を経由せずに目的地に向かうとき、再探索、迂回路探索を実行すると、通過点に戻るルートが表示されることがあります。

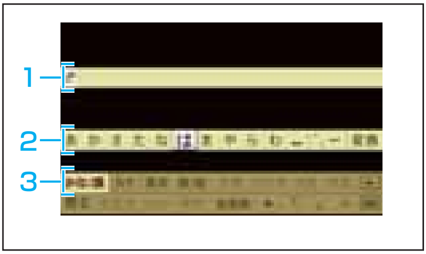


- 航走フェリーや車両運搬車などで車両を移動させたあと、現在地マークが移動前の位置に表示されることがあります。
- 探索されたルート表示が、Uターンを案内することがあります。
- 実際に通行できない道（すでに廃止されている旧道など）を案内することがあります。
- 駐車場のターンテーブルで回転や切り返しなどを繰り返したあと、現在地マークがずれることがあります。
- 砂利道、雪道、凍結面などの滑りやすい路面を走行すると、タイヤのスリップにより現在地マークがずれることがあります。



- 現在地マークを修正したときに修正を間違えたまま走行を続けると、自動修正できないことがあります。
- 目的地まで道路が達していないときや道幅が狭いときは、目的地から離れたところまでしかルート案内をしないことがあります。
- カーブなどで急ハンドル操作を繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。
- 直線道路でも車線変更を必要以上に繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。
- 地図データにない新しい道路や開拓地域を走行すると、ルート案内ができなかったり、現在地マークがずれることがあります。
- 目的地までの距離が極端に長いときや短すぎるときは、ルート設定できないことがあります。

名称の入力方法



1 入力した文字 / 文の表示
2 入力文字表示
3 入力文字種別表示

入力文字種別の切り替え

入力文字種別を選択して◎↓、入力する文字の種別を選択します〔◎〕・←◎→。

" **かな / 漢** "
ひらがなを入力できます。また、入力したひらがなを漢字に変換できます。

" **カナ** "
カタカナを入力できます。

" **英字** "
アルファベットを入力できます。 大文字 / 小文字、全角 / 半角に切り替えることができます。

" **数 / 記** "
数字や記号を入力できます。全角 / 半角に切り替えることができます。全角と半角では入力できる数字や記号の種類が異なります。

" **大文字** " " **小文字** "
文字種別で " **英字** " を選択しているときは、大文字と小文字が選択できます。

" **全角** " " **半角** "
文字種別で " **英字** " と " **数 / 記** " を選択しているときは、全角文字と半角文字が選択できます。

カーソルの移動

← ↑ ↓ → を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

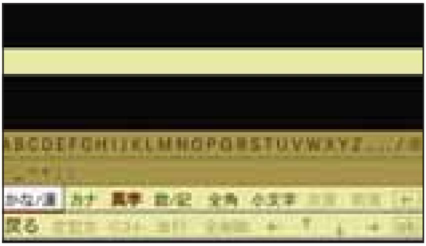
入力した文字の削除

削除したい文字の右側にカーソルを移動し、← を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

入力した文字をすべて削除するときは、" **全削除** " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

ひらがなと漢字の入力

▶ 文字入力種別から " **かな / 漢** " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

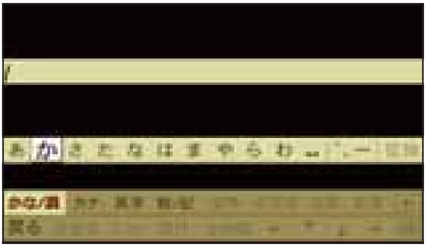


▶ 入力したい文字の行を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

「を」「ん」は、わ行から選択します。

スペースを入力するときは、␣ を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

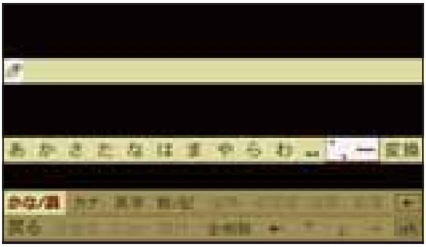
ナビゲーション



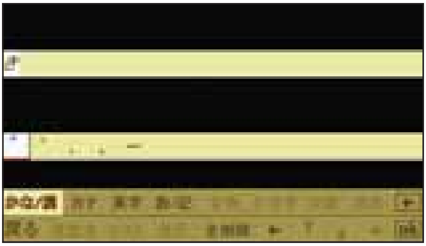
▶ 入力したい文字を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

文字が入力されます。

濁音文字や「ぱ」「ぴ」「ぷ」「ぺ」「ぽ」にする場合は、゜、ー を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

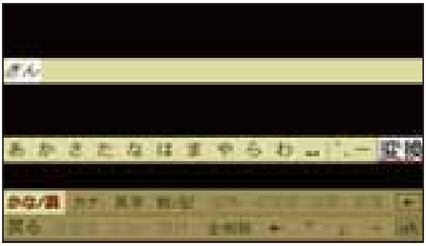


▶ 濁音記号などを選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

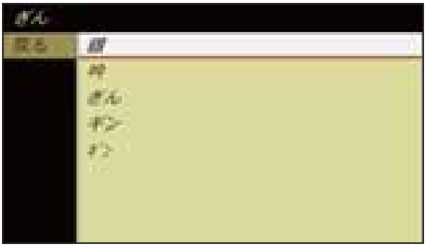


▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

▶ 漢字に変換するときは、" **変換** " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。



▶ 変換する単語を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



カタカナの入力

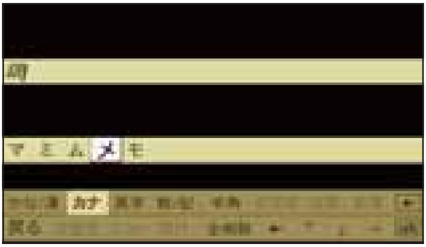
▶ 文字入力種別から " **カナ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力したい文字の行を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

「ヲ」「ン」は、ワ行から選択します。

スペースを入力するときは、␣ を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

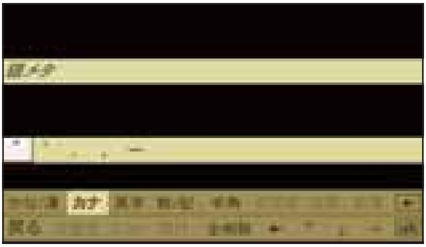
▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



文字が入力されます。

濁音文字や「パ」「ピ」「プ」「ペ」「ポ」にする場合は、゛゜、ー を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 濁音記号などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

アルファベットの入力

▶ 文字入力種別から "**英字**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**全角**" / "**半角**" および "**大文字**" / "**小文字**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

数字や記号の入力

▶ 文字入力種別から "**数 / 記**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**全角**" / "**半角**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

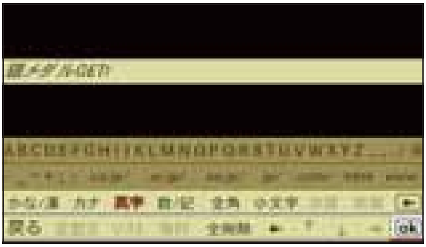
▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

入力の終了

▶ ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



入力の中断

▶ "**戻る**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**変更を保存しますか**" と表示されます。"**はい**" か "**いいえ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"**はい**"
名称が変更されます。

"**いいえ**"
名称は変更されません。

3.　ラジオ

ラジオを聞く ………………………… 3-2
基本画面 ………………………………… 3-3
・COMAND ディスプレイの表示
・マルチファンクション
　ディスプレイの表示
受信バンドの切り替え ……………… 3-3
・FM ←→ AM 間の切り替え
・FM1 ←→ FM2、AM1 ←→ AM2
間の切り替え
放送局のプリセット ………………… 3-4
・オートプリセット
・手動プリセット
放送局の選局 ………………………… 3-6
・プリセット選局
・自動選局
・手動選局
一時消音 ………………………………… 3-8
サウンドの調整 ……………………… 3-8
交通情報を聞く ……………………… 3-8
受信についての注意 ………………… 3-9
・ラジオ電波
・放送局名表示
・アンテナについて

ラジオを聞く

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ **ON** を押します。

COMANDシステムが起動します。

▶ ファンクションスイッチのオーディオスイッチ DISC RADIO を押します。

または、

▶ アプリケーションエリアで " **オーディオ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ラジオモードになります。

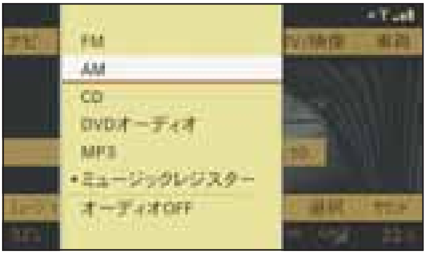
> 知識
>
> 他の音楽ソースを選択していたときは、オーディオメニュー（右側参照）を表示させて、"FM" または "AM" を選択してください。

ラジオモードにならなかったときは、再度アプリケーションエリアで " **オーディオ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

オーディオメニューが表示されます。

▶ 受信したい受信バンドを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

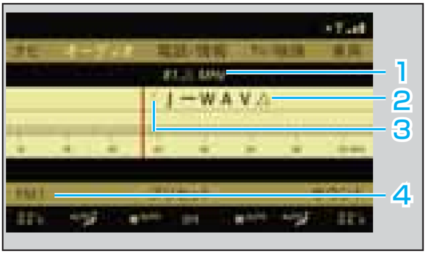
現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。



ラジオモードになります。

基本画面

COMAND ディスプレイの表示



1 受信周波数

2 受信放送局名

3 プリセット番号

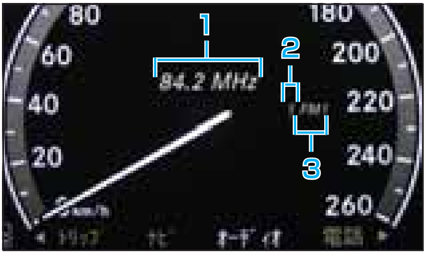
最大 8 局までプリセットできます。

4 受信バンド

FM1 / FM2、AM1 / AM2 を選択できます。

マルチファンクションディスプレイの表示

ステアリングスイッチ◀ ▶を押してマルチファンクションディスプレイのメインメニューで "ｵｰﾃﾞｨｵ" を選択すると、マルチファンクションディスプレイにラジオの受信状況が表示されます。



1 受信周波数

2 プリセット番号

最大 8 局までプリセットできます。

3 受信バンド

FM1 / FM2、AM1 / AM2 を選択できます。

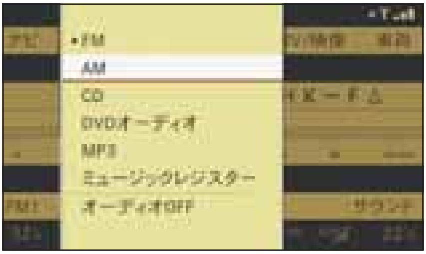
受信バンドの切り替え

FM ←→ AM 間の切り替え

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択して (◎) ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 受信したい受信バンドを選択して (◎) ・ ↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

現在選択されている受信バンドの左側には " • " が表示されています。

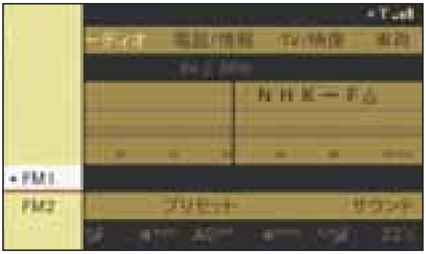


FM1 ←→ FM2、AM1 ←→ AM2 間の切り替え

▶ サブメニューエリアで現在選択している受信バンドを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 受信したい受信バンドを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在選択されている受信バンドの左側には "•" が表示されています。



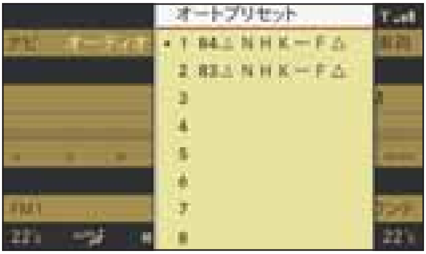
放送局のプリセット

FM1 / 2、AM1 / 2 それぞれ 8 局まで放送局を記憶できます。

オートプリセット

▶ サブメニューエリアで "**プリセット**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "オートプリセット" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



オートプリセットが開始され、"**オートプリセット実行中**" と表示されます。

プリセットされた周波数が、COMAND システムにあらかじめ登録されている放送局のものであるときは、放送局名も表示されます。

> 知識
>
> - オートプリセットを行なうと、それまでの記憶は消去され、新たに放送局を記憶します。
> - 受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。また、同じ場所でオートプリセットを繰り返したときでも、異なる放送局が記憶されることがあります。

手動プリセット

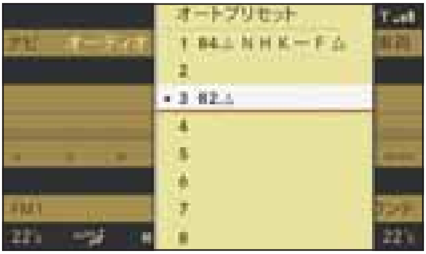
受信中の放送局を希望するプリセット番号に設定できます。

▶ プリセットしたい放送局を選局します。

▶ サブメニューエリアで " **プリセット** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ プリセット番号（1 ～ 8）を選択して ・ 、コントローラーを押して保持します 。

プリセットされた周波数が表示されます。また、プリセットされた周波数が、COMAND システムにあらかじめ設定されている放送局のものであるときは、放送局名も表示されます。



放送局の選局

プリセット選局

あらかじめ記憶した放送局を選択することができます。FM1 / 2、AM1 / 2 それぞれ 8 局まで放送局を記憶できます。

▶ サブメニューエリアで " **プリセット** " を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◉ 。

▶ 選局したい放送局を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◉ 。

現在選局されている放送局名の左側には " • " が表示されています。

自動選局

> 知識
>
> 受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。

COMAND システムでの操作

▶ メインエリアが選択されているときに、コントローラーを右にスライドさせて保持します◎→ 。

受信周波数が高い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

または

▶ メインエリアが選択されているときに、コントローラーを左にスライドさせて保持します←◎ 。

受信周波数が低い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

ステアリングスイッチでの操作

▶ ステアリングスイッチ ◀ ▶ を押して、マルチファンクションディスプレイのメインメニューで "ｵｰﾃﾞｨｵ" を選択します。

▶ ステアリングスイッチ ▲ を押します。

受信周波数が高い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

または

▶ ステアリングスイッチ ▼ を押します。

受信周波数が低い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

後席アームレストのスイッチ＊（1-13）での操作

▶ 後席アームレストの選局スイッチ ⏭ を押します。

受信周波数が高い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

または

▶ 後席アームレストの選局スイッチ ⏮ を押します。

受信周波数が低い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

手動選局

受信電波が弱く、プリセット選局や自動選局ができない放送局に、手動で周波数を合わせます。

▶ メインエリアが選択されているときに、コントローラーを回転させるか ◎ 、左右にスライドさせます ◎ 。

一定間隔で周波数が変わり、自動選局で受信できないような受信電波の弱い放送局も受信できます。

> **知識**
>
> - FM は 0.1MHz 間隔で、AM は 9kHz 間隔で変わります。
> - 受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、FM ではステレオ放送や FM 文字多重放送が受信できず、モノラルで受信することがあります。

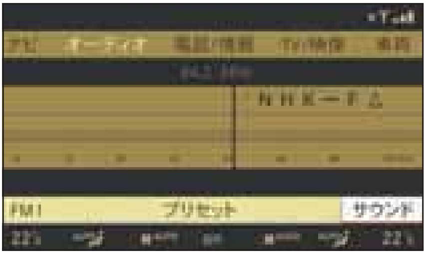
一時消音

ラジオの音声を聞いているときに一時消音するときは、ステアリングスイッチの を押します。

詳しくは（1-18）をご覧ください。

サウンドの調整

▶ サブメニューエリアで " サウンド " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ サウンド調整画面が表示されます。サウンドの調整については（1-27）をご覧ください。

交通情報を聞く

交通情報画面を表示させて、交通情報放送を聞くことができます。

▶ 受信バンドを AM に切り替えます（3-3）。

▶ サブメニューエリアで " **交通情報** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

交通情報画面が表示され、放送局「1620kHz」が選局されて交通情報が聞こえます。

知識

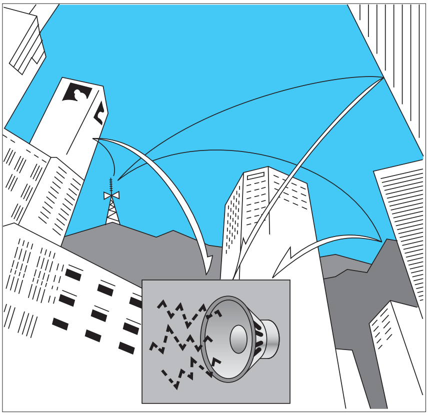
- 「交通情報」は、道路管理者や所轄の警察が放送地域を限定して送信しますので、受信範囲外では受信できません。放送地域については、道路上の標識などにより知ることができます。
- 標準的な交通情報送信局である「1620kHz」の周波数が固定で選択されます。他の周波数には変更できません。

受信についての注意

ラジオ電波

車載ラジオの受信は、移動中の車両によりアンテナの位置が刻々と変わるため一般家庭のラジオで受信する条件とは大きく異なります。したがって、以下のようなことをご理解のうえでご利用ください。

- ラジオ電波の特性により地球上空の電離層の反射が起こることや、周囲の高層建物による電波干渉、山影などの地形の影響、刻々と変化する車両（受信）位置などにより、とくに走行中の車両では受信状況は常に変化しています。そのため家庭でのラジオ受信に比べ、受信状態が不安定になりがちです。また、同じ時刻に同じ場所での受信であっても、天候（雲の量や高度など）などの影響によって受信状態が変わることがあります。



- 直線的に進む FM（超短波）電波の適正受信範囲の目安は、送信局のアンテナが目視できる距離とされています。FM 放送では受信状態が悪くなると、ノイズが増えたり、ステレオ放送や文字多重放送が正しく受信できなくなります。
- 違法な車載 CB 無線電波や点火プラグの露出した 2 輪車など、周囲からの電波障害による影響は回避できません。

放送局名表示

受信周波数に対応する放送局名表示は、自車位置を GPS より測定して該当する放送地域を判断し、その地域での周波数に対応する放送局名を表示しています。そのため該当地域外での受信時では、その放送を受信することができても放送局名を表示しないことがあります。

アンテナについて

- 車両のアンテナは、周囲の電波遮へい物の干渉や反射などで受信状況が大きく左右されます。
- AM/FM などの受信アンテナが、リアウインドウあるいはドアウインドウに極細のアンテナ（金属線）でプリントされている場合に導電性の遮光フィルムなどを貼ると、アンテナとして機能できなくなることがあります。
- 携帯電話などをリアウインドウあるいはドアウインドウの近くで使用すると、アンテナの受信性能が低下することがあります。

4.　オーディオ

オーディオを再生する…………… 4-2

基本画面……………………………… 4-3

・COMAND ディスプレイの表示

・マルチファンクションディスプレイの表示

音楽ソースの切り替え…………… 4-4

聞きたい曲を選ぶ

（各音楽ソース共通の操作） ……… 4-5

・次の曲を再生する

・再生中の曲の頭出しをする

・早送りする

・早戻しする

聞きたい曲を選ぶ

（音楽 CD/DVD オーディオ再生時） 4-6

聞きたい曲を選ぶ

（MP3 再生時） ……………………… 4-7

・再生中のソースの中から選曲する

・再生するフォルダを変更する

聞きたい曲を選ぶ

（ミュージックレジスター再生時） … 4-8

再生モードの選択…………………… 4-9

・再生モードの表示

・再生モードの選択

ミュージックレジスター……… 4-11

・ミュージックレジスターに音楽データを録音する

・録音が行われているときのディスプレイ表示

・アルバム名について

・アルバムの削除 / アルバム名の編集

・トラックの削除 / トラック名の編集

・タイトル情報を再取得する

トラック / アルバム名の編集・入力………………… 4-16

・入力文字種別の切り替え

・カーソルの移動

・入力した文字の削除

・ひらがなと漢字の入力

・漢字への変換

・カタカナの入力

・アルファベットの入力

・数字や記号の入力

・入力の終了

・入力の中断

一時消音………………………… 4-21

サウンドの調整………………… 4-21

メッセージ画面………………… 4-21

・エラーメッセージ画面

MP3 について ………………… 4-22

・MP3 とは？

・再生可能なファイル

・再生可能なサンプリングレート・ビットレート

対応メディア…………………… 4-22

・再生できる CD

・再生できる DVD

・ディスク取り扱いの注意

・音飛びについて

・結露（露つき）について

・特殊形状のディスクについて

メモリーカードについて……… 4-25

・対応カード

・取り扱いの注意

オーディオを再生する

COMAND システムでは以下の音楽ソースを再生できます。

- 音楽 CD
- DVD オーディオ＊
- CD、メモリーカードに記録された MP3
- ミュージックレジスター

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ ON を押します。

COMAND システムが起動します。

▶ ファンクションスイッチのオーディオスイッチ DISC RADIO を押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " **オーディオ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

音楽ソースが聞きたいものでなかったときは、再度アプリケーションエリアで " **オーディオ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

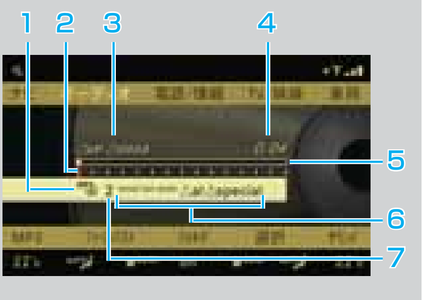
オーディオメニューが表示されます。

▶ オーディオメニューで聞きたい音楽ソースを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

基本画面

COMAND ディスプレイの表示



1 音楽ソース表示

- ：音楽 CD を再生しています。
- ：CD に記録された MP3 を再生しています。
- ：DVD オーディオを再生しています。
- ：メモリーカードに記録された MP3 を再生しています。
- ：ミュージックレジスターに録音された音楽データを再生しています。

2 再生されている曲の曲順表示

スケール（白色）はディスクやフォルダ、アルバムに収納されている曲数のインジケーターで区切られています。再生中の曲のインジケーターが赤く表示されます。

3 トラック / 曲名表示

再生中の曲に曲名が登録されているときは、曲名が表示されます。

4 経過時間表示

5 経過時間のグラフ表示

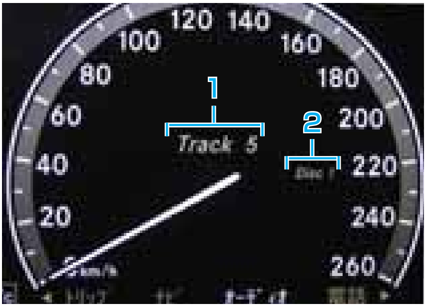
6 アルバム名 / フォルダ名表示

MP3 を再生しているとき、MP3 がフォルダに収納されているときはフォルダ名が表示されます。
フォルダ名の長さにより、複数階層のフォルダが表示されます。

7 スロット番号表示

再生しているディスクのスロット番号が表示されます。

マルチファンクションディスプレイの表示



マルチファンクションディスプレイのメインメニューで "ｵｰﾃﾞｨｵ" を選択すると、オーディオの作動状況が表示されます。

1 再生中のトラック / 曲名表示

再生中の曲に曲名が登録されているときは、曲名が表示されます。

2 音楽ソース表示

"Disc1" ～ "Disc6"

再生しているディスクのスロット番号が表示されます。

"Memory card"

メモリーカードに記録されたMP3を再生しているときに表示されます。

"HDD"

ミュージックレジスターに記録された音楽データを再生しているときに表示されます。

音楽ソースの切り替え

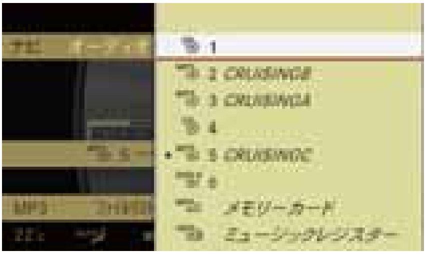
▶ メインエリアが選択されているときに、コントローラーを押します 。

または

▶ サブメニューエリアで "**選択**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 再生したい音楽ソースを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在選択されている音楽ソースの左側には "•" が表示されています。



知識

- 再生を中止（他モードにするなど）した後、再び再生を始めると、中止した位置から再生されます。
- 選択されているディスクは繰り返し再生されます。ディスクの最後の曲を再生した後に、次のディスクを再生することはありません。

  音楽ソースを切り替えるときはサブメニューエリアの "**選択**" から選択してください。

聞きたい曲を選ぶ

（各音楽ソース共通の操作）

次の曲を再生する

▶ メインエリアでコントローラーを右にスライドさせるか◎➡、時計方向に 1 クリック分まわします◎。

または

▶ ステアリングスイッチ◀ ▶を押して、マルチファンクションディスプレイのメインメニューで "**ｵｰﾃﾞｨｵ**" を選択し、ステアリングスイッチ▲を押します。

または

▶ 後席アームレストの選曲スイッチ⏭ ＊（1-13）を押します。

再生中の曲の頭出しをする

▶ コントローラーを左にスライドさせるか⬅◎、反時計方向に 1 クリック分まわします◎。

  繰り返し左にスライドさせるか⬅◎、反時計方向にまわすと◎、前の曲を再生します。

または

▶ ステアリングスイッチ◀ ▶を押して、マルチファンクションディスプレイのメインメニューで "**ｵｰﾃﾞｨｵ**" を選択し、ステアリングスイッチ▼を押します。

または

▶ 後席アームレストの選曲スイッチ⏮ ＊（1-13）を押します。

早送りする

▶ コントローラーを右にスライドして保持します ◎➡ 。

早戻しする

▶ コントローラーを左にスライドして保持します⬅◎ 。

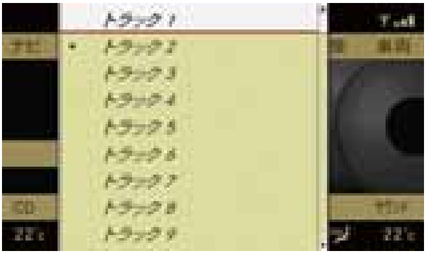
聞きたい曲を選ぶ

（音楽 CD ／DVD オーディオ＊再生時）

▶ サブメニューエリアで " **トラックリスト** " を選択して ⟲◎⟳ ・ ⬅◎➡ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 再生したい曲名 ／ トラックを選択して ⟲◎⟳ ・ ⬆◎⬇ 、コントローラーを押します ◎ 。

現在再生している曲 ／ トラックの左側には " • " が表示されています。



知識

- トラック操作は再生中の音楽ソース内で行なうことができます。
- CD Text のあるときは、タイトルが表示されます。
- Gracenote Database に該当する情報のある CD はアルバム名、タイトル名が表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

（MP3 再生時）

再生中のソースの中から選曲する

▶ サブメニューエリアで "**ファイルリスト**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 再生したい曲名 / トラックを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在選択されている曲 / トラックの左側には "•" が表示されています。

再生するフォルダを変更する

▶ サブメニューエリアで "**フォルダ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在再生されているフォルダの内容が表示されます。

▶ を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

1 上階層フォルダ名表示

フォルダ名の長さにより、複数階層のフォルダ名が表示されます。

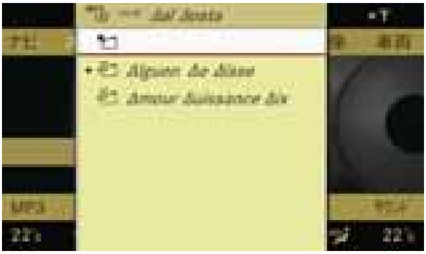
2 現在再生中のフォルダ名

現在再生されている曲 / トラックの左側には "•" が表示されています。

▶ 再生したいフォルダ名を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、さらにひとつ上の階層のフォルダを選択できます。

現在選択されているフォルダの左側には "•" が表示されています。



聞きたい曲を選ぶ

（ミュージックレジスター再生時）

▶ サブメニューエリアで "**アルバムリスト**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 再生したいアルバムを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在再生しているアルバムの左側には "•" が表示されています。

▶ 再生したい曲 / トラックを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在再生している曲 / トラックの左側には "•" が表示されています。

を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、再びアルバムを選択できます。

再生モードの選択

ノーマル再生、リピート再生、ランダム再生の 3 つの再生モードを選択できます。

再生モードの表示

1 再生モード表示

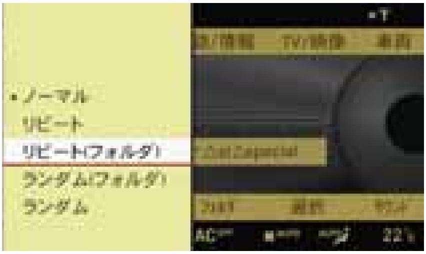
2 再生中の曲名 / トラック表示

再生モードの選択

▶ サブメニューエリア左側にある再生中の音楽ソース（下のイラスト例では "MP3"）を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 再生モードを選択して・、コントローラーを押します。

現在選択されている再生モードの左側には "•" が表示されています。



" ノーマル "
収録曲の順番に再生します。

" リピート " TRACK
現在再生している曲を繰り返して再生します。

" リピート (フォルダ) " FOLDER
(音楽 CD / DVD オーディオ* / MP3 再生時)

現在再生しているフォルダの中の収録曲を、収録順通りに繰り返して再生します。

" ランダム (フォルダ) " RDM. FOLDER
(音楽 CD / DVD オーディオ* / MP3 再生時)

現在再生しているフォルダの中の収録曲を、順不同に再生します。

" ランダム " RDM. TRACKS
現在再生している音楽ソースの中の収録曲を、順不同に再生します。

" ランダム " RDM. ALBUM
(ミュージックレジスター再生時)

現在再生しているアルバムの中の収録曲を、順不同に再生します。

" グループ "
(DVD オーディオ*再生時)
現在再生しているグループの収録曲を再生します。

ミュージックレジスター

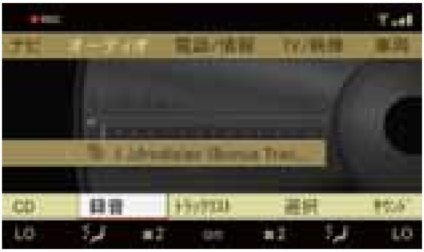
再生した音楽CDの音楽データをAACデータに変換し、COMANDシステムのハードディスクに録音します。

録音した音楽を再生できます。

最大で1800曲、999アルバムを録音できます。

ミュージックレジスターに音楽データを録音する

▶ 音楽ソースがCDでCD画面を表示しているときに、サブメニューエリアの"**録音**"を選択して・、コントローラーを押します。



▶ 録音モードを選択して・、コントローラーを押します。

現在、選択されている録音モードの左側には"•"が表示されています。

"常時録音"
再生した音楽CDの曲を自動的に録音します。

"1曲録音"
再生している曲だけを録音します。

"1曲録音"を選択して・、コントローラーを押すと、再生している曲は再び先頭から再生をはじめ、1曲だけ録音します。

"録音OFF"
音楽CDを再生しても録音されません。

知識

- 音楽CDの曲を録音しているときに、次曲を選曲したり、早送り / 早戻ししたときは、録音作業は停止します。
- COMANDシステムは再生・録音した音楽CDのデータを記憶しています。CDを再生したときは、録音の有無を判断し、すでにミュージックレジスターに録音してある曲の録音は行ないません。
- 再生しているアルバムが最後まで再生を終えると、同じアルバムの先頭に戻ります。

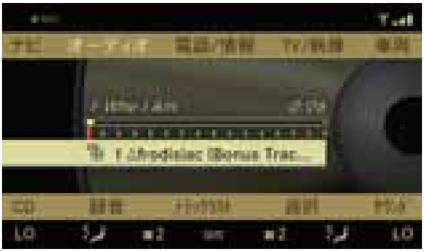
  自動的に次のアルバムは再生されません。

  次のアルバムを再生するときは"アルバムリスト"から選択してください（4-8）。

録音が行なわれているときのディスプレイ表示

録音が行なわれているときは、COMAND ディスプレイのステータスエリア左部に " ● **REC**" が点灯します。

録音モードが " **常時録音** " または " **1 曲録音** " で、すでにミュージックレジスターに録音されている音楽が再生されているときは、COMAND ディスプレイのステータスエリア左部に " ● REC" が暗く点灯します。



アルバム名について

ミュージックレジスターのアルバム名は、COMAND システムにインストールされている Gracenote Database に該当する情報があればアルバム名として設定され、該当する情報がない場合は音楽 CD を最初に録音したときの日時に設定されます。

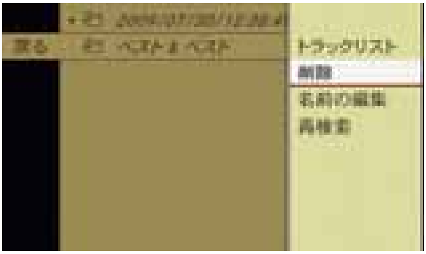
アルバムの削除 / アルバム名の編集

▶ サブメニューエリアで " **編集** " を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 削除 / 編集するアルバムを選択して 〔◎〕・↑◎↓、" **オプション** " を選択し ◎→、コントローラーを押します ◎ 。

アルバムの削除

▶ "**削除**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



▶ "**はい**" を選択して〔◎〕・←◎、コントローラーを押します◎。

アルバム名の編集

▶ "**名前の編集**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

▶ 文字入力画面で、アルバム名を編集します。

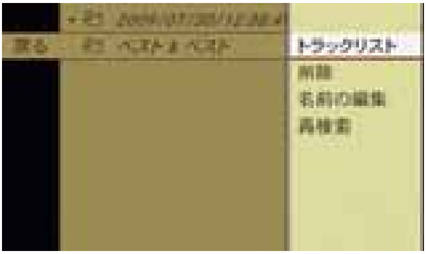
文字入力については **(4-16)** をご覧ください。

トラックの削除 / トラック名の編集

▶ サブメニューエリアで "**編集**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します◎。

▶ 削除 / 編集するトラックが含まれているアルバムを選択して〔◎〕・↑◎↓、"**オプション**" を選択し◎→、コントローラーを押します◎。

▶ "**トラックリスト**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。



▶ 削除 / 編集するトラックを選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。

トラックの削除

▶ "**削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

トラック名の編集

▶ "**名前の編集**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 文字入力画面で、トラック名を編集します。

文字入力については **(4-16)** をご覧ください。

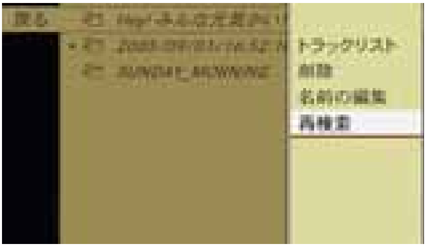
タイトル情報を再取得する

録音時に付与されたタイトル情報が実際と違っているときには、再度、Gracenote Database を検索し、該当する情報を付与することができます。

▶ サブメニューエリアで " **編集** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 再検索するアルバムを選択して ・ 、" **オプション** " を選択し 、コントローラーを押します 。

▶ " **再検索** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

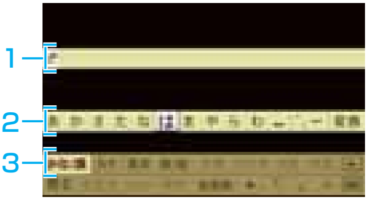


再検索を開始すると CD タイトル検索画面となり、検索されたアルバムタイトルが表示されます。

▶ 付与させたいタイトルを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

選択したアルバムタイトルに変更されます。

トラック / アルバム名の編集・入力



1 入力した文字 / 文の表示

2 入力文字表示

3 入力文字種別表示

入力文字種別の切り替え

▶ 入力文字種別表示で入力する文字の種別を選択します ・ 。

" かな / 漢 "
ひらがなを入力できます。また、入力したひらがなを漢字に変換できます。

" カナ "
カタカナを入力できます。全角 / 半角に切り替えることができます。

" 英字 "
アルファベットを入力できます。大文字 / 小文字、全角 / 半角に切り替えることができます。

" 数 / 記 "
数字や記号を入力できます。全角 / 半角に切り替えることができます。全角と半角では入力できる数字や記号の種類が異なります。

カーソルの移動

▶ ← ↑ ↓ → を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力した文字の削除

▶ 削除したい文字の右側にカーソルを移動して、 ← を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力した文字をすべて削除するときは、" **全削除** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

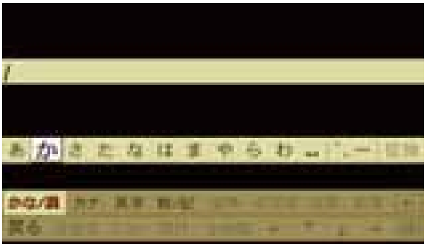
ひらがなと漢字の入力

▶ 文字入力種別から " **かな / 漢** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

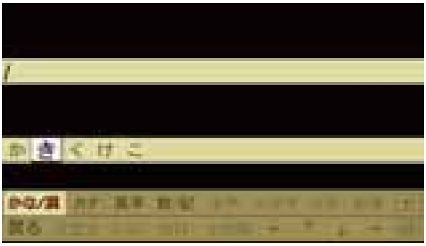
▶ 入力したい文字の行を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

「を」「ん」は、わ行から選択します。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

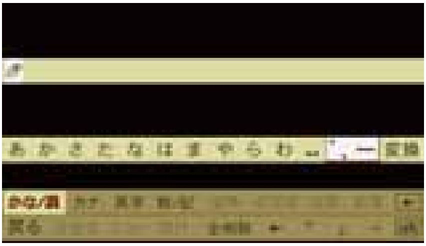


▶ 入力したい文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



文字が入力されます。

▶ 濁音文字や「ぱ」「ぴ」「ぷ」「ぺ」「ぽ」にする場合は、 ゜、ー を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

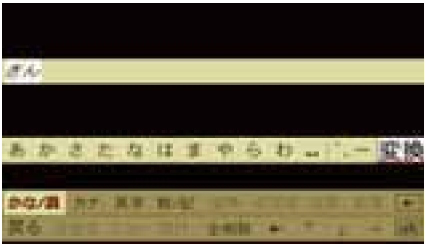


▶ 濁音記号などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

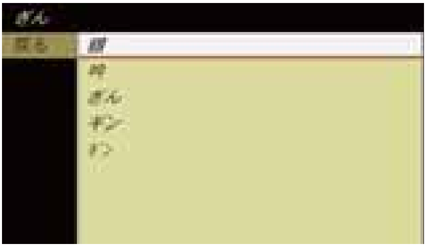
▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

漢字への変換

▶ 漢字に変換するときは、" **変換** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 変換する単語を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



カタカナの入力

▶ 文字入力種別から " **カナ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

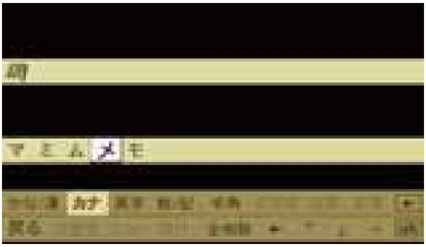
▶ 全角 / 半角を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力したい文字の行を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

「ヲ」「ン」は、ワ行から選択します。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

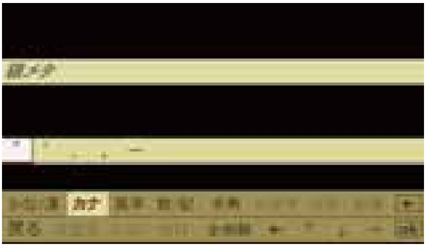
▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



文字が入力されます。

▶ 濁音文字や「パ」「ピ」「プ」「ペ」「ポ」にする場合は、 ゜、ー を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 濁音記号などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

アルファベットの入力

▶ 文字入力種別から " **英字** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **全角** " / " **半角** " および " **大文字** " / " **小文字** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

スペースを入力するときは、 ␣ を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

数字や記号の入力

▶ 文字入力種別から " **数 / 記** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **全角** " / " **半角** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

入力の終了

ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力の中断

▶ " **戻る** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **変更を保存しますか** " と表示されます。" **はい** " か " **いいえ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" **はい** "

アルバムもしくはトラックの名称が変更されます。

" **いいえ** "

アルバムもしくはトラックの名称は変更されず、以前の名称になります。

一時消音

一時消音するときは、ステアリングスイッチのを押します。

詳しくは **(1-18)** をご覧ください。

サウンドの調整

▶ サブメニューエリアで " **サウンド** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ サウンド調整画面が表示されます。サウンドの調整については **(1-27)** をご覧ください。

メッセージ画面

エラーメッセージ画面

「ディスクを挿入して下さい」

表示タイミング例
選択されているスロットにディスクが挿入されていない場合。

対処方法
ディスクを挿入してください。または、サブメニューエリアで " **選択** " を選択して、コントローラーを押し、スロットに挿入されているディスクを選択してください。

「しばらくお待ちください」
ディスクを挿入する準備をしているときや排出するときに表示されます。

> **知識**
>
> 同じように、表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

MP3 について

MP3 とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体の ISO と IEC の共同活動機関である MPEG が定めた音声圧縮規格です。

MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、データを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。

また、CD クオリティに近い音質を実現しても約 1/10 の圧縮率を得ることができます。（サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 128kbps の場合）

このような高圧縮率を実現している MP3 フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

再生可能なファイル

再生可能な MP3 ファイルは、拡張子が "mp3" です。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート
8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート
8kbps ～ 320kbps

ただし、ライティングソフトおよびサンプリングレートによっては正常に再生されない場合があります。

上記記載以外は動作を保証致しかねます。

対応メディア

COMAND システムで再生できるメディアは、音楽用 CD、CD-R、CD-RW、DVD オーディオ＊、カードアダプターを装着したメモリーカードなどです。

DVD-R ／ RW、DVD+R ／ RW、DVD-RAM は再生できません。

注意

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3 含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

再生できる CD

ディスクレーベル面に CD ロゴ（下記）の入ったものなど、JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

再生できる DVD

再生できる DVD は、下記のマークがラベル印刷面に記載されているものに限ります。

DVD VIDEO　DVD VIDEO　DVD AUDIO/VIDEO　DVD AUDIO

- 本システムはドルビーデジタルで記録された音声を再生できます。

DOLBY DIGITAL

- COMANDシステムはDTSに対応しています。

- COMANDシステムはDTS-CDは再生できません。
- DVDオーディオ対応アンプ装着車両では、DVDオーディオディスク内のビデオコンテンツは再生できません。
- DVDオーディオ非対応アンプ装着車両では、DVDオーディオディスク内のビデオコンテンツの再生ができます。

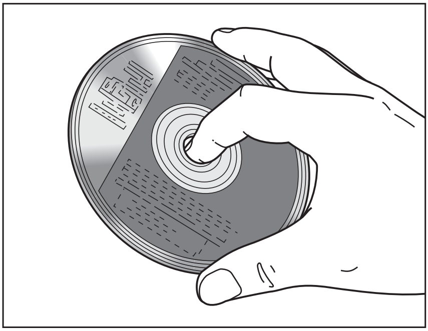
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

DTSは、米国Digital Theater Systems, inc.の登録商標です。

ディスク取り扱いの注意

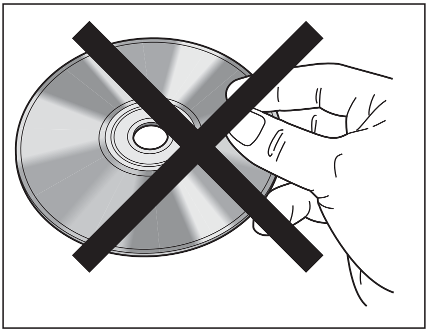
- ディスクを高温になる場所や直射日光が当たるところに放置しないでください。熱により変形することがあります。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクを手に持つときは、中心の穴と周囲の縁部分を支えるようにしてください。また、ディスクを曲げたりしないでください。



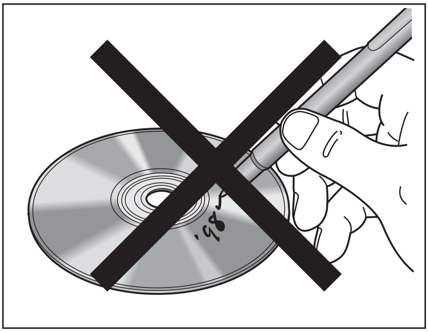
- 万一ディスク面が汚れたときは、水で湿らせた柔らかい布で中心部から外側に向けてふき取った後、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

- ディスクは合成樹脂でできていますので、アルコールやシンナー、ガソリンなどの揮発性溶液が触れないようにしてください。汚れがひどいときは、専用のクリーナー、あるいは中性洗剤の水溶液を使用してください。

- ディスク面に直接手を触れないでください。とくに虹色に輝く録音面（印刷ラベル面の裏側）に、傷や汚れがつくと正しく再生できなくなります。



- ディスク面に文字を書き込んだり、シールなどの異物を貼りつけたりしないでください。正しく再生できなくなります。



音飛びについて

踏切の通過時や未舗装路などの路面の状態によっては、振動により音飛びが起こることがあります。

音飛びが続くときは、再生を中断して路面状態がよくなってから再生を始めてください。

結露（露つき）について

低温時や雨降りの多湿時に本システム内部で結露することがあります。このようなときは、再生中に音飛びが起きたり、再生が中断されます。

自然乾燥により結露が解消するまで、一時的にディスク再生を中止してください。

特殊形状のディスクについて

ハート形や八角形など、特殊形状のディスクを使用しないでください。故障の原因になります。

注意

- シングル CD（8cmCD）は使用できません。
- ディスク以外は挿入しないでください。

メモリーカードについて

対応カード

PC カード（PC カードスタンダードに準拠したメモリーカード）、PC カードアダプター（SD メモリーカード、マルチメディアカード、コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティック、xD ピクチャーカード）

- PC カードは TYPE Ⅱ 仕様です。
- CardBus 仕様には対応していません。
- 組み合せなどにより読めないことがあります。

取り扱いの注意

- アダプターが必要なカードがあります。
- アダプターを使う場合はカードを直接押さないでください。
- アダプターを使う場合はアダプターごと取り出してください。
- 高温になる場所や、直接日光があたるところに放置しないでください。熱によりカードが故障することがあります。
- PC カードを利用したアプリケーションの作動中にカードを取り出さないでください。

5.　iPod®

iPod® を操作する ………………… 5-2
- 再生可能な iPod®
- iPod® の接続
- ステアリングスイッチ
- 再生モードの操作
- カテゴリー選択モードの操作
- ビデオの再生
- iPod® 使用時の携帯電話の使用

iPod® の機種やソフトウェアのバージョンによっては、iPod® を接続しても再生できない場合があります。

iPod® を操作する

グローブボックス内のケーブルにiPod® を接続して、音楽やビデオを再生することができます。

注意

iPod® を車内に残したままにしないでください。車内の温度変化などにより故障の原因になります。

再生可能な iPod®

COMAND システムでは、以下のiPod® を使用することができます。

- iPod®（第 4 世代 / 第 5 世代）
- iPod® photo
- iPod® video（5G）
- iPod® mini
- iPod® U2 Special Edition
- iPod® classic
- iPod® nano
- iPod® touch
- iPhone® 1）

1）iPhone® については、iPhone® の中の iPod® 機能を使用できます。

※ 上記の内容は 2010 年 9 月現在のものです。

以降の説明では、上記のモデルを総称して iPod® と呼びます。

iPod® を単独で使用する場合は、iPod® のユーザーガイドをご覧ください。

知識

- iPod® の機種やソフトウェア（iTunes®）のバージョンによっては、作動内容が本書の記載内容と異なる場合があります。
- iPod® を COMAND システムに接続すると、地上デジタル TV チューナーは自動的に使用できなくなります。
- テレビを視聴しているときに iPod® を COMAND システムに接続すると、iPod® の機種によっては、音声のみが iPod® に切り替わることがあります。
- iPod® を COMAND システムに接続しているときは、iPod® 本体のクリックホイールや iPod® 機能のタッチパネル操作はできません。
- ヘッドホンは iPod® から外してください。iPod® の機種によっては、iPod® にヘッドホンを接続した状態では、車両のスピーカーから音声が流れません。
- iPod® には常に最新のソフトウェアをインストールしてください。詳しくは iPod® ユーザーガイドをご覧ください。
- 最適かつ均一な音質を得るため、CD からの変換ソフトは iTunes® を使用してください。楽曲ファイルは iPod® のイコライザーポップ設定で再生してください。詳しくは iPod® のユーザーガイドをご覧ください。

知識

- COMAND システムに iPod® を接続しているときは、エンジンを始動すると、自動的に iPod® に充電されます。
- 接続した iPod® の充電残量が少ないときは、再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。
- iPod®、iTunes® は米国 Apple Inc. の登録商標です。

詳しくは iPod® のユーザーガイドをご覧ください。

iPod® の接続

⚠ 警告

- 安全のため、iPod® の接続は必ず停車中に行なってください。走行中に接続操作を行なうと、周囲の状況を認識できず、事故を起こすおそれがあります。
- 運転者は絶対にヘッドホンを着用した状態で走行しないでください。周囲の音を聞くことができず、事故につながるおそれがあります。

iPod® を接続する

▶ グローブボックスを開きます（車両の取扱説明書参照）。

▶ グローブボックス内のコネクターを iPod® に接続します。

iPod® が COMAND システムから操作できるようになります。

▶ COMAND システムの電源を ON にします。

▶ COMAND コントローラーを操作して、COMAND システムのアプリケーションエリアで **"TV/映像 "** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

iPod® の操作に切り替わり、iPod® のトラックやビデオが再生されます。

DVD ビデオモードになったときは、再度アプリケーションエリアで **"TV/ 映像 "** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

TV / 映像メニュー画面が表示されます。

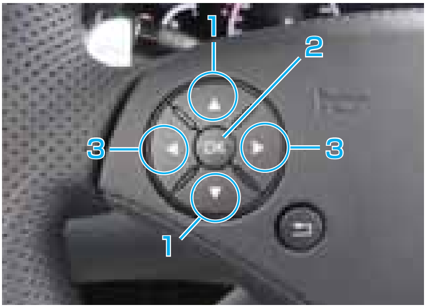
▶ TV/ 映像メニューで " **テレビ** " を選択して ◀◎▶・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

iPod® の操作に切り替わり、iPod® のトラックやビデオが再生されます。

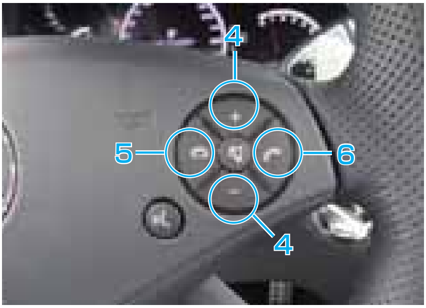
> **知識**
>
> - イグニッション位置が **0** のときは、iPod® の再生は行なわれません。
> - COMAND システムに iPod® を接続したときは、接続する前とは異なる設定で再生されることがあります。
> - COMAND システムに iPod® を接続したときに、iPod® のトラックがシャッフル再生されることがあります。カテゴリーリストからトラックを選択するときは（**5-8**）をご覧ください。
> - iPod® の接続時に、マルチファンクションディスプレイに " エラー " の表示が出た場合は、数回接続を繰り返すことにより、認識されることがあります。
>
>   何度接続しても認識されないときは、iPod® をリセットしてください。リセット機能について、詳しくは iPod® のユーザーガイドをご覧ください。

ステアリングスイッチ

左側スイッチ



右側スイッチ



iPod® の操作はステアリングスイッチにより行ないます。ステアリングスイッチで操作した内容がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

ステアリングスイッチの機能は、再生モードとカテゴリー選択モードで異なります（**5-5**）。

再生モード

1 スクロールスイッチ ▼

押す：

次のトラックまたはビデオを再生する

押して保持する：

再生中のトラックまたはビデオを早送りする

スクロールスイッチ ▲

押す：

前のトラックまたはビデオを再生する / 再生中のトラックまたはビデオの先頭から再生する

押して保持する：

再生中のトラックまたはビデオを早戻しする

2 OK スイッチ OK

再生を開始する

4 音量調整スイッチ ＋ −

音量を調整する

5 カテゴリー選択スイッチ

カテゴリー選択モードに切り替える

カテゴリー選択モード

1 スクロールスイッチ ▼ ▲

メニューを上下にスクロールする

2 OK スイッチ OK

選択を確定する

3 メインメニュー選択スイッチ ◀ ▶

マルチファンクションディスプレイのメインメニュー（"**オーディオ**" や "**ナビ**" 、"**設定**" など）を選択する

4 音量調整スイッチ ＋ −

音量を調整する

5 カテゴリー選択スイッチ

ひとつ上のカテゴリーに切り替える

6 再生モード選択スイッチ

再生モードに切り替える

再生モードの操作

音楽を再生する

▶ スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して、再生したいトラックを選択し、OK スイッチ OK を押します。

マルチファンクションディスプレイに曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。

次のトラックを再生する

▶ スクロールスイッチ ▼ を押します。

前のトラックを再生する

▶ スクロールスイッチ ▲ を押します。

知識

約 5 秒以上再生しているときは、再生されているトラックの先頭から再生を始めます。

早送りする

▶ スクロールスイッチ ▼ を押して保持します。

早戻しする

▶ スクロールスイッチ ▲ を押して保持します。

音量を上げる

▶ 音量調整スイッチ ＋ を押します。

音量を下げる

▶ 音量調整スイッチ − を押します。

カテゴリー選択モードの操作

再生したいトラックやビデオを iPod® のカテゴリーリストから選択できます。

以下のカテゴリーリストが表示されます。

シャッフル：

iPod® 内のすべてのトラックがランダム再生されます。

プレイリスト：

接続している iPod® のプレイリストが表示されます。

アーティスト：

アーティストを選択すると、選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

アルバム：

アルバムを選択すると、選択したアルバムのトラックリストが表示されます。

ジャンル：

ジャンルを選択すると、選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

曲：

記録されているすべてのトラックのリストが再生されます。

作曲者：

作曲者を選択すると、選択した作曲者のアルバムリストが表示されます。

オーディオブック：

オーディオブックに登録されている書籍のリストが表示されます。

Podcasts：

ポッドキャストに登録されているエピソードのリストが表示されます。

ビデオ：

接続している iPod® のビデオリストが表示されます。

ビデオには、さらに以下のカテゴリーがあります。

- ムービー
- ミュージックビデオ
- テレビ番組
- ビデオ Podcast
- レンタルムービー

ビデオの再生については **(5-9)** をご覧ください。

カテゴリーリストを表示する

▶ iPod® のカテゴリーリストが表示されるまで、カテゴリー選択スイッチ を数回押します。

マルチファンクションディスプレイにカテゴリーリストが短時間表示されます。

知識

- カテゴリー選択スイッチ を押すごとに、ひとつ上のカテゴリーが表示されます。
- 再生モード選択スイッチ を押して保持すると、再生モードに戻ります。
- カテゴリーリストを表示させてから約 12 秒間何も操作しないと、再生モードの表示に戻ります。

カテゴリーからトラックやビデオを選択する

▶ カテゴリーリストを表示します。

▶ スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して、希望のカテゴリーを選択し、OK スイッチ OK を押します。

▶ スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して、希望のアーティスト名やアルバム名などを選択し、OK スイッチ OK を押します。

▶ スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して、再生したいトラックやビデオを選択し、OK スイッチ OK を押します。

知識

- プレイリストやアルバムを選択し、OK スイッチ OK を押して保持すると、プレイリストやアルバムに含まれるトラックが再生されます。
- " 全アーティスト " や " 全アルバム "、" 全ジャンル " などを選択すると、すべてのアルバム名やトラック名、アーティスト名などが表示されます。
- スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して保持すると、アルバムやトラックなどのリストが速くスクロールします。リスト内のアイテム数にもよりますが、例えば、200 アイテム程度の場合では、10 タイトルずつのグループで表示されます。
- 接続している iPod® の機種やソフトウェア（iTunes®）のバージョンにより、表示されるカテゴリーが異なることがあります。

ビデオの再生

iPod® に記録されているムービーやテレビ番組、ビデオ Podcast などを再生することができます。

ビデオ再生可能なソフトウェアについて

ビデオ再生が可能な iPod® の機種とソフトウェア（iTunes®）のバージョンは以下の通りです。

iPod® の機種名	iTunes® のバージョン
iPod®（第 4 世代）	―
iPod®（第 5 世代）	1.2.0
iPod® photo	―
iPod® video（5G）	1.2.0
iPod® mini	―
iPod® U2 Special Edition	―
iPod® classic	1.0.3
iPod® 120GB classic	2.0.0
iPod® 160GB classic	2.0.4
iPod® nano（第 1 世代）	―
iPod® nano（第 2 世代）	―
iPod® nano（第 3 世代）	1.0.3
iPod® nano（第 4 世代）	1.0.2
iPod® nano（第 5 世代）	1.0.2
iPod® touch（第 1 世代）	2.0.0
iPod® touch（第 2 世代）	2.1.1
iPod® touch（第 3 世代）	2.1.1
iPhone®	2.1.0
iPhone® 3G	2.1.0
iPhone® 3GS	2.1.0

※ 上記の内容は 2010 年 9 月現在のものです。

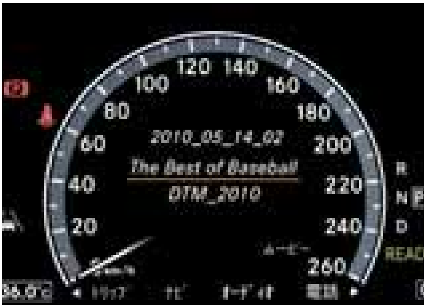
ソフトウェア（iTunes®）のアップデートについては、iPod® 販売代理店におたずねいただくか、iPod® のユーザーガイドをご覧ください。

ビデオを再生する

▶ カテゴリーリストを表示します。

▶ スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して、" ビデオ " を選択し、OK スイッチ OK を押します。

▶ スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して、希望のカテゴリーを選択します。



▶ スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して、再生したいビデオを選択し、OK スイッチ OK を押します。

マルチファンクションディスプレイにファイル名が表示され、COMAND ディスプレイに映像が表示されます。

次のビデオを再生する

▶ スクロールスイッチ ▼ を押します。

前のビデオを再生する

▶ スクロールスイッチ ▲ を押します。

> **知識**
>
> - 約 5 秒以上再生しているときは、再生されているビデオの先頭から再生を始めます。
> - チャプターの選択はできません。

早送りする

▶ スクロールスイッチ ▼ を押して保持します。

早戻しする

▶ スクロールスイッチ ▲ を押して保持します。

> **知識**
>
> スクロールスイッチ ▼ または ▲ を押して保持すると、早送り / 早戻しの速度が上がります。

音量を上げる

▶ 音量調整スイッチ ＋ を押します。

音量を下げる

▶ 音量調整スイッチ − を押します。

> **知識**
>
> ビデオの再生については、ご使用の iPod® のソフトウェア（iTunes®）のバージョンを確認してください **(5-9)**。

iPod® 接続時の携帯電話の使用

iPod® の接続時に電話を着信したり、電話を発信をすると、iPod® の音声が自動的にミュート（消音）になります。また、マルチファンクションディスプレイには " ミュート " と表示されます。

> **知識**
>
> iPhone® を COMAND システムのハンズフリー携帯電話として使用する場合は、別途 Bluetooth® 接続を行なってください **(6-8)**。

電話機能について、詳しくは **(6- 1 〜)** をご覧ください。

6.　電話

電話を操作する……………………… 6-2
- 利用するまえに
- 電話モードにする

基本画面………………………………… 6-5
- COMAND ディスプレイの表示
- マルチファンクションディスプレイの表示

電話を接続する……………………… 6-7
- 携帯電話をケーブルで接続する
- Bluetooth® 対応携帯電話を接続する

電話の発信・受信……………… 6-11
- 電話をかける
- 通話中の画面表示
- 一時的にマイクを停止する
- 通話を終える（電話を切る）
- 電話の着信

ステアリングスイッチからの電話の発信・着信………… 6-14

電話の発信方法………………… 6-15
- テレフォンキーパッドで電話番号を入力しての発信
- COMAND コントローラーで電話番号を入力しての発信
- 発信履歴からの発信
- 着信履歴からの発信
- 電話帳からの発信
- ステアリングスイッチからの発信

電話帳……………………………… 6-21
- 電話帳を呼び出す
- 検索画面
- 電話帳を検索する

履歴………………………………… 6-23
- 履歴を呼び出す
- 履歴表示を切り替える
- 履歴の番号をアドレス帳に登録する
- 履歴の番号をアドレス帳に追加する

設定（番号通知、着信音量、ダイアル音量）…………… 6-28
- 設定メニューを表示する
- 発信者番号通知機能
- 着信音量を設定する
- ダイアル音量を設定する

その他の機能…………………… 6-30
- 電話機能の ON / OFF
- 自局番号表示機能
- 応答保留機能
- ハンズフリーモードとプライベートモード

Bluetooth® 携帯電話とは…… 6-33
- Bluetooth® 電話機の使用時の注意ポイント
- Bluetooth® 操作の流れ
- Bluetooth® 通信の取り扱いについて
- Bluetooth® 対応携帯電話について

Bluetooth® 電話の切り替え… 6-35
- 別の携帯電話に接続する（未登録の携帯電話に接続する）
- 別の携帯電話に接続する（登録済みの携帯電話に接続する）

メッセージ画面………………… 6-36

電話を操作する

利用するまえに

携帯電話が正しく接続されていることを確認してください。

電話モードにする

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ ON を押します。

COMAND システムが起動します。

▶ 電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ TEL NAVI を押します。

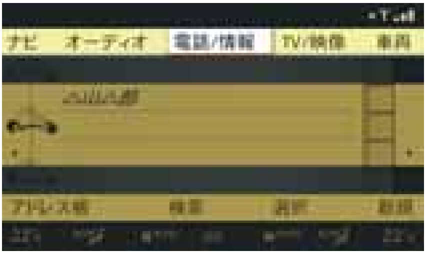
または

▶ アプリケーションエリアで **" 電話 / 情報 "** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

電話モードになります。

> 知識
>
> **" 電話 / 情報 "** の他のモードを選択していたときは、電話 / 情報メニュー（下部参照）で、**" 電話 "** を選択してください。

電話モードにならなかったときは、再度 **" 電話 / 情報 "** を選択して 、コントローラーを押します 。



電話 / 情報メニューが表示されます。

▶ 電話 / 情報メニューで **" 電話 "** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

電話モードになります。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に電話機の接続や、携帯電話本体の使用は避けてください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときにはあわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければならないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。
- 安全のため、走行中は電話番号を入力することはできません。走行中はステアリングスイッチからの電話帳、音声認識、履歴操作のみとなります。

知識

- 安全上の理由により、走行中に操作できない機能があります。
- COMAND システムのハンズフリー電話機能は、基本的には運転者専用になっており、マイクやスピーカーの配置も、運転者が正しい運転姿勢で座った状態を前提にしています。
- 走行中にドアウインドウやスライディングルーフ＊を開いていると、ハンズフリー通話を妨げるおそれがあります。
- 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 接続された携帯電話の機種によっては、異音が発生する場合がありますが故障ではありません。
- 接続された携帯電話本体からの操作による発信は正しく動作しない場合があります。
- 電話機の省電力モードが ON になっている場合、Bluetooth® が未接続になる場合があります。
- 一部の Bluetooth® 電話では電波状況を正しく表示できない場合があります。
- 電話機の設定によっては接続後にダイアルロックがかかる場合がありますのでオートロック機能を解除してからご利用ください。

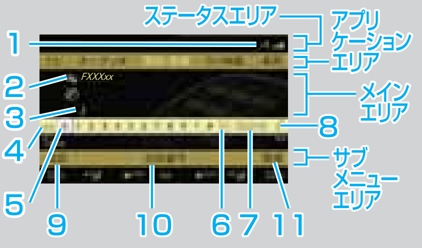
知識

- 次の場合は、ハンズフリーを使用して、電話をかけることができません。
  ◇通話エリア外のとき
  ◇回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
  ◇携帯電話が故障しているとき
  ◇携帯電話が接続されていないとき
  ◇携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
  ◇携帯電話の電源が OFF のとき
  ◇車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
  （切り替え中は車載機の Bluetooth® 接続状態が表示されません）
  ◇その他、携帯電話自体が使用できないとき
- 携帯電話をマナー（バイブレーター）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
- 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、携帯電話の機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることがあります。
- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
- 着信音については
  ①車両のスピーカーから聞こえる
  ②携帯電話から聞こえる
  ③両方から聞こえる
  など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が出力できないときは、車載機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
- ハンズフリーを使用するときの通話料はお客様のご負担になります。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります（故障ではありません）。
- 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

- 次のような場合は、通話相手にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - ◇悪路走行時
  - ◇高速走行時
  - ◇ウインドウを開いているとき
  - ◇エアコンの送風口を音声操作用マイクに向けたとき
  - ◇エアコンのファンの音が大きいとき
  - ◇携帯電話をマイクに近づけたとき
- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
  - ◇携帯電話で直接操作して発信した場合は、COMAND システムの発信履歴には登録されません。
  - ◇通話中の携帯電話を車載機に接続した場合、通話中の電話番号は発信履歴および着信履歴には登録されません。

基本画面

COMAND ディスプレイの表示



ステータスエリア

1　電波状況表示

電波の受信状態を表示します。

携帯電話を接続していないときは「未接続」と表示されます。

一部の Bluetooth® 携帯電話では電波状況を正しく表示できない場合がありますが、その場合は白枠で 3 本線が表示されます。

アプリケーションエリア

アプリケーションエリアの " **電話 / 情報** " には、以下の項目があります。

- **電話**

  電話をかけるときに使用します（6-2）。

- **アドレス帳**

  電話帳のほか、E メール送信や地図表示などに使用できます（7-2）。

- **E メール**

  プロバイダの E メールが送受信できます（8-2）。

- **インターネット**

  インターネットブラウジングができます（9-2）。

- **FM 多重放送**

  FM 文字多重放送を受信できます（10-2）。

メインエリア

2 接続機器名表示

Bluetooth® 接続された携帯電話の電話機本体に登録されている名称を表示します。

携帯電話がケーブルで接続されているときは表示されません（6-8）。

3 電話番号表示

入力した電話番号を表示します。

4. 通話終了 / 応答保留マーク

通話を終了するときや着信した電話を保留するときに使用します（6-13）。

5 番号入力エリア

COMAND コントローラーを操作して電話番号を入力します（6-16）。

6 矢印マーク

入力した番号を削除するときに使用します（6-16）。

7 電話帳

電話帳を呼び出すときに使用します（6-19）。

8 発信マーク

通話を開始するときに使用します（6-11）。

サブメニューエリア

9 電話

電話に関する各種の設定ができます。

- **Bluetooth 対応携帯電話**

  登録した携帯電話を表示します（6-35）。

- **ハンズフリー 解除**

  ハンズフリー通話を解除して、携帯電話本体で電話することができます（6-31）。

- **設定**

  番号通知の ON/OFF、着信音量の設定、ダイアル音量の設定ができます（6-28）。

10 自局番号

接続した携帯電話の番号を表示します（6-30）。

11 履歴

発信履歴、着信履歴を表示できます。発着信履歴から電話をかけることもできます（6-17、18）。

マルチファンクションディスプレイの表示

ステアリングスイッチ ◀ ▶ を押してマルチファンクションディスプレイのメインメニューで " 電話 " を選択すると、マルチファンクションディスプレイに電話の動作状況が表示されます。

1　待ち受け時の表示

このほかに電話番号、電話帳の名前、呼び出し、着信などを表示します。

電話を接続する

お手持ちの携帯電話を COMAND システムに接続します。

使用できる携帯電話など、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

携帯電話をケーブルで接続する

フロントアームレストの小物入れ内に、NTT ドコモの FOMA 端末に対応する FOMA アダプターケーブルを装備しています。

注意

- FOMA アダプターケーブルは FOMA 以外の携帯電話に接続しないでください。
- FOMA アダプターケーブルはすべての FOMA 端末には対応していません。また、携帯電話の外部入力端子の形状が異なる機種には使用できません。
- 携帯電話をうまく接続できないときは、無理に接続しないでください。携帯電話やケーブルを損傷するおそれがあります。

▶ フロントアームレストの小物入れ内にあるケーブルに携帯電話本体を接続します。

携帯電話本体が自動的に再起動して車両に認識され、ステータスエリアに電波の受信状況が表示されます。

> **知識**
>
> 携帯電話本体、コントローラー、ステアリングスイッチはそれぞれ独立して操作できるため、携帯電話本体の表示内容とCOMANDディスプレイ、マルチファンクションディスプレイの表示内容は連動しないことがあります。

Bluetooth® 対応携帯電話を接続する

Bluetooth® 対応携帯電話を利用すると、COMANDシステムと携帯電話本体を無線で接続することができます。

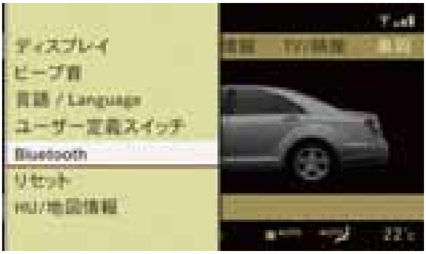
Bluetooth® 対応携帯電話について、詳しくは **(6-32)** をご覧ください。

▶ メインエリアが車両設定画面以外のときは、アプリケーションエリアで "**車両**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

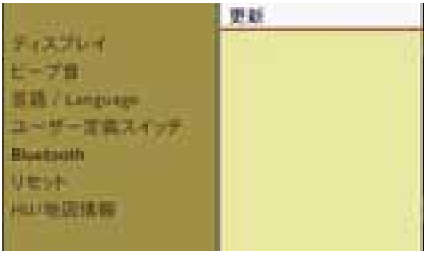
メインエリアが車両設定画面になります。

▶ サブメニューエリアで "**システム設定**" を選択して、コントローラーを押します 。

▶ "Bluetooth" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ " **更新** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



画面に以下のメッセージが表示されます。

知識

- パスキーとは、Bluetooth® 対応携帯電話との接続に使用する認証コードです。
- パスキーとして入力する４桁の番号は、携帯電話との接続時に使用します。
- HANDS FREE（自機）アドレスとは、車両ごとの COMAND に固有の 12 桁のデバイスアドレスです。

詳しくは(6-32)をご覧ください。

▶ コントローラーを操作して ・ ・ 、任意の４桁の番号（パスキー）を入力します。

▶ ４桁のパスキーを入力したら、ok を選択して、コントローラーを押します 。

画面に以下のメッセージが表示され、COMAND システムが Bluetooth® 機器からの検索待ち状態になります。

▶ Bluetooth® 対応の携帯電話端末から、Bluetooth® 対応機器（COMAND システム）の検索を行ないます。

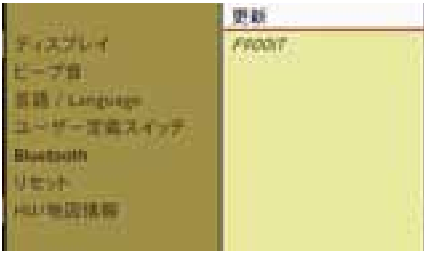
携帯電話からの操作により COMAND システムが検索されると、携帯電話の画面に "HANDS FREE" と表示されます。

※ 携帯電話の操作については、各携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

▶ 携帯電話の画面に表示された "HANDS FREE" を選択し、COMAND 上で入力した 4 桁のパスキーを入力します。

COMAND に携帯電話が認識されます。

携帯電話が認証されると、サブメニューエリアの "**システム設定**" から "**Bluetooth**" を選択すると、登録機器リストに携帯電話の電話機に登録されている名称が表示されます。



知識

- COMAND システムによる Bluetooth® 機器からの検索待ち時間は約 1 分 20 秒間です。その間に携帯電話端末から COMAND システムの検索を行なってください。タイムアウトになった場合は、画面にエラーメッセージが表示されます。再度、操作を行なってください。
- 携帯電話が Bluetooth® で無線接続されているときに、フロントアームレスト内のケーブルで携帯電話を有線接続すると、接続が有線接続された電話に切り替わり、Bluetooth® はオフになります。
- 携帯電話がケーブルで有線接続されているときは、Bluetooth® による携帯電話の無線接続はできません。
- 登録可能な Bluetooth® 対応携帯電話は 8 台までです。

電話の発信・受信

電話をかける

▶ COMAND ディスプレイに電話画面を表示 (6-2) させます。

▶ 電話番号を入力します。

- コントローラーでの入力（ ・ ・ ）
- テレフォンキーパッドでの入力 (6-16)

▶ 通話開始マークを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

または

▶ テレフォンキーパッドのを押します。

番号が発信されます。このとき、オーディオ音量・ナビゲーション音声案内は自動的にミュート（消音）になります。

知識

- 履歴や電話帳から発信することができます。
  ◇履 歴 か ら の 発 信 (6-17、18)
  ◇電話帳からの発信 (6-19)
  ◇ステアリングスイッチによる電話帳からの発信 (6-20)
- 走行中は一部の機能が使用できなくなります。

通話中の画面表示

電話を発信すると、相手の電話番号と通話時間が表示されます。

> **知識**
>
> - 相手の声の音量を調整するときは、ステアリングスイッチの ＋ － キー、またはファンクションスイッチの音量調整ダイヤルを操作します。
> - 通話時間のカウント方法は、各携帯電話会社によって異なります。

一時的にマイクを停止する

▶ 通話中にサブメニューエリアで "**マイク OFF**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

マイクを停止すると、相手からの声は聞こえますが、相手にこちら側の声が聞こえなくなります。また、メインエリアに が表示されます。

" マイク OFF" を解除する

▶ サブメニューエリアの "**マイク ON**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

通話を終える（電話を切る）

▶ 通話終了マーク を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

または

▶ ステアリングスイッチの 、テレフォンキーパッドの のいずれかを押します。

電話の着信

着信（電話がかかってくる）があるとスピーカーから着信呼び出し音が聞こえます。Bluetooth® 対応携帯電話を接続しているときは、携帯電話からも着信呼び出し音が聞こえます。

また、以下の着信メッセージが表示されます。

相手側が番号通知設定を ON にしているときは、着信相手先の電話番号が表示されます。

さらに相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、電話帳に登録している名前も表示されます。

着信した電話を受ける

▶ 画面の "**通話**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

または

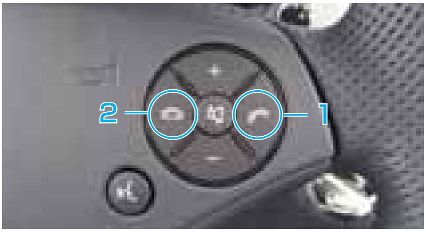
▶ ステアリングスイッチの 、テレフォンキーパッドの のいずれかを押します。

画面表示が通話中画面に切り替わり、オーディオ音量・ナビゲーション音声案内は自動的にミュートになります。

> **知識**
>
> - COMAND システムが電話モード以外のときでも電話を受けることができます。
> - 応答保留にするときは （6-30）をご覧ください。

ステアリングスイッチからの電話の発信・着信

ステアリングスイッチから電話の発信・着信ができます。



1 通話開始スイッチ

電話の発信 / 着信

2 通話修了スイッチ

電話の切断 / 応答保留

3 OK OK スイッチ

電話帳からの電話の発信

電話をかける

▶ ステアリングスイッチで電話帳のリストを選択し、を押します（6-20）。

電話が発信されます。

電話を受ける

▶ 着信呼び出し中にを押します。

電話を受けることができます。

応答を保留する

▶ 応答を保留したいときはを押します。

▶ 応答保留中に電話に出るときは、を押します。

▶ 応答保留中に電話を切るときは、を押します。

電話の発信方法

以下の方法があります。

- **テレフォンキーパッドで電話番号を入力しての発信**

  センターコンソールのテレフォンキーパッド（6-16）を押して、相手の電話番号を入力して発信します。

- **COMAND コントローラーで電話番号を入力しての発信**

  コントローラー（6-16）を操作して、相手の電話番号を入力して発信します。

> **知識**
>
> **走行中は電話番号の入力はできません。**

- **発信履歴からの発信**

  発信履歴として、発信した相手の電話番号を9件まで記憶していて、発信履歴のなかから選択して発信することができます（6-17）。

- **着信履歴からの発信**

  着信履歴として、かかってきた相手の電話番号を9件まで記憶していて、着信履歴のなかから選択して発信することができます（6-18）。

> **知識**
>
> **走行中は最後に発信した電話番号、または最後に着信した電話番号にのみ発信することができます。**

- **電話帳からの発信**

  あらかじめアドレス帳に登録した電話帳リストのなかから選択して発信することができます（6-19）。

> **知識**
>
> **走行中は操作できません。**

- **ステアリングスイッチからの発信**

  ステアリングスイッチから、電話帳を呼び出して発信することができます（6-20）。

- **音声認識からの発信**

  電話帳によみがなが登録されている場合は、音声認識により発信することができます。また、電話番号読み上げにより発信することができます（14-13）。

テレフォンキーパッドで電話番号を入力しての発信

▶ COMAND ディスプレイに電話画面を表示（6-2）させます。

▶ テレフォンキーパッドを押して、数字を入力します。

入力した番号を修正するときは、CLEAR キーを押します。

短く（約 2 秒以下）押すと、1 文字削除されます。

長く（約 2 秒以上）押すと、すべての文字が削除されます。

▶ 電話番号を入力したら、テレフォンキーパッドの ☎ を押します。

電話が発信されます。

> **知識**
>
> **走行中は電話番号の入力はできません。**

COMAND コントローラーで電話番号を入力しての発信

▶ COMAND ディスプレイに電話画面を表示（6-2）させます。

▶ 番号入力エリアで数字を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

入力した番号を修正するときは、画面の ← を押します。

短く（約 2 秒以下）押すと、1 文字削除されます。

長く（約 2 秒以上）押すと、約 0.5 秒ごとに 1 文字づつ削除されます。

▶ 電話番号を入力したら、を選択して ・、コントローラーを押します 。

電話が発信されます。

知識

走行中は電話番号の入力はできません。

発信履歴からの発信

発信した電話番号の履歴から電話を発信することができます。

発信履歴は 9 件まで記憶されます。

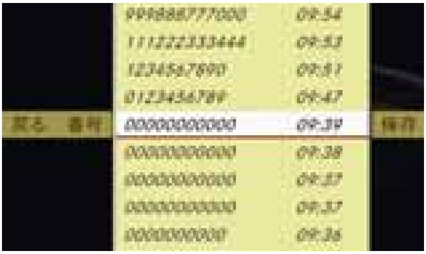
▶ 電話画面のとき、サブメニューエリアで "**履歴**" を選択して ・、コントローラーを押します 。

▶ "**発信**" を選択して ・、コントローラーを押します 。

発信履歴が表示されます。

▶ 発信したい電話番号を選択して(◎)・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

電話が発信されます。



知識

- 発信履歴はエンジンスイッチからキーを抜いたときや、COMAND システムを OFF にしたときに削除されます。
- 発着信履歴がない場合は、"履歴" を選択することはできません。また、発信履歴がない場合は、"発信" を選択することはできません。
- アドレス帳に名前が登録されている場合は、名前が表示されます。
- 停車中に限り、リストにある電話番号をアドレス帳に登録することができます。その場合は、登録したい電話番号を選択し、"保存" を選択して◎→、コントローラーを押して登録してください（6-24）。
- 走行中は、最後にかけた電話番号のみ発信することができます。

着信履歴からの発信

かかってきた電話番号の履歴から電話を発信することができます。

着信履歴は 9 件まで記憶されます。

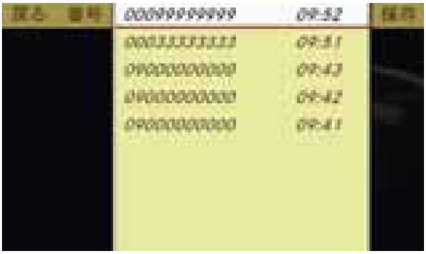
▶ 電話画面のとき、サブメニューエリアで "**履歴**" を選択して(◎)・←◎→、コントローラーを押します◎。

▶ "**着信**" を選択して(◎)・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

着信履歴が表示されます。

▶ 発信したい電話番号を選択して ◎ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

電話が発信されます。



知識

- 着信履歴はエンジンスイッチからキーを抜いたときや、COMAND システムを OFF にしたときに削除されます。
- 発着信履歴がない場合は、" 履歴 " を選択することはできません。また、着信履歴がない場合は、" 着信 " を選択することはできません。
- アドレス帳に名前が登録されている場合は、名前が表示されます。
- 停車中に限り、リストにある電話番号をアドレス帳に登録することができます。その場合は、登録したい電話番号を選択し、" 保存 " を選択して ◎→ 、コントローラーを押して登録してください **(6-24)**。
- 走行中は、最後にかかってきた電話番号のみ発信することができます。ただし、最後にかかってきた番号が非通知の場合は発信できません。

電話帳からの発信

アドレス帳に電話番号が登録されている場合は、電話帳から発信することができます。

COMAND システムまたはマルチファンクションディスプレイのどちらでも操作することが可能です。

アドレス帳のメモリ登録については **(7-8)** をご覧ください。

▶ 電話画面のとき、メインエリアで " **電話帳** " を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

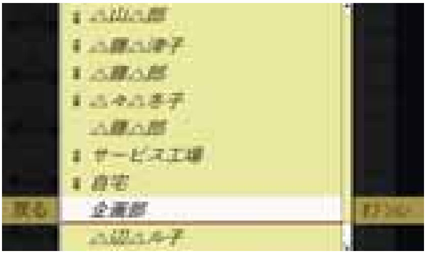
検索画面が表示されます。

▶ カナ文字入力から、よみがなを入力します。

入力については **(7-7)** をご覧ください。

▶ ok を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 検索した名前または電話番号を選択して ◎ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



電話番号が表示されます。

▶ 再度、コントローラーを押します ◎ 。

電話が発信されます。

ステアリングスイッチからの発信

電話帳が登録されているときは、ステアリングスイッチで電話を発信することができます。

▶ ステアリングスイッチの ◀ または ▶ を押して、マルチファンクションディスプレイ下部のメインメニューを " 電話 " に合わせます。

電話メニューが選択されていると、携帯電話が接続されているときは " 待ち受け " と表示されます。

▶ ステアリングスイッチの ▲ または ▼ を押すと、マルチファンクションディスプレイにリストが表示されます。

▶ ▲ または ▼ を押して、発信先を選択します。

選択された発信先は文字が明るくなり、オレンジ色の下線が表示されます。

▶ ステアリングスイッチの OK を押します。

電話が発信されます。

電話帳

COMAND システムの電話帳は、アドレス帳データのうちの名前と電話番号で構成されています。

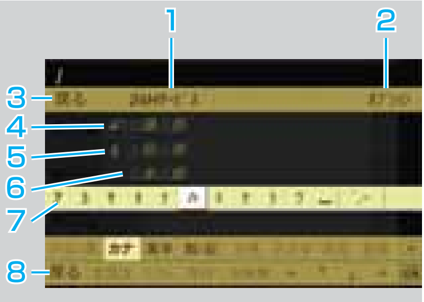
電話帳の機能を利用する前に、アドレス帳に必要項目を登録してください（7-8）。

電話帳を呼び出す

▶ 電話画面のとき、メインエリアで " **電話帳** " を選択して ◎ ・ ◎ 、コントローラーを押します ◎ 。

検索画面が表示されます。

検索画面



1 電話帳リスト
2 オプションメニュー
3 電話帳リストから検索画面に戻る
4 ボイスダイアルアイコン（6-23）
5 一時データアイコン
6 電話帳リストの続き
7 入力文字候補
8 検索画面から電話画面に戻る

- ボイスダイアルのアイコンを除き、アイコンの付いていない名前は、COMAND システムのアドレス帳に登録されたデータです。
- アイコン 4 の付いた名前は、ボイスダイアルが設定されています。
- アイコン 5 の付いた名前は、携帯電話本体から COMAND システムにダウンロードした電話帳の一時ファイルです。

電話帳を検索する

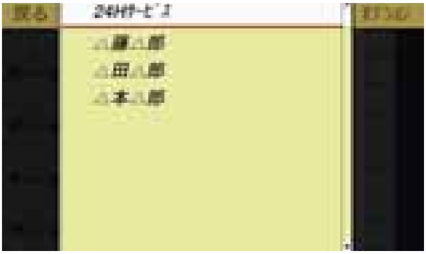
▶ 検索画面を表示します。

▶ カナ文字入力から、よみがなを入力します。

入力については（7-7）をご覧ください。

▶ ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

検索リストが表示されます。



履歴

着信履歴、発信履歴の呼び出しや履歴の詳細を確認することができます。

履歴を呼び出す

▶ 電話画面のとき、サブメニューエリアで "**履歴**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**発信**" または "**着信**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

> 知識
>
> 携帯電話本体の履歴を表示することはできません。

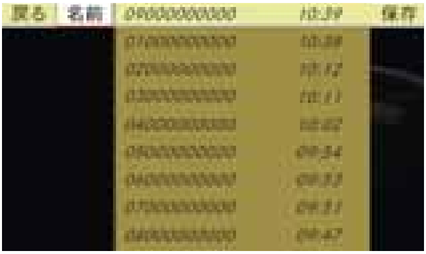
履歴表示を切り替える

履歴表示を、名前または電話番号の表示に切り替えることができます。

> 知識
>
> 名前の表示は、アドレス帳に電話番号と名前が登録されているときに表示されます。

名前表示に切り替える

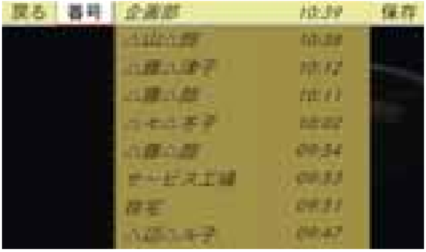
▶ 画面が電話番号表示のとき、"**名前**" を選択して 、コントローラーを押します 。



履歴が名前表示に切り替わります。

番号表示に切り替える

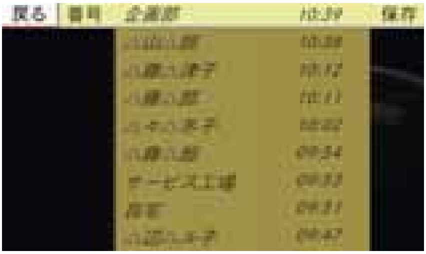
▶ 画面が名前表示のとき、"**番号**" を選択して 、コントローラーを押します 。



履歴が番号表示に切り替わります。

履歴画面を閉じる

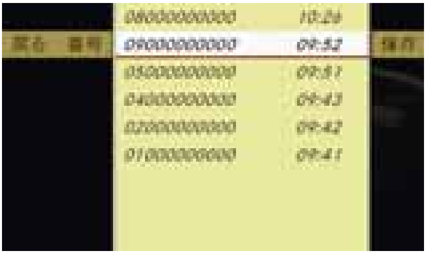
▶ "**戻る**" を選択して 、コントローラーを押します 。



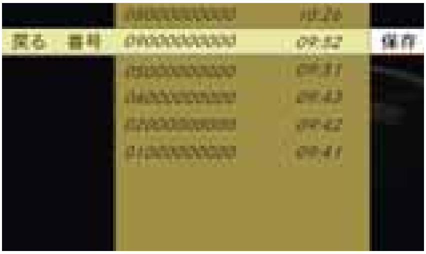
履歴の番号をアドレス帳に登録する

履歴の番号がアドレス帳に登録されていない場合は、番号をアドレス帳に登録することができます。

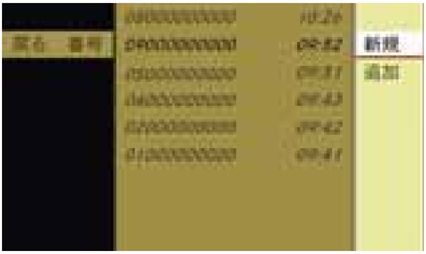
▶ 登録したい電話番号を選択します ・ 。



▶ "**保存**" を選択して 、コントローラーを押します 。

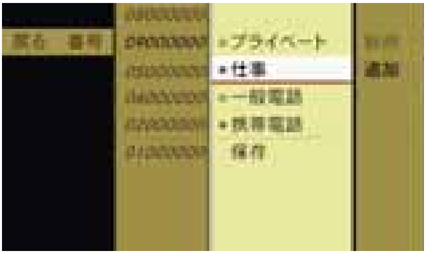


▶ "**新規**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 電話帳の種別を選択します ・ 。

選択したい種別のところでコントローラーを押すと 、ボックスにチェックマークが表示され、選択されます。

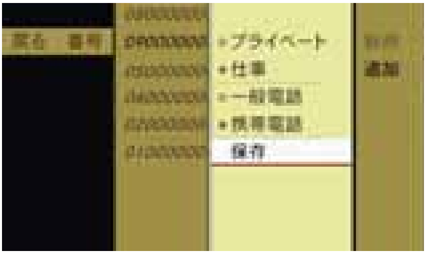


電話帳の種別は以下の通りです。

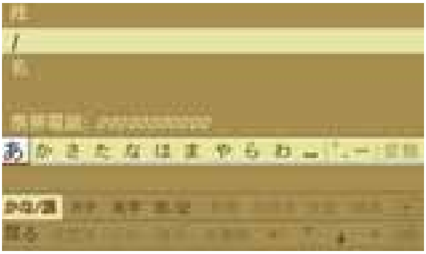
- **プライベート / 仕事**
- **一般電話 / 携帯電話**

電話番号は種別ごとのフォルダに格納されます。

▶ "**保存**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



アドレス帳入力画面に切り替わります。



▶ "**姓**" を入力します ・ ・ 。

文字入力については（**7-5**）をご覧ください。

▶ 入力後、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ メインエリアの入力文字表示を選択します 。

▶ "**名**" を入力します ・ ・ 。

文字入力については（**7-5**）をご覧ください

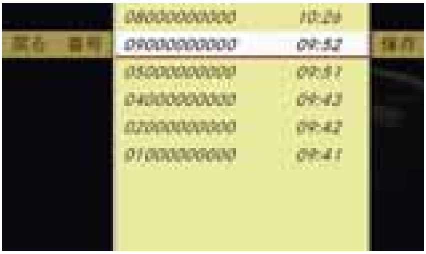
▶ 入力後、 ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

アドレス帳に登録されます。

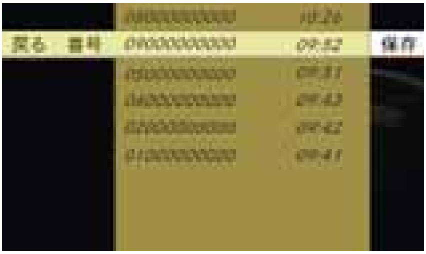
履歴の番号をアドレス帳に追加する

登録済みのアドレス帳に履歴の番号を追加することができます。

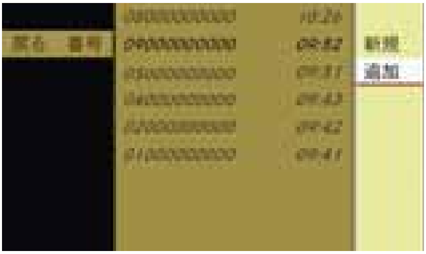
▶ 登録したい電話番号を選択します · 。



▶ " **保存** " を選択して 、コントローラーを押します 。

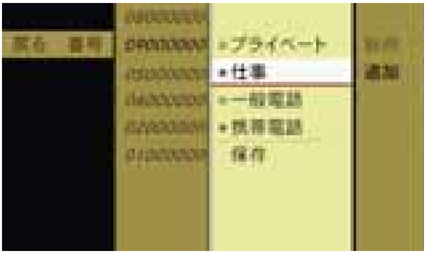


▶ " **追加** " を選択して · 、コントローラーを押します 。



▶ 電話帳の種別を選択します · 。

選択したい種別のところでコントローラーを押すと 、ボックスにチェックマークが表示され、選択されます。

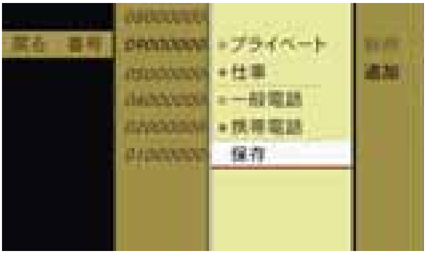


電話帳の種別は以下の通りです。

- **プライベート / 仕事**
- **一般電話 / 携帯電話**

電話番号は種別ごとのフォルダに格納されます。

▶ "**保存**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



検索画面が表示されます。

▶ アドレス帳のリストを検索します。

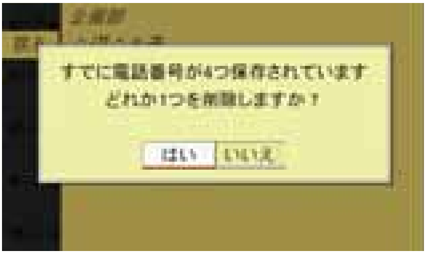
▶ 目的の名前が表示されたら、コントローラーを押します 。

電話番号が追加登録されます。

知識

電話帳には、"プライベート"、"仕事" のそれぞれの種別ごとに、一般電話と携帯電話の番号を合計で４件登録させることができます。それぞれの種別に電話番号がすでに４件登録されている場合は、画面に "すでに電話番号が４つ保存されています　どれか１つを削除しますか？" と表示されます。このとき、"はい" を押すとデータが上書きされ、"いいえ" を押すと番号の登録はキャンセルされます。

▶ 電話番号がすでに４件登録されている場合は、"**はい**" または "**いいえ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



"**はい**" を選択すると、新しい電話番号が上書きされて登録されます。

設定（番号通知、着信音量、ダイアル音量）

発着信に関する設定を行なうことができます。

設定メニューを表示する

▶ 電話画面のとき、サブメニューエリアで "**電話**" を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**設定**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

発信者番号通知機能

発信先の相手にこちらの電話番号を通知するかしないかを設定できます。

> 知識
>
> - Bluetooth® 対応携帯電話の場合は、電話機本体の設定が適用されます。この機能は選択できません。
> - 携帯電話の機種によっては、本システムによる設定が適用されない場合があります。

▶ 設定メニューの "**番号通知**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

コントローラーを押すたびに、ボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。

番号を通知する

ボックスにチェックマークを入れます。

番号を通知しない

ボックスのチェックマークを外します。

着信音量を設定する

▶ 設定メニューの " **着信音量** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ ＋５からー５の範囲で着信音量を調整します ・ 。

知識

着信中は、ステアリングスイッチの ＋ − を押して、着信音量を調整できます。

ダイアル音量を設定する

▶ 設定メニューの " **ダイアル音量** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ ＋５からー５の範囲でダイアル音量を調整します ・ 。

知識

携帯電話の種類によっては、設定を変更してもダイアル音量が変わらない場合があります。

その他の機能

自局番号表示機能

基本画面のほかに通話中画面でも自局番号を表示することができます。

自局番号を表示する

▶ 電話画面のとき、サブメニューエリアで "**自局番号**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

接続されている携帯電話の番号が表示されます。

> 知識
>
> 電話機によっては表示されない場合があります。

自局番号の表示を消す

▶ 再度、サブメニューエリアで "**自局番号**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

自局番号の表示が消えます。

応答保留機能

着信を一時的に保留できます。このとき相手側には、携帯電話会社による保留アナウンスが流れます。

応答を保留する

▶ 電話が着信しているときに、"**応答保留**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

応答保留になり、相手側にアナウンスが流れます。

▶ 応答保留中に電話に出るときは、コントローラーで通話開始マーク を選択して ・ 、コントローラーを押します。

▶ 応答保留中に電話を切るときは、再度コントローラーで "**応答保留**" を押します。

> 知識
>
> - ステアリングスイッチ、またはテレフォンキーパッドの でも応答保留操作ができます（6-14）。
> - 応答保留中は電話回線が接続されていますので、相手側の通話料金は加算され続けます。

ハンズフリーモードとプライベートモード

Bluetooth® 対応携帯電話を接続しているとき、会話の内容を乗員に聞かせたくないような場合は、ハンズフリー通話から携帯電話本体での通話に切り替えることができます。

ハンズフリーモード

車内のマイクとスピーカーにより、携帯電話本体を手に持たずに会話できるモードです。会話の内容が車内に聞こえます。

プライベートモード

携帯電話本体を手に持って会話するときのモードです。会話の内容は車内に聞こえません。

- **プライベートモードに切り替える**

  切り替えは通話中にのみ行なえます。

▶ 電話画面のとき、サブメニューエリアで "**電話**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

> 知識
>
> 走行中は操作できません。

▶ "**ハンズフリー解除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ハンズフリー通話が解除され、携帯電話本体での通話に切り替わります。

また、画面が以下のように表示されます。

ハンズフリーモードに戻す

▶ 画面に "**プライベートモード**" と表示されているときに、"**ハンズフリー**" を選択して、コントローラーを押します 。

プライベートモードが解除され、ハンズフリーモードに戻ります。

注意

運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。

Bluetooth® 携帯電話とは

Bluetooth® とは、携帯電話や周辺機器、ハンズフリー対応機器などとの間を無線で接続し、ケーブルを使用しないでデータをやりとりする技術です。

携帯電話をカバンなどに入れたまま通信できるので、携帯電話をケーブルで接続する必要がありません。

機器登録を行なうと、次回からは携帯電話本体の Bluetooth® をあらかじめ起動しておくことにより、自動的に接続することができます。

- **ハンズフリー通話**

  COMAND システムとの間で Bluetooth® 接続を行ない、ハンズフリー通話をすることができます。

- **E メール / インターネット**

  携帯電話を介して、プロバイダ契約をした E メールを送受信したり、インターネットブラウジングをすることができます（**8-2、9-2**）。

- **電話帳データ送信**

  Bluetooth® 接続により、携帯電話に登録されている電話帳データを COMAND システムにダウンロードすることができます。ただし、一部機種ではダウンロードできない場合があります（**7-18**）。

知識

Bluetooth® 対応携帯電話であっても、一部機種では COMAND システムに接続できなかったり、電話帳データをダウンロードできない場合があります。

Bluetooth® 電話機の使用時の注意ポイント

- 携帯電話の登録をすると、最後に登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイアルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFP に対応していない携帯電話は、車載機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP のみのサービスはご利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetooth® 携帯電話を COMAND システムに近づけて使用しないでください。近づきすぎると、音質が劣化したり、接続状況が悪化することがあります。
- Bluetooth® 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth® 携帯電話は、Blue-tooth® 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth® 操作の流れ

- はじめに COMAND システムに Bluetooth® 対応携帯電話を登録します **(6-8)**。

- ハンズフリー通話とEメール／ブラウザの場合は、COMANDシステムの電源をONにし、携帯電話本体のBluetooth® を起動して、Bluetooth® 対応携帯電話を接続します **(6-8)**。
- 電話帳のダウンロードの場合は、COMANDシステムのダウンロード操作を行なってから、携帯電話本体の電話帳の送信操作を行ないます **(7-18)**。

Bluetooth® 通信の取り扱いについて

- Bluetooth® 対応機器は、2.4GHz帯の周波数帯を使用して無線通信を行なっています。この周波数帯はさまざまな機器が共有しているため、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器からの影響により、通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth® 対応機器により、通信速度や通信距離はそれぞれ異なります。

Bluetooth® 対応携帯電話について

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 対応 Bluetooth® 仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1以上（Ver.1.2以上を推奨）

■対応 Profile

- OPP（Object Push Profile）Ver1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver1.1
- HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0

Bluetooth® はBluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

Bluetooth

Bluetooth® ワールドマークとロゴはBluetooth SIG所有です。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

デバイスアドレス
Bluetooth® 機器に固有の識別アドレス
パスキー
Bluetooth® 機器を登録する際のパスワード
機器登録
Bluetooth® 機器同士が通信するためにお互いの機器情報を登録する処理
検索
機器登録のために行なう検索

Bluetooth® 電話の切り替え

COMANDシステムには最大8台までのBluetooth® 対応携帯電話が登録可能で、現在接続されている携帯電話から、別の携帯電話に接続し直すことができます。

1台の車を複数のユーザーが使い分けるときなどに便利です。

> **知識**
>
> 走行中は操作できません。

別の携帯電話に接続する（未登録の携帯電話に接続する）

▶ 未登録の携帯電話と接続するときは、システム設定でBluetooth® 機器の検索を行ない、接続させてください（6-8）。

別の携帯電話に接続する（登録済みの携帯電話に接続する）

▶ 電話画面のとき、サブメニューエリアで "**電話**" を選択して ⟲◎⟳ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**Bluetooth 対応携帯電話**" を選択して ⟲◎⟳ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

登録済みの機種名が表示され、接続中の機種名の左側には "•" が表示されます。

▶ 新たに接続する携帯電話本体のBluetooth® 機能がONになっていることを確認します。

> **知識**
>
> 接続中の機種名を選択してコントローラーを押すと、接続が解除されます。

▶ 新たに接続する携帯電話本体の機種名を選択して（◎）・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

Bluetooth® 接続がいったん解除され、以下の画面が表示されます。

数秒後、新たに接続する携帯電話に接続されます。

> **知識**
>
> - 別の携帯電話と接続したときは、"Bluetooth 対応携帯電話" を選択して（◎）・↑◎↓、コントローラーを押すと◎、新たに接続された機種名の左部に "•" が表示されます。
> - Bluetooth® 接続が解除された後、別の Bluetooth® 対応携帯電話に接続されないときは、新たに接続する携帯電話の Bluetooth® 機能が OFF になっているか、COMAND システムとの自動接続が選択されていない可能性があります。このときは、携帯電話の Bluetooth® 設定を確認してください。

メッセージ画面

「走行中は操作できません」

表示タイミング例

走行中に操作できない項目を操作しようとしたときに表示されます。

対処方法

安全のため、走行中は操作できない項目があります。駐 / 停車時に操作してください。

> **知識**
>
> 同じように、電話モード画面表示中に表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

7. アドレス帳

アドレス帳とは……………………… 7-2

基本画面……………………………… 7-2
- 画面表示の説明

基本操作……………………………… 7-3
- アドレス帳モードにする
- アドレス帳を検索する

アドレス帳のメモリ登録・編集・削除……………………… 7-5
- アドレス帳入力画面
- メモリの種別
- 入力文字種別の切り替え
- カーソルの移動
- 入力した文字の削除
- ひらがなと漢字の入力
- 漢字への変換
- カタカナの入力
- アルファベットの入力
- 入力の終了
- 入力の中断
- 新規に登録データを作成する
- アドレス帳の登録データを編集する
- アドレス帳の登録データを削除する

電話帳をダウンロードする…… 7-17
- 一時ファイルとは
- 携帯電話から電話帳をダウンロードする
- Bluetooth® 携帯電話から電話帳をダウンロードする
- メモリーカードから電話帳をダウンロードする
- 一時ファイルをシステムに保存する

その他の機能……………………… 7-23
- 音声認識
- ボイスダイアルの設定
- アドレス帳の表示を切り替える
- リストの詳細を表示する
- アドレス帳からの操作

メッセージ画面………………… 7-28

Bluetooth® 携帯電話からダウンロードした電話帳では、音声認識機能や検索機能が利用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店、またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

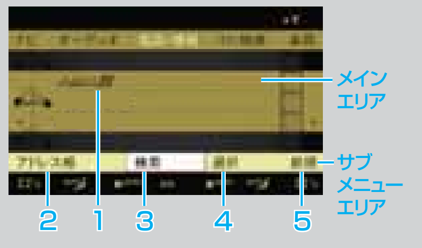
アドレス帳とは

COMAND システムにはアドレス帳機能があり、電話番号をはじめ、さまざまな情報を登録することができます。また、携帯電話本体の電話帳や vCard 方式のデータをアドレス帳にダウンロードすることもできます。

COMAND システムの電話帳は、アドレス帳の登録データのうちの名前と電話番号で構成されています。

基本画面

画面表示の説明



メインエリア

1 アドレス帳の登録名

名前、電話番号、住所など、アドレス帳の詳細を表示できます (7-27)。

サブメニューエリア

2 アドレス帳

アドレス帳に関する設定を行なうことができます。

- **ダウンロード**

  携帯電話やメモリーカードから電話帳をダウンロードできます (7-17)。

- **表示変更**

  アドレス帳の表示をプライベート用または仕事用に切り替えることができます (7-25)。

- **全ファイル削除**

  アドレス帳のすべてのデータを削除するときに使用します (7-15)。

- **一時ファイル削除**

  携帯電話やメモリーカードからダウンロードした一時ファイルだけを削除するときに使用します（7-16)。

3 検索

アドレス帳の登録データを検索するときに使用します（7-4)。

4 選択

アドレス帳の表示方法を切り替えることができます。

- **全て**

  アドレス帳の登録データと、携帯電話などからダウンロードした一時ファイルの両方が表示されます（7-26)。

- **アドレス帳**

  アドレス帳の登録データが表示されます（7-26)。

- **携帯電話**

  携帯電話からダウンロードされた一時ファイルのデータが表示されます（7-26)。

- **Bluetooth 対応携帯電話**

  Bluetooth® 対応携帯電話からダウンロードされた一時ファイルのデータが表示されます（7-26)。

- **メモリーカード**

  メモリーカードからダウンロードされた一時ファイルのデータが表示されます（7-26）。

5 新規

新規に登録データを作成するときに使用します（7-8）。

基本操作

アドレス帳モードにする

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ ON を押します。

COMAND システムが起動します。

▶ 電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ TEL NAVI を押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " **電話 / 情報** " を選択して 、コントローラーを押します 。

アドレス帳モードになります。

> **知識**
>
> " **電話 / 情報** " の他のモードを選択していたときは、電話 / 情報メニュー（下部参照）で、" アドレス帳 " を選択してください。

アドレス帳モードにならなかったときは、再度 " **電話 / 情報** " を選択して 、コントローラーを押します 。

電話 / 情報メニューが表示されます。

▶ 電話 / 情報メニューで " **アドレス帳** " を選択して 、コントローラーを押します 。

アドレス帳モードになります。

アドレス帳を検索する

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **検索** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

検索画面が表示されます。

▶ 検索するよみがなの文字を入力します。

入力については **(7-7)** をご覧ください。

▶ ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

検索リストが表示されます。

検索リストを閉じる

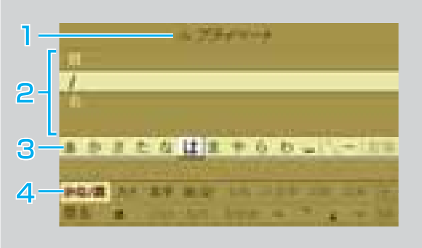
▶ " **戻る** " を選択して 、コントローローラーを押します 。

知識

- メインエリアでコントローラーをまわす か、左右にスライド させると、表示されている登録データを切り替えることができます。そのときにコントローラーを押す と、選択した登録データの詳細画面が表示されます。
- アドレス帳のリストは、よみがな順で表示されます。よみがな入力のない名前は、よみがな入力されたリストの後に表示されます。

アドレス帳のメモリ登録・編集・削除

アドレス帳入力画面



1　メモリの種別
2　入力した文字 / 文の表示
3　入力文字表示
4　入力文字種別表示

メモリの種別

登録した電話番号の種別を表示します。

" **プライベート** " または " **仕事** " のどちらかが表示されます **(7-10、25)**。

メモリの種別を " **プライベート** " に切り替えるときに選択します。

メモリの種別を " **仕事** " に切り替えるときに選択します。

入力文字種別の切り替え

入力文字種別表示で入力する文字の種別を選択します ・ 。

" かな / 漢 "

ひらがなを入力できます。また、入力したひらがなを漢字に変換できます。

" カナ "

カタカナを入力できます。全角 / 半角に切り替えることができます。

" 英字 "

アルファベットを入力できます。大文字 / 小文字、全角 / 半角に切り替えることができます。

" 数 / 記 "

数字や記号を入力できます。全角 / 半角に切り替えることができます。全角と半角では入力できる数字や記号の種類が異なります。

カーソルの移動

← ↑ ↓ → を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力した文字の削除

削除したい文字の右側にカーソルを移動して、 ← を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力した文字をすべて削除するときは、 " **全削除** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ひらがなと漢字の入力

例）「あ井ウ A」の入力方法を説明します。

ひらがなの入力

（例 :「あ」を入力する場合）

▶ 文字入力種別から " **かな / 漢** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力したい文字の行を選択して ・ 、コントローラーを押します 。「を」「ん」は、わ行から選択します。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 「あ」行の文字列のなかから「あ」を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字が入力されます。

濁音文字や「ぱ」「ぴ」「ぷ」「ぺ」「ぽ」にする場合は、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

濁音記号などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

漢字への変換

（例 :「井」を入力する場合）

▶ 「い」を入力します。

▶ " **変換** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 変換候補のなかから「井」を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字が確定します。

カタカナの入力

（例 :「ウ」を入力する場合）

▶ 文字入力文字種別から "**カナ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**全角**" または "**半角**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 「ア」行を選択して ・ 、コントローラーを押します 。「ヲ」「ン」は、ワ行から選択します。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 「ア」行の文字列のなかから「ウ」を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字が入力されます。

濁音文字や「パ」「ピ」「プ」「ペ」「ポ」にする場合は、 ゛、を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

濁音記号などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

アルファベットの入力

（例 :「A」を入力する場合）

▶ 文字入力種別から "**英字**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**全角**" または "**半角**"、"**大文字**" または "**小文字**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 文字列のなかから「A」を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字が確定します。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力の終了

▶ ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力の中断

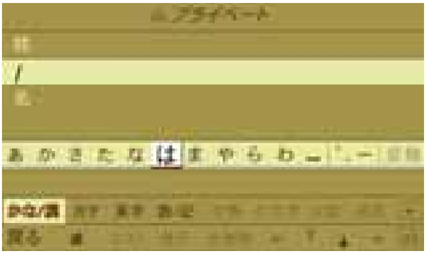
▶ " **戻る** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **変更を保存しますか** " と表示されます。" **はい** " か " **いいえ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

新規に登録データを作成する

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **新規** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

アドレス帳入力画面が表示されます。



姓の入力

▶ " **姓** " を入力します。

文字入力については **(7-5)** をご覧ください。

▶ 入力後、[↓] を選択して ⬆◎⬇、コントローラーを押します ◎ 。

名の入力

▶ " **名** " を入力します。

文字入力については **(7-5)** をご覧ください。

▶ 入力後、[ok] を選択して ⬆◎⬇ ・ ◀◎▶ ・ ⬅◎➡、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 入力後、[↓] を選択して ⬆◎⬇、コントローラーを押します ◎ 。

よみがなの入力

▶ メインエリアの入力文字表示を選択して ⬆◎⬇ 、よみがなを入力します。

文字入力については **(7-5)** をご覧ください。

▶ 入力後、[↓] を選択して ⬆◎⬇、コントローラーを押します ◎ 。

一般電話番号の入力

▶ 文字入力種別から "**数 / 記**" を選択して ・ 、一般電話の電話番号を入力します。

▶ 入力後、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

携帯電話番号の入力

▶ 文字入力種別から "**数 / 記**" を選択して ・ 、携帯電話の電話番号を入力します。

メモリ種別の選択

▶ アドレス帳を "**仕事**" フォルダに登録するときは、 マークを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

入力したデータが "**仕事**" フォルダへ登録され、画面上の文字も "**仕事**" と表示されます。

▶ アドレス帳を "**プライベート**" フォルダに登録するときは、 マークを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

知識

- "仕事" フォルダには、E メールアドレスや会社名が登録できます。
- "プライベート" と "仕事" の切り替えは、以降の入力画面でも変更できます。

▶ 入力後、電話帳としてのみ使用する場合は、ok を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します。

入力したデータがアドレス帳に登録されます。

住所などの入力

▶ さらに住所などの詳細なデータを入力する場合は、⇩ を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します。

郵便番号の入力

▶ 文字入力種別から "**数 / 記**" を選択して 〔◎〕・←◎→、郵便番号を入力します。

▶ 入力後、⇩ を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します。

都道府県名の入力

▶ 文字入力種別を選択して 〔◎〕・←◎→、都道府県を入力します。

▶ 入力後、⇩ を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します。

市区町村名の入力

▶ 文字入力種別を選択して ・ 、市区町村を入力します。

▶ 入力後、↓ を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

番地の入力

▶ 文字入力種別を選択して ・ 、番地を入力します。

▶ 入力後、↓ を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

その他の事項の入力

▶ 文字入力種別を選択して ・ 、その他の事項を入力します。

▶ 入力後、↓ を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

国名の入力

▶ 文字入力種別を選択して〔◎〕・←◎→、国名を入力します。

▶ 入力後、 ok を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

アドレス帳の入力が終了します。

> 知識
>
> フォルダを " 仕事 " に選択したときは、携帯電話の後に E メールアドレスの入力画面があります。また、国名の後に会社名の入力画面があります。

アドレス帳の登録データを編集する

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **検索** " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

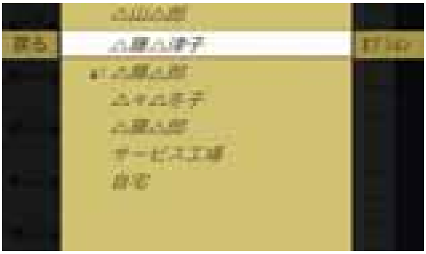
検索画面が表示されます。

▶ よみがなを入力します。

入力については **(7-7)** をご覧ください。

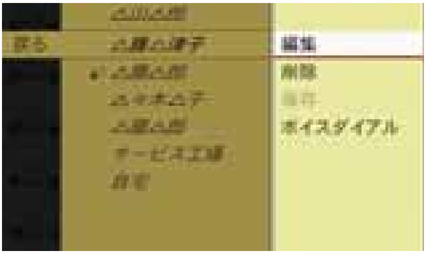
▶ ok を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

検索リストが表示されます。



▶ 編集したい登録データを選択して ◀◎▶ ・ ↑◎↓ 、" **オプション** " を選択して ◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ " **編集** " を選択して ◀◎▶ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



アドレス帳の編集画面が表示されます。

入力方法や入力項目については **(7-5)** をご覧ください。

> **知識**
>
> 一時ファイルのデータは編集できません。

アドレス帳の登録データを削除する

アドレス帳の登録データを個別に削除する

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **検索** " を選択して ◀◎▶ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

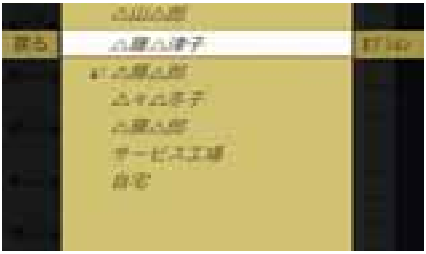
検索画面が表示されます。

▶ よみがなを入力します。

入力については **(7-7)** をご覧ください。

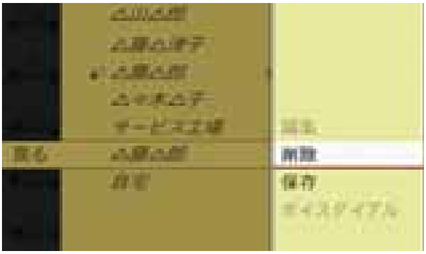
▶ ok を選択して ◀◎▶ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

検索リストが表示されます。



▶ 削除したい登録データを選択して ・ 、"**オプション**"を選択して 、コントローラーを押します 。

▶ "**削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



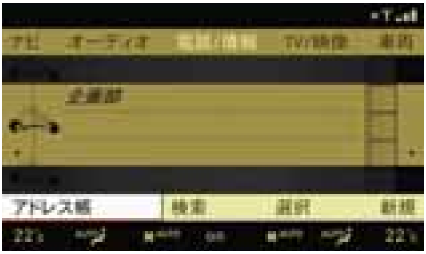
アドレス帳の削除確認画面が表示されます。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

登録データが削除されます。

アドレス帳のすべてのデータを削除する

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで"**アドレス帳**"を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**全ファイル削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"**全てのファイルを削除しますか？**" のメッセージが表示されます。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

アドレス帳のすべてのデータが削除されます。

アドレス帳の一時ファイルを削除する

携帯電話またはメモリーカードからダウンロードした電話帳データ（一時ファイル）だけを削除します。

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで "**アドレス帳**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**一時ファイル削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"**一時ファイルを削除しますか？**" のメッセージが表示されます。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

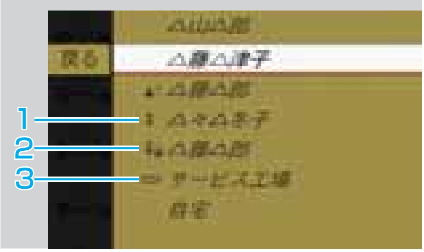
一時ファイルが削除されます。

電話帳をダウンロードする

携帯電話やメモリーカードから電話帳をダウンロードすることができます。

一時ファイルとは

ダウンロードした電話帳はCOMANDシステムに一時ファイルとして保存され、名前の前に一時ファイルアイコンが表示されます。



1 携帯電話からダウンロードした一時ファイル

2 Bluetooth® 対応携帯電話からダウンロードした一時ファイル

3 メモリーカードからダウンロードした一時ファイル

一時ファイルは、次に別の携帯電話やメモリーカードから電話帳をダウンロードすると上書きされます。

ダウンロードした電話帳を保存するには、一時ファイルをCOMANDシステムに保存する必要があります。

詳しくは **(7-21)** をご覧ください。

ケーブル接続携帯電話から電話帳をダウンロードする

携帯電話本体に登録されている電話帳をダウンロードすることができます。

> **知識**
>
> **携帯電話の種類によっては電話帳をダウンロードできない場合があります。詳しくは指定サービス工場におたずねください。**

▶ 携帯電話本体を携帯電話ケーブルで接続します。

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで "**アドレス帳**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**ダウンロード**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**携帯電話**" を選択して 、コントローラーを押します 。

パスワード入力画面に切り替わり、画面に "**パスワードを入力してください**" と表示されます。

▶ 携帯電話本体に設定した 4 桁のパスワードを入力し ・ 、 ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

電話帳がダウンロードされます。

知識

- 携帯電話の機種やデータの量により、ダウンロードに時間がかかることがあります。
- ダウンロードした電話帳に文字化けが発生することがあります。
- アドレス帳にすでに一時ファイルが存在するときは、画面に "一時ファイルを上書きしますか？" のメッセージが表示されます。このとき、"はい" を押すと、新たにダウンロードされたデータに上書きされます。"いいえ" を押すと、ダウンロード操作は中止されます。

Bluetooth® 携帯電話から電話帳をダウンロードする

携帯電話本体に登録されている電話帳をワイヤレスでダウンロードすることができます。

知識

携帯電話の種類によっては電話帳がダウンロードできない場合があります。詳しくは指定サービス工場におたずねください。

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで "**アドレス帳**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◉ 。

▶ "**ダウンロード**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◉ 。

▶ "**Bluetooth 対応携帯電話**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◉ 。

携帯電話の機種により、"Bluetooth 対応携帯電話" を選択した後に、電話の接続が切断されます。このときは、電話帳のダウンロードは行なわれますが、その後に携帯電話の再接続を行なってください。

▶ Bluetooth® 対応携帯電話の電話帳画面を開き、Bluetooth® 経由でのデータ送信操作を行ないます。

電話帳がダウンロードされます。

Bluetooth® 携帯電話からダウンロードした電話帳では、音声認識機能や検索機能が利用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店、または指定サービス工場におたずねください。

知識

- 携帯電話の機種により操作方法は異なります。詳しくは携帯電話本体の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の機種により、電話帳を 1 件づつ送信する場合と全件送信ができる場合があります。また、電話帳が送信できない場合もあります。
- ダウンロードした電話帳に文字化けが発生することがあります。
- アドレス帳にすでに一時ファイルが存在するときは、画面に " 一時ファイルを上書きしますか？ " のメッセージが表示されます。このとき、" はい " を押すと、新たにダウンロードされたデータに上書きされます。" いいえ " を押すと、ダウンロード操作は中止されます。

メモリーカードから電話帳をダウンロードする

メモリーカードから vCard 方式の電話帳をダウンロードすることができます。

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **アドレス帳** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **ダウンロード** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **メモリーカード** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ PCMCIA スロットに、vCard 方式の電話帳データを記憶させたメモリーカードを挿入します **(1-35)**。

電話帳がダウンロードされます。

> 知識
>
> - ダウンロードした電話帳に文字化けが発生することがあります。
> - アドレス帳にすでに一時ファイルが存在するときは、画面に " 一時ファイルを上書きしますか？ " のメッセージが表示されます。このとき、" はい " を押すと、新たにダウンロードされたデータに上書きされます。" いいえ " を押すと、ダウンロード操作は中止されます。

一時ファイルをシステムに保存する

電話モードで操作します。

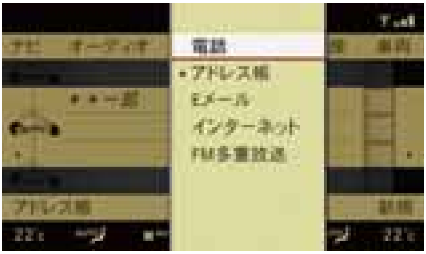
▶ アプリケーションエリアで " **電話 / 情報** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

電話モードになります。

電話モードにならなかったときは、再度 " **電話 / 情報** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

電話 / 情報メニューが表示されます。

▶ 電話 / 情報メニューで " **電話** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



電話モードになります。

▶ メインエリアで "**電話帳**" を選択して ◎ ・ ←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

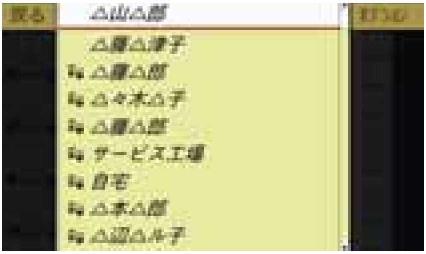
検索画面が表示されます。

▶ よみがなを入力します。

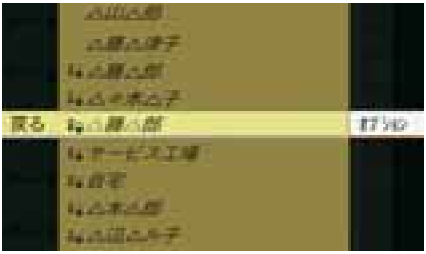
入力については **(7-7)** をご覧ください。

▶ ok を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

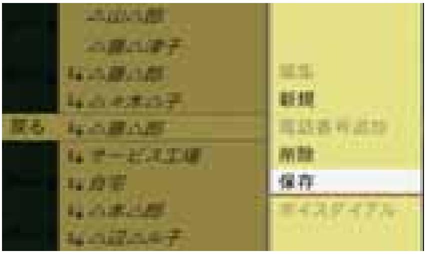
検索リストが表示されます。

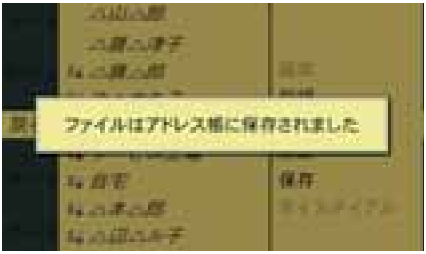


▶ 保存したいデータを選択して ◎ ・ ↑◎↓、"**オプション**" を選択して ◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**保存**" を選択して ◎ ・ ↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。





データがアドレス帳に保存されます。

知識

- アドレス帳に保存された電話番号は "プライベート" の "一般電話" として登録されます。
- この操作の後に、電話帳の種別入力画面（6-24､26）が表示されることがあります。
- アドレス帳に保存された登録データには、一時ファイルアイコンは付きません。
- 登録データをアドレス帳に保存しても、一時ファイルは残ります。一時ファイルを削除するときは（7-16）をご覧ください。

その他の機能

音声認識

音声認識により、登録データのよみがなから電話を発信できます。

詳しくは（14-13）をご覧ください。

知識

アドレス帳で登録した登録名（よみがな）によっては、誤って認識され、電話の発信などができないことがあります。その場合は、電話帳から発信するか（6-19）、登録名（よみがな）を変更してください（7-13）。

ボイスダイアルの設定

ひとつのアドレス帳データに複数の電話番号を登録している場合は、ボイスダイアルを設定することにより、音声認識で発信する電話番号を指定することができます。

知識

- 一時ファイルのデータには、ボイスダイアルは設定できません。
- 初期設定では "自動選択" になっており、ボイスダイアルは設定されていません。このときはリストの先頭にある電話種別の番号に発信されます。

音声認識で発信する電話番号を指定する

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **検索** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

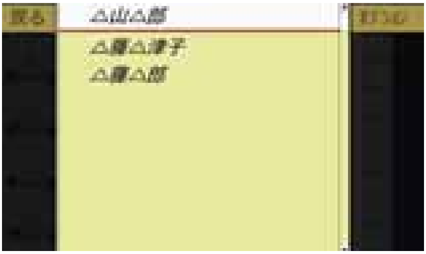
検索画面が表示されます。

▶ よみがなを入力します。

入力については (7-7) をご覧ください。

▶ ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

検索リストが表示されます。



▶ ボイスダイアルを設定したいリストを選択して ・ 、" **オプション** " を選択して 、コントローラーを押します 。

▶ " **ボイスダイアル** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 音声認識で発信する電話種別を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" 一般電話 "

一般電話として登録してある電話番号にボイスダイアルが設定され、音声認識ではこの番号に発信されます。

" 携帯電話 "

携帯電話として登録してある電話番号にボイスダイアルが設定され、音声認識ではこの番号に発信されます。

" 自動選択 "

ボイスダイアルは解除され、リストの先頭にある電話種別の番号に発信されます。

（左ページの画面例では " 一般電話 " の電話番号に発信されます）

知識

- " 一般電話 " 、" 携帯電話 " には、それぞれ " プライベート " と " 仕事 " の電話番号を登録できます。
- 左ページの画面例のように " 一般電話 " や " 携帯電話 " の左側に が表示されているときは " プライベート " で登録した電話番号が選択され、 が表示されているときは " 仕事 " で登録した電話番号が選択されています。
- " 一般電話 " または " 携帯電話 " にに複数の電話番号を登録しているときは、すべ てのリストが表示されます。
- ボイスダイアルが設定されたリストの左側には " " が表示されます。
- 他の電話種別から " 自動選択 " を選択したときは、画面に " ボイスダイアルは自動選択されます " と表示されます。

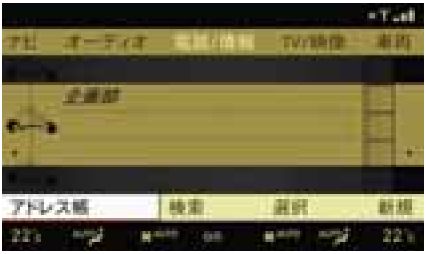
アドレス帳の表示を切り替える

アドレス帳は以下のようなフォルダに格納され、表示方法を切り替えることができます。

プライベート
一般電話、携帯電話
仕事
一般電話、携帯電話

プライベート / 仕事の切り替え

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **アドレス帳** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ " **表示変更** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **プライベート** " または " **仕事** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在選択されている項目の左側には、" • " が表示されています。

" **プライベート** " または " **仕事** " に登録されたデータのみが表示されます。

アドレス帳の種類

▶ アドレス帳画面のとき、サブメニューエリアで " **選択** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 表示するアドレス帳を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

- **全て**

  アドレス帳に登録されたデータと、携帯電話などからダウンロードした一時ファイルの両方が表示されます。

- **アドレス帳**

  アドレス帳に登録されたデータが表示されます。

- **携帯電話**

  ケーブル接続携帯電話からダウンロードされた一時ファイルのデータが表示されます。

- **Bluetooth 対応携帯電話**

  Bluetooth® 対応携帯電話からダウンロードされた一時ファイルのデータが表示されます。

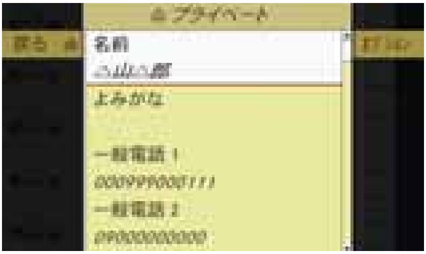
- **メモリーカード**

  メモリーカードからダウンロードされた一時ファイルのデータが表示されます。

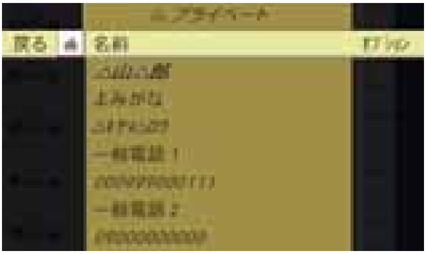
リストの詳細を表示する

▶ アドレス帳画面のメインエリアで、詳細を表示したいアドレス帳の名前を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ コントローラーを操作して ・ 、リストの詳細をスクロール表示します。



▶ このとき、リスト左側のマーク または を選択して 、コントローラーを押すと 、リストが "**プライベート**" と "**仕事**" に切り替わります。



：リストが "**プライベート**" に切り替わります。

：リストが "**仕事**" に切り替わります。

▶ "**オプション**" を選択して 、コントローラーを押し 、"**詳細**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、リストの名前が表示されます。

▶ "**オプション**" を選択して 、コントローラーを押し 、"**編集**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、アドレス帳データを編集できます(7-13)。

アドレス帳からの操作

アドレス帳に住所、E メールアドレスが登録されている場合は、以下の機能を使用することができます。

- 地図表示
- E メール送信

メッセージ画面

「選択したデバイスから反応がありません。現在、この機能は使用できません」

表示タイミング例

Bluetooth® 携帯電話から電話帳のダウンロード操作を行なっているとき、Bluetooth® のタイムアウトにより電話帳がダウンロードされなかったときに表示されます。

対処方法

再度、COMAND システムから電話帳のダウンロード操作を行ない、次に携帯電話から電話帳の送信操作を行なってください。

知識

- 携帯電話の種類によっては電話帳がダウンロードできない場合があります。詳しくは指定サービス工場におたずねください。
- 同じように、アドレス帳画面表示中に表示されるメッセージが他にもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

8. E メール

E メールを利用する前に…………　8-2
・アカウントの新規作成
・使用するアカウントの変更
・アカウントの削除
・アカウントの設定変更
・プロバイダの設定
・プロバイダの選択
・プロバイダの削除
・共通設定

E メールを利用する……………　8-11
・COMAND ディスプレイの表示

メールの送受信…………………　8-13
・送受信
・送信
・受信

メールの新規作成………………　8-15
・vCard 添付
・位置情報添付
・添付データ一覧
・添付データ削除

受信メールを見る………………　8-19
・メールボックスの表示
・メールを読む
・メールを削除する
・メールを送信者一覧で表示する
・メールを件名一覧で表示する
・件名 / 送信者を詳細表示する

送信メールを見る………………　8-23
・メールボックスの表示
・送信メールを読む
・メールを削除する
・メールを受取人一覧で表示する
・メールを件名一覧で表示する
・件名 / 受取人を詳細表示する
・未送信メールを送信する

メールアドレスを アドレス帳に登録する……　8-27
・アドレスをアドレス帳に登録する

メールボックスにあるメールを 編集して送信する …………　8-29

メールの添付ファイルを見る …　8-30
・vCard ファイル
・位置情報ファイル

メールのリンク先を表示する…　8-32

メールの全受取人を表示する…　8-33

メールのプロテクト……………　8-34
・メールをプロテクトする
・メールのプロテクトを解除する

ドラフト（下書き）メールを見る　8-35
・メールボックスの表示
・ドラフトメールを読む
・メールを削除する
・メールを受取人一覧で表示する
・メールを件名一覧で表示する
・件名 / 受取人を詳細表示する

メールの返信・転送……………　8-39

メールの読み上げ機能…………　8-40
・未読メールを読み上げる
・メール読み上げの速度を設定する

文字の入力方法…………………　8-41
・入力文字種別の切り替え
・入力項目の選択
・カーソルの移動
・改行
・入力した文字の削除
・ひらがなと漢字の入力
・カタカナの入力
・アルファベットの入力
・数字や記号の入力
・句読点の入力
・メールアドレスリスト
・定型文の入力

ユーザー辞書……………………　8-50

E メールを利用する前に

E メールを利用する前に、以下のことを確認してください。

携帯電話が接続されていること
(5-7)をご覧ください。

アカウント設定が正しく行なわれていること
(8-2)をご覧ください。

プロバイダ設定が正しく行なわれていること
(8-6)をご覧ください。

共通設定が正しく行なわれていること
(8-10)をご覧ください。

> 知識
>
> - 携帯電話によっては、電話機能が使用できても、E メールやインターネットが利用できないことがあります。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。
> - プロバイダによっては、E メールやインターネットが利用できないことがあります。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

アカウントの新規作成

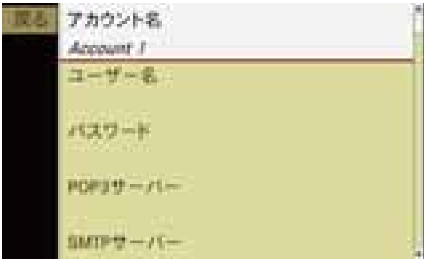
▶ サブメニューエリアで "**アカウント**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**アカウント作成**" を選択して、 ・ 、コントローラーを押します 。

▶ アカウントの設定項目を入力します。

設定項目を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字の入力については (8-41) をご覧ください。



アカウント名

メールアカウントを入力します。

ユーザー名
このアカウントのユーザー名を入力します。

パスワード
アカウントに対するパスワードを入力します。

POP3 サーバー
POP サーバー名を入力します。

SMTP サーバー
SMTP サーバー名を入力します。

自分のアドレス
メールアドレスを入力します。

使用するアカウントの変更

▶ サブメニューエリアで "**アカウント**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 使用するアカウントを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在使用しているアカウントの左側には "•" が表示されています。

▶ "**使用アカウント**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎。

以下のメッセージが表示され、アカウントが変更されます。

アカウントの削除

▶ サブメニューエリアで "**アカウント**" を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎。

▶ 削除するアカウントを選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎。

現在使用しているアカウントの左側には "•" が表示されています。

▶ "**削除**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示され、アカウントが削除されます。

アカウントの設定変更

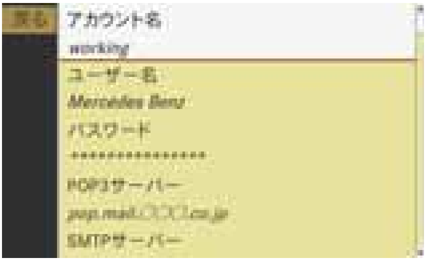
▶ サブメニューエリアで "**Eメール**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**アカウント**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

現在使用しているアカウントの設定内容が表示されます。

▶ 変更するアカウントの設定項目を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字の入力については **(8-41)** をご覧ください。



プロバイダの設定

最大 3 個のプロバイダを設定できます。

> **知識**
>
> プロバイダによっては、設定の不要な項目があります。不要な項目は、空欄のままで接続できます。

▶ サブメニューエリアで "**E メール**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**プロバイダ**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**プロバイダ設定**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

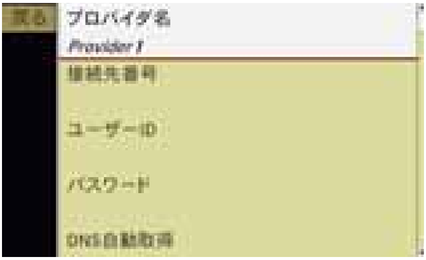
▶ 新しくプロバイダを設定するときは "**新規作成**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

すでに設定してあるプロバイダの設定内容を変更するときは、プロバイダを選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ プロバイダの設定項目を入力します。

設定項目を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字の入力については **(8-41)** をご覧ください。



プロバイダ名
プロバイダ名を自由に入力します。

接続先番号
アクセスポイントに接続するための番号を入力します。

ユーザー ID
プロバイダアカウントに対するユーザー ID を入力します。

パスワード
パスワードを入力します。

DNS 自動取得
"**自動**" または "**マニュアル**" を選択します。現在選択されている DNS 取得方法の左側には "•" が表示されています。

"**マニュアル**" を選択したときは、"**DNS 1**" と "**DNS 2**" も入力します。

プロキシ
プロキシを入力します。

ポート番号
ポート番号を入力します。

APN(cid:10)
APN を入力します。(携帯電話会社により不要です)

ホームページ
インターネットでのホームページに設定したいアドレスを入力します。

タイムアウト
インターネットへの接続が完了しない場合に、接続を中断するまでの時間を 60 秒、90 秒、無制限から選択します。

データ通信
"**パケット**" か "**回線交換**" を選択します。現在選択されているデータ通信方法の左側には **"•"** が表示されています。

> **知識**
>
> **回線交換とは、電話回線を接続したまま通信を行なう方法です。接続している間は料金がかかります。**

Bluetooth® 対応携帯電話
Bluetooth® 携帯電話を接続するときの、携帯電話会社名を選択します。現在選択されている携帯電話会社の左側には "•" が表示されています。

プロバイダの選択

複数設定してあるプロバイダ（最大3 個）から使用するプロバイダを選択できます。

▶ サブメニューエリアで "**E メール**" を選択して ◎ ・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**プロバイダ**" を選択して ◎ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**プロバイダ選択**" を選択して ◎ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 使用するプロバイダを選択して ◎ ・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

現在選択されているプロバイダの左側には "**•**" が表示されています。

プロバイダの削除

▶ サブメニューエリアで "**Eメール**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎。

▶ "**プロバイダ**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎。

▶ "**プロバイダ削除**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎。

▶ 削除するプロバイダを選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎。

▶ "**はい**" を選択して〔◎〕・←◎、コントローラーを押します ◎。

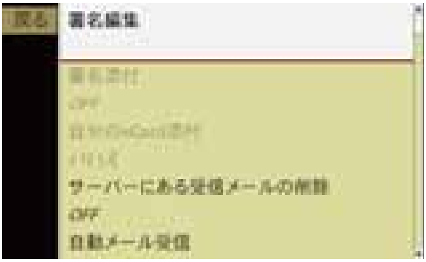
以下のメッセージが表示され、プロバイダが削除されます。

共通設定

▶ サブメニューエリアで "**Eメール**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**共通設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 設定する項目を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

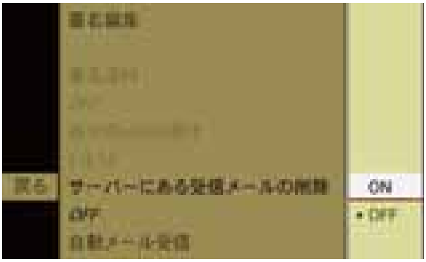


署名編集
メールの最後に添付される署名の編集を行ないます。文字の入力については、(8-41) をご覧ください。

署名添付
署名を作成したとき、署名の添付 / 不添付を選択します。

自分の vCard 添付
メールに自分の vCard(電子名刺)を添付するかどうかを選択します。

サーバーにある受信メールの削除
COMAND システムでメールを受信するときに、サーバーにあるメールを削除するかどうかを選択します。



知識

- " サーバにある受信メールの削除 " を "OFF" に設定した場合

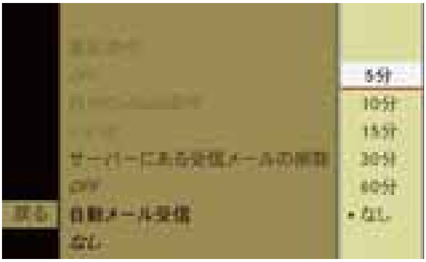
  サーバにメールが多数残っていると、一度受信したメールを再びサーバからダウンロードすることがありますので、サーバにメールを多数残さないように、ご自宅のパソコンからダウンロードするなどしてください。
- "ON" に設定した場合

  メールを完全に受信できる / できないに関わらず、メール受信後はサーバ内のメールは削除されます。
- 設定項目の詳しい内容は、ご契約のプロバイダの説明などをご覧ください。

自動メール受信

一定時間ごとにメールを自動受信するかどうかを設定します。自動受信する時間を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" **なし** " を選択したときは、メールの自動受信は行ないません。



E メールを利用する

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ ON を押します。

COMAND システムが起動します。

▶ 電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ TEL NAVI を押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " **電話 / 情報** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

E メールモードになります。

知識

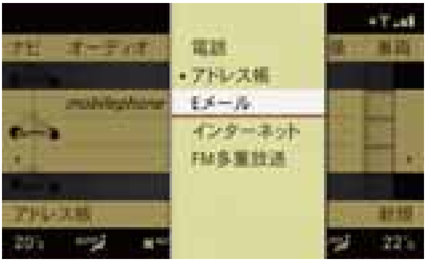
" **電話 / 情報** " の他のモードを選択していたときは、電話 / 情報メニュー（次頁参照）が表示されます。

電話 / 情報メニューで、"**E メール** " を選択してください。

E メールモードにならなかったときは、再度アプリケーションエリアで "**電話 / 情報**" を選択して、コントローラーを押します。 。

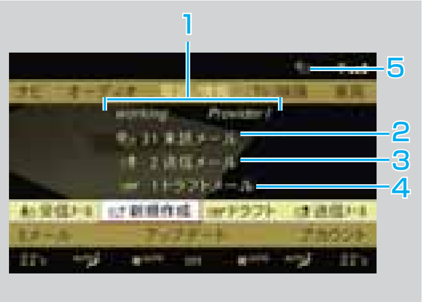
電話 / 情報メニューが表示されます。

▶ 電話 / 情報メニューで "**E メール**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



E メールモードになります。

COMAND ディスプレイの表示



1 アカウント名 / プロバイダ名
選択しているアカウント名とプロバイダ名が表示されます。

2 未読メール数
受信メールのうち、本文を表示していないメール数が表示されます。

3 送信メール数
送信したメール、および送信できる状況にあるメール数が表示されます。

4 ドラフトメール数
ドラフト(下書き)のメール数が表示されます。

5 未読メール表示
未読メールがあるときは、ステータスエリア右側に " " が表示されます。

> 知識
>
> 送信メールは 100 件、受信メールは 200 件まで保存できます。ただしメール保存領域の上限を越えたときは、保存件数が減ることがあります。

メールの送受信

知識

- サーバとの接続に失敗した場合、画面にエラーメッセージが表示されます。
- 現在接続中のプロバイダの新着メールをチェックします。他のプロバイダの新着メールをチェックするには、プロバイダを変更してください(8-8)。

▶ サブメニューエリアで "**アップデート**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**送受信**" "**送信**" "**受信**" のいずれかを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

送受信

送信および受信を行ないます。

▶ "**送受信**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示され、メール送信を開始します。

▶ メール送信を中止するときは、コントローラーを押します 。

送信待ちメッセージがないときは、以下のメッセージが表示されます。

▶ コントローラーを押すと 、元の画面に戻ります。

続いてメール受信を開始します。

▶ メール受信を中止するときは、コントローラーを押します 。

受信メールボックスがいっぱいのときは、下記のメッセージが表示されます。受信メールボックス内のメールを削除してから、再度操作を行なってください。

送信

送信を行ないます。

▶ "**送信**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示され、メール送信を開始します。

▶ メール送信を中止するときは、コントローラーを押します 。

送信待ちメッセージがないときは "**送信待ちメッセージはありません**" と表示されます。

▶ コントローラーを押すと 、元の画面に戻ります。

受信

受信を行ないます。

▶ "**受信**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以下のメッセージが表示され、メール受信を開始します。

▶ メール受信を中止するときは、コントローラーを押します 。

受信メールボックスがいっぱいのときは、"**受信メールがいっぱいなためメールを完全に受信できません**" と表示されます。

▶ コントローラーを押すと 、元の画面に戻ります。

> 知識
>
> ヘッダ、本文、署名、添付ファイル含めて全角 1500 文字（半角 3000 文字）まで受信できます。受信可能文字数を超える場合は、受信可能文字数まで受信し、それ以上のものは自動的に削除されます。

メールの新規作成

▶ メインエリアで "**新規作成**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ メール入力画面が表示されます。

文字の入力については **(8-41)** をご覧ください。

▶ メールの入力が終了したら、ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ メールの送信方法を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" いますぐ送信 "
作成したメールを送信します。

" 後で送信 "
作成したメールを送信メールボックスに保存します。

" ドラフトで保存 "
作成したメールをドラフトボックスに保存します。

vCard 添付

メールに vCard（電子名刺）を添付します。

▶ "vCard 添付 " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 添付する vCard データを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

位置情報添付

自車の現在地やナビゲーションで設定している目的地、任意の場所の位置情報をメールに添付して送信できます。
受信者の車両が COMAND システムの場合に、添付された位置情報から、ナビゲーションで目的地設定をしたり、地図画面に発信者の位置を表示できます。

▶ "**位置情報添付**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

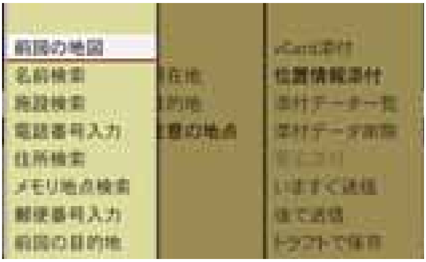
▶ 添付する位置情報を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

"**現在地**"
自車の現在地の位置情報を添付します。

"**目的地**"
自車のナビゲーションで設定している目的地の位置情報を添付します。

"**任意の地点**"
任意の場所の位置情報を添付します。

▶ "**任意の地点**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、以下の画面が表示されます。



"**前回の地図**"
直前に表示された地図が表示されます。

以下の検索方法については、それぞれのページをご覧ください。

"**名前検索**"（2-70）
"**施設検索**"（2-75）
"**電話番号入力**"（2-77）
"**住所検索**"（2-79）
"**メモリ地点検索**"（2-81）
"**郵便番号入力**"（2-83）

"**前回の目的地**"
これまでに設定した目的地のリストが表示されます。

▶ 各検索機能を使用して、地図に位置を表示させ、コントローラーを押します 。

位置を修正するときは目的地にしたい場所まで地図を移動して、クロス・カーソルを目的地に合わせて、コントローラーを押します 。

▶ "**ポイント設定**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

その場所の位置情報がメールに添付されます。

添付データ一覧

メールに添付されているデータを確認できます。

▶ "**添付データ一覧**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

添付データの一覧が表示されます。

"**(vCard)____.vcf**" のデータは、vCard（電子名刺）のデータであることを示しています。

vCard Version は 3.0 に準拠しています。

"**(MobileWeb)____.poi**" のデータは、位置情報のデータであることを示しています。

この位置情報は、COMAND システムのみで使用が可能な位置情報です。

添付データ削除

メールに添付されているデータを削除できます。

▶ "**添付データ削除**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 削除するデータを選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**はい**" を選択して〔◎〕・←◎ 、コントローラーを押します ◎ 。

添付データが削除されます。

受信メールを見る

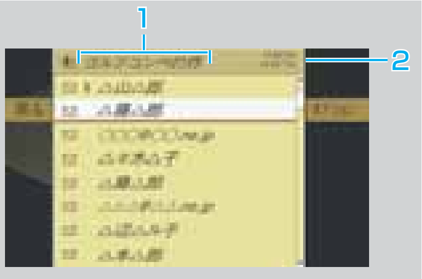
▶ メインエリアで "**受信メール**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

知識

受信メールが 200 件を超えたときは、すでに読んだ受信メールのうち古いものから自動的に上書きされます。上書きされたくないときは、200 件まで保護できます。ただしメール保存領域の上限を越えたときは、保存件数が減ることがあります。

メールボックスの表示

受信日時が新しいメールが上段に表示されます。



1　件名（メールリストを送信者一覧にしているとき）

　送信者名（メールリストを件名一覧にしているとき）

2　受信日時

未読メールマーク

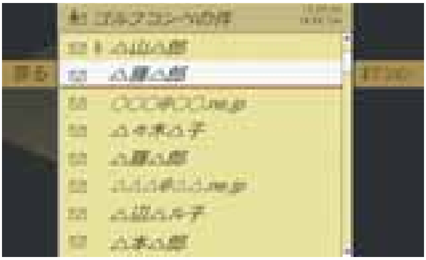
本文が読まれていないメールにはこのマークが表示されます。

添付ファイルマーク

添付ファイルがあるメールにはこのマークが表示されます。
このマークが表示されているメールには、vCard や位置情報などのデータが添付されています。

メールを読む

▶ メールリストから読みたいメールを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



メール内容が表示されます。

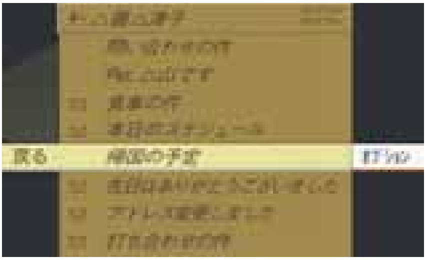
画面をスクロールさせるには、コントローラーを回転させるか 、上下にスライドさせます 。

上下にスライドさせて保持すると、自動でスクロールします。

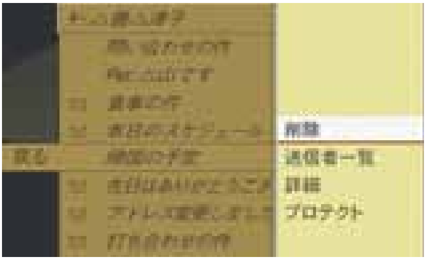
▶ メールリストに戻るときは、ファンクションスイッチの スイッチを押します。

メールを削除する

▶ 削除するメールを選択して 〔◎〕・↑◎↓、"**オプション**" を選択し ◎→、コントローラーを押しま す ◎ 。



▶ "**削除**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

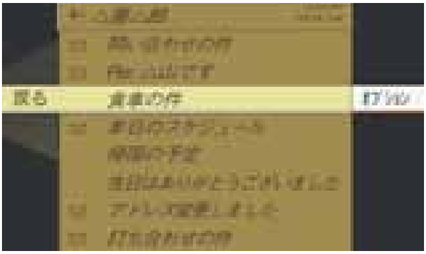


▶ "**はい**" を選択して 〔◎〕・←◎、コントローラーを押します ◎ 。

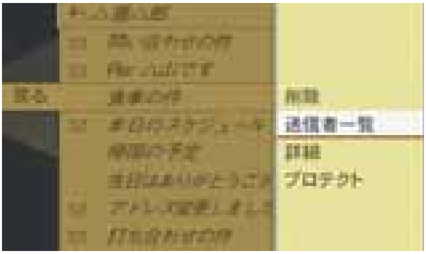
▶ "**メールを削除しました**" と表示され、メールが削除されます。

メールを送信者一覧で表示する

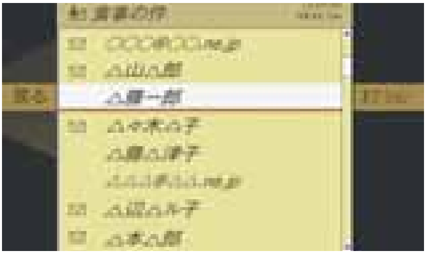
▶ "**オプション**" を選択して ◎→、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**送信者一覧**" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押しま す ◎ 。



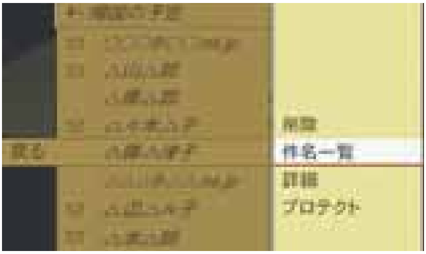
メールが送信者一覧で表示されます。



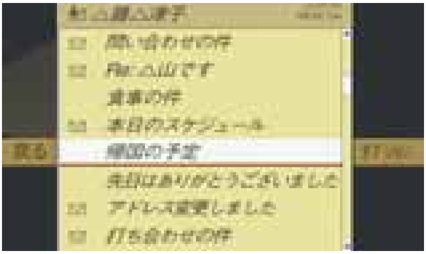
メールを件名一覧で表示する

▶ "**オプション**" を選択して ◎➡、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**件名一覧**" を選択して ⟲◎⟳ ・⬆◎⬇、コントローラーを押します ◎ 。



▶ メールが件名一覧で表示されます。

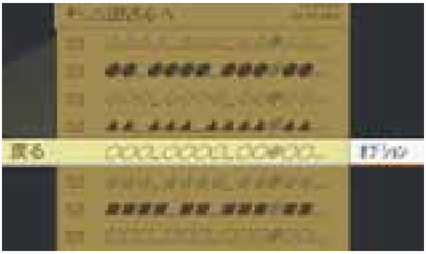


件名 / 送信者を詳細表示する

メールの件名や送信者名が長いときに全文を表示できます。

"**件名一覧**" にしているときは件名の全文が、"**送信者一覧**" にしているときは送信者名の全部が表示されます。

▶ "**オプション**" を選択して ◎➡、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**詳細**" を選択して ⟲◎⟳ ・⬆◎⬇、コントローラーを押します ◎ 。

▶ 件名または送信者が詳細に表示されます。

▶ コントローラーを押すと、元の画面に戻ります。

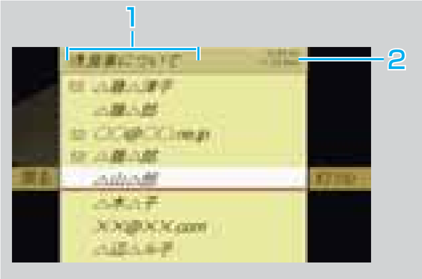
送信メールを見る

▶ メインエリアで"**送信メール**"を選択して・、コントローラーを押します。

> 知識
>
> 送信メールが 100 件を超えたときは、送信メールのうち古いものから自動的に上書きされます。上書きされたくないときは、100 件まで保護できます。ただしメール保存領域の上限を越えたときは、保存件数が減ることがあります。

メールボックスの表示

送信日時が新しいメールが上段に表示されます。



1 **件名（メールリストを受取人名一覧にしているとき）**

受取人名（メールリストを件名一覧にしているとき）

2 **送信日時（未送信メールは作成日時）**

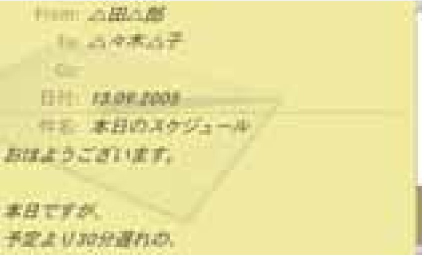
未送信メールマーク
送信されていないメールには、このマークが表示されます。

添付ファイルマーク
添付ファイルがあるメールには、このマークが表示されます。
このマークが表示されているメールには、vCard や位置情報などのデータが添付されています。

送信メールを読む

▶ メールリストから読みたいメールを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

メール内容が表示されます。



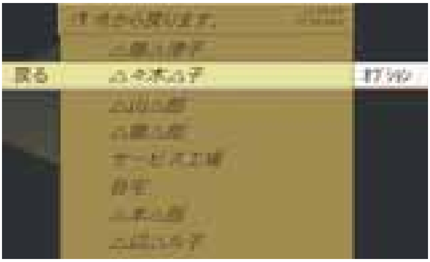
画面をスクロールさせるには、コントローラーを回転させるか 、上下にスライドさせます 。

上下にスライドさせて保持すると、自動でスクロールします。

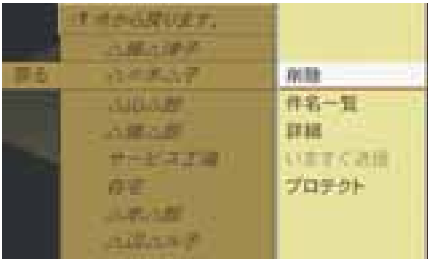
▶ メールリストに戻るときは、ファンクションスイッチの スイッチを押します。

メールを削除する

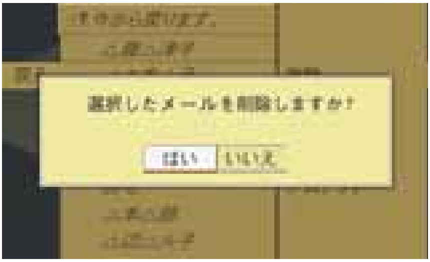
▶ 削除するメールを選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。



▶ "**削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



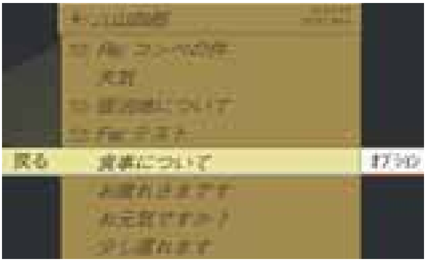
▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



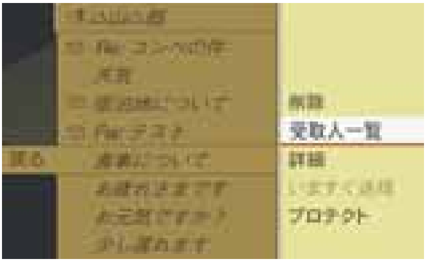
▶ "**メールを削除しました**" と表示され、メールが削除されます。

メールを受取人一覧で表示する

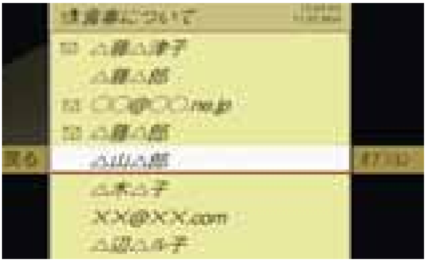
▶ "**オプション**" を選択して、コントローラーを押します。



▶ "**受取人一覧**" を選択して、コントローラーを押します。

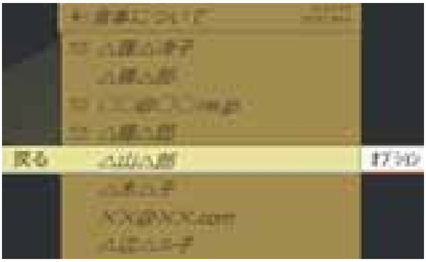


▶ メールが受取人一覧で表示されます。

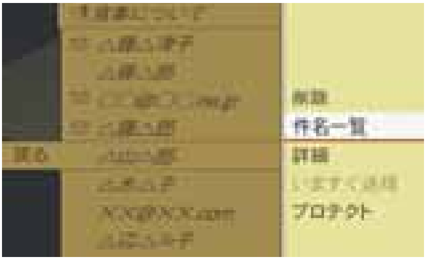


メールを件名一覧で表示する

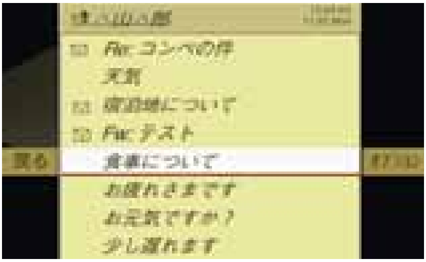
▶ "**オプション**" を選択して、コントローラーを押します。



▶ "**件名一覧**" を選択して、コントローラーを押します。



▶ メールが件名一覧で表示されます。



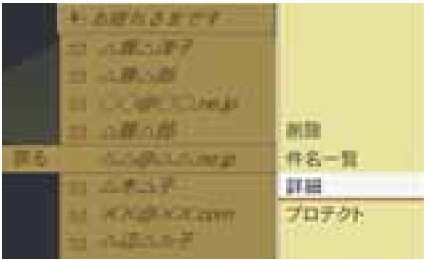
件名 / 受取人を詳細表示する

メールの件名や受取人名が長いときに全文を表示できます。

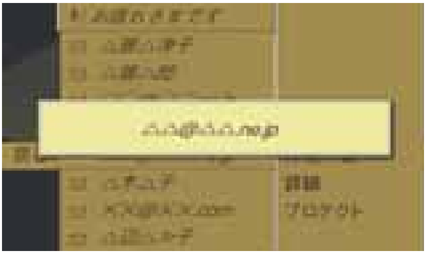
"**件名一覧**" にしているときは件名の全文が、"**受取人一覧**" にしているときは受取人名の全部が表示されます。

▶ "**オプション**" を選択して ◎➡ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ "**詳細**" を選択して ◎ ・ ⬆◎⬇ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ 件名または受取人が詳細に表示されます。

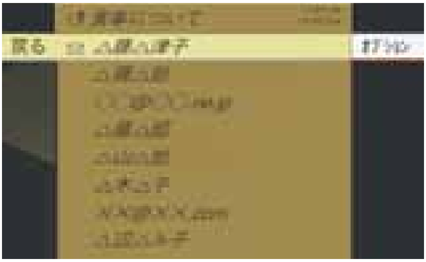


▶ コントローラーを押すと、元の画面に戻ります。

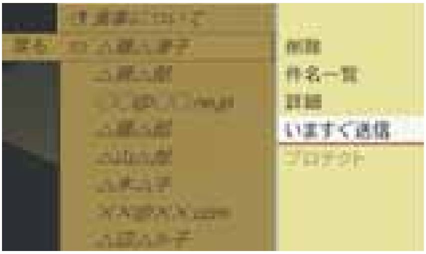
未送信メールを送信する

未送信マーク ✉ が表示されたメールを送信できます。

▶ "**オプション**" を選択して ◎➡ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**いますぐ送信**" を選択して ◎ ・ ⬆◎⬇ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**はい**" を選択して ◎ ・ ⬅◎ 、コントローラーを押します ◎ 。

メールが送信されます。

メールアドレスをアドレス帳に登録する

受信メールまたは送信メールに含まれる送信者（From:）や受取人（To: / Cc:）などをアドレス帳に登録できます。

アドレスをアドレス帳に登録する

▶ 受信メールまたは送信メールの本文を表示させせます。

▶ コントローラーを押します ◎ 。

▶ "アドレス保存" を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

そのメールに含まれるアドレスが表示されます。

▶ 登録するアドレスを選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

> **知識**
>
> アドレスがすでにアドレス帳に登録されているときは、登録されている名前が表示されます。

▶ 登録方法を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

"新規追加"
アドレス帳に新たに登録されます。

▶ **"新規追加"** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字入力画面が表示されます。

文字入力については **(8-41)** をご覧ください。

▶ 文字の入力が終了したら、ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

アドレス帳にメールアドレスが登録されます。

"追加"
アドレス帳に登録データがある場合は、**"仕事"** フォルダ内のメールアドレスに登録されます。

▶ **"追加"** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

アドレス帳検索画面が表示されます。

▶ 追加する先のアドレス帳を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

すでにメールアドレスが登録されているときは、以下のメッセージが表示されます。

▶ 上書きするときは、**"はい"** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

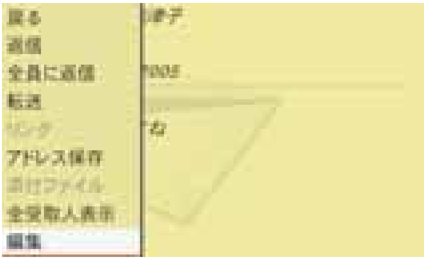
メールボックスにあるメールを編集して送信する

送信メールボックスに保存されているメールを編集して送信できます。

▶ 送信メールの本文を表示させます。

▶ コントローラーを押します 。

▶ "**編集**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

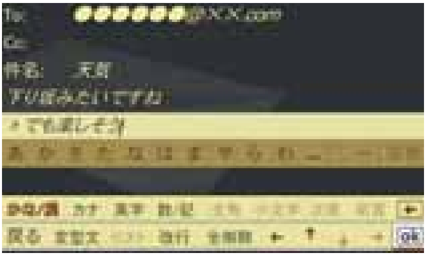


▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

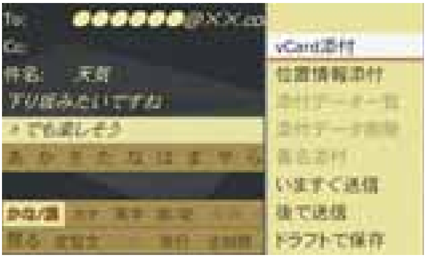
文字入力画面が表示されます。

文字入力については (8-41) をご覧ください。

▶ 文字の入力が終了したら、ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



以降の手順につきましては、(8-16 ～) をご覧ください。

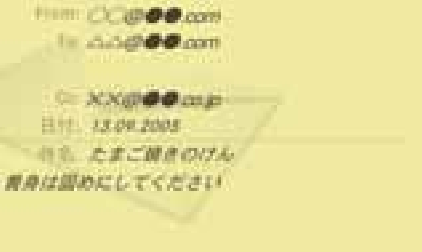


電話
アドレス帳
Eメール
インターネット
多重FM放送
電話／情報

メールの添付ファイルを見る

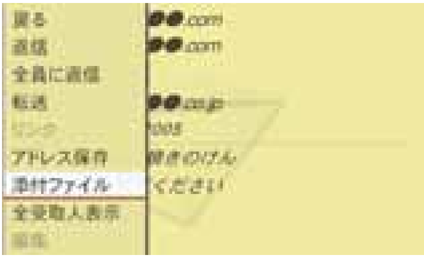
メールの添付ファイルを確認できます。

▶ 受信メールまたは送信メールの本文を表示させます。



▶ コントローラーを押します 。

▶ "**添付ファイル**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



添付ファイルの一覧が表示されます。

vCard ファイル

"(vCard)____.vcf" のファイルは、vCard（電子名刺）のファイルであることを示しています。

▶ ファイルを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

添付されている vCard が表示されます。

位置情報ファイル

"(MobileWeb)____.poi" のファイルは、位置情報のファイルであることを示しています。

▶ ファイルを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

添付されている位置情報の位置が地図画面に表示されます。

▶ 位置を修正するときは、コントローラーをスライドさせます。

決定した位置をナビゲーションの目的地や通過点、メモリ地点に登録できます。

▶ コントローラーを押します 。

" 目的地 "
この地点を目的地にして、ルート案内を行ないます。

" 通過点 1" " 通過点 2"
この地点を通過点にして、ルート案内を行ないます。

" メモリ登録 "
この地点をメモリ地点に登録します。詳しくは (2-54) をご覧ください。

電話
アドレス帳
Eメール
インターネット
多重FM放送

電話／情報

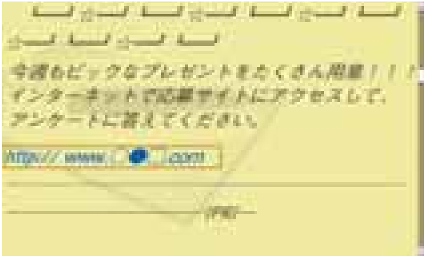
メールのリンク先を表示する

メールの本文にメールアドレスやインターネットの URL が含まれているときは、直接メールを送信したり、インターネットを表示できます。

▶ 受信メールまたは送信メールの本文を表示させます。

メールの本文中にメールアドレスかインターネットの URL があるときは、コントローラーを回転させるか 、上下にスライドさせると 、アドレスが赤い枠で囲まれます。

▶ リンクしたい URL を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



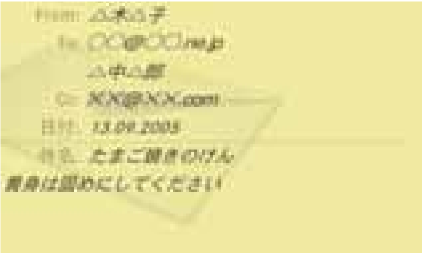
▶ **"リンク"** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

メールアドレスのときは、メールの入力画面になります。以降の操作については **(8-15)** をご覧ください。

アドレスがインターネットの URL のときは、リンク先のインターネットが表示されます。

メールの全受取人を表示する

▶ 受信メールまたは送信メールの本文を表示させます。



▶ コントローラーを押します 。

▶ "**全受取人表示**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**To**" または "**Cc**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

To: または Cc: の受取人がすべて表示されます。

メールのプロテクト

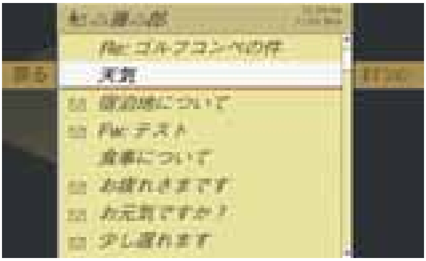
プロテクトを設定すると、メールが削除できなくなります。

> 知識
>
> 未開封のメール、および未送信のメールにはプロテクトを設定できません。

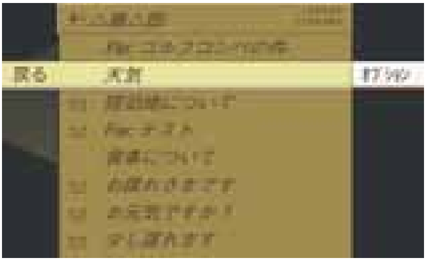
メールをプロテクトする

▶ 受信メールまたは送信メールの一覧を表示させます。

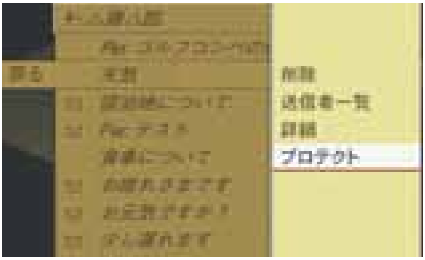
▶ プロテクトするメールを選択します ・ 。



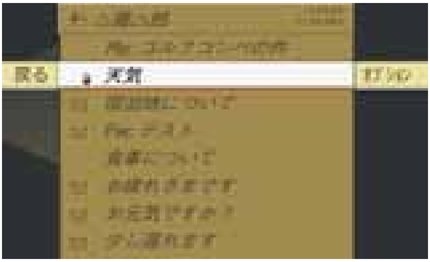
▶ " オプション " を選択して 、コントローラーを押します 。



▶ " プロテクト " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



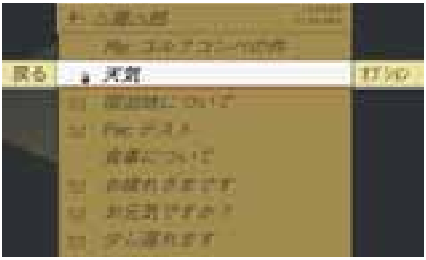
▶ プロテクトされたメールの件名または送信者名の左側には が表示されます。



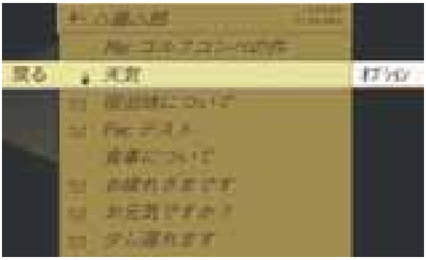
メールのプロテクトを解除する

▶ 受信メールまたは送信メールの一覧を表示させます。

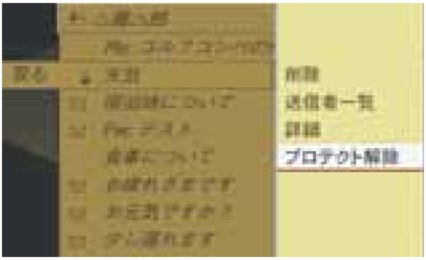
▶ プロテクトを解除するメールを選択します〔◎〕・↑◎↓。



▶ "オプション" を選択して ◎→、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "プロテクト解除" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



メールのプロテクトが解除されます。

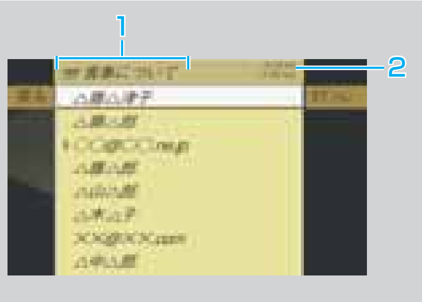
ドラフト（下書き）メールを見る

"**新規作成**" などでメールを作成したときに、"**ドラフトに保存**" で保存したメールはドラフトメールボックスに保存されます。

▶ メインエリアで "**ドラフト**" を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

メールボックスの表示

作成日時が新しいメールが上段に表示されます。



1 件名（メールリストを受取人名一覧にしているとき）

受取人名（メールリストを件名一覧にしているとき）

2 作成日時

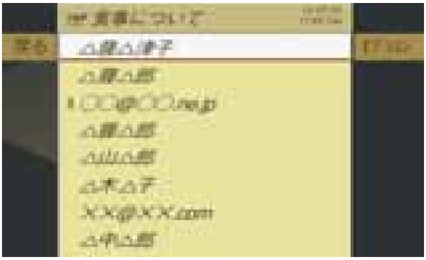
添付ファイルマーク

添付ファイルがあるメールには、このマークが表示されます。

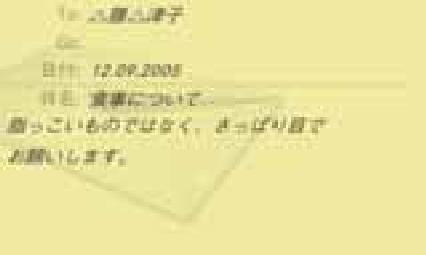
このマークが表示されているメールには、vCard や位置情報などのデータが添付されています。

ドラフトメールを読む

▶ メールリストから読みたいメールを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



メール内容が表示されます。



画面をスクロールさせるには、コントローラーを回転させるか 、上下にスライドさせます 。

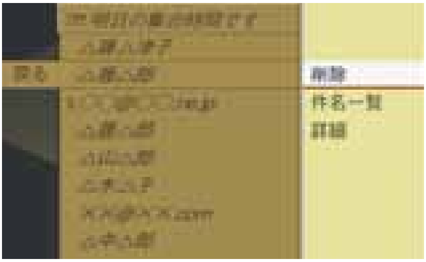
上下にスライドさせて保持すると、自動でスクロールします。

▶ メールリストに戻るときは、ファンクションスイッチの スイッチを押します。

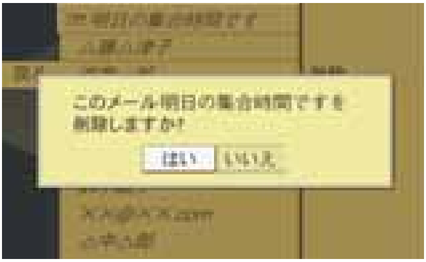
メールを削除する

▶ 削除するメールを選択して ・ 、"**オプション**" を選択し 、コントローラーを押します 。

▶ "**削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

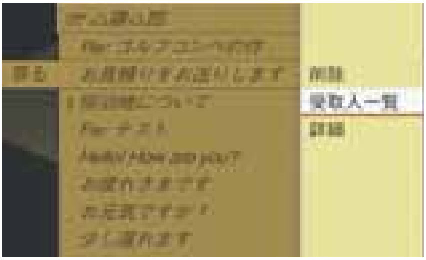


▶ "**メールを削除しました**" と表示され、メールが削除されます。

メールを受取人一覧で表示する

▶ "**オプション**" を選択して 、コントローラーを押します 。

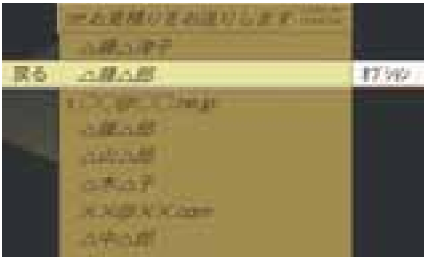
▶ "**受取人一覧**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ メールが受取人一覧で表示されます。

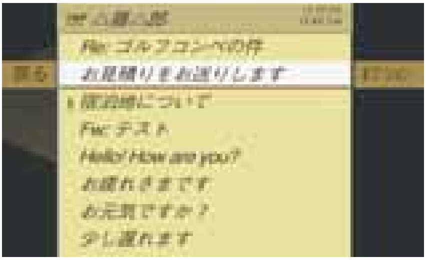
メールを件名一覧で表示する

▶ "**オプション**" を選択して ◎➡、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**件名一覧**" を選択して ⟲◎⟳ ・⬆◎⬇、コントローラーを押します ◎ 。

▶ メールが件名一覧で表示されます。

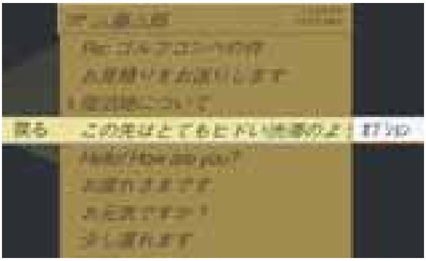


件名 / 受取人を詳細表示する

メールの件名や受取人名が長いときに全文を表示できます。

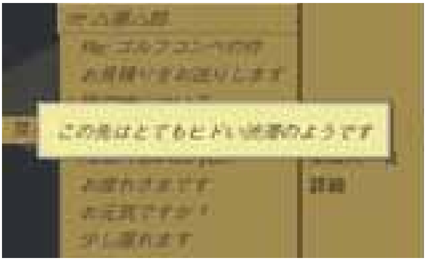
"**件名一覧**" にしているときは件名の全文が、"**受取人一覧**" にしているときは受取人名の全部が表示されます。

▶ "**オプション**" を選択して ◎➡、コントローラーを押します ◎ 。



▶ "**詳細**" を選択して ⟲◎⟳ ・⬆◎⬇、コントローラーを押します ◎ 。

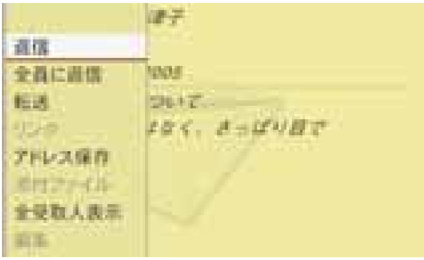
▶ 件名または受取人が詳細に表示されます。



▶ コントローラーを押すと、元の画面に戻ります。

メールの返信・転送

▶ 受信メールの本文を表示させて、コントローラーを押します 。ます。



" 返信 "
メールの発信者に返信します。

件名の最初に **"Re:"** が表示されます。

" 全員に返信 "
メールの発信者や、Cc: の宛先になっている受取人全員に返信します。

件名の最初に **"Re:"** が表示されます。

" 転送 "
メールを他の人に転送します。

件名の最初に **"Fw:"** が表示されます。

" 編集 "
メールの宛先や件名、内容などを変更して送信します。

▶ **" 返信 " " 全員に返信 " " 転送 " " 編集 "** のいずれかを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

メール入力画面が表示されます。

文字入力については **(8-41)** をご覧ください。

▶ メールの入力が終了したら、ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

以降の手順につきましては、**(8-16 ～)** をご覧ください。

メール読み上げ機能

音声認識機能を利用して、受信したメールを音声で聞くことができます。

ナビゲーションやオーディオなど他のモードを選択しているときも利用できます。

未読メールを読み上げる

▶ ステアリングスイッチの音声認識ボタンを押して、「メール ヨミアゲ」を発声します。

未読メールの読み上げを開始します。

このほかにも、音声認識機能で E メールの各機能を作動させることができます。詳しくは **(14-24)** をご覧ください。

メール読み上げの速度を設定する

▶ サブメニューエリアで **"E メール"** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ **" 読み上げ速度 "** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

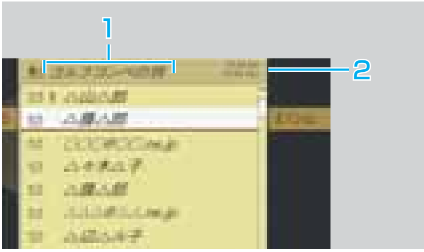
現在選択されている速度の左側には " • " が表示されています。

" ノーマル "
標準的な速度で読み上げます。

" スロー "
ゆっくりした速度で読み上げます。

" クイック "
速い速度で読み上げます。

文字の入力方法



1 入力した文字 / 文の表示
2 入力文字表示
3 入力文字種別表示

入力文字種別の切り替え

入力文字種別を選択して ◎↓ 、入力する文字の種別を選択します ◎ ・ ←◎→ 。

" **かな / 漢** "
ひらがなを入力できます。また、入力したひらがなを漢字に変換できます。

" **カナ** "
カタカナを入力できます。

" **英字** "
アルファベットを入力できます。 大文字 / 小文字、全角 / 半角に切り替えることができます。

> 知識
>
> ホームページアドレスや、"To:" "Cc:" などのメールアドレスを入力するときは、".co.jp/" や ".com/"、"www." など、頻繁に入力する文字列を入力することもできます。

" **数 / 記** "
数字や記号を入力できます。全角 / 半角に切り替えることができます。全角と半角では入力できる数字や記号の種類が異なります。

" **全角** " " **半角** "
文字種別で " **英字** " と " **数 / 記** " を選択しているときは、全角文字と半角文字が選択できます。

" **大文字** " " **小文字** "
文字種別で " **英字** " を選択しているときは、大文字と小文字が選択できます。

入力項目の選択

↑ または ↓ を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押すと ◎ 、To: や Cc:、件名と本文の間の移動ができます。

カーソルの移動

← ↑ ↓ → を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

改行

" **改行** " を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

入力した文字の削除

削除したい文字の右側にカーソルを移動して、 ← を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

入力した文字をすべて削除するときは、 " **全削除** " を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

ひらがなと漢字の入力

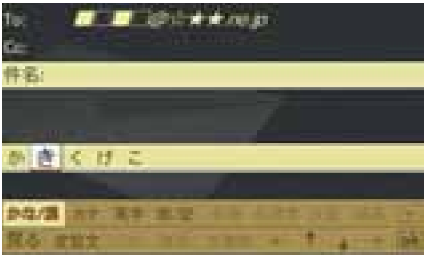
▶ 文字種別から " **かな / 漢** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力したい文字の行を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

「を」「ん」はわ行から選択します。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力したい文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



文字が入力されます。

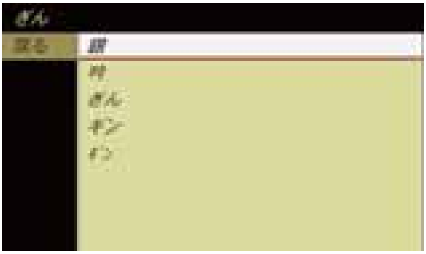
▶ 濁音文字や「ぱ」「ぴ」「ぷ」「ぺ」「ぽ」にする場合は、゜、ー を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 濁音記号などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

▶ 入力した文字を変換するときは、" **変換** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 変換する単語を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



カタカナの入力

▶ 文字種別から " **カナ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力したい文字の行を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

「ヲ」「ン」は、ワ行から選択します。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字が入力されます。

▶ 濁音文字や「パ」「ピ」「プ」「ペ」「ポ」にする場合は、°、– を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 濁音記号などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ この作業を繰り返して文字を入力します。

アルファベットの入力

▶ 文字入力種別から " **英字** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **全角** " / " **半角** " および " **大文字** " / " **小文字** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

スペースを入力するときは、 を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

数字や記号の入力

▶ 文字入力種別から "**数 / 記**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

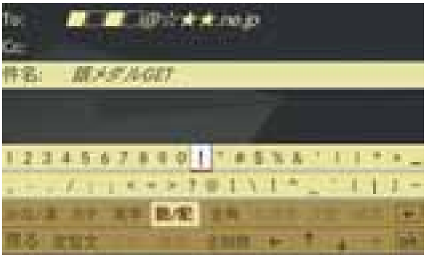
▶ "**全角**" / "**半角**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

件名や本文を入力していて、"**数 / 記**" で "**全角**" を選択しているときに、"**次頁**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、次ページの記号が表示されます。

"**前頁**" を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、前のページに戻ります。

▶ 入力する文字を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

スペースを入力するときは、␣ を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



句読点の入力

▶ ゜、ー を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

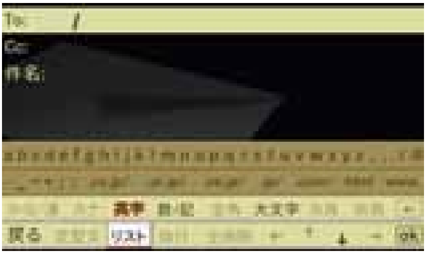
▶ 句読点などを選択して ・ 、コントローラーを押します 。

メールアドレスリスト

送信先（To: / Cc:）の入力時に、アドレス帳の仕事ページに登録してあるメールアドレスを呼び出して入力できます。

▶ **"To" または "Cc" を選択します** ↑◎↓ 。

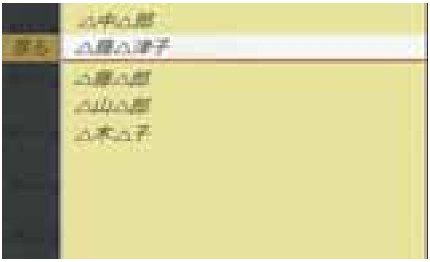
▶ **"リスト" を選択して** ◎ · ←◎→、コントローラーを押します ◎ 。



メールアドレスのリストが表示されます。

▶ 検索するときは、表示名を入力して、コントローラーを押します ◎ 。

▶ アドレス帳から直接検索するときは、メインエリアを選択し↑◎ 、宛先を選択して ◎ · ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



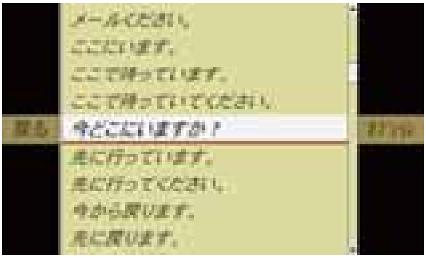
選択した宛先のメールアドレスが入力されます。

定型文の入力

▶ "**定型文**" を選択して、コントローラーを押します。

定型文リストが表示されます。

▶ 入力する定型文を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



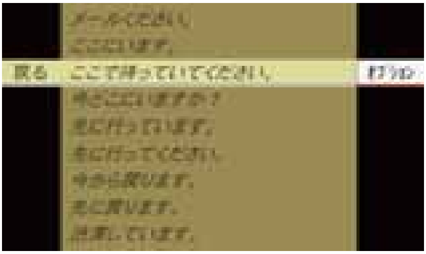
定型文が入力されます。

定型文の新規作成・追加・編集

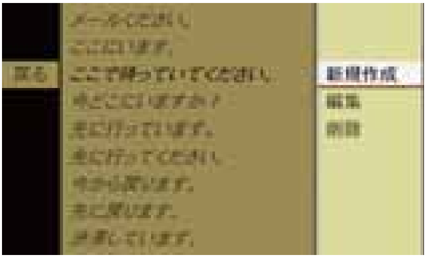
定型文は最大 20 まで登録できます。

定型文を新規作成する

▶ 定型文リストで "**オプション**" を選択して 、コントローラーを押します 。



▶ "**新規作成**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



文字入力画面になります。

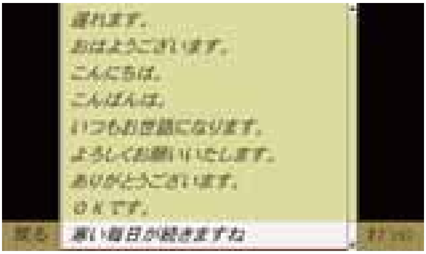
▶ 登録する定型文を入力します。

▶ 文字入力が終了したら、ok を選択して、コントローラーを押します 。

新しい定型文が追加されます。

定型文を編集する

▶ 定型文リストで、編集したい定型文を選択します ・ 。



▶ " **オプション** " を選択して 、コントローラーを押します 。

▶ " **編集** " を選択して、コントローラーを押します 。

文字入力画面になります。

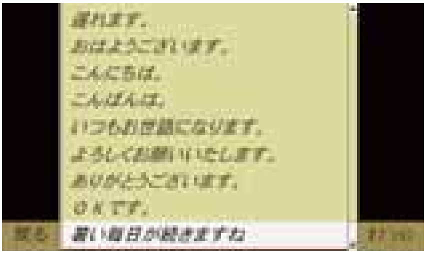
▶ 定型文を編集します。

▶ 定型文の編集が終了したら、ok を押します。

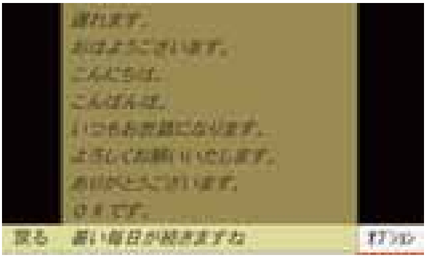
編集された定型文が表示されます。

定型文を削除する

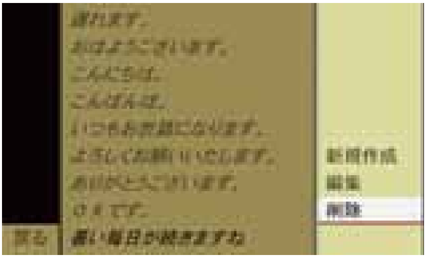
▶ 定型文リストで、削除したい定型文を選択します ・ 。



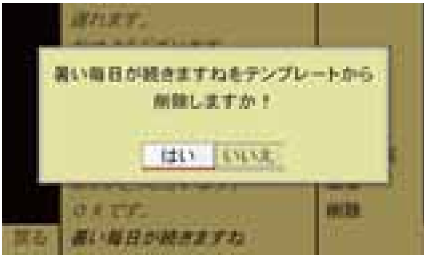
▶ " **オプション** " を選択して 、コントローラーを押します 。



▶ " **削除** " を選択して、コントローラーを押します 。



▶ " **はい** " を選択して 、コントローラーを押します 。



定型文が削除されます。

ユーザー辞書

音声認識でEメールを読み上げるとき、メール内に該当する単語がある場合に、ユーザー辞書の登録内容に読み替えて発声します。

音声認識によるEメール読み上げについては、(14-14)をご覧ください。

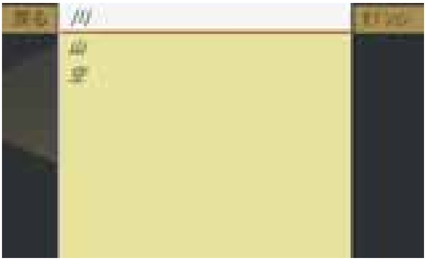
> **知識**
>
> 登録した単語が名詞でない場合、前後の品詞の接続性によってお客様が登録された読みがなを読み上げない場合があります。

登録単語を見る

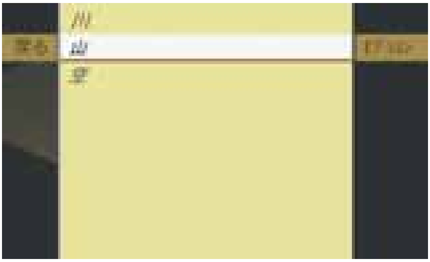
▶ サブメニューエリアで"**Eメール**"を選択して・、コントローラーを押します。

▶ "**ユーザー辞書**"を選択して・、コントローラーを押します。

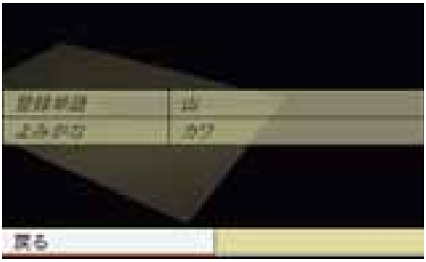
ユーザー辞書のリストが表示されます。



▶ 単語を選択して・、コントローラーを押します。

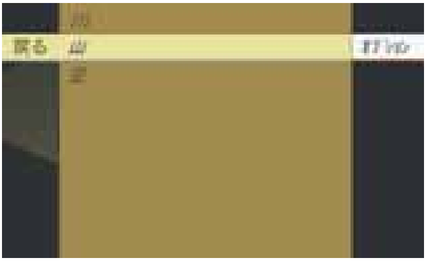


単語とよみがなが表示されます。



ユーザー辞書に単語を新規登録する

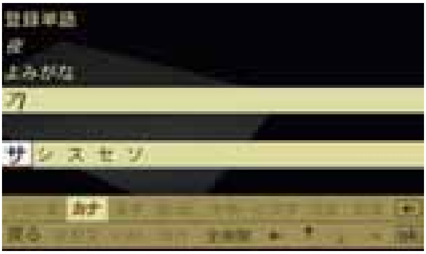
▶ ユーザー辞書の登録単語リストで " **オプション** " を選択して ◎➡、コントローラーを押します ◎ 。



▶ " **新規登録** " を選択して ◎ ・ ⬆◎⬇ 、コントローラーを押します ◎ 。

文字入力画面になります。

▶ 登録単語とよみがなを入力します。



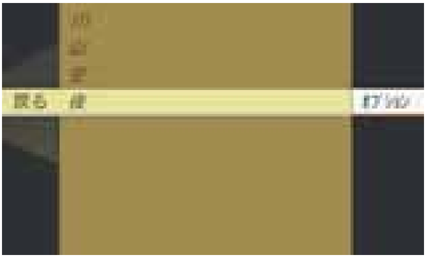
▶ 文字入力が終了したら、 ok を選択して、コントローラーを押します ◎ 。

以下のメッセージが表示され、新しい単語が登録されます。

登録単語を削除する

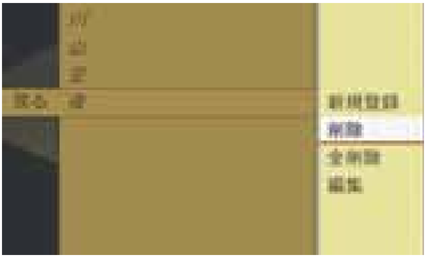
▶ ユーザー辞書の登録単語リストで、削除したい単語を選択します ・ 。

▶ " **オプション** " を選択して 、コントローラーを押します 。



▶ " **削除** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" **全削除** " を選択して、コントローラーを押すと 、すべての登録単語が削除されます。

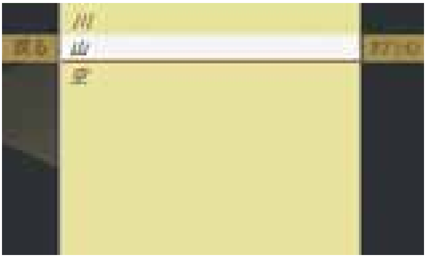


▶ " **はい** " を選択して 、コントローラーを押します 。

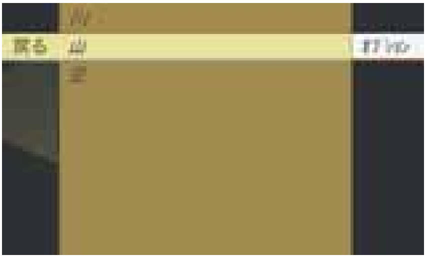
以下のメッセージが表示され、登録単語がユーザー辞書から削除されます。

登録単語を編集する

▶ ユーザー辞書の登録単語リストで、編集したい単語を選択します ・ 。



▶ " **オプション** " を選択して 、コントローラーを押します 。



▶ " **編集** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

文字入力画面になります。

▶ 単語またはよみがなを編集します。

▶ 単語の編集が終了したら、 ok を押します。

以下のメッセージが表示され、登録単語の編集が完了します。

9.　インターネット

インターネットに接続する……… 9-2
・利用するまえに
・インターネットモードにする
・プロバイダの設定
・共通設定
インターネットを利用する……… 9-6
・ホームページを見る
・ホームページが表示されたら
・お気に入りを利用する
・過去の履歴を利用する
・" ホーム " に設定したページを表示する

携帯電話機によっては、電話機能が使用できても、E メールやインターネットが利用できないことがあります。

詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

インターネットに接続する

利用するまえに

以下のことを確認してください。

- プロバイダの設定が正しく行なわれていること（8-6）
- 電源が入った携帯電話がCOMANDシステムに接続されていること

インターネットモードにする

▶ ファンクションスイッチのON / OFFスイッチ ON を押します。

COMANDシステムが起動します。

▶ 電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ TEL NAVI を押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " **電話 / 情報** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

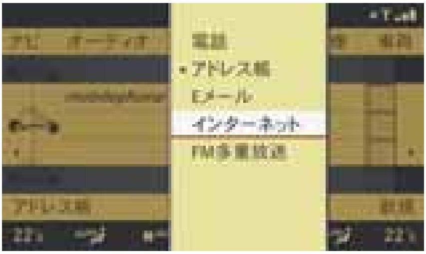
インターネットモードになります。

> 知識
>
> " **電話 / 情報** " の他のモードを選択していたときは、電話 / 情報メニュー（下部参照）が表示されます。
>
> 電話 / 情報メニューで、" インターネット " を選択してください。

インターネットモードにならなかったときは、再度 " **電話 / 情報** " を選択して 、コントローラーを押します 。

電話 / 情報メニューが表示されます。

▶ 電話 / 情報メニューで " **インターネット** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



インターネットモードになります。

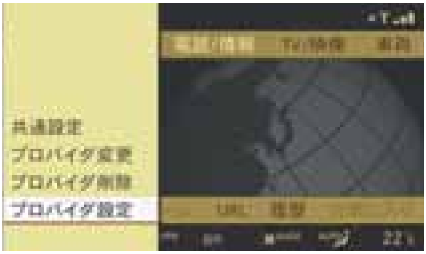
プロバイダの設定

▶ サブメニューエリアで "**インターネット**" を選択して・、コントローラーを押します。

▶ "**プロバイダ設定**" を選択して・、コントローラーを押します。

"**プロバイダ設定**"、"**プロバイダ変更**"、"**プロバイダ削除**" については **(8-6、8、9)** をご覧ください。

"**共通設定**" については **(9-4)** をご覧ください。



注意

インターネットを使用すると、パケット通信料が高額になる場合があります。

知識

- 本システムでは、主に以下のことはできません。
  - ◇ 表示されたホームページの保存
  - ◇ サウンド再生、動画再生など、プラグインを利用するホームページの表示
  - ◇ ファイルのダウンロード
  - ◇ FTP、telnet 機能の利用
  - ◇ ネットニュースの購読
  - ◇ ネットニュースへの投稿
  - ◇ Java スクリプトの動作
- ホームページによってはアクセスできないことや、アクセスできても画面が表示されないことがあります。

共通設定

以下の項目を設定・表示できます。

- URL 入力画面の設定
- 画像表示の設定
- Cookie の表示
- Cookie の設定

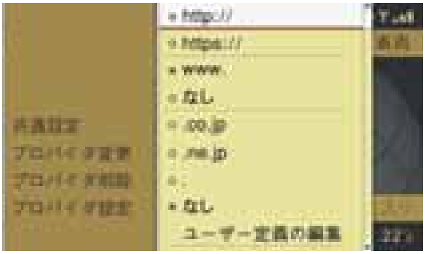
▶ サブメニューエリアで " **インターネット** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **共通設定** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ 設定する項目を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

URL 入力画面を設定する

URL 入力画面（9-6）に表示される、URL 形式を設定できます。



現在選択されている設定の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

"http://"

一般的なホームページを表示するときに選択します。

"https://"

SSL 対応のホームページを表示するときに選択します。

"www."

一般的なホームページを表示するときに選択します。

" なし "

URL に www. がないホームページを表示するときに選択します。

".co.jp" ".ne.jp"

日本の法人や団体などのホームページを表示するときに選択します。

" （．） "

" **ユーザー定義の編集** " で入力したドメインを設定できます。

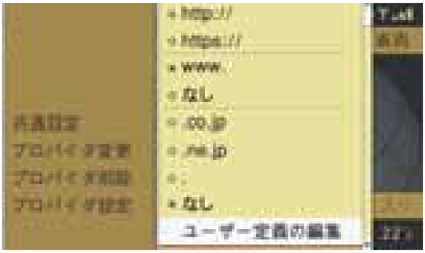
" なし "

ドメインを自分で入力するときに選択します。

ユーザー定義の編集

自分で入力したドメインを設定できます。

▶ " **ユーザー定義の編集** " を選択して 、 、コントローラーを押します 。



▶ 設定したいドメインを入力します。

文字入力のしかたは **(8-41)** をご覧ください。

▶ 入力後、 ok を選択して、コントローラーを押します 。

入力したドメインが ".ne.jp" の下に表示され、選択できるようになります。

正しいドメインが入力されていることを確認してください。

画像表示

画像表示を OFF にすると、パケット代が軽減され、ページの表示速度が速くなることがあります。

画像表示が OFF に選択されているときは、左側のボックスにはチェックマークが表示されます。

> **知識**
>
> 画像表示を OFF にしても、表示速度が変わらなかったり、ホームページが表示できない場合があります。

Cookie 一覧

受信した Cookie を表示できます。

Cookie : ON / OFF

必要に応じて、Cookie の設定を切り替えることができます。

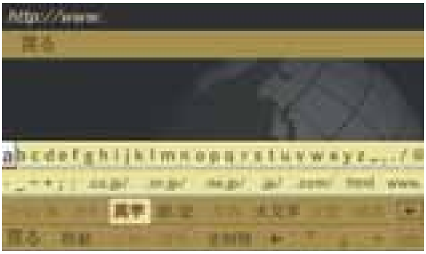
インターネットを利用する

ホームページを見る

▶ サブメニューエリアで "**URL**" を選択して 、コントローラーを押します 。

▶ URL を入力します。

文字入力のしかたは **(8-41)** をご覧ください。

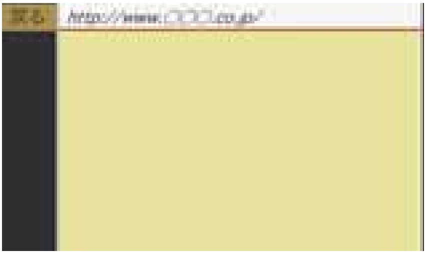


▶ 入力後、" **移動** " を選択し → 、コントローラーを押します 。

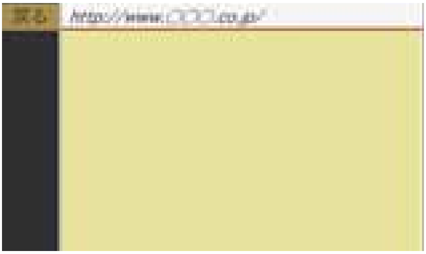
指定したページに接続します。

または

▶ 文字入力画面のメインエリアを選択すると 、過去に入力した URL が表示されます。



▶ URL を選択して、 、コントローラーを押します 。



指定したページに接続します。

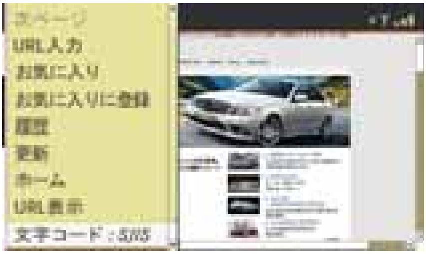
知識

- インターネットに接続すると、画面の右上にアイコンが表示されます。
- インターネットへの接続時間は、回線の混み具合によって異なります。
- 表示できる画像データは、GIF 形式、JPEG 形式のデータです。
- ホームページの詳細は、各ホームページの管理者にお問い合わせください。
- ホームページの都合により、アクセスできない場合があります。

ホームページが表示されたら

基本メニューの説明

▶ ホームページが表示されているときにコントローラーを長押しすると 、基本メニューが表示されます。



" 戻る "
インターネットブラウジングを終了します。

" 中止 "
ページの読み込みを中止します。

" 前ページ "
前のページが表示されます。

" 次ページ "
次のページが表示されます。

"URL 入力 "
URL を入力して、リンク先を表示します。

" お気に入り "
お気に入りに登録してある URL を表示します。

" お気に入りを登録 "
表示中のホームページの URL をお気に入りに登録します。

" 履歴 "
過去に移動したリンク先を表示します。

" 更新 "
表示中のページが更新されます。

" ホーム "
" プロバイダ設定 "（8-6）の **" ホームページ "** に入力したページが表示されます。

"URL 表示 "
表示中のホームページの URL を表示します。

" 文字コード "
ホームページを表示する文字コードを選択します。

リンク先のページに移動する

▶ コントローラーでリンクのある文字・画像を選択して ・ ・ 、コントローラーを押します 。

リンク先のページに切り替わります。

お気に入りを利用する

ホームページのURLを本システムに登録する（お気に入りに登録する）と、お気に入りのリストから希望のURLを選択するだけでホームページに接続できます。

お気に入りを登録する

▶ 基本メニューを表示します（9-7）。

▶ "**お気に入りに登録**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

表示中のページがお気に入りに登録されます。

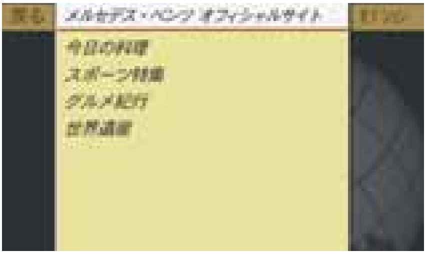
> **知識**
>
> 最大 50 件まで登録できます。

お気に入りの一覧を表示する

▶ 基本メニューを表示します（9-7）。

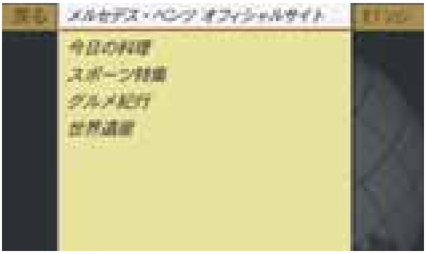
▶ "**お気に入り**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

お気に入りの一覧が表示されます。

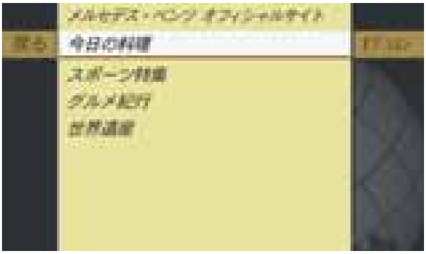


お気に入りに登録したページを見る

▶ お気に入りの一覧を表示します (9-8)。



▶ 見たいホームページの名前または URL を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

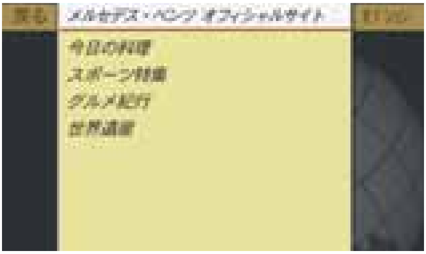


選択したホームページが表示されます。

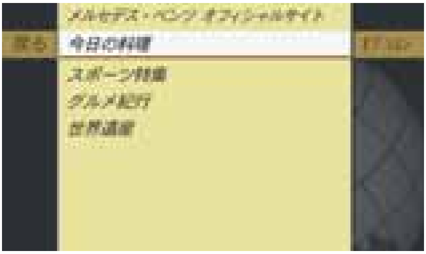
または

▶ インターネットモードのときにサブメニューエリアで、" **お気に入り** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

お気に入りの一覧が表示されます。



▶ 見たいホームページの名前または URL を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

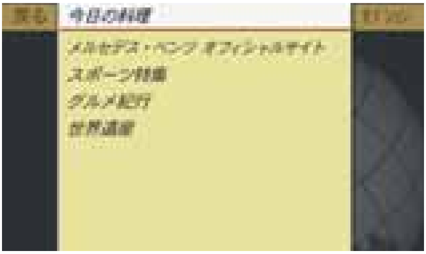


選択したホームページが表示されます。

お気に入りの内容を編集する

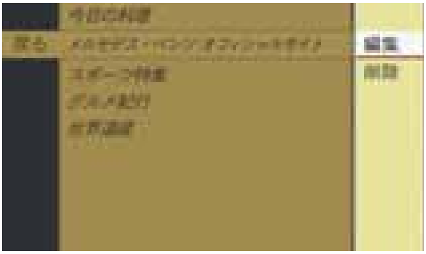
お気に入りに登録したホームページの名前と URL を編集することができます。

▶ お気に入りの一覧を表示します **(9-8)**。



▶ 編集するホームページを選択し〔◎〕・↑◎↓、"**オプション**"を選択して◎→、コントローラーを押します◎。

▶ "**編集**" を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します◎。

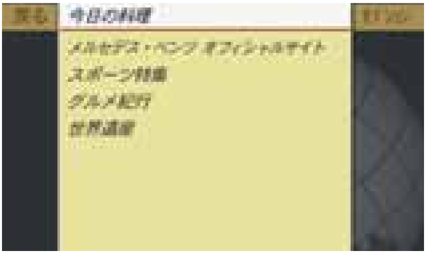


メインエリアの上段で名前を、下段で URL を編集します。

文字入力のしかたは **(8-41)** をご覧ください。

お気に入りを削除する

▶ お気に入りの一覧を表示します **(9-8)**。

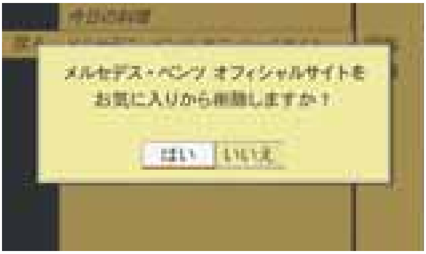


▶ 削除するホームページを選択し〔◎〕・↑◎↓、"**オプション**" を選択して◎→、コントローラーを押します◎。

▶ " **削除** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **はい** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

削除しないときは " **いいえ** " を選択します。



選択したホームページがお気に入りから削除されます。

過去の履歴を利用する

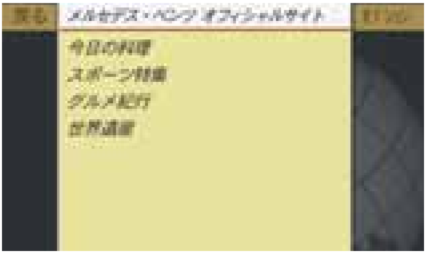
過去に移動したリンク先の URL を選択するだけでホームページに接続できます。

履歴を表示する

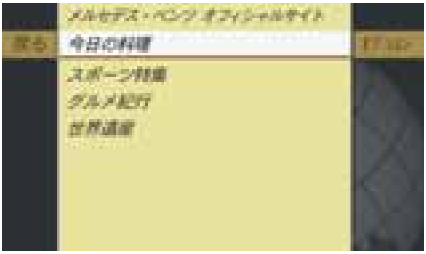
▶ 基本メニューを表示します。

▶ " **履歴** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

過去に移動したリンク先の履歴一覧が表示されます。



▶ 表示したいホームページを選択して ◎ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

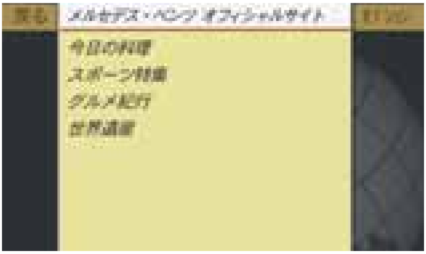


選択したホームページが表示されます。

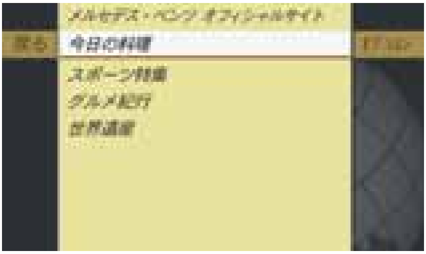
または

▶ インターネットモードのときにサブメニューエリアで " **履歴** " を選択して ◎ ・ ←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。

過去に移動したリンク先の履歴一覧が表示されます。



▶ 表示したいホームページを選択して ◎ ・ ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



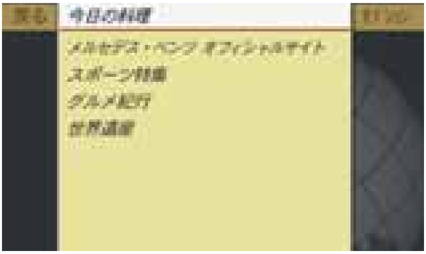
選択したホームページが表示されます。

履歴を削除する

▶ 基本メニューを表示します。

▶ "**履歴**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

過去に移動したリンク先の履歴一覧が表示されます。



▶ 削除するホームページを選択し ・ 、"**オプション**" を選択して 、コントローラーを押します 。

▶ 選択したホームページの履歴をを削除するときは "**削除**"、すべての履歴を削除するときは "**全削除**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ "**はい**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

削除しないときは "**いいえ**" を選択します。

選択したホームページが履歴から削除されます。

" **ホーム** " に設定したページを表示する

▶ " **プロバイダ設定** " の " **ホームページ** " で " **ホーム** " に設定する URL を登録します (8-7)。

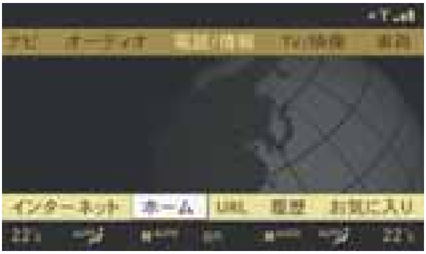
▶ 基本メニューを表示します(9-7)。

▶ " **ホーム** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

" **ホーム** " に設定されたページが表示されます。

または

▶ インターネットモードのときにサブメニューエリアで " **ホーム** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



" **ホーム** " に設定されたページが表示されます。

10.　FM 多重放送

FM 多重放送 ························ 10-2
FM 多重放送の受信 ··············· 10-2
・他の放送局を選局する
・番組を選択する
・自動ページ送りを設定する
・自動送りを停止するとき
・最新情報の画面を表示する
緊急放送お知らせ機能············ 10-7
文字多重放送のメッセージ······ 10-7
FM 多重放送受信時の注意 ······ 10-7

FM 多重放送

受信中のラジオ放送とは独立して、FM 多重放送を受信して、文字情報を表示できます。

走行中は文字情報画面の一部の機能操作はできません。

番組情報

FM ラジオ放送中の番組と連動しており、放送中の曲名や演奏者名、リクエスト先などの情報を表示します。

独立情報

放送中のラジオ番組とは連動せず、常に送信されているニュース番組、天気予報、交通情報などの情報を表示します。

緊急情報

放送局側で緊急情報番組を送信したときのみ情報を表示します。

> 知識
>
> FM 多重放送の番組メニューや情報表示画面は、それぞれの放送局独自の構成により表示されますので、表示方法が放送局の方針などにより、予告なく変化することがあります。
>
> そのため、画面表示を特定することができませんので、以降に続く操作説明については表示例に基づく基本操作部分のみとなります。

FM 多重放送の受信

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ **ON** を押します。

COMAND システムが起動します。

▶ 電話 / 情報、ナビゲーションスイッチ **TEL NAVI** を押します。

または

▶ アプリケーションエリアで "**電話 / 情報**" を選択して ◎ ・ ◎ 、コントローラーを押します ◎ 。

FM 多重放送モードになります。

> 知識
>
> " 電話 / 情報 " の他のモードを選択していたときは、電話情報メニュー（次頁参照）を表示させて、"FM 多重放送 " を選択してください。

FM 多重放送モードにならなかったときは、再度アプリケーションエリアで "**電話 / 情報**" を選択して ⬆◎ 、コントローラーを押します。 ◎ 。

電話 / 情報メニューが表示されます。

▶ 電話 / 情報メニューで "**FM 多重放送**" を選択して 〔◎〕 ・ ⬆◎⬇ 、コントローラーを押します ◎ 。

FM 多重モードになると、下記のメッセージが表示されて、FM 多重放送の受信を開始します。

放送の受信を開始すると、ステータスエリアに "**FM 多重放送 受信中**" と表示されます。

また、受信している周波数と放送局名がメインエリアに表示されます。

受信完了後、FM 多重放送画面が表示されます。

知識
放送局が選択されても、FM 多重放送が受信できないときは、次の放送局の選局に戻ります。

他の放送局を選局する

▶ サブメニューエリアで " −◀ " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

受信周波数が低い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

または

▶ サブメニューでエリアで " ▶+ " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

受信周波数が高い周波数に動き、次に受信できる放送局で停止します。

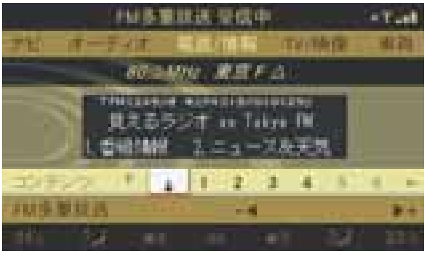
放送の受信を開始すると、ステータスエリアに "**FM 多重放送 受信中** " と表示されます。

また、受信している周波数と放送局名がメインエリアに表示されます。

番組を選択する

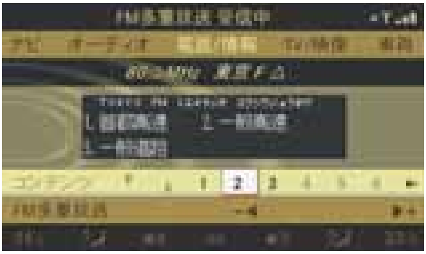
▶ メインエリアで " **コンテンツ** " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

メインエリアにタイトルが表示されます。タイトルが多い場合は、" ↓ " を選択して〔◎〕・←◎→、コントローラーを押すと ◎ 、次のタイトルが表示されます。



> **知識**
>
> 放送局タイトルは複数の階層になっているときがあります。そのときは、下の階層で再度みたいコンテンツのタイトル番号を選択して、コントローラーを押します。

▶ 見たいコンテンツのタイトル番号を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



> 知識
>
> " ← " を選択して、コントローラーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

コンテンツが表示されます。

コンテンツ内容が長いときは、" ↓ " を選択して ・ 、コントローラーを押すと 、続きの内容を見ることができます。

自動ページ送りを設定する

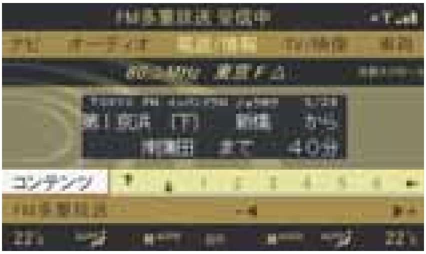
ニュース・天気予報など、複数ページにわたる情報番組は、「自動送り」を設定することで自動的に文字情報のページが送られます。

▶ サブメニューエリアで **"FM 多重放送"** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ **" 自動スクロール "** を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

自動ページ送りが選択されているときは、左側のボックスにチェックマークが表示されます。

また、メインエリアに " **自動スクロール** " と表示されます。



文字情報が約 9 秒おきに自動で切り替わります。

自動送りを停止するとき

▶ サブメニューエリアで "**FM 多重放送** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **自動スクロール** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

> 知識
>
> 自動送り中に文字情報ページを手動で送ったときも、自動送りは中断されます。

最新情報の画面を表示する

受信している FM 多重放送を更新できます。

▶ サブメニューエリアで "**FM 多重放送** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **更新** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

緊急放送お知らせ機能

FM文字多重放送受信中に、地震発生などの緊急放送を受信すると自動的に緊急情報に切り替わります。

文字多重放送のメッセージ

「FM多重放送を受信できません」

FM文字多重放送が受信できなかったときなどに表示されます。FM文字多重放送が送信されていないときや、送信されていても電波状態が良好でないときは受信できません。

「FM多重放送を受信中です。しばらくお待ち下さい」

FM文字多重放送情報を新しく受信しているときに表示されます。情報画面やメニュー画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

「FM多重放送を選局中です。しばらくお待ち下さい」

他の放送局を選局しているときに表示されます。情報画面やメニュー画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

「この情報は停車中にご覧になれます」

走行中に番組情報を選択したときなどに表示されます。車を安全な所に停車させてからご利用ください。

> 知識
>
> 同じように、「文字情報画面」表示中に表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

FM多重放送受信時の注意

- 文字情報はラジオの受信中に送られてきますが、送られてくる情報の受信時期が番組情報とずれることがあります。そのため、同時にすべての情報画面を表示できないことがあります。
- 番組内容やメニューなどは、各放送局の自主制作によるものであり、受信表示内容については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 受信情報は、個人として楽しむなどに限られ、著作権上作成権利者である放送局の許可なしでは使用できません。

11. テレビ

安全に利用するために………… 11-2

COMAND システムの
テレビについて…………………… 11-2

走行中の映像表示について…… 11-3

地上デジタル放送について …… 11-3

・地上デジタル放送とは？
・地上デジタル放送の受信エリアについて
・地上デジタル放送化のスケジュール

テレビを開く…………………… 11-4

基本画面と全画面表示の切り替え
……………………………… 11-5

リモコンの操作………………… 11-5

・リモコン各部の名称
・リモコンの電池交換

初期設定………………………… 11-8

・初期設定をする

ホーム CH スキャンを行なう
…………………………………… 11-11

・ホーム CH スキャン

デジタル放送を見る………… 11-13

・画面表示について
・ホーム CH ／ ドライブ CH の切り替え
・ワンセグを見る
・ワンセグ / フルセグの自動切り替え

情報を見る……………………… 11-17

・番組の情報を表示する
・番組の詳しい情報を見る
・番組の信号を切り替える
・データ放送を見る

放送局・番組を探す………… 11-21

・同じ時間帯の各チャンネルの番組表を表示する
・番組表を切り替える
・番組表を更新する
・チャンネル一覧で探す
・表示されるメッセージについて
・系列局を探す
・登録されたチャンネルを順に探す
・SEEK 選局する

チャンネルを登録する……… 11-25

・ホーム CH
・ドライブ CH
・数字キーに登録する

設定メニュー………………… 11-27

・視聴設定メニュー
・情報確認メニュー
・メールを読む
・受信機設定メニュー
・初期設定をする（設定キーによる設定）

画質・画面の調整…………… 11-40

・画質の調整
・画面比率の設定

サウンドの調整……………… 11-41

こんなときは………………… 11-42

・こんなメッセージが出たら
・故障かな？と思ったら

安全に利用するために

⚠警告

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に漏れるおそれがあります。

- COMAND システム本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- COMAND システム本体が損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

COMAND システムのテレビについて

- COMANDシステムのテレビは、地上デジタル放送(ワンセグ含む)対応です。BS デジタル放送、110 度CS デジタル放送には対応していません。
- COMANDシステムのテレビは、双方向データ放送には対応していません。
- COMANDシステムのテレビは、ワンセグのデータ放送、および字幕放送には対応していません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。

  ◇ 映像や音声にノイズが発生する

  ◇ 映像や音声が途切れる。
- COMANDシステムのテレビで設定されているデータには、個人情報を含むものがあります。本製品を譲渡または廃棄される場合には、「設定情報初期化」をすることをおすすめします。
- COMANDシステムのテレビは、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。

  この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- COMANDシステムのテレビは、マクロヴィジョン社が保有する日本特許第1925090 号の特許技術のライセンス供与により製造されたものであり、この製品での使用は一部のプログラム配信に限定されています。
- COMANDシステムのテレビはデータ放送BMLブラウザとして、株式会社 ACCESS の NetFront DTV Profile を搭載しています。

- COMANDシステムのテレビの一部にIndependent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- ACCESS、NetFront は株式会社ACCESS の日本またはその他の国における商標または登録商標です。なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

走行中の映像表示について

約5km/h以上の速度で走行しているときは、映像が自動的に表示されなくなり、音声のみが再生されます。

また、"安全のため、走行中は音声のみお楽しみください"とCOMANDディスプレイに表示されます。

走行速度が約5km/h以下になると、映像が再び表示されます。

地上デジタル放送について

COMANDシステムのテレビは、フルセグメント（12セグメント）およびワンセグメント（ワンセグ）の地上デジタル放送に対応しています。

> 知識
>
> COMAND システムのテレビは、アナログ放送には対応していません。

地上デジタル放送とは？

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

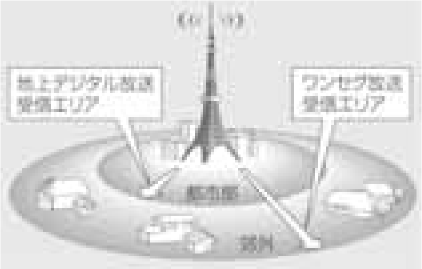
2003年12月より一部の地域で開始され、順次放送が開始されています。

地上デジタル放送の受信エリアについて

地上デジタル放送は、高画質・高音質で地域に密着したデータ放送などを楽しむことができます。

フルセグメント（12セグメント）の地上デジタル放送は、都市部でのみ受信が可能です。

ワンセグメント（ワンセグ）の地上デジタル放送は、郊外での受信が可能です。

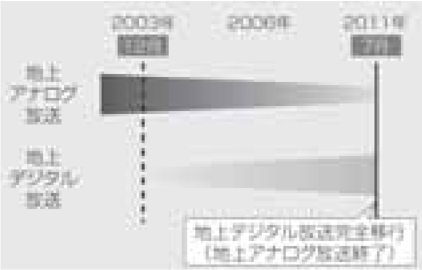


テレビ
DVDビデオ
TV／映像

地上デジタル放送化のスケジュール

地上デジタル放送は2003年12月より、関東・中京・近畿の三大広域圏から開始され、2006年12月までに全国都道府県庁所在地で放送が開始されています。

2011年7月には地上デジタルテレビ放送に完全移行し、現在の地上アナログ放送を終了することが、国の施策として決定されています。



テレビを開く

▶ ファンクションスイッチのON/OFFスイッチ **ON** を押します。

▶ アプリケーションエリアで **"TV/映像"** を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

テレビモードになります。

テレビモードにならなかったときは、再度アプリケーションエリアで **"TV/映像"** を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

TV/映像メニュー画面が表示されます。

▶ TV/映像メニューで **"テレビ"** を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

テレビモードになります。

知識

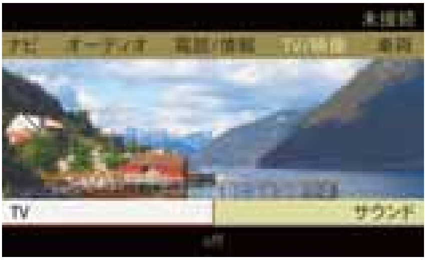
- 他のTV/映像モードを選択していたときは、TV/映像メニューを表示させて、"テレビ"を選択してください。
- 前回開いていた映像ソースがテレビのときでも、テレビチューナーの電源がオフのときは、ディスプレイには何も映りません。このときは、リモコンの電源キーを押します（11-6）。
- iPod® を接続しているときは、テレビは映りません。iPod® をコネクターから取り外してください（5-3）。
- iPod® に記録されているビデオを再生することができます（5-9）。

基本画面と全画面表示の切り替え

全画面表示から基本画面にする

▶ 全画面表示のときに、COMANDコントローラーを押します。

基本画面になります。



基本画面

基本画面から全画面表示にする

▶ 基本画面のときにCOMANDコントローラーを上にスライドして"全画面表示"を表示させます。

▶ COMANDコントローラーを押します。

リモコンの操作

COMANDシステムのテレビ機能は付属のリモコンで操作を行ないます。

⚠ 警告

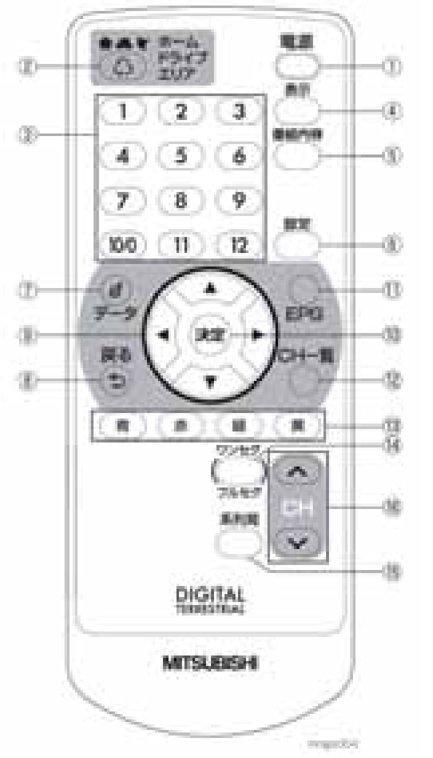
リモコンを車内に放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときなどにリモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと、運転の妨げとなり事故を起こすおそれがあります。

注意

リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となります。

リモコン各部の名称



名称 / 機能	ページ
① 電源キー テレビ機能をオン / オフします。	11-8
② CH 切り替えキー ホーム CH とドライブ CH を切り替えます。	11-15
③ 数字キー チャンネルを切り替えたり、数値を入力する際に使用します。長押しすると数字キーに放送局を登録します。	11-9 11-15 11-27
④ 表示キー 視聴している番組タイトルなどを表示します。 番組表や設定画面などから受信画面に戻ります。	11-17
⑤ 番組内容キー 視聴している番組内容を表示します。	11-18
⑥ 設定キー 各種設定を行ないます。	11-8 11-27
⑦ "d" キー データ放送のある番組の場合にデータ放送画面を表示します。	11-20
⑧ " 戻る " キー 決定の解除や 1 つ前の画面に戻ります。	-
⑨ カーソルキー 項目を選択する際に使用します。	-
⑩ 決定キー 項目を決定する際に使用します。	-
⑪ EPG キー 各チャンネルで現在放送中の番組名を表示します。	11-21
⑫ CH 一覧キー 登録されたチャンネル一覧を表示します。	11-23
⑬ カラーキー データ放送などで項目を決定する際に使用します。	11-21

名称 / 機能	ページ
⑭ ワンセグ / フルセグキー ワンセグ / フルセグの切り替えを行ないます。 長押しするとワンセグ / フルセグ自動切替設定を変更します。	11-16
⑮ 系列局キー 系列局に切り替えます。長押しすると系列局をサーチします。	11-24
⑯ "CH ∧ ∨ " キー 登録した放送局を順送りまたは逆送りで選局します。 長押しはホーム CH / ドライブ CH により動作が異なります。	11-15 11-24 11-25

知識

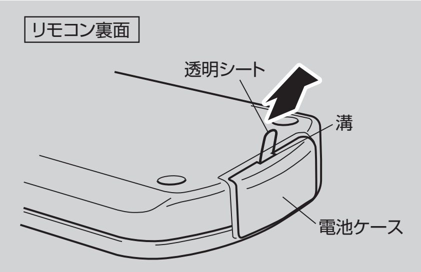
走行中は一部の機能を除いて操作することはできません。

リモコンの電池交換

はじめてリモコンを使用するとき

リモコンには工場出荷時に電池が入っていますが、電池が放電しないよう透明シートで絶縁しています。

ご使用の前に透明シートを取り除いてください。



知識

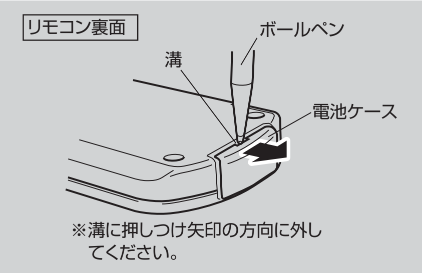
透明シートはゆっくり、丁寧に取り除いてください。

テレビ
DVD ビデオ
TV／映像

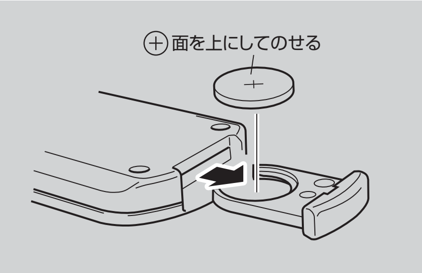
電池交換をする

> 知識
>
> リモコンの電池は液漏れなどの異常がないか定期的に確認してください。

▶ リモコン裏面にある溝にボールペンの先など先の細いものを入れ、押しつけながら矢印の方向に外します。



▶ （＋）プラス面を上にして、新しい電池（CR2025）を電池ケースに入れます。



> 注意
>
> (＋)プラス、(－)マイナスの方向を間違えないように注意してください。

▶ 電池ケースを奥まで差し込みます。

初期設定

テレビ機能を初めて使用するときは、初期設定を行なってください。

初期設定をする

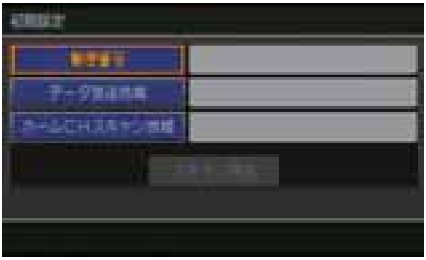
▶ COMANDシステムの電源をオンにします **(1-16)**。

▶ テレビを開きます **(11-4)**。

▶ イグニッション位置を**1**または**2**にします。

▶ 電源キーを押します。

下記の画面が表示されます。

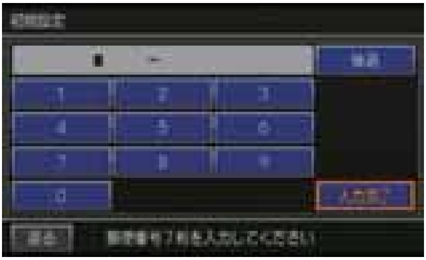


> 知識
>
> - 居住地域での初期設定を行なうときは、郵便番号での設定をお勧めします。
> - データ放送地域とホームCHスキャン地域は郵便番号とは個別に設定可能です。
> - リモコンの設定キーから再度設定することも可能です(11-6)。

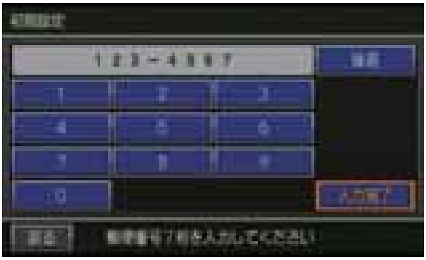
郵便番号で設定する

▶ カーソルキーの▲または▼で "郵便番号" を選択して、決定キーを押します。

▶ 数字キーで、 郵便番号を入力します。



▶ カーソルキーの◀または▶で "入力終了" を選択して、決定キーを押します。

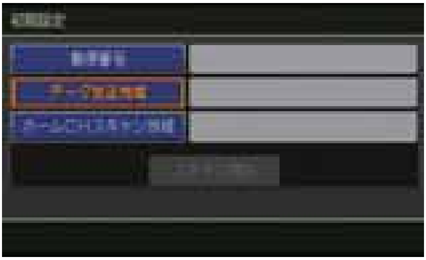


知識

- 入力ミスなどで一文字戻る場合は " 後退 " を選択して、決定キーを押します。
- 郵便番号で設定すると居住地域は自動設定されます。

データ放送地域から設定する

▶ カーソルキーの▲または▼で "データ放送地域" を選択して、決定キーを押します。

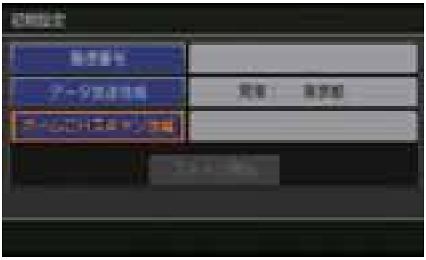


▶ カーソルキーの▲または▼で地域を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で都道府県を選択して、決定キーを押します。

ホームCHスキャン地域から設定する

▶ カーソルキーの▲または▼で"ホームCHスキャン地域"を選択して、決定キーを押します。

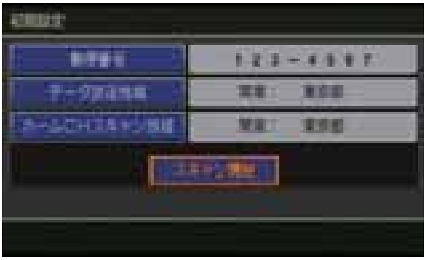


▶ カーソルキーの▲または▼で居住地域の地方を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で都道府県を選択して、決定キーを押します。

ホーム CH スキャンを行なう

▶ カーソルキーの▲または▼で "スキャン開始" を選択して、決定キーを押します。



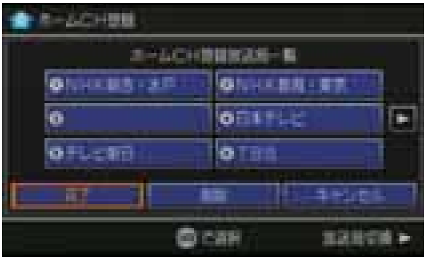
知識

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に決定キーを押すことで中止できます。

知識

チャンネルスキャンを中止した場合は、ホーム CH へ登録されるチャンネルが少なくなる場合があります。

▶ カーソルキーの◀または▶で "完了" を選択して、決定キーを押します。



知識

- " キャンセル " を選択して決定キーを押した場合はホーム CH に登録されません。
- ホーム CH には最大 12 局まで登録することができます。
- ホーム CH に登録した放送局の場所（番号）を移動するときは、カーソルキーで放送局を選択して決定キーを押し、移動したい場所（番号）で再度決定キーを押します。
- ホーム CH に登録された放送局を削除するには、削除したい放送局を選択して決定キーを押し、カーソルキーで " 削除 " を選択して、再度決定キーを押します。

ホーム CH スキャン

> **知識**
>
> ホーム CH スキャンは受信機設定メニューから行なうこともできます（11-32）。

▶ 設定キーを押します。

受信機設定メニューが表示されます。

▶ カーソルキーの◀または▶で "初期設定" を選択します。

▶ カーソルキーの▲または▼で "ホームCHスキャン" を選択して、決定キーを押します。

初期ホームCHスキャンを行なう

居住地域が変更になった場合などに行います。

▶ カーソルキーの▲または▼で "初期ホームCHスキャン" を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で "居住地域" を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で地方を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で都道府県を選択して、決定キーを押します。

選択した居住地域にチェックマークが付きます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "スキャン開始" を選択して、決定キーを押します。

初期ホームCHスキャンが開始されます。

再ホームCHスキャンを行なうときは （11-36）をご覧ください。

デジタル放送を見る

地上デジタル放送やデータ放送を視聴できます。

> **知識**
>
> PPV 番組（ 有料番組 ）には対応していません。

走行中の操作制限について

走行中は、一部の機能を除いて操作することはできません。

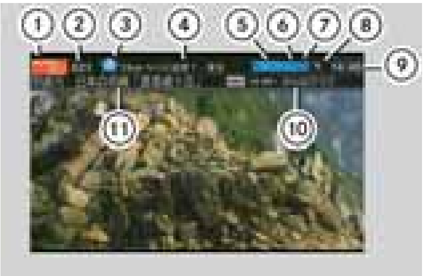
> **知識**
>
> - 安全運転の妨げとなりますので、車外の音が聞こえる程度の音量に調整してください。
> - 運転中は操作しないでください。

受信について

走行にともない、電波の受信状態の変化や、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

> 知識
>
> - テレビをご覧になるときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
> - エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
> - 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
> - 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
> - ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
> - 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

画面表示について



①	放送局ロゴマークまたは放送局名 電波状況によっては表示されないことがあります。
②	3 桁番号
③	ホーム CH/ ドライブ CH 表示 上記イラストでは、ホーム CH であることを示しています。
④	映像情報
⑤	音声モード
⑥	字幕情報
⑦	ワンセグ / フルセグ表示 ワンセグとフルセグのどちらを受信しているかを表示します。
⑧	電波状態表示
⑨	時刻表示
⑩	次の番組の放送開始時刻と名称
⑪	番組名

ホーム CH ／ ドライブ CH の切り替え

ホームCH とドライブCH を切り替えることができます。

ホームCH

初期設定した居住地域のチャンネル情報を登録します。

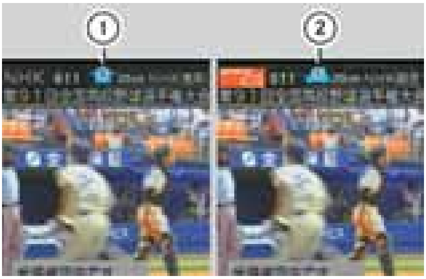
ドライブCH

旅行先など一時的に受信周波数の異なる地域に移動したときなどに登録します。

> **知識**
>
> あらかじめ放送局を登録しておく必要があります。
>
> →「ホーム CH　スキャン」（11-36）
>
> →「放送局の登録」（11-25）

▶ ホームCH ／ ドライブCHキーを押します。

ホームCH ／ ドライブCHキーを押すたびにホームCHとドライブCH が切り替わります。



① ホームCHであることを示すアイコン

② ドライブCHであることを示すアイコン

> **知識**
>
> - 受信中のチャンネルが数字キーに登録されているときは、アイコン内に登録されているチャンネルが表示されます。
> - リモコンには " エリア " の文字と " " のアイコンがありますが、選択できません。

登録した放送局を選局する

> **知識**
>
> あらかじめ放送局を登録しておく必要があります。
>
> →「ホーム CH　スキャン」（11-36）
>
> →「チャンネルを登録する」（11-25）

▶ 数字キーまたは "CH ∧ ∨ " キーを押します。

ワンセグを見る

視聴中のチャンネル（フルセグ）が受信しにくい場合に切り替えます。

ワンセグ放送

地上デジタル放送に割り当てられた帯域は13 分割されています。

そのうちの1セグメントだけを使用した放送のことをワンセグ放送といい、一般的に受信エリアが広くなります。

フルセグ放送

13分割中の12セグメントを使用した放送のことをフルセグ放送といいます。高画質ですがワンセグに比べると受信エリアが狭くなります。

▶ ワンセグ / フルセグキーを押します。

ワンセグ放送の受信に切り替わり、ワンセグ / フルセグ表示①が "ワンセグ" になります。

① ワンセグ / フルセグ表示（ワンセグ受信時）

> **知識**
>
> フルセグからワンセグに切り替えても受信状況が改善されない場合があります。

▶ 再度ワンセグ / フルセグキーを押します。

フルセグ放送の受信に切り替わり、ワンセグ / フルセグ表示①が "フルセグ" になります。

ワンセグ / フルセグの自動切り替え

フルセグ視聴時に受信状態が悪化した場合、自動でワンセグに切り替えたり、ワンセグ視聴時に受信状態が良好になった場合、自動でフルセグに切り替える設定を行ないます。

▶ ワンセグ / フルセグキーを押して保持します。

保持するたびに、ON（フルセグ視聴優先）→ON（ワンセグ視聴優先）→OFFと切り替わります。

ON（フルセグ視聴優先）

可能な限り高画質なフルセグ視聴を優先します。

ON（ワンセグ視聴優先）

フルセグの受信状態が悪くなると即座にワンセグに切り替え、安定受信を優先します。

OFF

自動切り替えは行ないません。

知識

地上デジタル放送では、1 つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また、一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自のサービスを行なっています。

このような場合、自動ワンセグ切換を ON（フルセグ視聴優先 / ワンセグ視聴優先）に設定していると、ワンセグに切り替わったときに、番組内容が変更されることがあります。同じ番組を続けて視聴する場合は、自動ワンセグ切換を OFF に設定してください。

情報を見る

チャンネル一覧や番組情報を確認することができます。

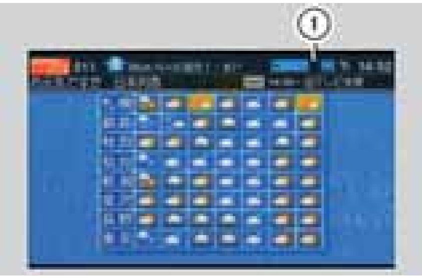
番組の情報を表示する

ロングバナーを表示させると、番組の情報を確認することができます。詳しくは「画面表示について」をご覧ください（11-14）。

▶ 表示キーを押します。

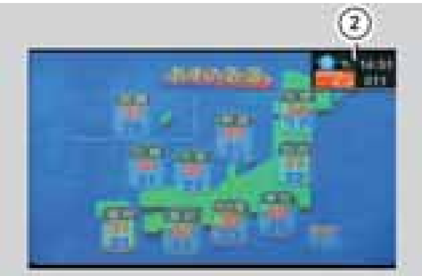
ロングバナーが表示されます。

現在見ているチャンネル番号、映像や音声モードなどが表示されます。



① ロングバナー表示

ショートバナーの表示 / 非表示の設定ができます（11-35）。このときはロングバナーを表示してからしばらくすると、ショートバナー表示に切り替わります。



② ショートバナー表示

▶ 再度、表示キーを押すと、バナー表示は消えます。

番組の詳しい情報を見る

視聴中の番組の詳しい情報を確認することができます。

> 知識
>
> - チャンネル番号や映像、音声モードなどを確認できます。番組タイトルや臨時放送の有無なども確認できます。
> - 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。

▶ 番組内容キーを押します。

番組内容が表示されます。

再度、番組内容キーを押すか、戻るキーを押すと、番組情報が閉じます。

番組の信号を切り替える

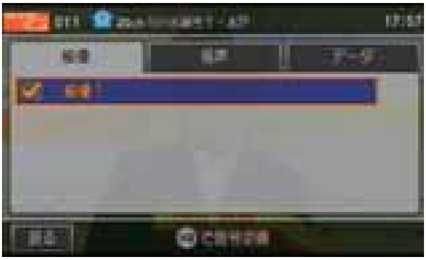
映像・音声・データを切り替えます。

▶ 番組内容キーを押します。

番組内容が表示されます。

▶ "信号切換" で決定キーを押します。

▶ カーソルキーの◀または▶で"映像"、"音声"、"データ"を選択します。



▶ カーソルキーの▲または▼で切り替える設定を選択して、決定キーを押します。

選択した設定にチェックマークが表示され、設定が切り替わります。

表示される記号について

番組情報画面では記号で番組情報をあらわしています。

番組属性	
MV	マルチ番組
二	二重音声
サ	サラウンド
d	データ放送あり
字	字幕あり

ジャンル	
	ニュース / 報道
	スポーツ
	情報 / ワイドショー
	ドラマ
	音楽
	バラエティ
	映画
	アニメ / 特撮
	ドキュメンタリー / 教養
	劇場 / 公演
	趣味 / 教養
	福祉
	その他

データ放送を見る

地上デジタル放送では、放送内容に合わせた情報がデータで提供され、お好みの情報を見ることができます。

> 知識
>
> - あらかじめ、初期設定で居住地域や郵便番号の設定が必要です。
>
>   →「初期設定をする」(11-8)
> - 番組によってはデータ放送が行なわれていない場合があります。

> 知識
>
> - 番組によっては自動的にデータ放送に切り替わる場合があります。
> - COMAND システムのテレビ機能は、ワンセグデータ放送には対応していません。
> - COMAND システムのテレビ機能は、双方向データサービスには対応していません。

▶ "d" キーを押します。

▶ カラーキーでメニューを選択します。

▶ 表示内容に従ってカラーキー(青、赤、緑、 黄)やカーソルキー、決定キーで操作します。

再度、"d" キーを押すと、データ放送画面が終了します。

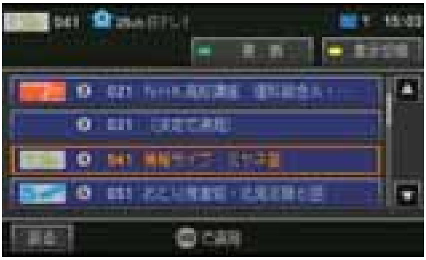
放送局・番組を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探すことができます。

同じ時間帯の各チャンネルの番組表を表示する

▶ EPGキーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼を押して見たい番組を選択して、決定キーを押します。



選択した番組に切り替わります。

▶ "戻る"キーを押します。

知識

動作モードの設定（11-38）が、性能重視モードまたはアンテナ 2 本接続モードの場合、番組データは視聴中の放送局からのみの取得となります。また、機能重視モードの場合は、視聴中の放送局以外からも取得されます。番組データが取得されていないときは、すべての番組データが表示されるまでに時間がかかることがあります。

番組表を切り替える

視聴しているチャンネルの番組表（8日分）を確認することができます。

▶ 「同じ時間帯の各チャンネルの番組表」を表示しているときに、黄色のカラーキーを押します。

知識

データを取得しているときは番組表は空欄になります。

▶ 翌日の番組表を表示するときは、赤色のカラーキーを、前日の番組表を表示するときは青色のカラーキーを押します。

▶ 他のチャンネルの番組表を表示するときは、カーソルキーの◀または▶を押します。

▶ カーソルキーの▲または▼を押して、詳しい番組内容を見たい番組を選択します。

▶ 決定キーを押します。

番組内容が表示されます。

▶ "戻る"キーを押すと、番組表の画面に戻ります。

または

▶ 番組内容キーを押すと、視聴していた画面に戻ります。

知識 通常、番組データは、視聴中のチャンネルの番組データのみを取得しています。そのため、チャンネルを切り替えたときは、すべての番組データが表示されるまでには時間がかかることがあります。

番組表を更新する

▶ 緑色のカラーキーを押します。

番組表が更新されます。

> **知識**
>
> すべての番組データを取得するまでには時間がかかることがあります。

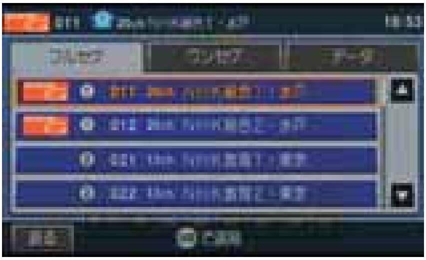
再度、緑色のカラーキーを押すと、番組データの取得が中止されます。

チャンネル一覧で探す

チャンネルを一覧で表示できます。

▶ CH一覧キーを押します。

チャンネル番号と放送局が表示されます。



▶ カーソルキーの▲または▼でチャンネルを選択して、決定キーを押します。

選択したチャンネルの番組が表示されます。

▶ "戻る" キーを押すと、元の画面に戻ります。

> **知識**
>
> - ホーム CH またはドライブ CH の一覧表が表示されます。
> - カーソルキーの ◀ または ▶ を押すと、テレビやデータ、ワンセグを選択することもできます。

表示されるメッセージについて

番組表が表示できない場合は、以下のメッセージが表示されます。

チャンネルが登録されていない場合

"この数字は登録されていません。"

臨時放送の場合

"臨時放送のため、番組表はありません。"

系列局を探す

車の移動などで受信していたチャンネルが見られなくなったときは、系列局のチャンネルに切り替えることで、同じ番組を引き続き見ることができます。

▶ 系列局キーを押します。

系列局のチャンネルに切り替わります。

系列局をサーチする

▶ 系列局キーを押して保持します。

系列局のサーチが開始され、系列局が見つかったときは、チャンネルが切り替わります。

サーチを中止するときは "決定" キーを押します。

知識

- 受信状態により、系列局のサーチに時間がかかることがあります。
- 系列局のサーチを行なっても、系列局が見つからない場合や放送局の都合により、同じ番組にならないことがあります。
- 現在視聴中の放送局がチャンネルリストにない場合は、系列局への切り替えはできません。

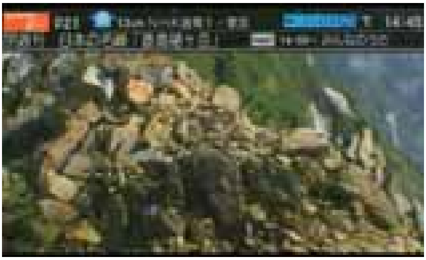
登録されたチャンネルを順に探す

▶ "CH ∧ ∨ " キーを押します。

登録したチャンネルを登録順もしくは逆順に選局できます。

SEEK 選局する

▶ ホームCHに切り替えます。



▶ "CH ∧ ∨ " キーを押して保持します。

SEEKを行ないます。

> 知識
>
> - 放送局が見つかるまでSEEKを行ないます。中止する場合は決定キーを押します。
> - 電波状況によってはSEEKを行なっても放送局が見つからない場合があります。
> - SEEK選局はホームCHにしているときのみ可能です。

チャンネルを登録する

選局しやすいようにチャンネルを登録します。

ホームCH

初期設定した居住地域のチャンネル情報を登録します。

初期ホームCHスキャン

初めて設定する場合や、居住地域が変更になった場合に行ないます（11-8、12）。

再ホームCHスキャン

現在設定済みの居住地域のまま、チャンネルの更新を行ないます（11-36）。

ドライブCH

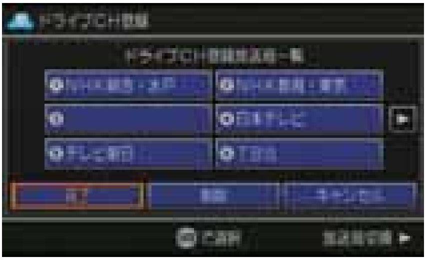
旅行先など一時的に受信周波数の異なる地域に移動したときなどに登録します。

初期ドライブCHスキャンを行なう

▶ CH切り替えキーを押して、ドライブCHに切り替えます。

▶ "CH ∧ " キーを押して保持します。

▶ "完了" を選択して決定キーを押します。



ドライブCHが登録されます。

知識

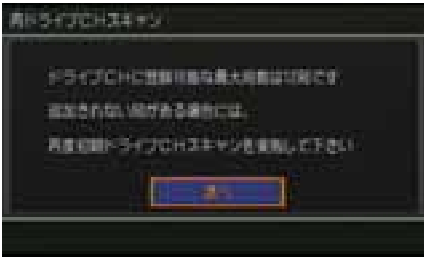
- 放送局を選択して " 削除 " を選択し、決定キーを押すと、放送局を削除できます。
- " 中止 " を選択して決定キーを押すと、スキャンを中止できます。

再ドライブCHスキャンを行なう

▶ CH切り替えキーを押して、ドライブCH に切り替えます。

▶ "CH ∨ " キーを押して保持します。

▶ "次へ " で決定キーを押します。



▶ "完了" を選択して決定キーを押します。

ドライブCHが登録されます。

> 知識
>
> - 放送局を選択して " 削除 " を選択し、決定キーを押すと、放送局を削除できます。
> - " キャンセル " を選択して決定キーを押すと、登録を中止できます。
> - 再ドライブ CH スキャンを行なうと登録済の放送局を消さずに追加できます。
> - ドライブ CH には最大 12 局まで登録することができます。
> - 再ドライブ CH スキャンで登録する放送局の合計が 13 局以上になったときは、追加できない放送局があります。このときは初期ドライブ CH スキャンを行なってください。

数字キーに登録する

よく見る放送局を12 局まで登録することができます。

▶ 登録したい放送局を受信します。

▶ 登録させたい数字キーを押して保持します。

ディスプレイ左下にメッセージが表示され、数字キーに放送局が登録されます。

設定メニュー

設定メニューでは、テレビ機能の以下のような設定を行ないます。

視聴設定 **(11-27)**

情報確認 **(11-29)**

受信機設定 **(11-32)**

初期設定 **(11-35)**

視聴設定メニュー

視聴設定メニューを表示させる

▶ 設定キーを押します。

▶ カーソルキーの◀または▶で "視聴設定"を選択します。

視聴設定メニューが表示されます。

視聴設定メニュー

字幕設定をする

地上デジタル放送の内容によっては、字幕や文字スーパーが表示できます。

> **知識**
>
> **ワンセグ放送の字幕には対応していません。**

▶ 視聴設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "字幕／音声" を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で "字幕なし"、"第1言語"、"第2言語" のいずれかを選択して、決定キーを押します。

選択した字幕に設定されます。

音声設定をする

▶ 視聴設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "字幕 / 音声" を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で "主音声"、"副音声"、"主 / 副" のいずれかを選択して、決定キーを押します。

選択した音声に設定されます。

音量設定をする

COMANDシステムから出力される音量を設定できます。

▶ 視聴設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "音量設定" を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの◀または▶で 音量を調整します。

▶ 戻るキーを押します。

音量が設定されます。

情報確認メニュー

情報確認メニューを表示させる

▶ 設定キーを押します。

▶ カーソルキーの◀または▶で "情報確認"を選択します。

情報確認メニューが表示されます。

メール一覧を表示する

放送メールや内部メールを表示します。

放送メール

地上デジタル放送の放送局から送られてくる番組などの情報メールです。

内部メール

受信機の設定変更が必要な場合に本機から送られるメールです。

▶ 情報確認メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で"メール" を選択して、決定キーを押します。

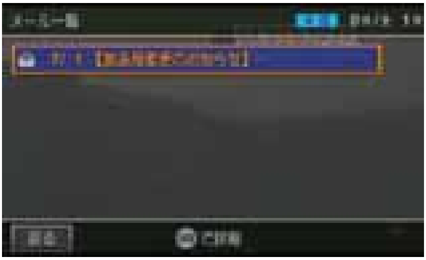
メールがあるときは、メールが表示されます。

戻るキーを押すと、メール画面が終了します。

> 知識
>
> メール保存件数は、放送メールと内部メールで 14 通です。
>
> 14 通を超えた場合は、既読メールの受信日が古いものから削除されます。全て未読メールの場合であっても、古いものから削除されます。

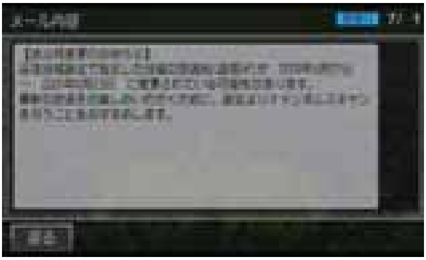
メールを読む

▶ カーソルキーの▲または▼で読みたいメールを選択します。



▶ 決定キーを押します。

メールの詳細が表示されます。



戻るキーを押すと、メール一覧に戻ります。

B-CASカードの情報を表示する

B-CAS カード（IC カード）のカード種別やカードID、グループを表示します。

▶ 情報確認メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "IC カード" を選択して、決定キーを押します。

B-CASカードの情報が表示されます。

戻るキーを押すと、ICカード情報画面が終了します。

> **知識**
>
> 2010 年 9 月現在、グループ ID は運用されていないため、" 設定されていません" と表示されます。

設定一覧を表示する

設定内容の一覧が表示できます。

▶ 情報確認メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "設定一覧" を選択して、決定キーを押します。

設定一覧画面が表示されます。

▶ カーソルキーの▲または▼を押して、画面をスクロールします。

戻るキーを押すと、設定一覧画面が終了します。

ソフトウェアのバージョンを表示する

ソフトウェアのバージョンが確認できます。

▶ 情報確認メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "S/Wバージョン" を選択して、決定キーを押します。

ソフトウェアのバージョン確認画面が表示されます。

戻るキーを押すと、ソフトウェアのバージョン確認画面が終了します。

受信機設定メニュー

受信機の設定を行ないます。

受信機設定メニューを表示させる

▶ 設定キーを押します。

▶ カーソルキーの◀または▶で "受信機設定"を選択します。

受信機設定メニューが表示されます。

自動選局の設定をする

電波が弱くなったときに、自動でワンセグに切り替えたり、自動で系列局を選局する機能の設定を行ないます。

> 知識
>
> 地上デジタル放送では、1 つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また、一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自のサービスを行なっています。
>
> このような場合、自動ワンセグ切換を ON（フルセグ視聴優先 / ワンセグ視聴優先）に設定していると、ワンセグに切り替わったときに、番組内容が変更されることがあります。同じ番組を続けて視聴する場合は、自動ワンセグ切換を OFF に設定してください。

▶ 受信機設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "自動選局" を選択して、決定キーを押します。

自動ワンセグ切換の設定をする

▶ カーソルキーの▲または▼で"ON（フルセグ視聴優先）"、"ON（ワンセグ視聴優先）" または "OFF" を選択して、決定キーを押します。

現在設定されている項目の左側には、チェックマークが表示されます。

"ON（フルセグ視聴優先）"

可能な限り、高画質なフルセグ視聴を優先します。

"ON（ワンセグ視聴優先）"

フルセグの受信状態が悪くなると即座にワンセグに切り替え、安定した受信を優先します。

"OFF"

自動切り替えは行ないません。

戻るキーを押すと、自動選局の設定が終了します。

自動系列局サーチの設定をする

▶ カーソルキーの▲または▼で "ON" または "OFF"を選択して、決定キーを押します。

現在設定されている項目の左側には、チェックマークが表示されます。

戻るキーを押すと、自動選局の設定が終了します。

緊急放送自動選曲の設定をする

▶ カーソルキーの▶を押して緊急放送自動選曲画面を表示させ、カーソルキーの▲または▼で "ON" または "OFF"を選択して、決定キーを押します。

現在設定されている項目の左側には、チェックマークが表示されます。

戻るキーを押すと、緊急放送自動選局の設定が終了します。

▶ カーソルキーの◀を押すと、自動ワンセグ切換の設定 / 自動系列局サーチの設定画面に戻ります。

画面表示の設定をする

チャンネル表示でのワンセグ表示サイズと、ショートバナーの表示 / 非表示の設定を行ないます。

▶ 受信機設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "表示設定" を選択して、決定キーを押します。

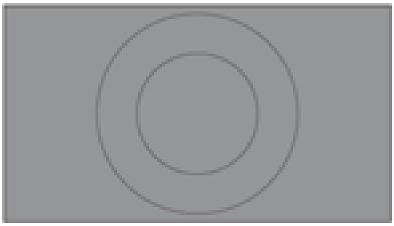
ワンセグ表示サイズの設定をする

▶ カーソルキーの▲または▼で "通常" または "縮小" を選択して、決定キーを押します。

現在設定されている項目の左側には、チェックマークが表示されます。

"通常"

画面全体で表示します。



"縮小"

縮小して表示します。

戻るキーを押すと、設定画面が終了します。

ショートバナー常時表示の設定をする

▶ カーソルキーの▲または▼で "表示する" または "表示しない" を選択して、決定キーを押します。

現在設定されている項目の左側には、チェックマークが表示されます。

初期設定をする（設定キーによる設定）

知識

初期設定については（11-8）もご覧ください。

▶ 設定キーを押します。

設定メニューが表示されます。

▶ カーソルキーの◀または▶で "初期設定" を選択します。

テレビ

DVDビデオ

TV／映像

ホーム CH スキャン

> 知識
>
> 初期ホーム CH スキャンについては（11-12）もご覧ください。

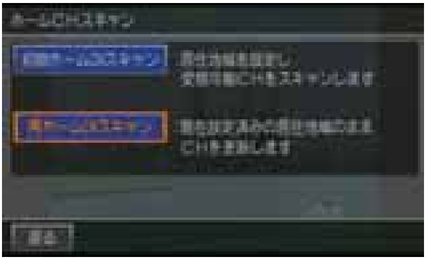
再ホームCHスキャンを行なう

現在設定済みの居住地域のままチャンネルの更新を行ないます。

▶ 初期設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "ホームCHスキャン" を選択して、決定キーを押します。

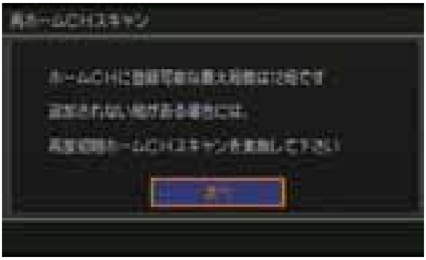
▶ カーソルキーの▲または▼で "再ホームCHスキャン" を選択して、決定キーを押します。



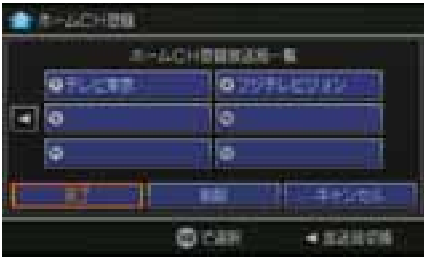
▶ "スキャン開始" を選択して、決定キーを押します。

再ホームCHスキャンが開始されます。

▶ "次へ" で、決定キーを押します。



▶ "完了" を選択して、決定キーを押します。



知識

- 放送局を選択して "削除" を選択し、決定キーを押すと、放送局を削除できます。
- "キャンセル" を選択して決定キーを押すと、登録を中止できます。
- 再ホーム CH スキャンで登録する放送局の合計が 13 局以上になったときは、追加できない放送局があります。このときは初期ホーム CH スキャンを行なってください。
- 居住地域が変更になった場合などは、初期ホーム CH スキャンでホーム CH スキャンを行なってください。

データ放送地域の設定

お住まいの地域情報を受信するために居住地域の設定を行ないます。

▶ 初期設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "データ放送地域" を選択して、決定キーを押します。

郵便番号で設定する

▶ カーソルキーの▲または▼で"郵便番号" を選択して、決定キーを押します。

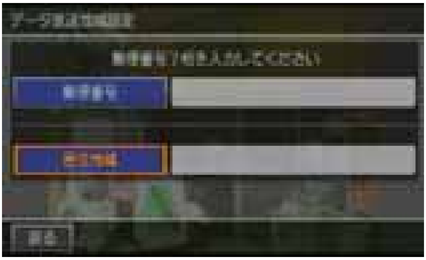
▶ 数字キーで、 郵便番号を入力します。

▶ カーソルキーの◀または▶で "入力完了" を選択して、決定キーを押します。

> 知識
>
> - 入力ミスなどで一文字戻る場合は "後退" を選択して、決定キーを押します。
> - 郵便番号で設定すると居住地域は自動設定されます。

居住地域から設定する

▶ カーソルキーの▲または▼で"居住地域" を選択して、決定キーを押します。



▶ カーソルキーの▲または▼で居住地域の地方を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で都道府県を選択して、決定キーを押します。

現在設定されている都道府県の左側にはチェックマークが表示されています。

動作モードの設定

接続されているアンテナの数に応じて、TVチューナーの動作モードを切り替えます。

▶ 初期設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "動作モード" を選択して、決定キーを押します。

▶ カーソルキーの▲または▼で動作モードを選択して、決定キーを押します。

現在選択されている項目の左側にはチェックマークが表示されています。

性能重視モード（4本）

4つのチューナーすべてを受信に使用します。

機能重視モード（4本）

2つのチューナーで受信を行ない、残りの2つのチューナーで番組情報の取得と受信可能局の監視を行ないます。

アンテナ2本接続モード

接続しているアンテナが2本の場合の設定です。本車両には4本のアンテナが接続されているため、"性能重視モード（4本）" または "機能重視モード（4本）"に設定してください。

> **知識**
>
> " 機能重視モード（4 本）" または "アンテナ 2 本接続モード" を選択した場合、" 性能重視モード（4 本）" に比べて、受信性能が十分に発揮できないことがあります。

設定情報初期化

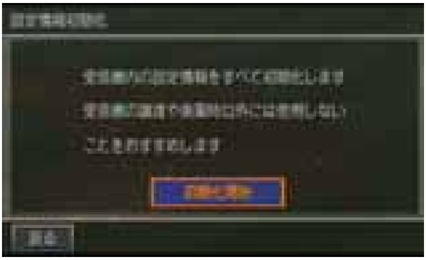
設定を工場出荷時の状態に戻します。

> **知識**
>
> 車をお譲りになる場合は、設定情報の初期化を行なってください。

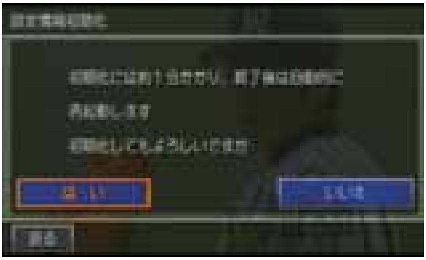
▶ 初期設定メニューを表示させます。

▶ カーソルキーの▲または▼で "設定情報初期化" を選択して、決定キーを押します。

▶ "初期化開始" を選択して、決定キーを押します。



▶ カーソルキーの◀または▶で "はい" を選択して、決定キーを押します。



> 知識
>
> 設定初期化が完了すると自動的に再起動します。再起動が完了するまでイグニッション位置を 0 にしないでください。

画質・画面の調整

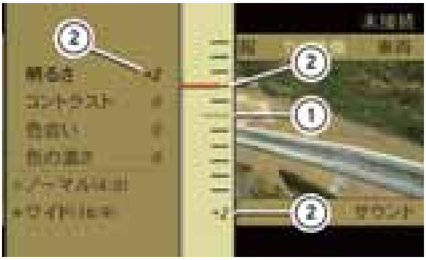
画質の調整

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで"TV"を選択します。

▶ "明るさ"、"コントラスト"、"色合い"、"色の濃さ"のいずれかを選択します。

調整スケールが表示されます。

▶ +5～－5の範囲で希望する設定を選択します。



① これまでの設定値
② 現在の設定値

▶ コントローラーを押します。

画質が設定されます。

画面比率の設定

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで"TV"を選択します。

▶ 画面比率を選択します。

現在選択されている画面比率の左側の"○"の中には"•"が表示されています。

"ワイド（16:9）"

横縦比率が16：9で表示されます。

"ノーマル（4:3）"

横縦比率が4：3で表示されます。

▶ コントローラーを押します。

画面比率が設定されます。

サウンドの調整

テレビでは、サウンド（**1-27**）を調整できます。

テレビ
DVDビデオ
TV／映像

こんなときは

こんなメッセージが出たら

メッセージ	メッセージの意味	ページ
この IC カードには必要な情報がありません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	カスタマーセンターにお問い合わせください。	―
この IC カードは使用できません。	使用できないカードが挿入されています。 カードの抜き差しは必ずイグニッション位置を **0** にして、COMAND システムの電源をオフにした状態で行なってください。	―
IC カードに正しくアクセスできません。IC カードを入れ直してみてください。直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください。	カードに異常があるか、誤ったカードを挿入しています。 カードの抜き差しは必ずイグニッション位置を **0** にして、COMAND システムの電源をオフにした状態で行なってください。	―
IC カードを交換してください。	カードに異常があります。 カードの抜き差しは必ずイグニッション位置を **0** にして、COMAND システムの電源をオフにした状態で行なってください。	―
IC カードを挿入口に入れてください。	カードが挿入されていません。カードを正しく挿入してください。 カードの抜き差しは必ずイグニッション位置を **0** にして、COMAND システムの電源をオフにした状態で行なってください。	―

※ IC カードに関するメッセージが表示されたときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカードの確認を行なってください。

メッセージ	メッセージの意味	ページ
放送局が登録されていません。ホーム CH スキャンを実行してください。	ホーム CH に放送局が登録されていません。 ホーム CH スキャンを実行して放送局を登録してください。	11-12
放送局が登録されていません。ドライブ CH スキャンを実行してください。	ドライブ CH に放送局が登録されていません。 ドライブ CH スキャンを実行して放送局を登録してください。	11-25

故障かな？と思ったら

接続時

症状	原因	処理	ページ
テレビ画面が表示されない。	車両のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。	ー
	リモコンの電池が入っていない。	電池を確認してください。	11-7
	リモコンの電池の電圧が低くなっている。	電池を交換してください。	11-7

地上デジタル放送受信時

症状	原因	処理	ページ
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	地上デジタル放送の放送エリア外か、電波の受信状態が悪化している。	地上デジタル放送では、受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。	―
デジタル放送が映らない。	B-CAS カードが、正しく挿入されていない。	B-CAS カードの抜き差しは必ずイグニッション位置を **0** にして、COMAND システムの電源をオフにした状態で行なってください。	―
番組表が表示されない。		地上デジタル放送の場合、視聴していない放送局の番組情報は番組表には表示されません。番組データを取得してください。	11-21
		電源をオンにして最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。	11-21

※ B-CAS カードに関するメッセージが表示されたときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカードの確認を行なってください。

症状	原因	処理	ページ
地上デジタル放送の放送局のロゴマークが表示されない。		地上デジタル放送の各放送局を一定時間、受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。	―
字幕や文字スーパーが出ない。	「字幕設定」が「字幕なし」に設定されている。	「第 1 言語」または「第 2 言語」に設定してください。	11-28
	字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。	字幕や文字スーパーのある番組では、選局後、画面右上に「字幕有」が表示されます。	11-28
色や色合いが悪い。	明るさ・色合いが不適当。	COMAND ディスプレイの画質を調整してください。	11-40
画像が出ない。	COMAND システムの電源がオフになっている。	COMAND システムの電源をオンにしてください。	1-16
	テレビチューナーの電源がオフになっている。	リモコンの電源キーを押してください。	11-6
番組内容が変更される	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	自動ワンセグ切換を OFF に設定してください。	11-16

12. DVD ビデオ

DVD ビデオを再生する ……… 12-2

基本画面 ………………………… 12-3

・COMAND ディスプレイの表示
・マルチファンクションディスプレイの表示

全画面表示とメニュー画面の切り替え ………………………… 12-3

・全画面表示からメニュー画面に切り替える
・メニュー画面から全画面表示に切り替える

基本操作 ………………………… 12-4

・次のチャプターを再生する
・再生中のチャプターの頭出しをする
・早送りする
・早戻しする
・一時停止
・再生の停止
・再生するディスクの選択
・メニュー画面の表示
・DVD 機能の設定
・言語の設定
・視聴制限の設定

一時消音（一時停止） ………… 12-14

サウンドの調整 ……………… 12-14

画質・画面の調整 …………… 12-14

メッセージ画面 ……………… 12-15

対応メディア ………………… 12-16

・再生できる DVD
・ディスク取り扱いの注意
・音声や映像の乱れについて
・結露（露つき）について
・特殊形状のディスクについて

言語番号表 …………………… 12-18

DVD ビデオを再生する

▶ ファンクションスイッチの ON / OFF スイッチ ON を押します。

COMAND システムが起動します。

▶ アプリケーションエリアで "**TV / 映像**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

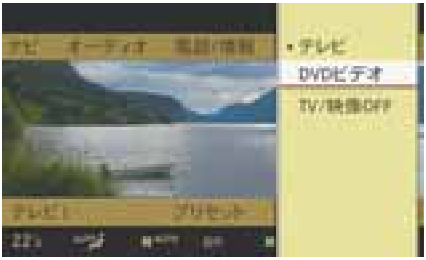
DVD ビデオモードになり、DVD ビデオが挿入してあるときは、DVD ビデオの再生が始まります。

> **知識**
>
> 他の TV/ 映像モードを選択していたときは、TV/ 映像メニュー(右側参照)を表示させて、"DVD ビデオ" を選択してください。

DVD ビデオモードにならなかったときは、再度アプリケーションエリアで "**TV / 映像**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

TV/ 映像メニューが表示されます。

▶ TV/ 映像メニューで "**DVD ビデオ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



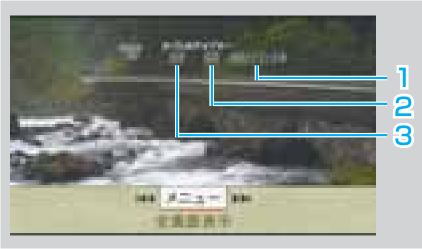
DVD ビデオモードになり、DVD ビデオが挿入してあるときは、DVD ビデオの再生が始まります。

> **知識**
>
> - ディスクにより、DVD / タイトルメニューが表示されるものがあります。DVD / タイトルメニュー操作は、ディスクによって異なります。
> - DVD ビデオ再生中にオーディオやテレビに切り替えると、再生を中止します。
>
>   もう一度 DVD ビデオモードにすると、中止した位置から再生を始めます。

基本画面

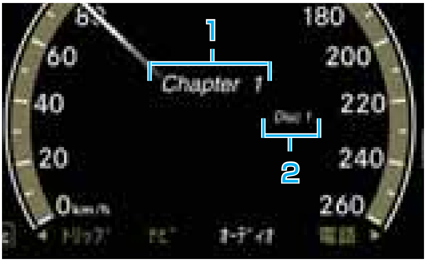
COMAND ディスプレイの表示

DVD ビデオモードを選択して DVD ビデオの再生が始まったときやメニュー画面から全画面表示にしたとき、または全画面表示でコントローラーを上にスライドしたとき ↑◎ は、次の画面が数秒間表示されます。



1 経過時間表示
2 再生中のチャプター表示
3 再生中のタイトル表示

マルチファンクションディスプレイの表示



1　再生中のチャプター表示

再生中のチャプター番号が表示されます。

2　スロット番号表示
"Disc1" ～ "Disc6"

再生しているディスクが収納されているスロット番号が表示されます。

全画面表示とメニュー画面の切り替え

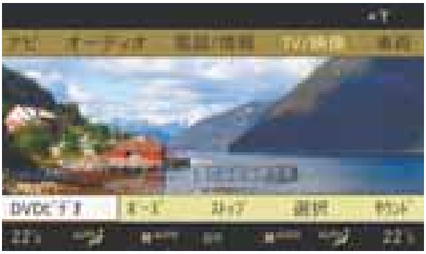
全画面表示からメニュー画面に切り替える

▶ 全画面表示のときにコントローラーを押します ◎ 。

メニュー画面に切り替わります。

メニュー画面から全画面表示に切り替える

▶ メニュー画面が表示されているときにコントローラーを上にスライドさせます ↑◎ 。



▶ " **全画面表示** " でコントローラーを押します ◎ 。

全画面表示になります。

基本操作

次のチャプターを再生する

▶ コントローラーを右にスライドさせるか 、時計方向に１クリック分まわします 。

または

▶ ステアリングスイッチ◀ ▶を押して、マルチファンクションディスプレイのメインメニューで " **オーディオ** " を選択し、ステアリングスイッチ▲を押します。

または

▶ 後席アームレストの選曲スイッチ⏭＊（1-13）を押します。

再生中のチャプターの頭出しをする

▶ コントローラーを左にスライドさせるか 、反時計方向に１クリック分まわします 。

繰り返し左にスライドさせるか 、反時計方向にまわすと 、前のチャプターを再生します。

または

▶ ステアリングスイッチ◀ ▶を押して、マルチファンクションディスプレイのメインメニューで " **オーディオ** " を選択し、ステアリングスイッチ▼を押します。

または

▶ 後席アームレストの選曲スイッチ⏮＊（1-13）を押します。

早送りする

▶ コントローラーを右にスライドして保持します 。

早戻しする

▶ コントローラーを左にスライドして保持します 。

一時停止

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで " **ポーズ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ディスクが一時停止し、表示が " **プレイ** " に切り替わります。

▶ 再生を再開するときは " **プレイ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

再生の停止

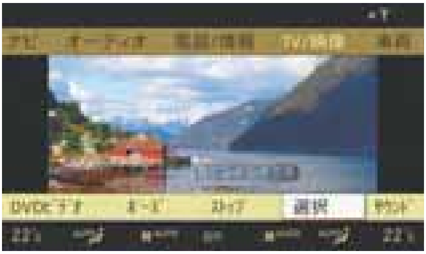
▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**ストップ**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

ディスクの再生が停止します。

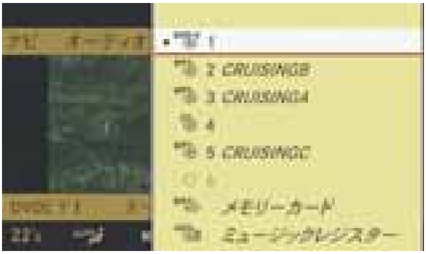
> **知識**
>
> "**ストップ**" を 1 回押して再生を停止した後に "**プレイ**" を押すと、停止した位置から再生します。
>
> "**ストップ**" を 2 回押して再生を停止した後に "**プレイ**" を押すと、ディスクの先頭から再生します。

再生するディスクの選択

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**選択**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ 再生するディスクを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



再生ディスクが変更され、自動的に再生を開始します。

音楽ソースを選択したときは、オーディオモードに切り替わります。

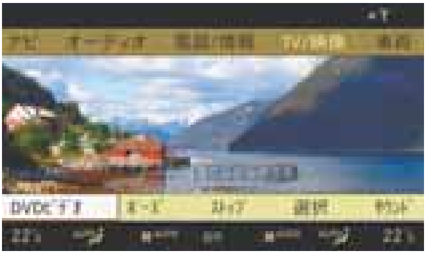
メニュー画面の表示

メニュー画面付き DVD ビデオを再生しているときは、メニュー画面の表示ができます。

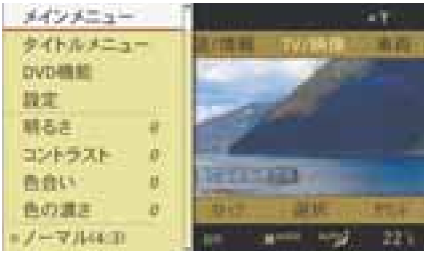
> **知識**
> - メインメニューやタイトルメニューの表示方法や操作方法は再生するディスクにより異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
> - ディスクの機能にない操作を行なったときは、画面の右端に ⃠ が表示されます。

メインメニューを表示させる

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**DVD ビデオ** " を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。



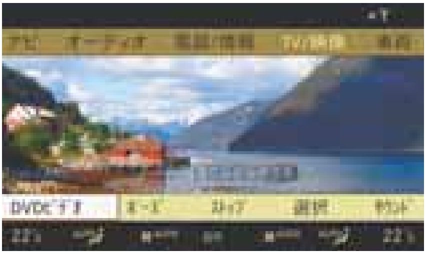
▶ " **メインメニュー** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



ディスクのメインメニューが表示されます。

タイトルメニューを表示させる

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**DVD ビデオ** " を選択して 〔◎〕・←◎→、コントローラーを押します ◎ 。

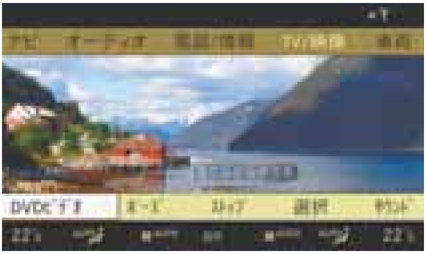


▶ " **タイトルメニュー** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

ディスクのタイトルメニューが表示されます。

DVD 機能の設定

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**DVD ビデオ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



▶ "**DVD 機能** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

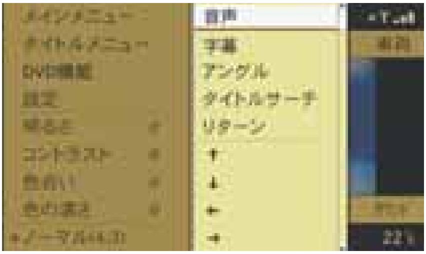
DVD 機能メニューが表示されます。

知識

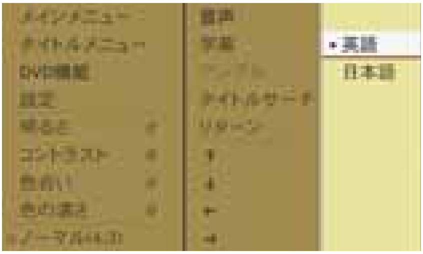
- DVD 機能メニューで設定できる内容は、ディスクによって異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクの機能にない操作を行なったときは、画面の右端に ⃠ が表示されます。

音声言語を切り替える

▶ DVD ビデオ機能メニューで " **音声** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



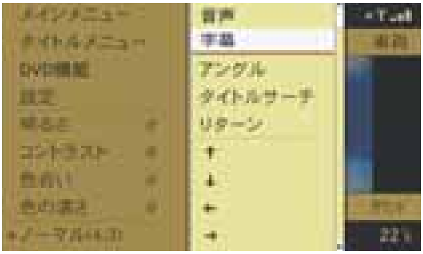
▶ 言語を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



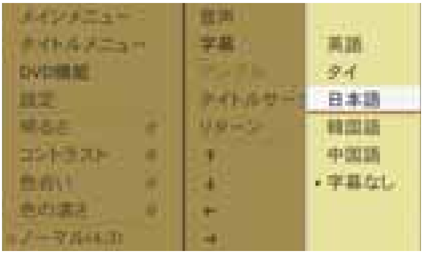
音声言語が切り替わります。

字幕言語を切り替える

▶ DVD ビデオ機能メニューで " **字幕** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



▶ 言語を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

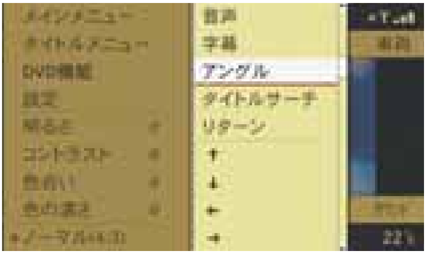


字幕言語が切り替わります。

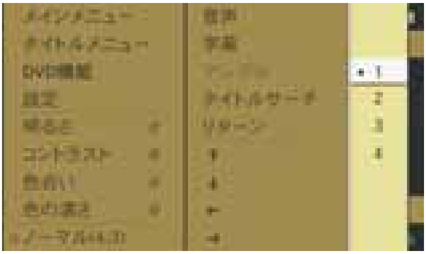
アングルを切り替える

複数のアングルから映した映像を収録している DVD ビデオでは、再生するアングルを切り替えることができます。

▶ DVD 機能メニューで " **アングル** " を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



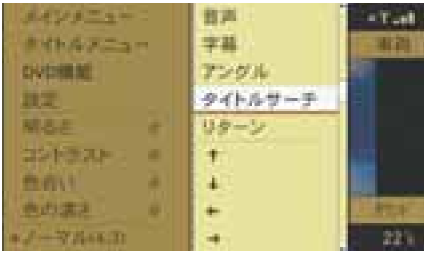
▶ アングルの番号を選択して 〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



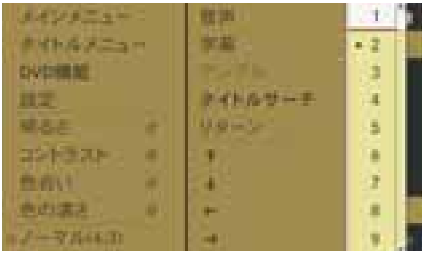
アングルが切り替わります。

タイトルを選択する

▶ DVD 機能メニューで " **タイトルサーチ** " を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



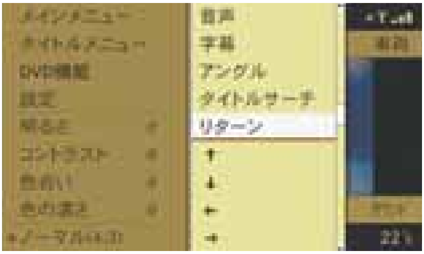
▶ 再生するタイトルの番号を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



選択したタイトルに替わります。

リターン機能

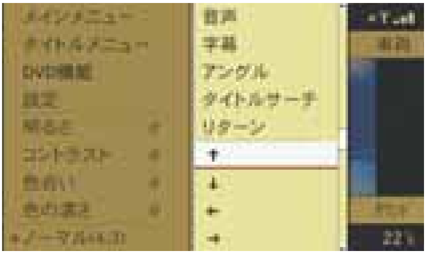
▶ DVD 機能メニューで " **リターン** " を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



ディスクで決められた場面へ移動します。

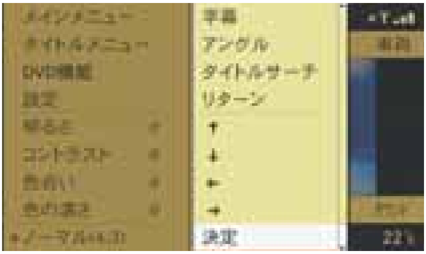
画面の移動

▶ DVD 機能メニューで ↑・↓・←・→ のいずれかを選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。



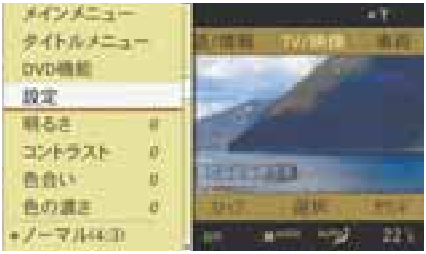
選択した矢印の方向に画面が移動します。

▶ 画面を移動したら " **決定** " を選択して〔◎〕・↑◎↓、コントローラーを押します ◎ 。

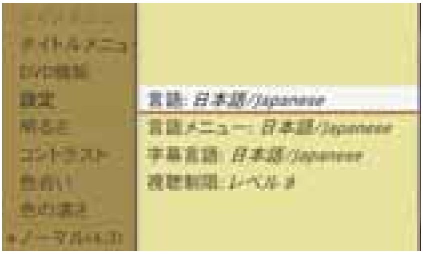


言語の設定

▶ DVD ビデオ設定メニューで " **設定** " を選択して ⟨◎⟩ · ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



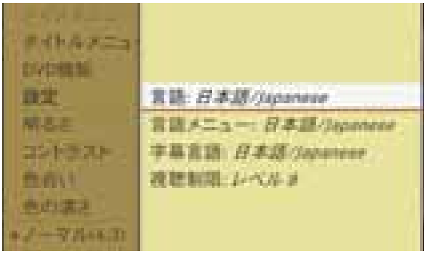
設定サブメニューが表示されます。



> 知識
>
> 設定サブメニューで操作を行なうと、次に再生したときに、ディスクの先頭から再生されることがあります。

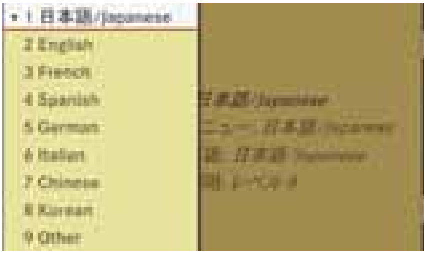
言語の選択

▶ 設定サブメニューで " **言語** " を選択して ⟨◎⟩ · ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ 言語を選択して ⟨◎⟩ · ↑◎↓ 、コントローラーを押します ◎ 。

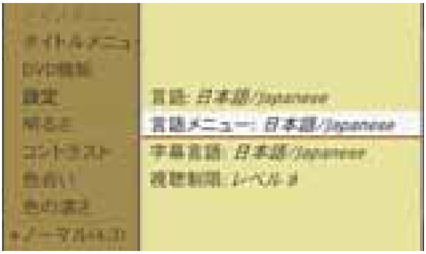
表示言語以外の言語を選択するときは、"9 Other" を選択して ⟨◎⟩ · ↑◎↓ 、言語番号 (12-18) を入力します。



> 知識
>
> 設定を行なってもディスクによっては異なった音声で再生されることがあります。

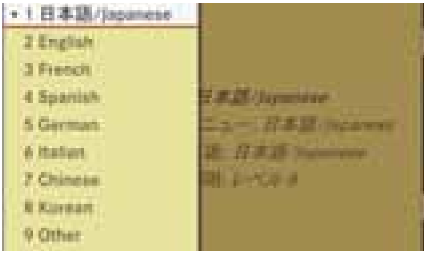
言語メニューの選択

▶ 設定サブメニューで "**言語メニュー**" を選択して・、コントローラーを押します。



▶ 言語を選択して・、コントローラーを押します。

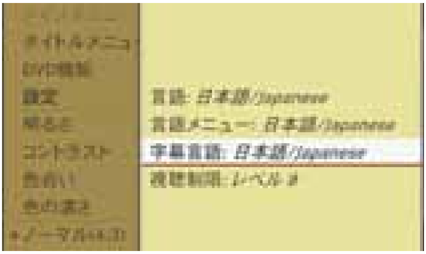
表示言語以外の言語を選択するときは、"9 Other" を選択して・、言語番号 (12-18) を入力します。



> 知識
>
> 設定を行なってもディスクによっては異なった言語で再生されることがあります。

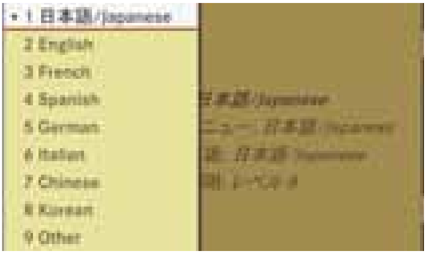
字幕言語の選択

▶ 設定サブメニューで "**字幕言語**" を選択して・、コントローラーを押します。



▶ 字幕言語を選択して・、コントローラーを押します。

表示言語以外の言語を選択するときは、"9 Other" を選択して・、言語番号 (12-18) を入力します。



> 知識
>
> 設定を行なってもディスクによっては異なった言語で再生されることがあります。

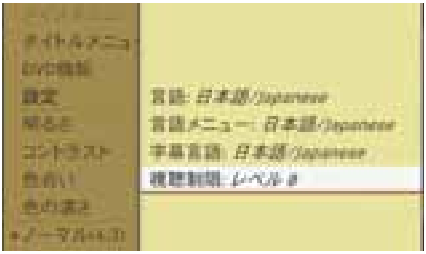
視聴制限の設定

制限レベルが設定されているDVDビデオ（成人向けや暴力シーンが含まれているもの）を、レベルに応じて再生できなくする機能です。

> 知識
>
> 視聴制限レベルについて
>
> レベル1が最も制限され、以下数字が大きくなるごとに制限は弱まります。レベル8は無制限で視聴制限は設定されません。

視聴制限レベルを設定する

▶ 設定サブメニューで " **視聴制限** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



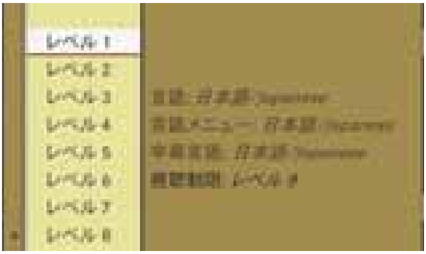
パスワード入力画面が表示されます。

▶ 4桁の数字を1字ずつ選択して ・ 、コントローラーを押し 、パスワードを登録します。

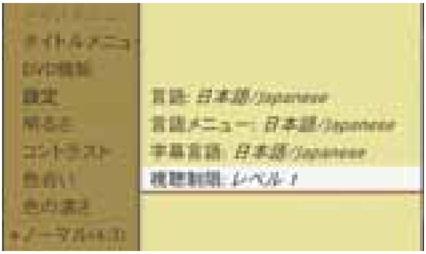
▶ ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

視聴制限サブメニューが表示されます。

▶ 視聴制限レベルを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



視聴制限レベルが設定されます。



視聴制限レベルを変更する

▶ 設定サブメニューで "**視聴制限**" を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

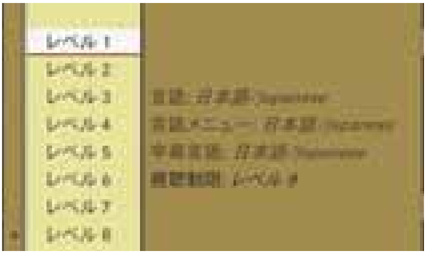
▶ 4 桁の数字を 1 字ずつ選択して ・ 、コントローラーを押し 、パスワードを入力します。

このとき、**「視聴制限レベルを設定する」（12-12）**で設定したパスワードを入力してください。

▶ ok を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

視聴制限サブメニューが表示されます。

▶ 視聴制限レベルを選択して ・ 、コントローラーを押します 。



視聴制限レベルが変更されます。

パスワードを解除する

▶ パスワード入力画面を表示させます (12-12)。

▶ ← を選択して ・ 、コントローラーを押したまま 、10 秒以上保持します。

パスワードが解除されます。

> **知識**
>
> パスワードは忘れないように必ず控えておいてください。もし忘れてしまったときは、パスワードを解除して、再度登録しなおしてください。

一時消音（一時停止）

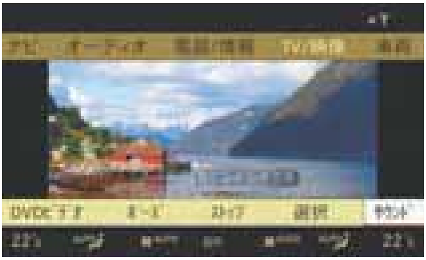
▶ ステアリングスイッチの 🔇 を押します。

ディスクが一時停止します。

詳しくは (1-18) をご覧ください。

サウンドの調整

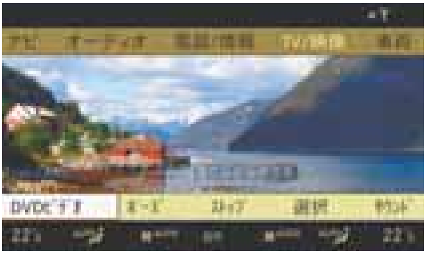
▶ メニュー画面のサブメニューエリアで、" **サウンド** " を選択して 〔◎〕・←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ サウンド調整画面が表示されます。サウンドの調整については (1-27) をご覧ください。

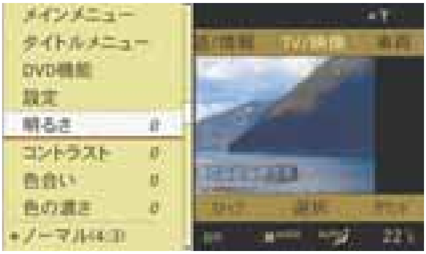
画質・画面の調整

▶ メニュー画面のサブメニューエリアで "**DVD ビデオ** " を選択して 〔◎〕・←◎→ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ 画質・画面調整メニューが表示されます。

画質・画面の調整については (1-29) をご覧ください。



メッセージ画面

「安全のため、走行中は音声のみお楽しみください」

表示タイミング例

映像画面表示中に、車両が動き出して停車中の条件から外れたとき

対処方法

映像を表示させるには停車してください。走行中は音声のみ聞くことができます。

「ディスクを挿入してください」

表示タイミング例

選択したスロットにディスクが入っていないとき

対処方法

ディスクを挿入するか、サブメニューエリアの"**選択**"**(12-5)**で、挿入されているディスクを選択してください。

「リージョンコードが違います」

表示タイミング例

COMAND システムでは対応していない地域の（「2」以外の）DVD ビデオソフトを再生しようとしたとき

対処方法

リージョンコード「2」または「ALL」の DVD ビデオを再生してください。

> **知識**
>
> DVD ビデオには、販売地域ごとにディスクとプレーヤーにリージョンコードが割り当てられています。COMAND システムは「2」（「2」を含むもの）または「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。

「入力したパスワードが間違っています」

表示タイミング例

視聴制限レベルを変更する際に、間違ったパスワードを入力したとき

対処方法

正しいパスワードを再度入力してください。

> **知識**
>
> 同じように、表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

対応メディア

再生できる DVD

再生できるディスクは、下記のマークがラベル印刷面に記載されているものに限ります。

- DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAM は再生できません。
- 本システムはドルビーデジタルで記録された音声を再生できます。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

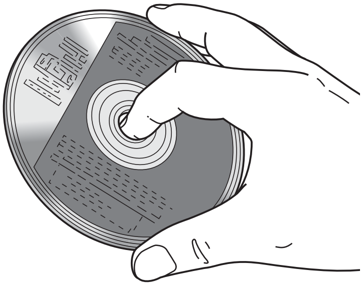
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

- 本システムは DTS で記録された音声を再生できます。

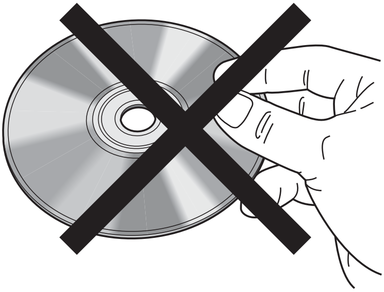
DTS は、米国 Digital Theater Systems, inc. の登録商標です。

ディスク取り扱いの注意

- ディスクを高温になる場所や直射日光が当たるところに放置しないでください。熱により変形することがあります。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクを手に持つときは、中心の穴と周囲の縁部分を支えるようにしてください。また、ディスクを曲げたりしないでください。

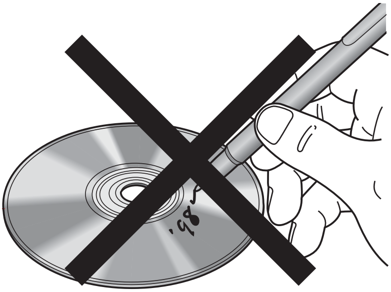


- ディスク面に直接手を触れないでください。とくに虹色に輝く記録面（印刷ラベル面の裏側）に、傷や汚れがつくと正しく再生できなくなります。



- 万一ディスク面が汚れたときは、水で湿らせた柔らかい布で中心部から外側に向けてふき取った後、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。
- ディスクは合成樹脂でできていますので、アルコールやシンナー、ガソリンなどの揮発性溶液が触れないようにしてください。汚れがひどいときは、専用のクリーナー、あるいは中性洗剤の水溶液を使用してください。

- ディスク面に文字を書き込んだり、シールなどの異物を貼りつけたりしないでください。正しく再生できなくなります。



音声や映像の乱れについて

踏切の通過時や未舗装路などの路面の状態によっては、振動により音声や映像が乱れることがあります。

このような状態が続くときは、再生を中断して路面状態がよくなってから再生を始めてください。

結露（露つき）について

低温時や雨降りの多湿時に本システム内部で結露することがあります。このようなときは、再生中に音声や映像が乱れたり、再生が中断されます。

自然乾燥により結露が解消するまで、一時的にディスク再生を中止してください。

特殊形状のディスクについて

ハート形や八角形など、特殊形状のディスクを使用しないでください。故障の原因になります。

注意

- シングル CD（8cmCD）は使用できません。
- ディスク以外は挿入しないでください。

言語番号表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7285	ハンガリー	8084	ポルトガル
6566	アブハジア	7289	アルメニア	8185	ケチュア
6570	アフリカーンス	7365	インターリングア	8277	レトロマンス
6577	アムハラ	7378	インドネシア	8279	ルーマニア
6582	アラビア	7383	アイスランド	8285	ロシア
6583	アッサム	7384	イタリア	8365	サンスクリット
6588	アイマラ	7387	ヘブライ	8368	シンド
6590	アゼルバイジャン	7465	日本語	8372	セルボクロアチア
6665	バシキール	7473	イディッシュ	8373	シンハラ
6669	ベロルシア（白ロシア）	7487	ジャワ	8375	スロバキア
6671	ブルガリア	7565	グルジア	8376	スロベニア
6672	ビハール	7575	カザフ	8377	サモア
6678	ベンガル（バングラ）	7576	グリーンランド	8378	ショナ
6679	チベット	7577	カンボジア	8379	ソマリ
6682	ブルターニュ	7578	カンナダ	8381	アルバニア
6765	カタロニア	7579	韓国（朝鮮）語	8382	セルビア
6779	コルシカ	7583	カシミール	8385	スンダ
6783	チェコ	7585	クルド	8386	スウェーデン
6789	ウェールズ	7589	キルギス	8387	スワヒリ
6865	デンマーク	7665	ラテン	8465	タミル
6869	ドイツ	7678	リンガラ	8469	テルグ
6890	ブータン	7679	ラオ	8471	タジク
6976	ギリシャ	7684	リトアニア	8472	タイ
6978	英語	7686	ラトビア（レット）	8473	ティグリニア
6979	エスペラント	7771	マダガスカル	8475	トルクメン
6983	スペイン	7773	マオリ	8476	タガログ
6984	エストニア	7775	マケドニア	8479	トンガ
6985	バスク	7776	マラヤーラム	8482	トルコ
7065	ペルシャ	7778	モンゴル	8484	タタール
7073	フィンランド	7779	モルダビア	8487	トウイ
7074	フィジー	7782	マラッタ	8575	ウクライナ
7079	フェロー	7783	マライ（マレー）	8582	ウルドゥー
7082	フランス	7784	マルタ	8590	ウズベク
7089	フリジア	7789	ビルマ	8673	ベトナム
7165	アイルランド	7865	ナウル	8679	ヴォラピュック
7168	（スコットランド）ゲール	7869	ネパール	8779	ウォロフ
7176	ガリチア	7876	オランダ	8872	コーサ
7178	グアラニー	7879	ノルウェー	8979	ヨルバ
7185	グジャラト	7982	オーリヤ	9072	中国語
7265	ハウサ	8065	パンジャブ	9085	ズールー
7273	ヒンディー	8076	ポーランド		
7282	クロアチア	8083	パシュト		

13. 音声認識

音声認識とは…………………… 13-2

音声認識モードの ON / OFF 13-2

・音声認識モードを ON にする

・音声認識を中止する

・発声した内容を訂正する

共通操作………………………… 13-3

・モードを切り替える

・ヘルプ画面を表示する

ナビゲーションの操作………… 13-4

・索引機能で地図を表示する

・目的地を設定する

・自宅に帰る

・通過点を設定する

・ルート案内中に再探索する

・メモリ地点に登録する

・VICS 情報を表示する

・地図の表示内容を変更する

・施設を表示する

・知りたい情報を聞く

・ルート案内を解除する

・ルート案内を中止する

ラジオの操作…………………… 13-11

・FM1 と FM2 を切り替える

・オートプリセットする

・プリセット選局をする

オーディオ再生時の操作……… 13-12

・音楽ソースを選択する

・聞きたいディスクを選択する

・聞きたいアルバムを選択する（ミュージックレジスター）

・聞きたいフォルダを選択する（MP3）

・聞きたい曲を選択する

テレビの操作…………………… 13-13

・テレビに切り替える

DVD ビデオの操作 …………… 13-13

・DVD ビデオに切り替える

電話の操作……………………… 13-13

・電話番号で発信する

・アドレス帳の登録項目から発信する

・リダイアルで発信する

・E メールの音声認識

・車両機能の音声認識

音声コマンド一覧……………… 13-15

・共通操作

・ナビゲーションの操作

・ラジオ / CD / DVD / ミュージックレジスター / MP3 / 電話の操作

・E メールの操作

・けん引防止警報機能の操作

・電動ブラインド（リアウインドウ）の操作

音声認識とは

音声コマンドを発声して、COMAND システムを操作する機能です。

音声認識モードの ON / OFF

音声認識モードを ON にする

▶ 音声認識スイッチを押します。

音声認識モードが ON になります。

▶ 「ピッ」と鳴ったあと、6 秒以内に音声コマンドを発声します。

音声コマンド一覧については (13-15) をご覧ください。

> 知識
>
> • 「ピッ」と鳴ってから音声コマンドを発声しないと、音声コマンドは認識されません。

• 以下のようなときは、音声認識モードになりません。
  ◇ 地図をスクロールしているとき
  ◇ 3D 表示中に、地図を回転させているとき
  ◇ ディスクを出し入れしているとき
  ◇ ハンズフリー通話をしているとき
  ◇ 「Mercedes Benz」または「安全の為のご注意」の画面が表示されているとき
  ◇ COMAND システムの電源が OFF のとき

• 周囲の雑音や同乗者の会話、発声者の声質や話し方などにより、認識できない場合があります。

• 音声認識率をよくするために、以下のことをお守りください。
  ◇ 音声コマンドは、はっきりと発声してください。
  ◇ ドアウインドウやスライディングルーフ * を閉じてください。
  ◇ 同乗者に会話を控えてもらってください。
  ◇ 発声中は他のスイッチを操作して操作音を出すなどしないでください。

• 音声認識モードを ON にしたときは、一時的にエアコンディショナーの送風量が下がることがあります。

音声認識を中止する

▶ 音声認識スイッチを押して音声認識モードを ON にしてから、音声認識モードの返答が終了するまでの間に、音声認識解除スイッチを押します。

音声認識モードが中止されます。**「音声認識モードを終了します」**とアナウンスされ、COMAND ディスプレイに " **音声認識モードを終了します** " と表示されます。

発声した内容を訂正する

▶ 音声認識スイッチを押して音声認識モードを ON にしてから、音声認識モードの返答が終了するまでの間に、再度、音声認識スイッチを押します。

共通操作

モードを切り替える

例：モードを CD に切り替えるとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「シーディー」**を発声します。

CD の再生が開始されます。

モードを切り替える音声コマンドについては**（13-15）**をご覧ください。

ヘルプ画面を表示する

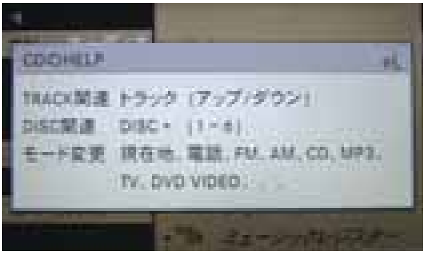
認識できる音声コマンドがわからないときは、ヘルプ画面を表示させると、主な音声コマンドを検索できます。

例：CD のヘルプ画面を表示したいとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「シーディーのヘルプ」**を発声します。

CD のヘルプ画面が表示されます。



▶ ヘルプ画面に必要な音声コマンドがあったときは、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にし、音声コマンドを発声します。

ヘルプ画面を表示する音声コマンドについては**(13-16)**をご覧ください。

ナビゲーションの操作

ナビゲーションモードを選択しているときに利用できます。

索引機能で地図を表示する

住所で指定する

例：神奈川県横浜市都筑区佐江戸町を表示するとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「住所」**を発声します。

「住所をどうぞ」と音声案内されます。

▶ **「神奈川県横浜市都筑区佐江戸町」**を発声します。

神奈川県横浜市都筑区佐江戸町の地図が表示されます。

知識

- 入力コマンドを訂正するとき、住所以外のコマンドを発声した後や、他のモードに切り替えてから再度音声認識モードを起動したときは、住所の訂正はできません。

  ◇住所を訂正するときは、

  都道府県名を訂正する場合は、都道府県名から言い直します。

  市区町村名を訂正する場合は、都道府県名または市区町村名から言い直します。

  町名を訂正する場合は、都道府県名、市区町村名または町名から言い直します。

- 住所で発声できるのは、以下のパターンです。

  ◇都道府県名
  ◇都道府県名＋市区町村名
  ◇都道府県名＋市区町村名＋大字名
  ◇都道府県名＋市区町村名＋大字名＋小字名

- 以下の場合は都道府県名の発声を省略できます。

  ◇政令指定都市を発声する場合

  ◇自車位置がある都道府県名を発声する場合

施設名で指定する

例：上野動物園（東京都）を表示するとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「施設」**を発声します。

「施設をどうぞ」と音声案内されます。

▶ **「東京都　上野動物園」**を発声します。

地図が表示されます。

知識

- 施設名で指定できる方法は、以下の通りです。

  ◇都道府県名＋施設名

  （例：東京都 東京国際空港）

  ◇会社名や有料道路名など＋施設名

  （例：東名高速道路
  東京 Ｉ Ｃ（インターチェンジ）入口）

  ◇施設名の別名称

  （例：ビッグエッグ）

- 都道府県名、会社名、有料道路名のみが認識された場合、音声案内にしたがって施設名称を発声してください。

  （例：「東京都のどちらですか」と音声案内されたら、「後楽園遊園地」と発声します。）

- 施設名の先頭に都道府県名や政令指定都市名がついている場合、都道府県名の発声を省略できます。

  （例：東京ディズニーランド）

音声認識

施設ジャンルで指定する

例：「神奈川県の鴨居駅」で指定するとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「ジャンル」**を発声します。

「ジャンルをどうぞ」と音声案内されます。

▶ **「駅」**を発声します。

「駅を検索します、県名をどうぞ」と音声案内されます。

▶ **「神奈川県」**を発声します。

「神奈川県の施設名をどうぞ」と音声案内されます。

▶ **「鴨居駅」**を発声します。

地図が表示されます。

> 知識
>
> ジャンル指定後、施設を絞り込むパターンは、以下のとおりです。
>
> - 都道府県名＋市区町村名＋施設名称
> - 都道府県名＋施設名称
> - 施設名称

施設ジャンルの音声コマンドについては **(13-20)** をご覧ください。

目的地を設定する

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「目的地設定」**を発声します。

「どちらへ行きますか」と音声案内されます。

▶ 住所 **(13-4)** や施設名 **(13-5)**、施設ジャンルで目的地を指定します。

目的地までのルートを案内します。

> 知識
>
> ルートがすでに設定されている状態で上記操作を行なうと、前のルートは消去されます。

自宅に帰る

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「自宅に帰る」**を発声します。

自宅までのルートを案内します。

> 知識
>
> 自宅が登録されていないと、この操作はできません **(2-56)**。

通過点を設定する

▶ 通過点に設定したい地点を表示させてから、音声認識ボタンを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「通過点設定」**を発声します。

表示された地点が通過点に設定されます。

通過点を消去する

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「通過点消去」**を発声します。

通過点が消去されます。

知識
通過点が 2 つとも設定されているときは、次に通過する予定の通過点が消去されます。

ルート案内中に再探索する

例：一般道優先で再探索するとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「一般道優先」**を発声します。

一般道優先で、新しいルートが探索されます。

再探索の音声コマンドについては（13-17）をご覧ください。

メモリ地点に登録する

▶ メモリ地点に設定したい地点を表示させてから、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「メモリ地点」**を発声します。

表示された地点がメモリ地点に登録されます。

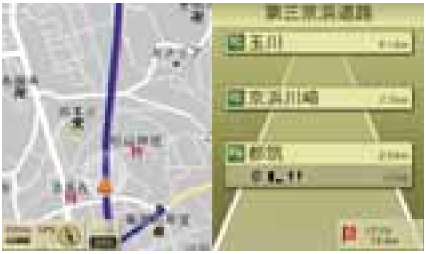
VICS 情報を表示する

例：高速道路の情報を表示するとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「VICS 高速道表示」**を発声します。

「VICS 情報の表示を高速道路だけにします」と音声案内され、高速道路の情報が表示されます。



VICS 情報の音声コマンドについては**（13-17、18）**をご覧ください。

> 知識
>
> VICS 情報を消去する場合は、「VICS 表示解除」を発声します。

地図の表示内容を変更する

地図の向きを変更する

例：ヘディングアップに切り替えるとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「ヘディングアップ」**を発声します。

地図がヘディングアップに切り替わります。

> 知識
>
> - 「地図向き」と発声すると、ノースアップとヘディングアップを切り替えることができます。
> - 3D 画面の地図の向きを変更することはできません。

地図の縮尺を変更する

例：100 m 縮尺を 200m 縮尺に切り替えるとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「広域」**を発声します。

200m 縮尺に切り替わります。

> **知識**
>
> 「詳細」と発声すると、一段階詳細の縮尺に切り替わります。

地図を 3D 表示にする

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「3D 表示」**を発声します。

地図が 3D で表示されます。

> **知識**
>
> 3D 表示を解除する場合は、「3D 表示解除」を発声します。

高速道路走行中に表示を切り替える

例：都市高マップを表示するとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「都市高マップ表示」**を発声します。

都市高マップが表示されます。

高速道路表示の音声コマンドについては（13-19）をご覧ください。

> 知識
>
> - 都市高マップを解除する場合は、「都市高マップ解除」を発声します。
> - 都市高とは首都高速、東名高速、名古屋高速、阪神高速、福岡高速、北九州高速を示します。

施設を表示する

例：レストランを表示するとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「レストラン表示」**を発声します。

レストランの施設アイコンが表示されます。

施設表示の音声コマンドについては（13-19）をご覧ください。

> 知識
>
> 地図に表示できる施設は、1 種類のみです。

施設を消去する

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「施設表示消去」**を発声します。

施設アイコンが消去されます。

知りたい情報を聞く

例：今、走行している道路の名称を聞くとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「今走っている道路は」**を発声します。

例：東名高速道路を走行しているとき

「現在走行している道路は、東名高速道路です」と音声案内されます。

問い合わせの音声コマンドについては（13-19）をご覧ください。

ルート案内を解除する

▶ 音声認識モードを ON にして、**「ルート案内解除」**を発声します。

ルート案内が解除されます。

ルート案内を表示する

▶ 音声認識モードを ON にして、**「ルート案内表示」**を発声します。

ルート案内が表示されます。

ルート案内を中止する

▶ 音声認識モードを ON にして**「案内中止」**を発声します。

ルート案内が中止されます。

ルート案内を再開する

▶ 音声認識モードを ON にして、**「案内再開」**を発声します。

ルート案内が再開されます。

ラジオの操作

FM1 と FM2 を切り替える

▶ ラジオモードで FM を受信しているときに、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「FM（エフエム）」**を発声します。

FM1 と FM2 が切り替わります。

> 知識
>
> - ナビゲーションモードにしているときに FM（エフエム）」を発声したときは、FM 画面に切り替わるだけでバンドは切り替わりません。
> - AM1/AM2 を切り替えるときは、AM に切り替えて、「AM（エーエム）」を発声します。

オートプリセットする

例：FM1 に放送局を記憶させるとき

▶ ラジオモードが FM1 のときに、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「オートプリセット」**を発声します。

オートプリセットを開始します。

プリセット選局をする

例：FM1 のプリセット番号 1 を選択するとき

▶ ラジオモードが FM1 のときに、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「プリセット 1」**を発声します。

プリセット番号 1 に登録された放送局に切り替わります。

オーディオ再生時の操作

音楽ソースを選択する

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ 聞きたい音楽ソースを発声します。

CD
「シーディー」を発声します。

MP3
「エムピースリー」を発声します。

メモリーカード
「メモリーカード」を発声します。

ミュージックレジスター
「ミュージックレジスター」を発声します。

> 知識
> CD または MP3 を選択したときは、最後に再生した CD または MP3 を再生します。

音楽ソースの切り替えコマンドについては**(13-15)**をご覧ください。

聞きたいディスクを選択する

例：ディスク 1 を選択するとき

▶ **「ディスク 1」**を発声します。

聞きたいアルバムを選択する（ミュージックレジスター）

▶ ミュージックレジスターを再生しているときに、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ 次のアルバムを選択するときは**「アルバムアップ」**を発声します。

1 つ前のアルバムを選択するときは**「アルバムダウン」**を発声します。

聞きたいフォルダを選択する（MP3）

▶ MP3 を再生しているときに、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ 次のフォルダを選択するときは**「フォルダアップ」**を発声します。

1 つ前のフォルダを選択するときは「フォルダダウン」を発声します。

> 知識
> データが格納されている順に動作するため、表示されているリスト順に再生されないことがあります。

聞きたい曲を選択する

▶ 再生中に、音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ 次の曲を選択するときは**「トラックアップ」**を発声します。

1 つ前の曲を選択するときは**「トラックダウン」**を発声します。

テレビの操作

テレビに切り替える

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「テレビ」**を発声します。

テレビに切り替わります。

DVD ビデオの操作

DVD ビデオに切り替える

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「DVD ビデオ」**を発声します。

DVD ビデオに切り替わります。

電話の操作

音声認識で電話を発信する方法は、以下の通りです。

- 電話番号で発信する
- アドレス帳の登録項目から発信する
- リダイアルで発信する

電話番号で発信する

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「電話発信」**を発声します。

▶ 「発信先をお話しください」と音声案内されます。

発信する電話番号を発声します。

発信する電話番号が音声案内されます。

▶ **「発信」**を発声します。

「発信します」と音声案内され、電話が発信されます。

> **知識**
>
> 電話番号は区切りながら発声しても音声認識されます。そのたびごとに、音声案内が繰り返されます。

音声認識

アドレス帳の登録項目から発信する

例：アドレス帳に名前を「山田」、よみがなを「ヤマダ」と登録している相手に電話をかけるとき

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「電話発信」**を発声します。

「発信先をお話しください」と音声案内されます。

▶ **「ヤマダ」**を発声します。

発声した登録先に発信されます。

> 知識
>
> - アドレス帳に名前、よみがなおよび電話番号を登録している場合のみ、音声認識で電話をかけることができます。
> - アドレス帳で登録した登録名（よみがな）によっては、誤って認識され、電話の発信などができないことがあります。その場合は、電話帳から発信するか (6-19)、登録名（よみがな）を変更してください (7-13)。
> - アドレス帳に登録されている名前から発信した場合は、ディスプレイに登録名が表示されます。
>
>   ただし、アドレス帳の複数の登録項目で同じ電話番号を登録しているときは、発声した登録項目と異なる登録名が表示されることがあります。

リダイアルで発信する

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「電話発信」**を発声します。

「発信先をお話しください」と音声案内されます。

▶ **「リダイアル」**を発声します。

発信履歴の最新の電話番号に発信されます。

電話関連の音声コマンドについては **(13-23)** をご覧ください。

E メールの音声認識

E メールを読み上げる

▶ 音声認識スイッチを押して、音声認識モードを ON にします。

▶ **「E メール読み上げ」**を発声します。

E メール読み上げが開始します。

E メール関連の音声コマンドについては **(13-24)** をご覧ください。

車両機能の音声認識

けん引防止機能の解除 / 設定などの操作が行なえます。

車両機能関連の音声コマンドについては **(13-24)** をご覧ください。

音声コマンド一覧

音声認識できる音声コマンド一覧を紹介します。

共通操作

全てのモードで有効です。

機　能		音声コマンド
モードを切り替える	ラジオ（FM）に切り替える	エフエム
	ラジオ（AM）に切り替える	エーエム
	CD に切り替える	シーディー
	MP3 に切り替える	エムピースリー / エムピーサン
	ミュージックレジスターに切り替える	ミュージックレジスター
	メモリーカードに切り替える	メモリーカード / ピーシーエムシーアイエー / ピーシーカード
	テレビに切り替える	テレビ
	DVD ビデオに切り替える	ディーブイディービデオ
	電話に切り替える	デンワ / テル / テレフォン
	ナビゲーションに切り替える	ナビ / ナビゲーション / ゲンザイチ
	FM 多重に切り替える	エフエムタジュウ / エフエムマルチ
	インターネットに切り替える	インターネット
	E-mail に切り替える	イーメイル / メイル
	アドレス帳に切り替える	アドレスチョウ / アドレスブック
	交通情報に切り替える	コウツウジョウホウ / トラフィックインフォメーション
	車両設定に切り替える	シャリョウ / ビークル
	DVD オーディオ＊に切り替える	ディーブイディーオーディオ

共通操作

機　能		音声コマンド
ヘルプ画面を表示する	ラジオ（FM）のヘルプ画面表示	エフエムノヘルプ
	ラジオ（AM）のヘルプ画面表示	エーエムノヘルプ
	CD のヘルプ画面表示	シーディーノヘルプ
	MP3 のヘルプ画面表示	エムピースリーノヘルプ / エムピーサンノヘルプ
	ミュージックレジスターのヘルプ画面表示	ミュージックレジスターノヘルプ
	DVD ビデオのヘルプ画面表示	ディーブイディービデオノヘルプ
	電話のヘルプ画面表示	デンワノヘルプ / テルノヘルプ / テレフォンノヘルプ
	ナビのヘルプ画面表示	ナビノヘルプ / ナビゲーションノヘルプ / ゲンザイチノヘルプ
	インターネットのヘルプ画面表示	インターネットノヘルプ
	E-mail のヘルプ画面表示	イーメイルノヘルプ / メイルノヘルプ
	アドレス帳のヘルプ画面表示	アドレスチョウノヘルプ / アドレスブックノヘルプ
	車両設定のヘルプ画面表示	シャリョウノヘルプ / ビークルノヘルプ
	音声読み上げのヘルプ画面表示	オンセイヨミアゲノヘルプ / ティーティーエスノヘルプ / テキストトゥースピーチノヘルプ / ヨミアゲノヘルプ
	FM 多重放送のヘルプ画面表示	エフエムタジュウノヘルプ / エフエムマルチノヘルプ
	DVD オーディオ＊のヘルプ画面表示	ディーブイディーオーディオノヘルプ

ナビゲーションの操作

ナビゲーションモードを選択しているときに利用できます。

機　能		音声コマンド
地図を呼び出す方法を指定する	住所で指定する	ジュウショ
	施設名で指定する	シセツ
	施設ジャンルで指定する	ジャンル
ルートを探索する	目的地を設定する	モクテキチセッテイ / モクテキチ
	自宅までのルートを探索する	ジタクニカエル / ウチニカエル / イエニカエル
通過点を設定する	通過点を設定する	ツウカテンセッテイ / ツウカテン
	通過点を消去する	ツウカテンショウキョ / ツウカテンカイジョ / ツウカテンシナイ
ルート案内中に再探索する	有料道優先で再探索する	ユウリョウドウユウセン / コウソクドウユウセン / ユウリョウドウ / コウソクドウ
	一般道優先で再探索する	イッパンドウユウセン / イッパンドウ
	推奨ルートで再探索する	スイショウルート / スイショウルートユウセン
	距離優先で再探索する	キョリユウセン
	別ルート探索をする	ベツルート / ベツルートユウセン
	全ルート探索をする	ゼンルートタンサク
	別道路探索をする	ベツドウロタンサク
	迂回探索をする	ウカイタンサク
メモリ地点に登録する	メモリ地点に登録する	メモリチテン / メモリチテントウロク
VICS 情報を見る	VICS 情報を表示する	ビックスヒョウジ / ビックス
	VICS 情報を消去する	ビックスヒョウジカイジョ / ビックスヒョウジショウキョ
	高速道の情報を表示する	ビックスコウソクドウヒョウジ / ビックスコウソク
	一般道の情報を表示する	ビックスイッパンドウヒョウジ / ビックスイッパン
	全ての道路の情報を表示する	ゼンドウロヒョウジ / ゼンドウロ

機　能		音声コマンド
VICS 情報を見る	渋滞情報を表示する	ジュウタイコンザツヒョウジ / ジュウタイヒョウジ / コンザツヒョウジ
	渋滞情報を消去する	ジュウタイコンザツヒョウジカイジョ / ジュウタイコンザツヒョウジショウキョ
	空いている道を表示する	アキミチヒョウジ / アキドウロヒョウジ
	空いている道を消去する	アキミチヒョウジショウキョ / アキミチヒョウジカイジョ
	規制情報を表示する	キセイジョウホウヒョウジ / キセイジョホウ
	規制情報を消去する	キセイジョウホウヒョウジショウキョ / キセイジョウホウヒョウジカイジョ
	駐車場情報を表示する	ビックスチュウシャジョウヒョウジ / ビックスチュウシャジョウ
	駐車場情報を消去する	ビックスチュウシャジョウヒョウジショウキョ / ビックスチュウシャジョウヒョウジカイジョ
地図の向きを変更する	ノースアップに切り替える	ノースアップ
	ヘディングアップに切り替える	ヘディングアップ
	地図の向きを切り替える（ノースアップ↔ヘディングアップ）	チズムキ
縮尺を変更する	縮尺を広域にする	コウイキ
	縮尺を詳細にする	ショウサイ
2D/3D を変更する	3D 表示にする	スリーディーヒョウジ / サンディーヒョウジ
	2D 表示にする	ツーディーヒョウジ / スリーディーヒョウジカイジョ / スリーディーヒョウジショウキョ

機　能		音声コマンド
高速道路走行中に、表示を切り替える	都市高マップを表示する	トシコウマップヒョウジ / トシコウマップ
	都市高マップを解除する	トシコウマップカイジョ / トシコウマップショウキョ
	高速略図を表示する	コウソクリャクズヒョウジ / コウソクリャクズ
	高速略図を解除する	コウソクリャクズカイジョ / コウソクリャクズショウキョ
ランドマークを表示する	レストランを表示する	レストランヒョウジ / レストラン
	コンビニを表示する	コンビニヒョウジ / コンビニ
	ガソリンスタンドを表示する	ガソリンスタンドヒョウジ / ガソリンスタンド
	駐車場を表示する	チュウシャジョウヒョウジ / チュウシャジョウ
	銀行を表示する	ギンコウヒョウジ / ギンコウ
	MB（メルセデスベンツ）サービス工場を表示する	エムビーサービスコウジョウヒョウジ / メルセデスベンツサービスコウジョウ
	ランドマークを消去する	シセツヒョウジショウキョ / シセツヒョウジカイジョ
その他、地図を切り替えるコマンド	現在地を表示する	ゲンザイチ
	ルート案内を表示する	ルートアンナイヒョウジ / ルートガイドヒョウジ / ルートガイダンスヒョウジ
	ルート案内を解除する	ルートアンナイカイジョ / ルートガイドヒョウジショウキョ
	全ルート表示画面を表示する	ルートゼンタイ / ゼンルートヒョウジ
問い合わせる	到着予想時刻を聞く	イツツキマスカ / ナンジニツキマスカ
	今走っている道路を聞く	イマハシッテイルドウロハ
	渋滞があるかどうか聞く	ジュウタイハアリマスカ
ルート案内を中止する	ルート案内を中止する	アンナイチュウシ
	ルート案内を再開する	アンナイサイカイ

ジャンル		音声コマンド
食べる	イタリア料理	イタリアリョウリ
	うどん・そば	ウドンソバ / ウドン / ソバ
	お好み焼き	オコノミヤキ
	割烹・懐石	カッポウカイセキ / カッポウ / カイセキ
	カレー・スパゲティ	カレーパスタ / カレー / パスタ
	喫茶店	キッサテン
	ケーキ・菓子・パン	ケーキカシパン / ケーキ / カシ / パン
	す　し	スシ
	スナック・バー・酒場	スナックバーサカバ / スナック / バー / サカバ
	中　華	チュウカ
	とんかつ	トンカツ
	ファーストフード	ファーストフード
	ファミリーレストラン	ファミリーレストラン
	フランス料理	フランスリョウリ
	持ち帰り弁当	モチカエリベントウ
	焼肉・ホルモン	ヤキニクホルモン / ヤキニク / ホルモン
	洋　食	ヨウショク
	ラーメン	ラーメン
	和　食	ワショク
買い物	衣料品店	イリョウヒン
	おもちゃ店	オモチャ
	家具・インテリア	カグインテリア / カグ / インテリア
	カメラ・時計	カメラトケイ / カメラ / トケイ
	ガラス・陶磁器	ガラストウジキ / ガラス / トウジキ
	靴・鞄	クツカバン / クツ / カバン
	化粧品店	ケショウヒン
	コンビニエンスストア	コンビニエンスストア / コンビニ
	酒　屋	サケ
	CD・ビデオショップ	シーディービデオ / シーディー / ビデオ
	CD・ビデオレンタル	シーディービデオレンタル / シーディーレンタル / ビデオレンタル
	食料品店	ショクリョウヒン
	スーパー・ディスカウント店	スーパーディスカウントテン / スーパー / ディスカウントテン
	スポーツ用品店	スポーツヨウヒン
	デパート	デパート

ナビゲーションの操作（施設ジャンル一覧）

ジャンル		音声コマンド
買い物	電化製品	デンカセイヒン
	日用雑貨	ニチヨウザッカ
	花　屋	ハナ
	文具店	ブング
	米穀店	コメ
	宝石・貴金属店	ホウセキキキンゾク / ホウセキ / キキンゾク
	ホームセンター	ホームセンター
	本　屋	ホン
	めがね店	メガネ
	薬　局	クスリ
	リサイクルショップ	リサイクルショップ
	レンタルショップ	レンタルショップ
車	カー用品店	カーヨウヒン
	ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
	自転車・バイク用品店	ジテンシャバイク / ジテンシャ / バイク
	駐車場	チュウシャジョウ
	MB（メルセデスベンツ）サービス工場	エムビーサービスコウジョウ
宿　泊	ホテル・旅館	ホテルリョカン / ホテル / リョカン
	旅行代理店	リョコウ
遊　ぶ	温　泉	オンセン
	カラオケボックス	カラオケボックス
	キャンプ場	キャンプジョウ
	教　室	キョウシツ
	ゲームセンター	ゲームセンター
	劇　場	ゲキジョウ
	公営娯楽	コウエイゴラク
	ゴルフ場	ゴルフジョウ
	水族館	スイゾクカン
	スキー場	スキージョウ
	スポーツ施設	スポーツシセツ
	趣　味	シュミ
	動植物園	ドウショクブツエン
	パチンコ店	パチンコテン
	遊園地	ユウエンチ

ジャンル		音声コマンド
公　共	医療機関	イリョウキカン
	警察署	ケイサツショ / ケイサツ
	公　園	コウエン
	総合病院	ソウゴウビョウイン / ビョウイン
	図書館	トショカン
	役　所	ヤクショ / ヤクバ
交　通	駅	エキ
	SA・PA	サービスエリア / パーキングエリア / サービスエリアパーキングエリア
	高速 IC	コウソクインターチェンジ
	空　港	クウコウ / ヒコウジョウ
	道の駅	ミチノエキ
	港	ミナト
	有料道路 IC	ユウリョウインターチェンジ
文　化	教　会	キョウカイ
	資料館	シリョウカン
	城・城跡	シロジョウセキ / シロ / ジョウセキ
	神　社	ジンジャ
	寺	テラ
	博物館	ハクブツカン
	美術館	ビジュツカン
	ホール	ホール
	名所・旧跡	メイショキュウセキ / メイショ / キュウセキ
その他	エステティック	エステティック
	学　校	ガッコウ
	銀　行	ギンコウ
	クリーニング	クリーニング
	結婚式場	ケッコンシキジョウ
	写真店・写真館	シャシン
	美容院・理容店	ビヨウインリヨウテン / ビヨウイン / リヨウテン
	郵便局	ユウビンキョク

機　能		音声コマンド
ラジオを操作する	FM1/FM2 を切り替える	エフエム
	AM1/AM2 を切り替える	エーエム
	オートプリセットする	オートプリセット
	プリセット選局をする	プリセットイチ（例：プリセット 1 を選択する場合）
CD/DVD オーディオ＊を操作する	次の曲を選曲する	トラックアップ
	曲の頭出しをする	トラックダウン
ミュージックレジスターを操作する	次の曲を選曲する	トラックアップ
	曲の頭出しをする	トラックダウン
	次のアルバムに切り替える	アルバムアップ
	前のアルバムに切り替える	アルバムダウン
MP3 を操作する	次の曲を選曲する	トラックアップ
	曲の頭出しをする	トラックダウン
	次のホルダーにする	ホルダーアップ
	前のホルダーにする	ホルダーダウン
電話を操作する	電話をかける（これから電話番号を音声で入力する場合）	デンワハッシン
	電話をかける（すでに電話番号が入力されている場合）	ハッシン
DVD ビデオを操作する	DVD ビデオに切り替える	ディーブイディービデオ
ディスクを操作する	ディスクに切り替える	ディスクイチ（例：ディスク 1 を選択する場合）

E メールの操作

機　能		音声コマンド
受信メールの読み上げを操作する	未読メールの読み上げ	イイメイルヨミアゲ / ミドクヨミアゲ / メイルヨミアゲ
	全メールの読み上げ	ゼンイイメイルヨミアゲ / スベテヨミアゲ
	もう一度くり返す	イイメイルリピート / モウイチド / リピートメイル
	次のメールに進む	ツギノイイメイル / ツギノメイル
	前のメールに戻る	マエノイイメイル / マエノメイル
	文節をもう一度くり返す	リピート
	次の文節に進む	ツギノブンショウ / ツギノブン
	前の文節に戻る	マエノブンショウ / マエノブン
	読み上げを停止する	ヨミアゲテイシ / テイシ / チュウシ
	メールを受信する	メイルチェック / イイメイルジュシン / メイルジュシン

けん引防止警報機能の操作

機　能		音声コマンド
けん引防止警報機能	設定する	ケンインボウシケイホウキノウ オン
	解除する	ケンインボウシケイホウキノウ オフ

電動ブラインド（リアウインドウ）の操作

機　能		音声コマンド
電動ブラインド（リアウインドウ）	開閉する	デンドウブラインド / リアウインドウローラー

14. ETC

ETC とは ………………………… 14-2
ご利用の前に ……………………… 14-2
- ETC 車載器のセットアップ
- ETC カード

ご利用の流れ ……………………… 14-2
ご利用時の警告と注意 ………… 14-4
操作のしかた ……………………… 14-7
- ETC カードを挿入する
- ETC カードを取り出す

ナビゲーションからの案内 …… 14-8
- 設定の切り替え

ETC の利用履歴を見る ……… 14-10
異常発生時の案内と対処 ……… 14-11
ETC 車載器のお手入れ /
ETC カードの取り扱い … 14-13
- ETC 車載器のお手入れ
- ETC カードの取り扱い

よくあるご質問（Q&A） ……… 14-14
道路事業者からのお願い ……… 14-15
お問い合わせ一覧 ……………… 14-19
便利メモ ………………………… 14-21

ETC とは

ETC は Electronic Toll Collection System の略称で、無線通信を利用した有料道路の料金支払いシステムです。支払いが自動で行なわれるので、料金所でも停車することなく、スムーズな通行が可能になります。

ETC は、財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

ご利用の前に

ETC 車載器のセットアップ

ETC を利用するためには、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で車載器のセットアップを行なってください。

セットアップとは、お客様の車載器のデータを、（財）道路システム高度化推進機構（ORSE）が処理し、そのデータを車載器に入力する作業です。

注意

イグニッション位置を 1 か 2 にしたときに "ETC がセットアップされていません " と音声案内されたときは、ETC 車載器のセットアップが正常に行なわれていません。メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

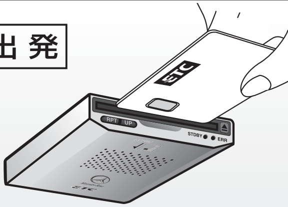
ETC カード

ETC を利用するためには、ETC カードが必要です。カードには、クレジットカード会社が発行する ETC カードと、東 / 中 / 西日本高速道路株式会社が発行する ETC コーポレートカードがあります。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ご利用の流れ

1

出 発



エンジンを始動して、
ETCカードを挿入する。

「ポーン ETCカードを正常に受け付けました。ETCがご利用可能です」と案内されます。

2

入口料金所

いつでも停車できる速度（時速20 km以下）でETCレーンに進入する。

3

いつでも停車できる速度で通行する。

4

料金所通過後も、カードは抜かずに走行する。

（本線上に、開閉バーのない料金所がある場合があります）

5

SA（サービスエリア）
PA（パーキングエリア）

盗難防止のため、車から離れるときはカードを取り出す。

6

忘れずにカードを戻してから運転を再開する。

7

出口料金所

いつでも停車できる速度(時速20 km以下)でETCレーンに進入する。

8

いつでも停車できる速度で通行する。

9

到 着

盗難防止のため、ETCカードを取り出し、エンジンを停止する。

ご利用時の警告と注意

⚠ 警告

ETC を利用するときは

ETC カードを挿入する

挿入されていないと開閉バーが開かず、事故の原因になります。カード確認に時間がかかるため、ETC 車線直前でカードを挿入しても ETC 車両と認識されない場合があります。

有効期限が切れたり、発行元が無効としたカードは使用しない

「ETC がご利用可能です 」と案内されますが、料金所で開閉バーが開かず、事故の原因になります。

実際の交通規制に従って走行する

ETC ご利用時でも、不測の事態(事故･異常気象など)においては、実際の交通規制に従って運転してください。交通事故の原因になります。

料金所では

利用履歴を確認しない

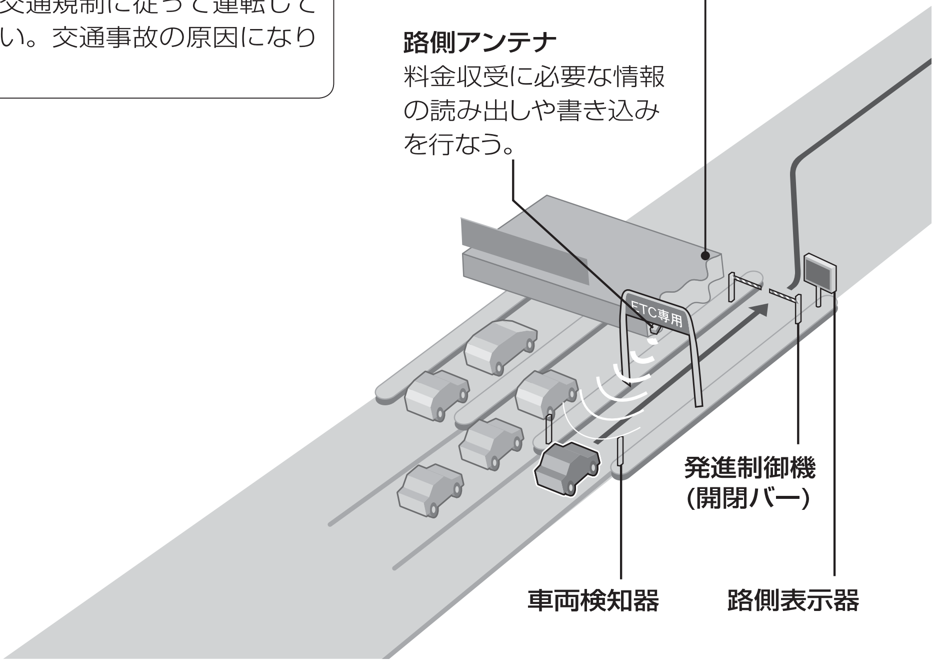
利用履歴確認中は路側アンテナと通信できません。開閉バーが開かず、事故の原因になります。

速い速度で走行しない

開閉バーが開かない場合に備え、いつでも停車できる速度 (時速 20km 以下) で走行してください。

車間距離を詰め過ぎない

前車が急停車すると、追突するおそれがあります。



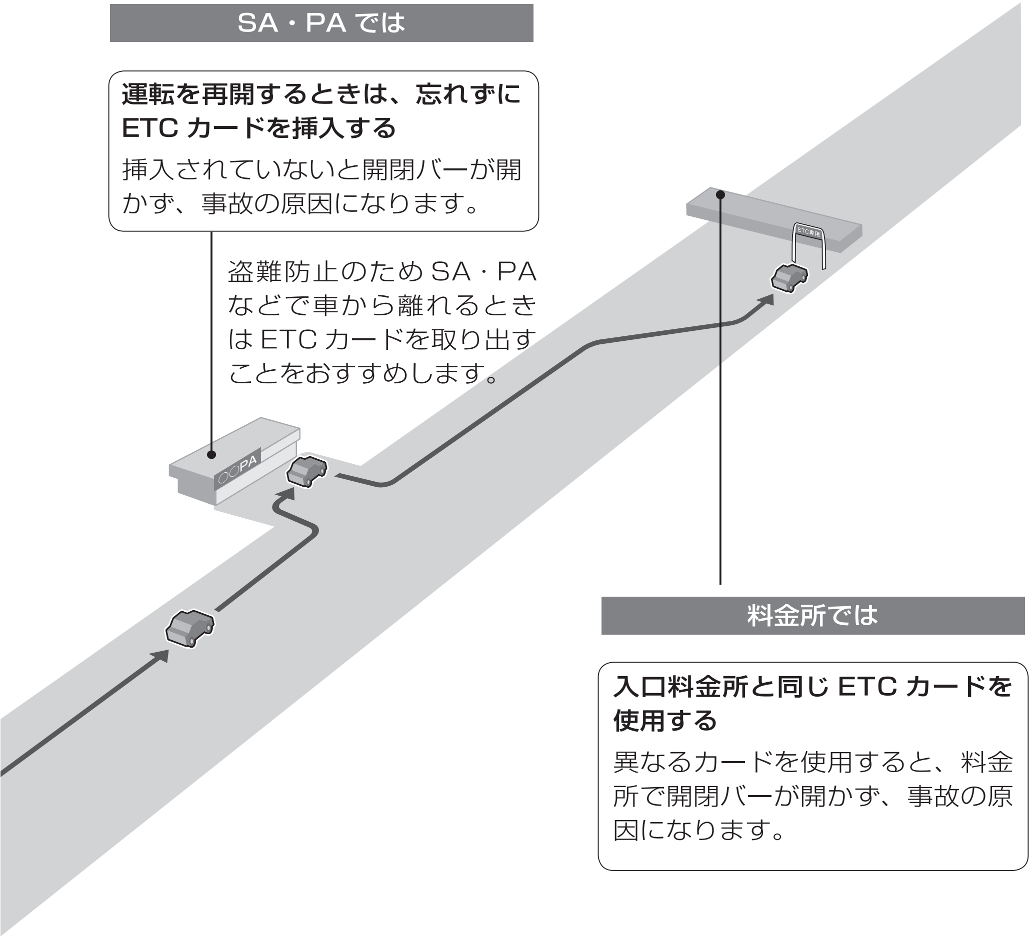
⚠ 警告

SA・PA では

運転を再開するときは、忘れずにETC カードを挿入する

挿入されていないと開閉バーが開かず、事故の原因になります。

盗難防止のため SA・PA などで車から離れるときは ETC カードを取り出すことをおすすめします。



料金所では

入口料金所と同じ ETC カードを使用する

異なるカードを使用すると、料金所で開閉バーが開かず、事故の原因になります。

⚠ 警告

走行中は

ETC カードを取り出さない

料金所以外で、本線上にて経路チェックや料金精算を実施する場所があります。

本線上で ETC カードを取り出すと、出口料金所で開閉バーが開かず、事故の原因になります。

運転中は操作をしない

走行中の操作は、前方不注意による交通事故の原因になります。

必ず安全な場所に停車してから操作してください。

⚠ 警告

- ETC 車載器の分解や修理はやめてください。火災・感電、故障のおそれがあります。
- 万一、ETC 車載器に故障 (音が出ないなど) や異常 (異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど) が起こった場合は、ただちに使用を中止してください。また、すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電のおそれがあります。

注意

- ETC カードの挿入口に異物を入れないでください。故障するおそれがあります。
- スタンバイインジケータ (緑) 点滅中は、ETC カードを取り出さないでください。ETC カードのデータが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ETC 車載器本体にあるラベルをはがすと認証機器として認められません。はがれたものは使用しないでください。

注意

次のような状況では通信不能の原因となります。

- 物を置くなどしてアンテナ上面をさえぎる。
- アンテナ付近のフロントガラスに雪が積もっている、または泥などで著しく汚れている。

操作のしかた

ETC カードを挿入する

▶ 車のエンジンを始動するか、イグニッション位置を **1** か **2** にします。

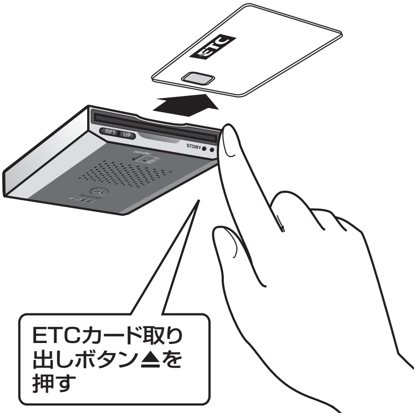
COMAND システムが起動し、「ポーン ETC カードが挿入されていません」と案内されます。

▶ ETC カードをグローブボックス内にある ETC 車載器に挿入します。

「ポーン ETC カードを正常に受け付けました。ETC がご利用可能です」と案内されます。

ETC カードを取り出す

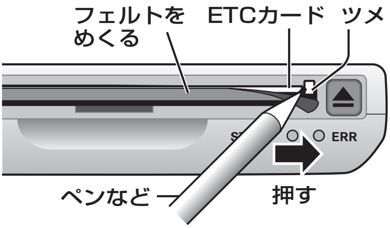
▶ ETC カード取り出しボタン ⏏ を押します。



ETC カードが取り出せないときは

▶ ETC カード挿入口のツメをペン先などで矢印の方向へ押します。

それでも ETC カードを取り出せない場合は、ツメを押した状態で ETC カードの中央付近をつまんで取り出してください。取り出した後は、使用を中止し、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。



ナビゲーションからの案内

カード未挿入警告、料金案内、料金履歴などを、ナビゲーションからの音声や画面で案内します。

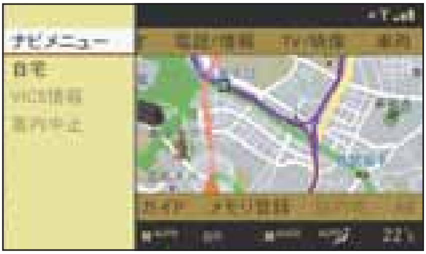
知識

- ETC 車載器のリピートボタンは操作できません。
- ETC 車載器の案内は行ないません。
  - ◇ ただし、ETC カードを挿入したままエンジンを停止したとき、「カードが残っています」と案内されます。
  - ◇ ETC カードを挿入したままドアを開いたりエンジンを始動すると、「ETC が利用可能です」と案内される場合があります。

設定の切り替え

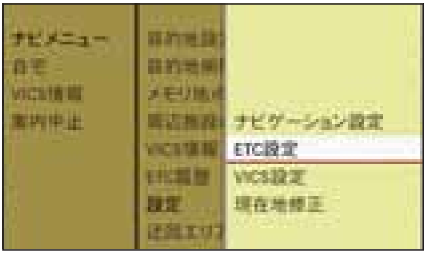
▶ アプリケーションエリアで " **ナビ** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ " **ナビメニュー** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。



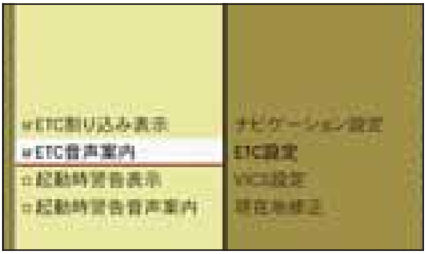
▶ " **設定** " を選択して ・ 、コントローラーを押します 。

▶ **"ETC 設定 "** を選択して ◎ ・ ◎ 、コントローラーを押します ◎ 。



▶ 設定する機能を選択して ◎ ・ ◎ 、コントローラーを押します ◎ 。

現在設定されている項目の左側のボックスには、チェックマークが表示されています。



"ETC 割り込み表示 "
ETC に関連する情報を優先して、ナビゲーションの画面に表示できます。

"ETC 音声案内 "
ETC に関連する情報を、ナビゲーションからの音声で案内できます。

" 起動時警告表示 "
COMAND システム起動時に、ETC の使用可能情報を COMAND ディスプレイに表示できます。

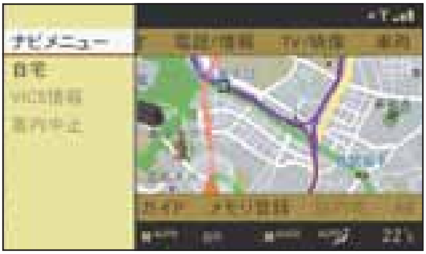
" 起動時警告音声案内 "
COMAND システム起動時に、ETC の使用可能情報を COMAND システムからの音声で案内できます。

ETC の利用履歴を見る

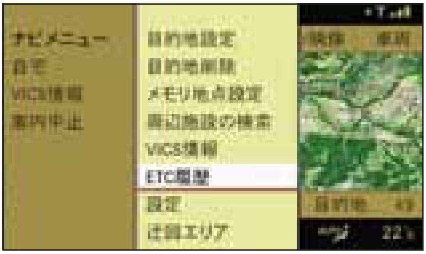
ETC 利用履歴をナビゲーションの画面に表示できます。

▶ アプリケーションエリアで " **ナビ** " を選択して ◎ ・ ◎ 、コントローラーを押します ◎ 。

▶ " **ナビメニュー** " を選択して ◎ ・ ◎ 、コントローラーを押します ◎ 。

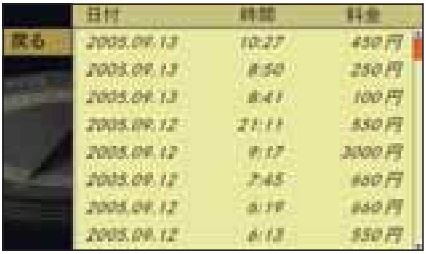


▶ "**ETC 履歴** " を選択して ◎ ・ ◎ 、コントローラーを押します ◎ 。



ETC の履歴が表示されます。

最新の履歴から最大 100 件までを表示できます。



異常発生時の案内と対処

万一異常が発生した場合、異常に応じてエラーコードが案内されます。

エラーコード	発生場所	ナビゲーションの画面表示	車載器のインジケーター	
			STDBY（緑）	ERR（赤）
コード01	料金所（路側アンテナとの通信時）	ETC カードが挿入されていません	消灯	消灯
コード02	ETC カード挿入時	ETC カードが読めません ETC カードを確認してください　E02	点滅↓消灯	消灯
	料金所（路側アンテナとの通信時）	ETC カードが読めません ETC カードを確認してください　E02	点滅↓点灯	点灯
コード03	ETC カード挿入時	ETC カードが読めません ETC カードを確認してください　E03	点滅↓消灯	消灯
コード04	電源投入時	ー	消灯	点灯
コード05	ETC カード挿入時	ETC カードが読めません ETC カードを確認してください　E05	点滅↓消灯	消灯
	料金所（路側アンテナとの通信時）	ETC カードが読めません ETC カードを確認してください　E05	点滅↓点灯	点灯
コード06	料金所（路側アンテナとの通信時）	ETC ゲートとの通信に失敗しました E06	点滅↓点灯	点灯
	ナビゲーションと接続して、電源投入した	ETC でエラーが発生しました 現在、ETC は利用できません　E06	消灯	点灯
コード07	料金所（路側アンテナとの通信時）	ETC ゲートとの通信に失敗しました E07	点滅↓点灯	点灯

エラーコード	原　因	対処方法
コード 01	• ETC カードが挿入されていない • ETC カードの挿入不良	• 料金所の係員の指示に従ってください。
コード 02	• ETC カードのデータが読み出せない	• コンタクト面が汚れている場合はきれいに拭いてください。
	• ETC カードのデータが読み出せない • ETC カードにデータが書き込めない	• 料金所の係員の指示に従ってください。
コード 03	• ETC カード以外を挿入した • 挿入する向き (前後裏表) が正しくない • ETC カードが汚れている	• ETC カードを挿入してください。 • 正しい向きで挿入されているか確認してください。 • コンタクト面が汚れている場合はきれいに拭いてください。
コード 04	• 本機の故障	• 再度エンジンをかけても異常が発生する場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
コード 05	• ETC カード以外を挿入した • ETC カード認証エラー	• ETC カードを再度挿入してください。
	• ETC カード認証エラー	• 料金所の係員の指示に従ってください。
コード 06	• 本機と料金所間のデータ処理エラー	• 料金所の係員の指示に従ってください。
	• 本機がセットアップされていない	• 本機をセットアップしてください。
コード 07	• 本機と料金所間のデータ処理エラー	• 料金所の係員の指示に従ってください。

ETC 車載器のお手入れ / ETC カードの取り扱い

ETC 車載器のお手入れ

- エンジンを停止してから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー類は使用しないでください。ケースや塗装が変質します。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

ETC カードの取り扱い

ETC カードは、精密な電子部品（LSI チップ）を搭載しています。

取り扱いによっては、使用できなくなることがあります。

- 曲げたり強い力を加えない。

  LSI チップが割れたり、配線が切れたりして使用できなくなります。

  ◇ ズボンのポケットなどの曲がりやすい所で携帯しない。

  ◇ 小銭などの固いものと一緒に携帯しない。

  ◇ 分解・改造はしない。

  ◇ 車載器に無理に押し込んだり、引っ張ったりしない。

- 静電気は禁物です。

  静電気によって LSI チップの回路が破壊されて使用できなくなります。

  ◇ カードのコンタクト面に手や物を触れない。

  ◇ テレビなど帯電しやすい物の上に置かない。

- 熱は禁物です。

  高温によってカードが変形し、使用できなくなります。

  ◇ 車の中に保管しない。

  （特にダッシュボード上、および車載器への放置）

  ◇ ストーブなどの近くに保管しない。

- ぬらしたり、汚したりしない。

  食物などでぬれたり汚れた場合は、柔らかい布で拭き取ってください。

ETC カードの紛失、破損および変形した場合は、ただちにその旨を ETC カードの発行元に連絡してください。

ETC

よくあるご質問（Q&A）

Q. ETC カードは、レンタカーや他人の車でも使えますか？

A. ETC カードは、どの車の車載器にも使用可能です。利用料金は、ETC カードクレジット契約口座から引き落とされます。

Q. セキュリティについてはどのようになっていますか？

A. ETC カードは、IC カードを使っており、磁気カードに比べ、より高い安全性を確保しています。また車載器も高度な暗号化を行ない、十分なセキュリティを確保しています。

Q. 料金所を通行するときは、何に注意すれば良いのでしょうか？

A. 通信エラーなどにより料金所で開閉バーが開かないこと、または前車が急停車することがあります。

いつでも停車できる速度 (時速 20km 以下) で通行してください。

Q. 料金所でエラーが発生した場合、どうすれば良いでしょうか？

A.
- 入口料金所の場合、通行券が発行されます。出口料金所で「ETC/ 一般 」または「 一般 」の表示がある車線をご利用になり、通行券と ETC カードを料金所の係員にお渡しください。
- 通行料金を支払う料金所の場合、料金所の係員の指示に従ってください。
- 何らかの理由で開閉バーが開かないことがあります。

  いつでも停車できる速度 (時速 20km 以下) で通行してください。

Q. 「ETC 専用 」または「ETC/ 一般 」の表示がない料金所では、どうすれば良いのでしょうか？

A.
- 入口料金所に表示がない場合、通行券を受け取り、出口料金所で「ETC/ 一般 」または「 一般 」の表示がある車線をご利用になり、通行券と ETC カードを料金所の係員にお渡しください。
- 出口料金所に表示がない場合 (入口料金所で ETC をご利用になった場合) は、料金所の係員に ETC カードをお渡しください。

Q. 使った覚えのない ETC 請求書が来たときは、どうすれば良いのでしょうか？

A. 心当たりのない明細内容に対しては、クレジットカード会社に利用実績などをお問い合わせください。

Q. 領収書はもらえますか？

A. ETC 専用車線ではもらえません。基本的に後納方式なので領収書はその場では発行されません。明細は後日、クレジットカード会社より送付されます。通行時、その場で証明がほしい場合は、「ETC/一般」または「一般」の表示がある車線をご利用になり、料金所の係員に ETC カードを提出して、その旨を申し出てください。

Q. 音声案内や利用履歴の内容と、クレジットカード会社から発行された明細の金額が異なるのですが？

A. 割引の内容によっては、ETC カードに支払金額を書き込んだあと、決済時などに料金が割り引かれる場合があります。

Q. 障害者割引制度を利用するには、どうすれば良いのでしょうか？

A. ETC 車線で障害者割引措置を受けようとする場合は、身体障害者手帳または療育手帳を管理している市町村福祉事務所などで、別途登録手続きが必要です。詳細については、市町村福祉事務所、道路事業者へお問い合わせください。

道路事業者からのお願い

【はじめに】

必ず、ETC システム利用規程等をお読みください。

- ETC システム利用規程、同実施細則（以下「利用規程等」という）、ETC カードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。また、特にエラーや事故の発生の原因になる事項を以下に記載しました。

  ETC のご利用前に、必ずお読みください。

【乗車前のご注意】

ETC カードを ETC 車載器に確実に挿入し、正常に作動することの確認を !!

- ご乗車時に、ETC カードを車載器に確実に挿入し、正常に作動するか確認してご利用ください。ETC カードが確実に挿入されていても、車載器が正しく作動していない場合、開閉バーが開きません。車載器への ETC カードの挿し忘れ、挿し込み不良により、開閉バーが開かないケースが増えています。

※ ETC カードの挿し込み方向（前後・表裏）にご注意ください。

※ 料金所の手前などに、ETC カードが正常に挿入されていないことを車載器にお知らせするアンテナが設置されている箇所があります。ETC カードが正常に挿入されていないことのお知らせがあった場合には、ETC 無線走行はできませんので、一般車線または混在車線をご利用ください。

- 車載器が ETC カードを認証するまでには、数秒かかりますので、料金所直前での ETC カードの挿入は、エラーの原因となることがあります。
- 正常に通信を行なうため車載器の通信面に物を置いたり、物で遮ったり、安易な取り付け箇所の変更などをしないでください。

※ 正常に通信できないとエラーが発生し、開閉バーが開きません。

【ETC カードの有効期限のご注意】

- 有効期限切れの ETC カードでは、開閉バーが開きませんので、ETC 車線を通行できません。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

※ 車載器に有効期限切れの ETC カードを差し込んでも、エラー表示はされません。

※ 更新された ETC カードとのお取替えを忘れないようにお願いします。

【走行中のご注意】

十分な車間距離と 20km/h 以下の安全な速度で !!

- ETC 車線に設置されている開閉バーは、車載器とアンテナとの間の通信などが正常に行なわれなかった場合には、開かないことがありますので、ご注意ください。また、前車に接近して通行しようとしたときに、エラーが発生すると、前車通過後、開閉バーが閉まりますので、ご注意ください。
- ETC 車線を通行される際は、前車と十分な車間距離をとった上で、開閉バーの手前で安全に停止できるよう十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認して、通行してください。
- ETC 車線を通行する際は、約 20km/h 以下の安全な速度でお願いします。

※ 利用規程等によらないご利用方法により、道路設備に損傷を与えた場合には、復旧に要する費用をご負担していただく場合がありますので、ご注意ください。

- もし、入口料金所の ETC 車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での料金のお支払いは、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡しください。（均一料金区間では、入口料金所で ETC 以外の方法でお支払いください。）
- 入口料金所を ETC で通行した場合で、出口料金所で ETC 車線がご利用できなときあるいは設置されていないときは、一旦停止して ETC カードを係員にお渡しください
- 通行料金の請求を受ける料金所で、ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線又は混在車線）で ETC カードでの支払いが可能です。無理な車線変更は危険ですので、おやめください。

※ ETC 車線の機器の点検などにより、ETC 車線を閉鎖している場合がありますのでご注意ください。

- 走行中は、ETC カードを車載器から抜き挿ししないでください。正常に通信できなかったり、ETC カードの破損やエラーを引き起こす場合があります。

- 入口料金所の ETC 車線を通行できても、出口料金所の ETC 車線で開閉バーが開かない場合があります。

※ 入口料金所通過直後の車載器のエラー音あるいは音声案内にご注意ください。

【もしも、開閉バーが開かなかった場合のご注意】

ETC 車線では、絶対に車をバックさせないで !!

- ETC 車線で開閉バーが開かないなどの理由で停止した場合には、危険ですので絶対に車をバックさせないでください。インターホン等で係員を呼び、案内に従ってください。

※ バックすると後続車に追突される危険があるばかりか、再度他車線に進入するとエラーが発生する場合があります。

【車載器の再セットアップ】

車載器の付け替え、車両ナンバー変更時は再セットアップを !!

- 車載器を他の車両に付け替える場合や車両のナンバープレートが変更になった場合などは、新たにセットアップ（車載器への車両情報の登録）が必要となります。

※ 新たにセットアップを行なわないと、ETC のご利用ができない場合や割引が適用にならない場合があります。

【車載器管理番号に関するお願い】

車載器管理番号は、ETC の各種割引サービスのための必要な番号です。

- 車載器管理番号は、お持ちの車載器または車載器の箱に記載されている 19 桁の固有の番号で、ETC の各種割引サービスを受ける場合、あるいは今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。『ETC 車載器セットアップ申込書・証明書（お客様保存用）』を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

【障害者割引制度における ETC 利用について】

- 事前に有料道路事業者の設置する窓口に必要な情報を登録した場合は、ETC 無線走行での割引が可能です。

- 事前に有料道路事業者の設置する窓口に登録されていない場合または ETC がご利用できない場合は、通行料金の請求を受ける料金所では、係員のいる車線（一般車または混在車線）で、一旦停車して係員に ETC カードをお渡しいただくとともに、身体障害者手帳または療育手帳を呈示し確認を受けてください。（手帳の呈示がない場合は、割引適用されませんので、手帳は必ず携行してください。）

※ いずれの場合も福祉事務所等において、手帳に登録自動車番号、割引措置の有効期限等の記載を受ける必要があります。

【お問い合わせいただく前に（チェックシート）】

トラブルのお問い合わせの際には、お客様のお手持ちの ETC カードや車載器の具体的な状況をお知らせいただく必要があります。

次の事項を中心にお尋ねしますので、あらかじめシートに記入などしていただいたうえで、お問い合わせください。

《シート》

カードの種類（発行元）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

カードの番号　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

車載器メーカー　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

車載器取付け店（業者）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

◆トラブルの状況（どんなトラブルが起きましたか）

発生通行日時　　月　　日　　時頃

1. 車載器にETCカード挿入前
2. 車載器にETCカード挿入時

　車載器に表示されたエラー　＿＿＿＿＿＿＿＿

3. 車載器にETCカード挿入後（通行中）

入口料金所

通行車線　1. ETC専用　2. ETC／一般　3. 一般

通行日時　　月　　日　　時頃

出口料金所

通行車線　1. ETC専用　2. ETC／一般　3. 一般

通行日時　　月　　日　　時頃

◆そのトラブルは、どんなときに起きましたか

1. いつも起きる
2. ときどき起きる
3. 特定の料金所で起きる
4. 今回はじめて起きた

お問い合わせ一覧　（2010 年 10 月 1 日現在）

ETC のご利用に関して

- **東日本高速道路**（24 時間年中無休）
  NEXCO 東日本 お客様センター　0570-024-024（一般電話）
  03-5338-7524（PHS、IP 電話）
- **中日本高速道路**（24 時間年中無休）
  NEXCO 中日本 お客様センター　0120-922-229（フリーコール）
  052-223-0333（通話料有料）
- **西日本高速道路**（24 時間年中無休）
  NEXCO 西日本 お客様センター　0120-924-863（フリーコール）
  06-6876-9031（通話料有料）
- **首都高速道路**（9:00 ～ 18:00 年中無休）
  首都高 ETC コールセンター　03–6667-5859
- **阪神高速道路**
  （平日 8:30 ～ 19:00
  土日・祝日・年末年始 12/29 ～ 1/3　9:00 ～ 18:00 年中無休）
  阪神高速 お客様センター　06–6576–1484
- **本州四国連絡高速道路**
  （9:00 ～ 17:30 土日・祝日・年末年始 12/29 ～ 1/3 を除く）
  本州四国連絡高速道路 お客さま窓口　078-291-1033
- **名古屋高速道路公社**（9:00 ～ 19:00 年末年始を除く毎日）
  名古屋高速 お客様センター　052-919-3200
- **福岡北九州高速道路公社**（9:00 ～ 17:30 土日・祝日・年末年始を除く）
  福岡北九州高速道路公社（本社）　092-631-3282

ETC カードおよび請求金額に関して

お手持ちの ETC カード発行元にご確認ください。

車載器に関して

メルセデス・ベンツ指定サービス工場、または本書に記載されている連絡先にお問い合わせください。

セットアップに関して

財団法人 道路システム高度化推進機構
ETC お問い合わせ窓口（ORSE）　03–5216–3856
受付時間 / 9：00 ～ 18：00（土日祝日・年末年始を除く）

ETC 利用のご通行で、通信による通行料金の収受ができなかった場合、お客様に停止していただき、収受手続きをさせていただいております。停止処理の原因としては、車載器とアンテナの通信エラー、車載器へのETC カードの未挿入や通信途中での車載器からのカードの抜き取りなどが考えられます。

通信エラー等の原因につきましては、詳細な調査をしなければわかりませんが、頻繁に反復して発生する場合は車載器の不具合なども考えられますので、車載器の購入先または取り付け店にご相談いただきますよう、ご案内申し上げます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

品番	
お買い上げ日	年　　月　　日
メルセデス・ベンツ指定サービス工場名	TEL（　　　）　　－

＊技術基準適合認定品 〒

車載機器管理番号

□□□□□－□□□□□□□□－□□□□□□

型式登録番号

□□□□

ETC

※この取扱説明書の内容は、2010 年 9 月現在のものです。

総輸入元
メルセデス・ベンツ日本株式会社
〒106-8506 東京都港区六本木一丁目９番９号 六本木ファーストビル

S / CL

環境保護のため、この取扱説明書は再生紙を使用致しました。

MBJCSD 31230-071201500 J